臨時増刊

旬刊タイムス

太平洋戦争艦艇一覧

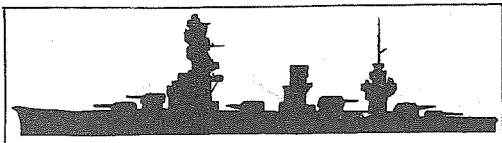
日米決戦航空機の全貌

陸軍秘密兵器の全容

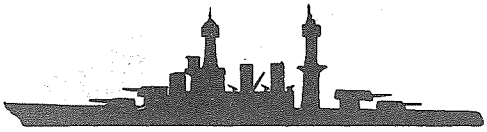
第18集

昭和二十一年五月四日国内郵便物認可 昭和二十一年八月二十日第三種郵便物認可 通巻第十七号 昭和三十二年二月一日発行 毎月一回十一日一回発行

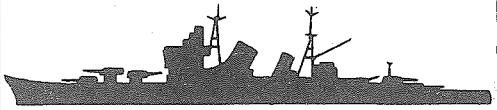
日・米艦艇比較図



（日本）戦艦・扶桑（基準排水量 34.700 トン）



（米国）戦艦カリフォルニア（基準排水量 32.600 トン）



（日本）重巡洋艦・羽黒（基準排水量10.000トン）



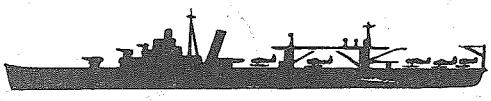
（米国）重巡洋艦・インディアナポリス（基準排水量9.950トン）



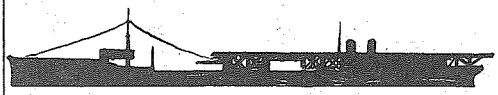
（日本）駆逐艦・秋月（基準排水量2.700 トン）



（米国）駆逐艦・フエルプス（基準排水量1.850 トン）



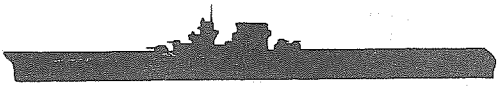
（日本）水上機母艦・千代田（基準排水量11.000トン）



（米国）水上機母艦・ラングレイ（基準排水量11.050トン）



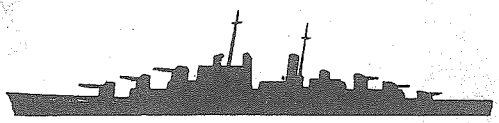
（日本）航空母艦・加賀（基準排水量26.900トン）



（米国）航空母艦・サラトガ（基準排水量33.000トン）



（日本）軽巡洋艦・木曽（基準排水量5.100 トン）



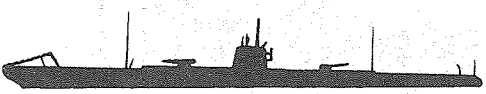
（米国）軽巡洋艦・オークランド（基準排水量6.000 トン）



（日本）駆逐艦・朝雲（基準排水量1.500 トン）



（米国）駆逐艦・バターソン（基準排水量1.500 トン）



（日本）潜水艦・伊１号（基準排水量2.000 トン）

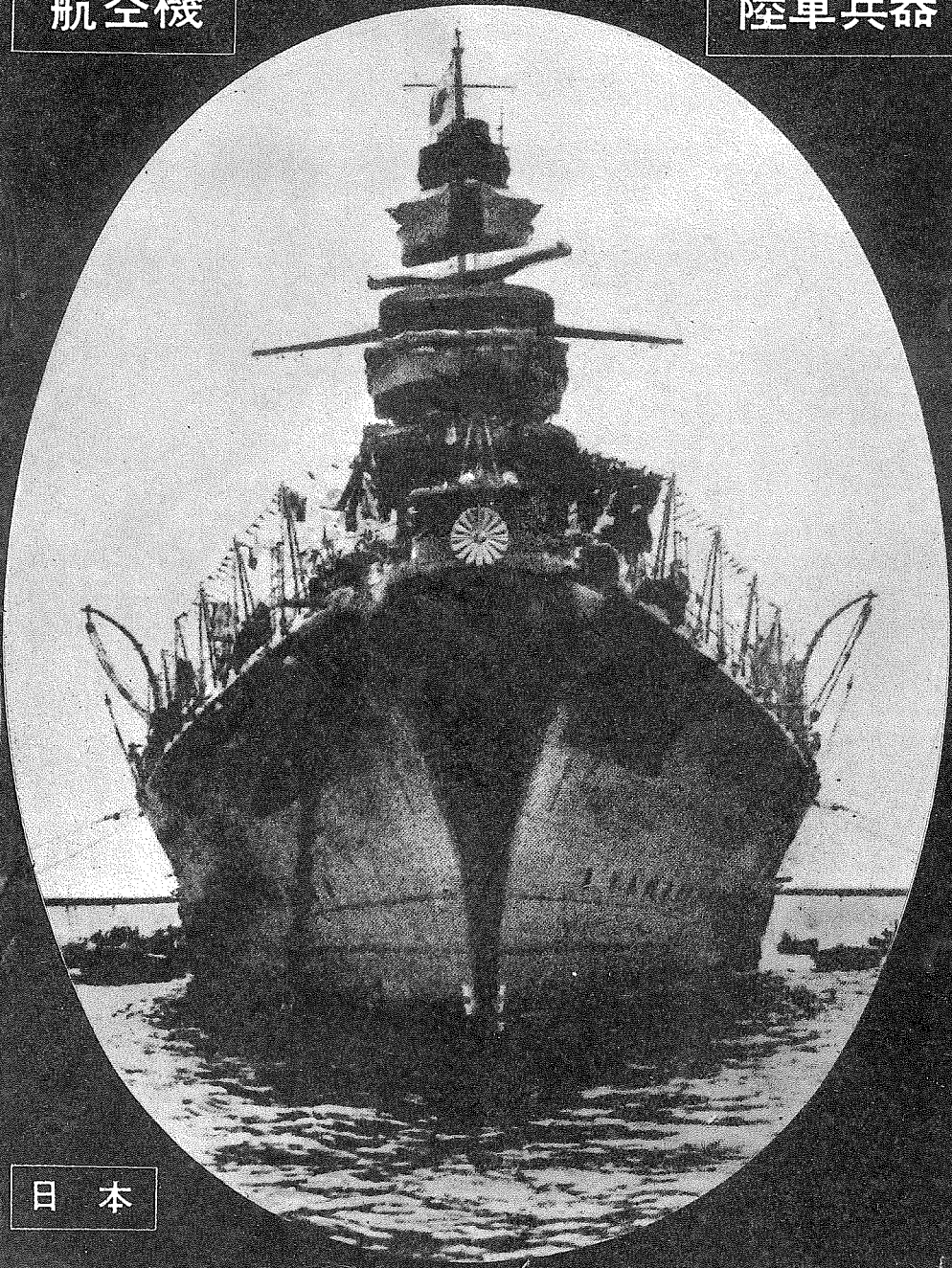


（米国）潜水艦・ボニタ（基準排水量2.000 トン）

太平洋戦争艦艇一覧

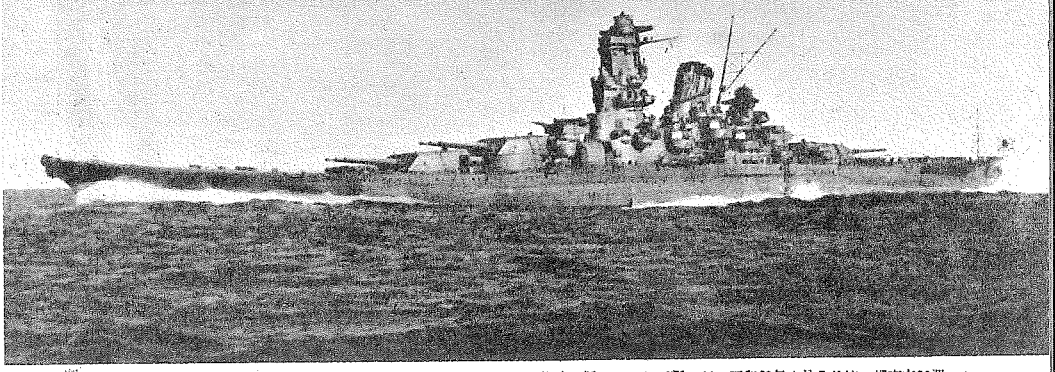
航空機

陸軍兵器

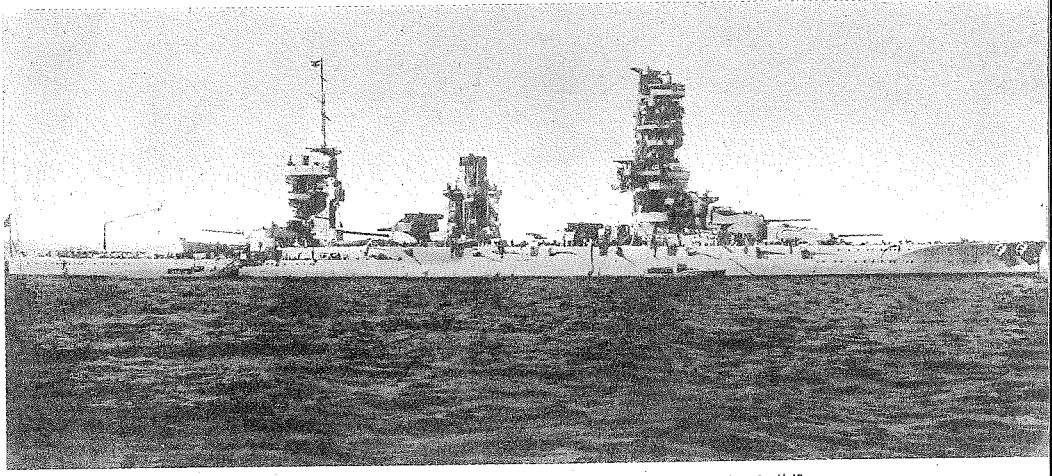


日本

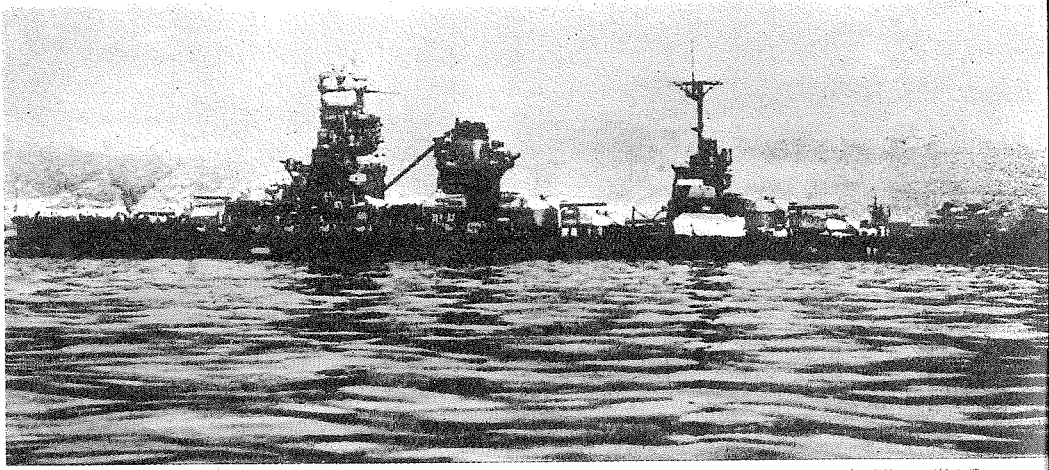
戦　艦



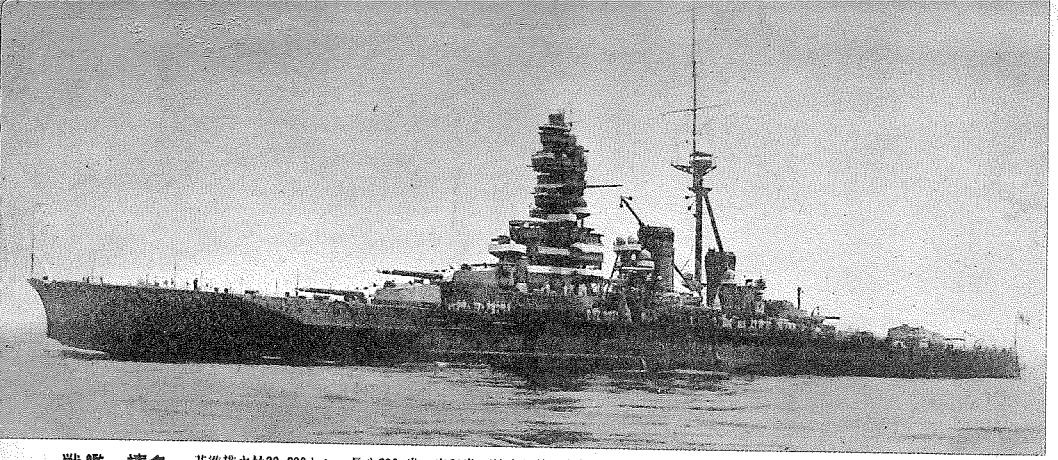
戦艦　大和　基準排水量64,000トン　長サ263米，巾37米　速力27節　備砲46糎×9　15.5糎×12　昭和20年4月7日坊ノ岬南方90浬において敵大編隊機の攻撃を受け沈没



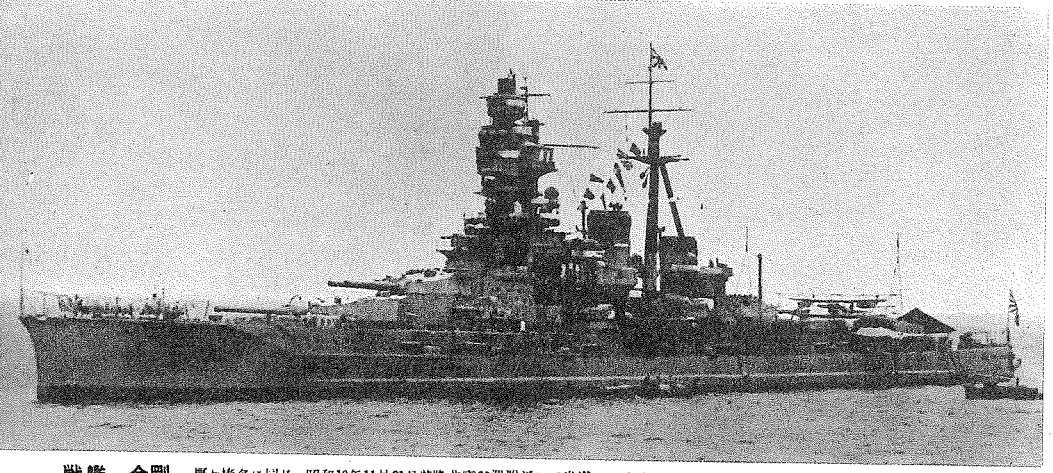
戦艦　山城　既ね扶桑に同じ　昭和19年10月25日スリガオ海峡にて敵駆逐隊，魚雷艇隊と交戦中魚雷を受け沈没



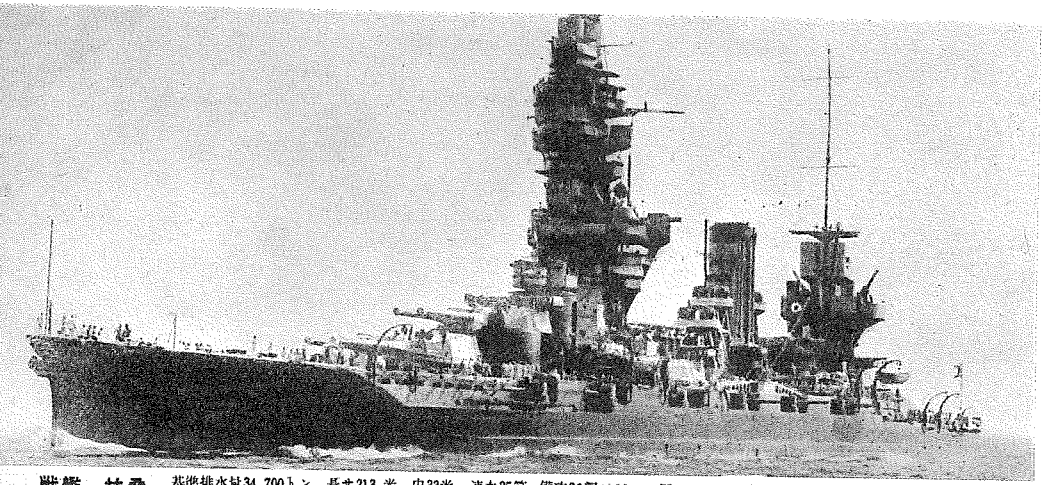
戦艦　日向　基準排水量35,400トン　長サ220米　巾34米　速力25節　備砲36糎×12　12.7糎×16　カタパルト2　13試艦爆×22（航空戦艦改装後を示す）　昭和20年7月24日呉軍港にて空襲により大破着底



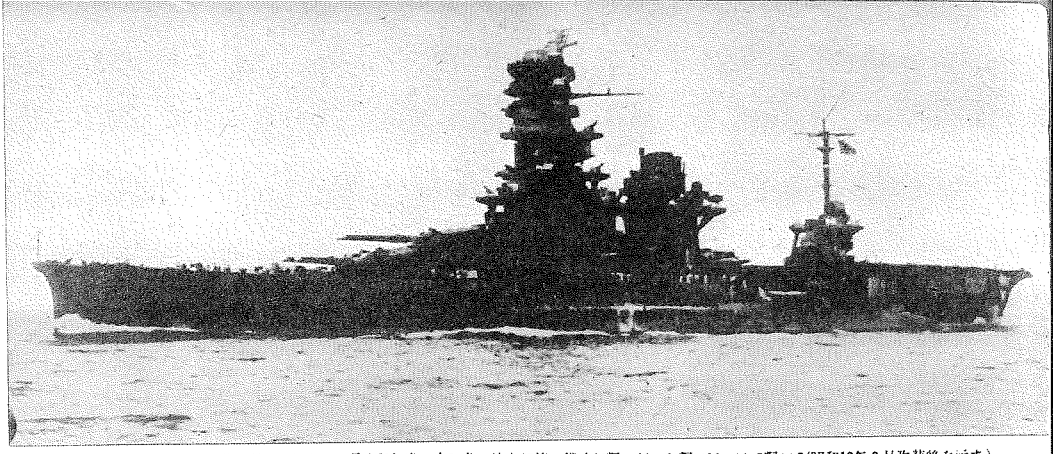
戦艦　榛名　基準排水量32,200トン　長サ220 米　巾31米　速力30節　備砲36糎×8　15糎×14　12.7糎×8（第2次改装後を示す）　昭和20年7月24日呉軍港にて空襲により大破着底



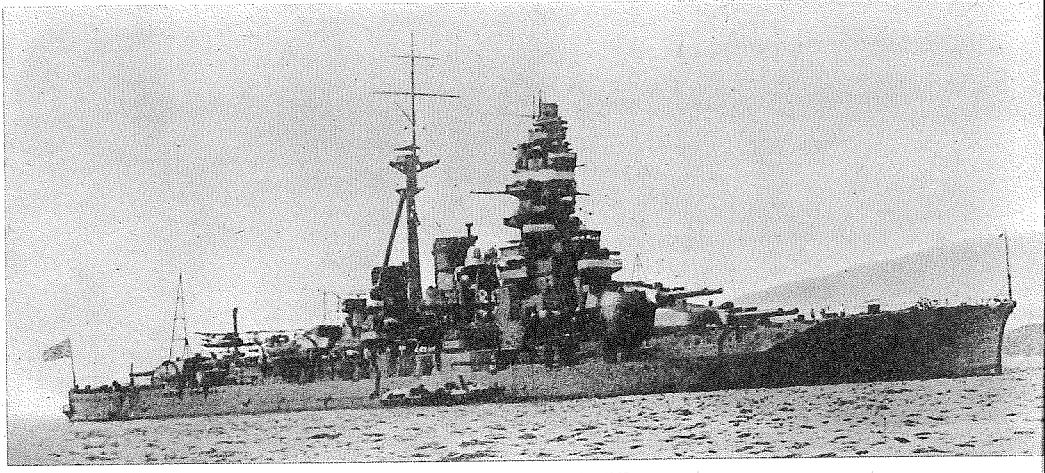
戦艦　金剛　概ね榛名に同じ　昭和19年11月21日基隆北東60浬附近にて米潜シーライオンの雷撃により沈没



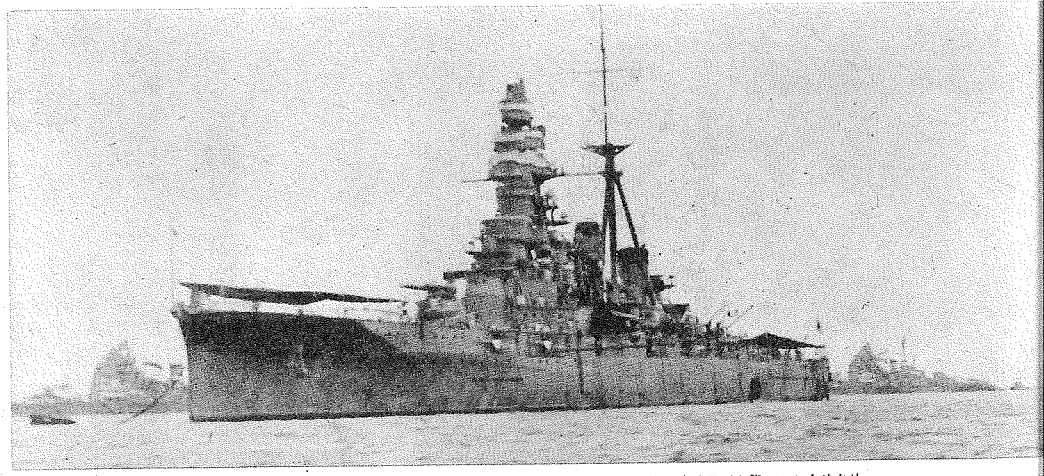
戦艦　扶桑　基準排水量34,700トン　長サ213 米　巾33米　速力25節　備砲36糎×12　15糎×14　12.7糎×8（第2次改装後を示す）　昭和19年10月25日スリガオ海峡にて交戦沈没



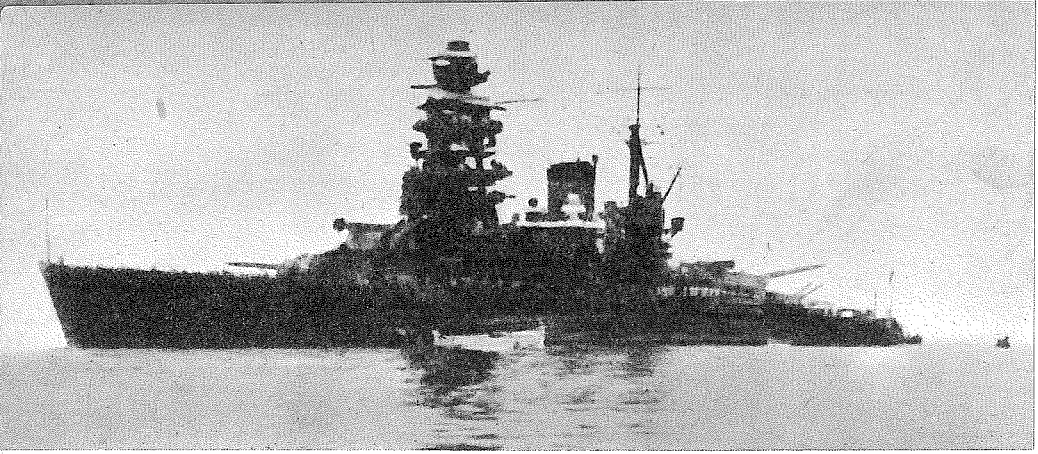
戦艦　伊勢　基準排水量36,000トン　長サ213米　巾34米　速力25節　備砲36糎×12　14糎×16　12.7糎×8(昭和12年3月改装後を示す)
後昭和18年航空戦艦に改装（日向の項参照）昭和20年7月24日呉軍港にて空襲により大破着底



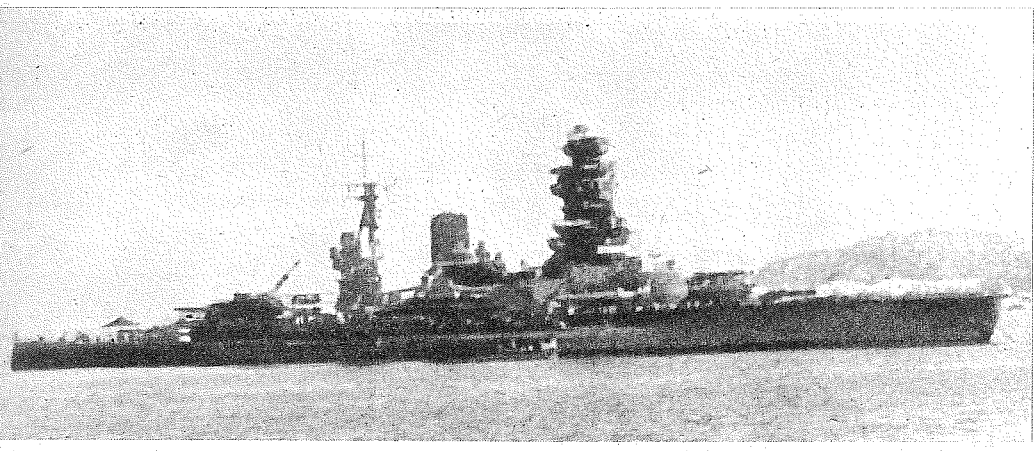
戦艦　霧島　概ね榛名に同じ　昭和17年11月15日第3次ソロモン海戦にて交戦沈没



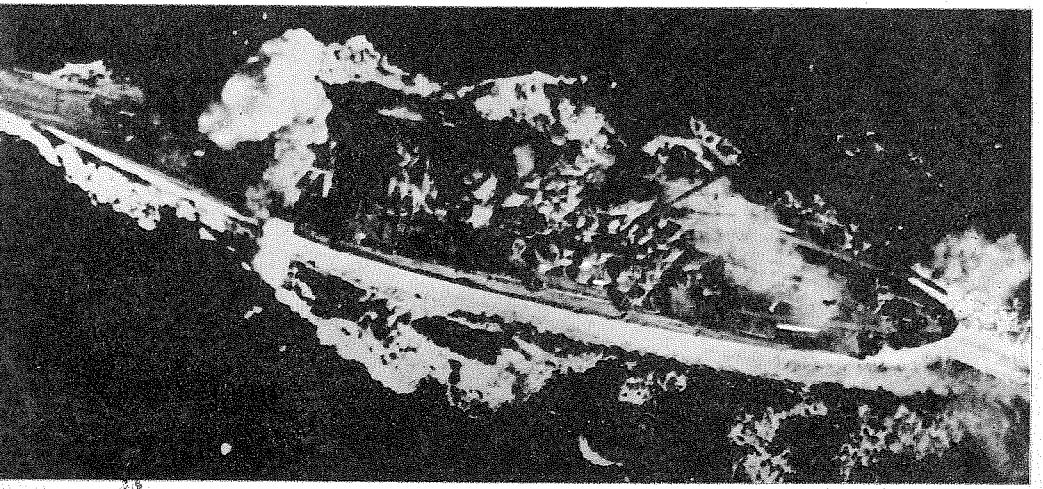
戦艦　比叡　概ね榛名に同じ　昭和17年11月13日第3次ソロモン海戦において水上艦艇と交戦及び空襲により大破自沈



戦艦　長門　基準排水量39,100トン　長サ225米　巾35米　速力26節　備砲40糎×8　14糎×18　12.7糎×8（改装後の要目を示す）　終戦時中破状態にて横須賀にあり，米軍に引渡し

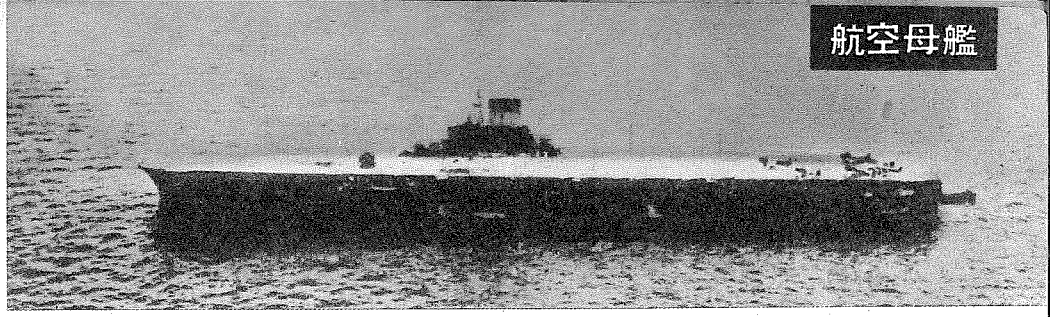


戦艦　陸奥　概ね長門に同じ　昭和18年6月8日瀬戸内海柱島沖にて火薬庫の爆発により爆沈

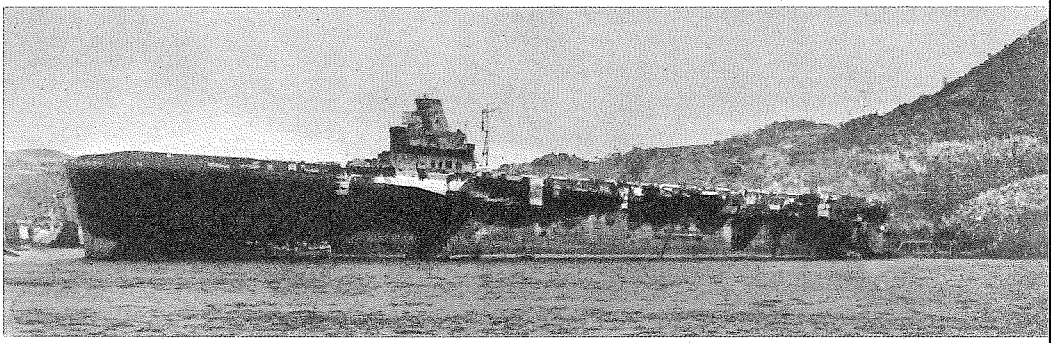


戦艦　武蔵　大和と同型　昭和19年10月24日サン・ベルナルディーノ海峡において敵機の大空襲を受け沈没

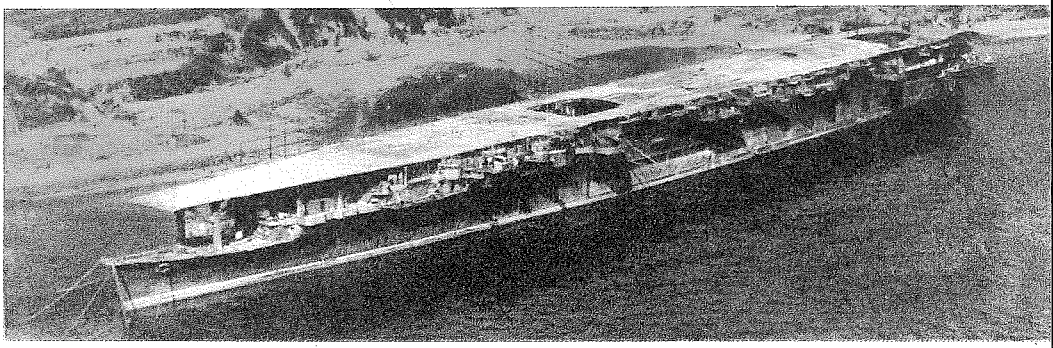
航空母艦



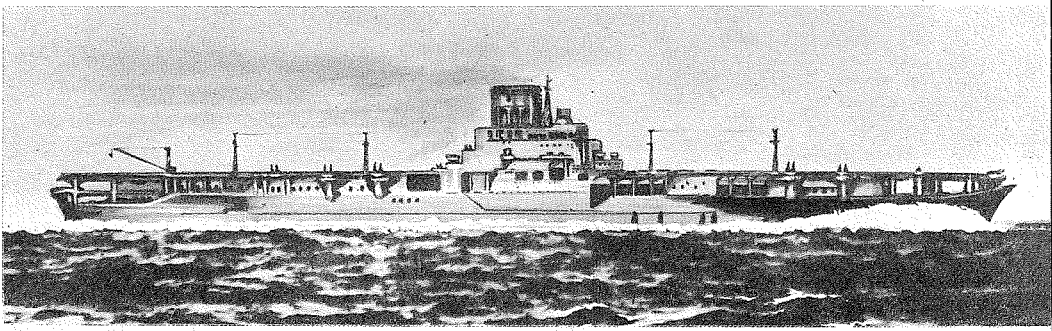
航空母艦　大鳳　基準排水量29,300トン　長サ253米　巾28米　速力33節　備砲10糎高×12　搭載機数53　昭和19年6月19日ヤップ沖にて米潜アルバコーアの雷撃により沈没



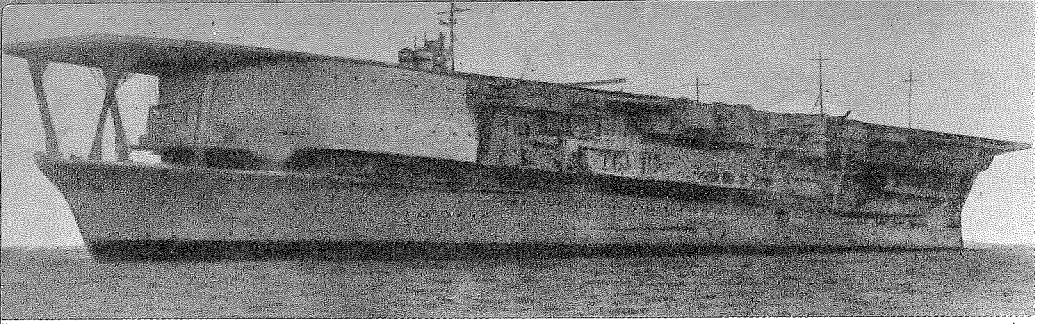
航空母艦　隼鷹　基準排水量24,100トン　長サ215米　巾27米　速力26節　備砲12.7糎高×12　搭載機数53（橿原丸改造）　終戦時佐世保にて中破状態



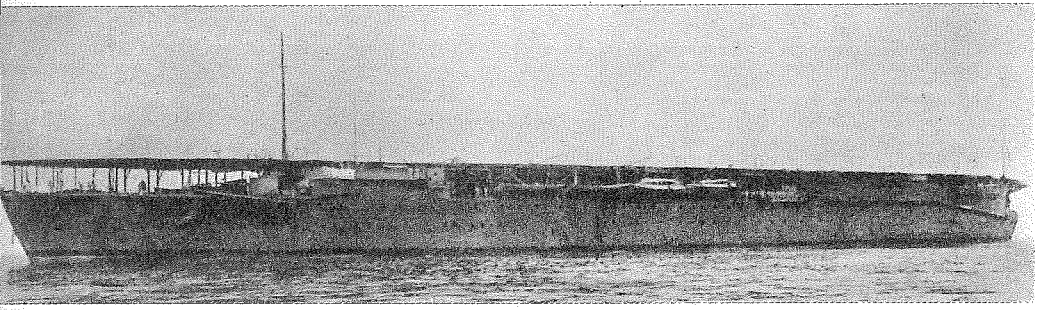
航空母艦　龍鳳　基準排水量13,400トン　長サ210米　巾20米　速力27節　備砲12.7糎高×8　搭載機数31（潜水母艦大鯨改造）　昭和20年3月19日呉空襲の時大破



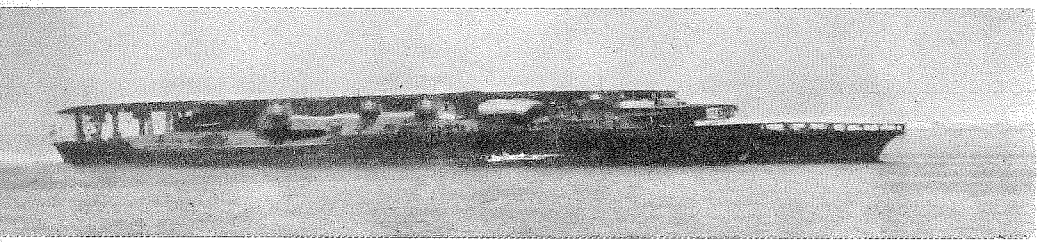
航空母艦　信濃　基準排水量62,000トン　長サ256米　巾36米　速力27節　備砲12.7糎高×16　搭載機数47（福井静夫氏の原図を模写）　昭和19年11月29日遠州灘沖にて米潜アーチャーフィッシュの雷撃を受け潮岬南方にて沈没，艦長以下1435名戦死



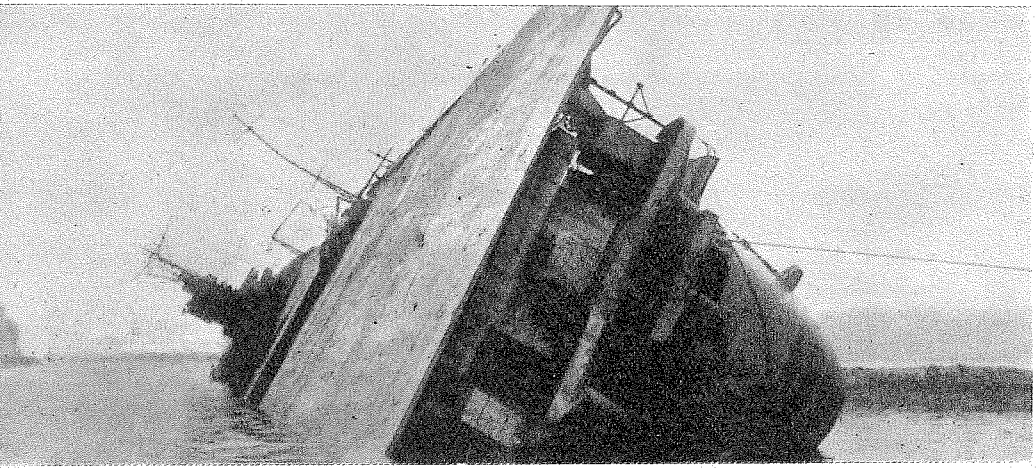
航空母艦　加賀　基準排水量26,900トン　長サ230 米　巾30米　速力28節　備砲20糎×10　12糎高×12　搭載機数 60　昭和17年6月5日ミッドウェー北方約95浬にて空襲により沈没，戦死800名



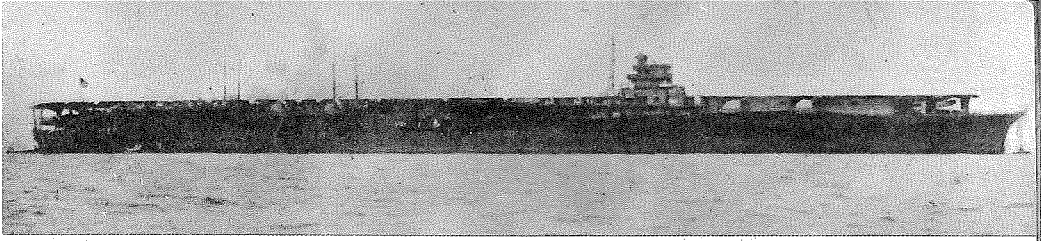
航空母艦　鳳翔　基準排水量7,500 トン　長サ165 米　巾18米　速力25節　備砲14糎×4　8糎高×2　搭載機数21　終戦時呉にて小破状態



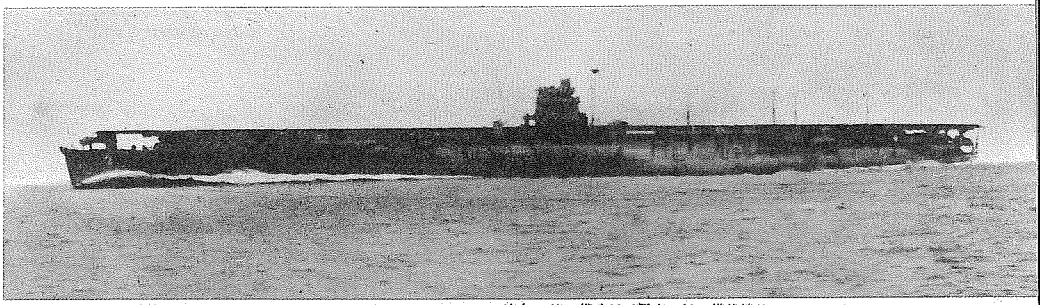
航空母艦 赤城　基準排水量26,900トン　長サ249 米　巾29米　速力31節　備砲20糎×10　12糎高×12　搭載機数60　昭和17年6月5日ミッドウェー作戦にて空襲により大破自沈，戦死269名



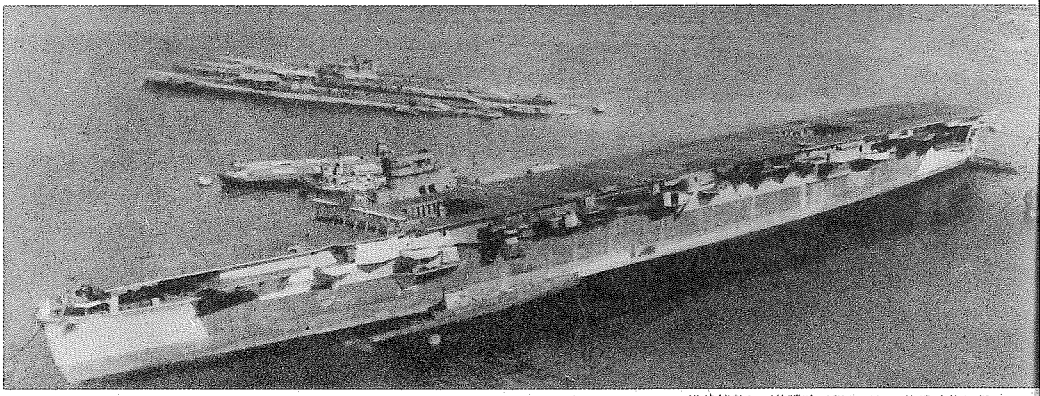
航空母艦　天城　基準排水量17,200トン　長サ223 米　巾22米　速力34節　備砲12.7糎高×12　搭載機数65　昭和20年7月24日--28日の艦載機の空襲により呉にて大破



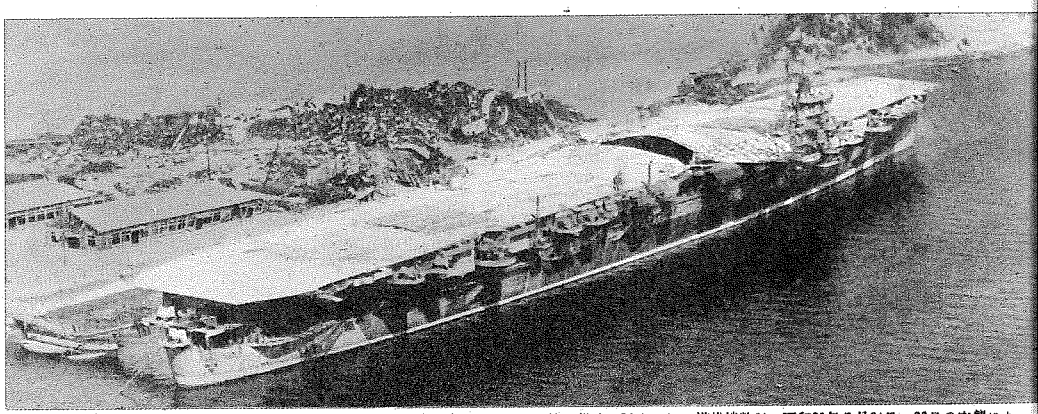
航空母艦　翔鶴　基準排水量25,700トン　長サ250米　巾26米　速力34節　備砲12.7糎高×16　搭載機数84　昭和19年6月19日ヤップ島の北方にて米潜カヴァラの雷撃により沈没



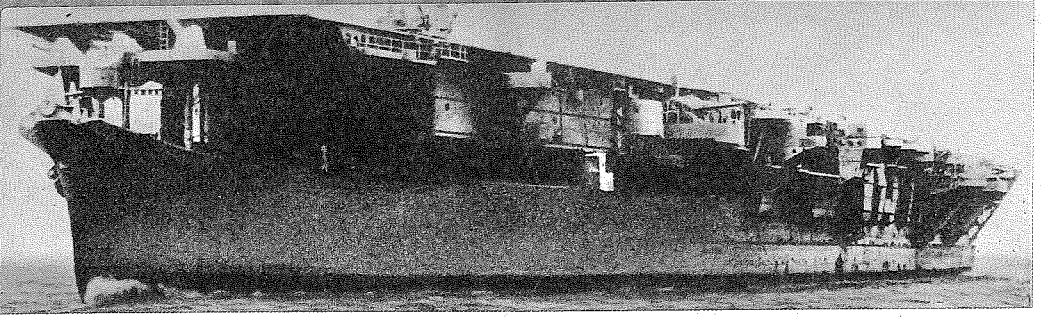
航空母艦　飛龍　基準排水量17,300トン　長サ222米　巾22米　速力34節　備砲12.7糎高×12　搭載機数73　昭和17年6月5日ミッドウェー海戦にて空襲により沈没



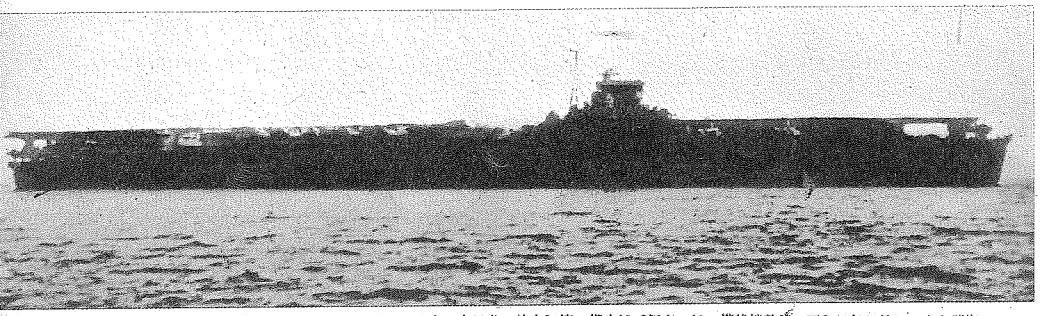
航空母艦　笠置　基準排水量17,200トン　長サ223米　巾22米　速力34節　備砲12糎高×12　搭載機数64（終戦時工程80％）　終戦時佐世保工廠にて雄装中



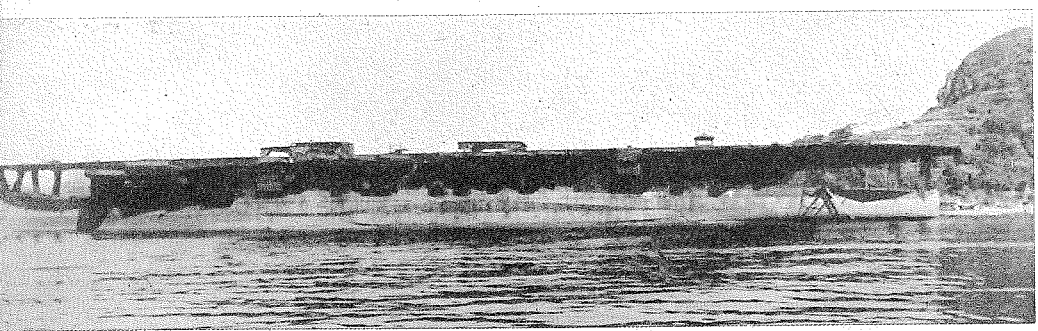
航空母艦　葛城　基準排水量17,200トン　長サ223米　巾22米　速力32節　備砲12糎高×12　搭載機数64　昭和20年7月24日―28日の空襲により呉にて大破



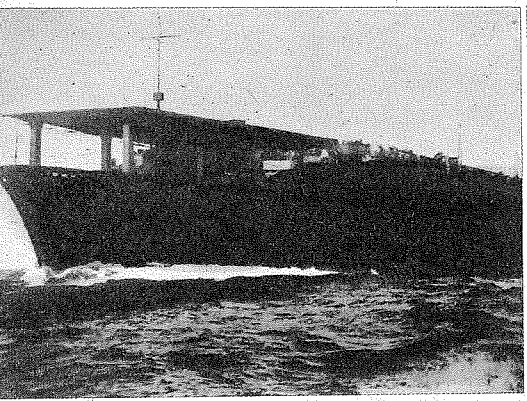
航空母艦　蒼龍　基準排水量15,900トン　長サ 222米　巾21米　速力35節　備砲12.7糎高×12　搭載機数73　昭和17年6月5日ミッドウェー北方約 120 浬にて空襲により火災発生，米潜ノーチラスの雷撃により沈没，戦死 718 名



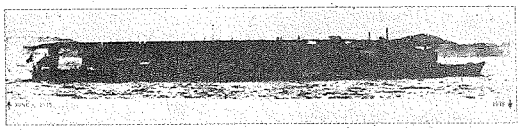
航空母艦　雲竜　基準排水量17,150トン　長サ 223米　巾22米　速力34節　備砲12.7糎高×12　搭載機数65　昭和19年12月19日東支那海において米潜レッドフィッシュにより撃沈さる



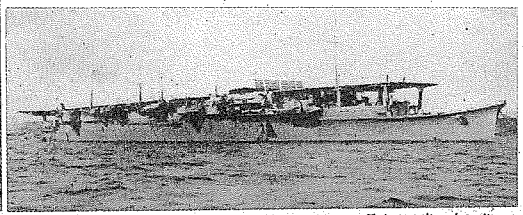
航空母艦　伊吹　基準排水量12,500トン　長サ 198米　巾21米　速力29節　備砲8糎高×4　搭載機数27（終戦時工程80％）　終戦時佐世保工廠にて艤装中



航空母艦　海鷹　基準排水量13,600トン　長サ 160米　巾22米　速力23節　備砲12.7糎高×8　搭載機数24機

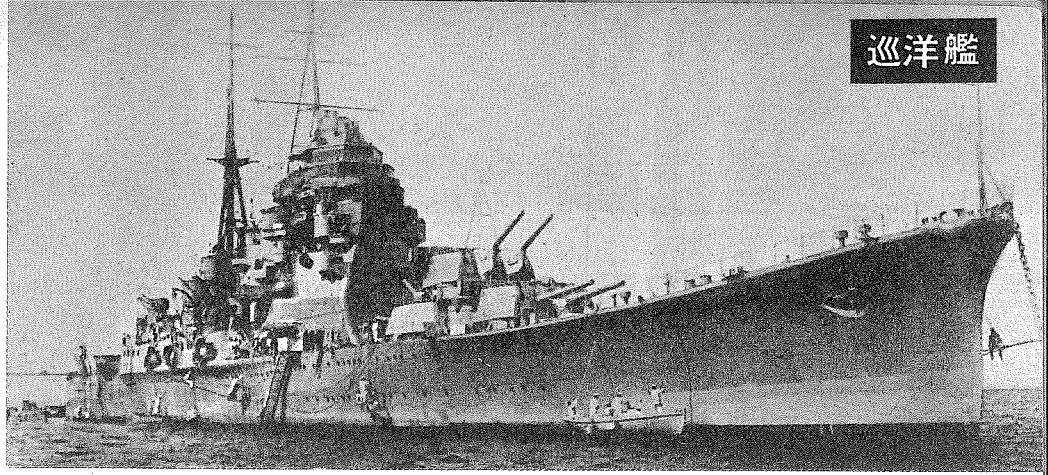


航空母艦　竜驤　基準排水量 8,000トン　長サ 175米　巾20米　速力29節　備砲12.7糎高×12　搭載機数36機

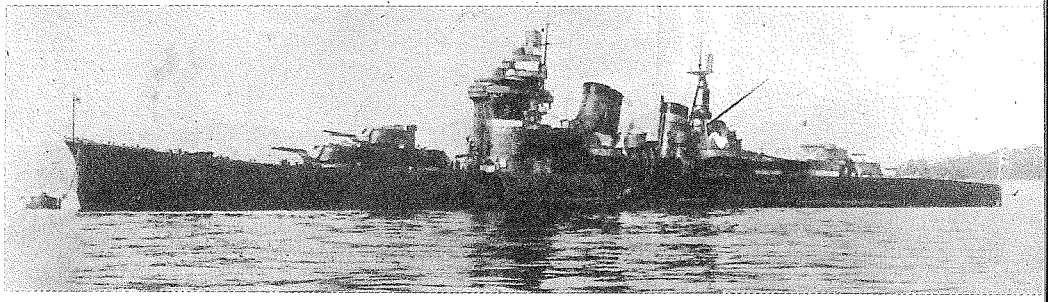


航空母艦　祥鳳　基準排水量11,200トン　長サ 201米　巾18米　速力28節　備砲12.7糎高×8　搭載機数24機

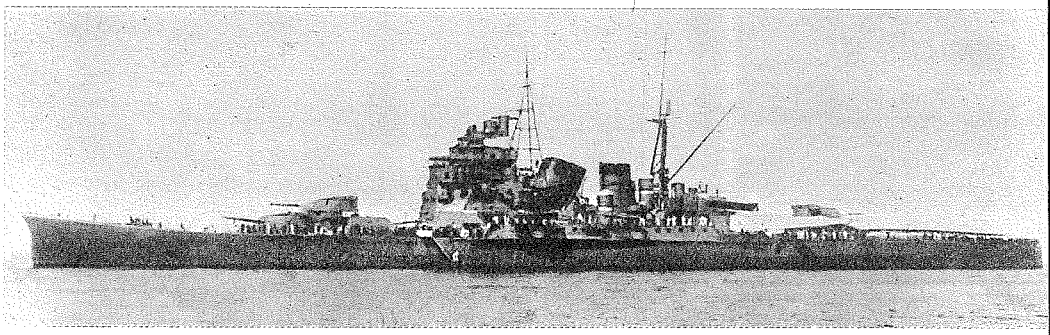
巡洋艦



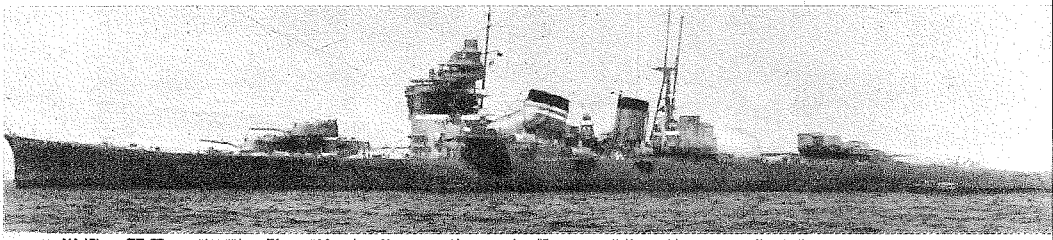
巡洋艦　愛宕　基準排水量9,850トン　長サ 202米　巾18米　速力36節　備砲20糎×10　12糎高×4　発射管61糎×8（改装前を示す）
昭和19年10月23日午前6時53分パラワン島沖北上中米潜ダーカーの雷撃により沈没



巡洋艦　摩耶　要目愛宕に同じ　昭和19年10月23日午前7時パラワン島沖北上中米潜デースの雷撃により轟沈



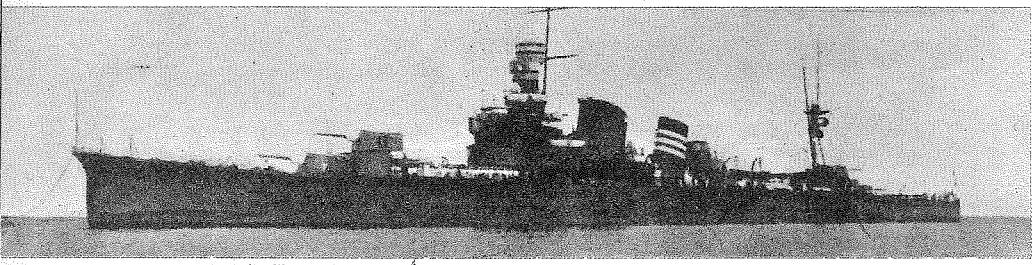
巡洋艦　足柄　要目那智に同じ　昭和20年6月8日バンカ島北口にて英潜トレンチャントの雷撃により沈没



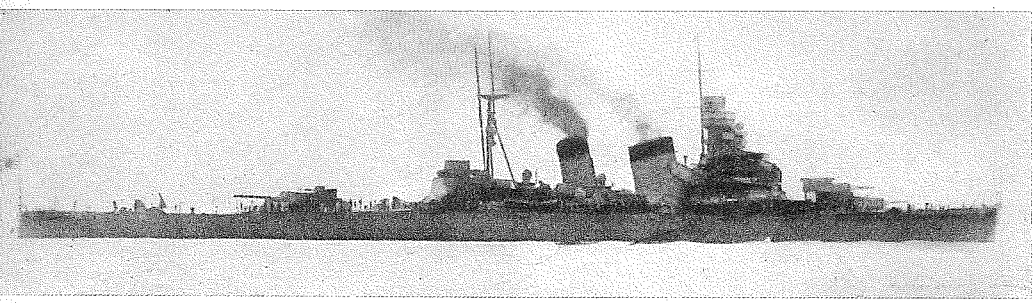
巡洋艦　羽黒　要目那智に同じ　昭和20年5月16日ムカ沖の220度27浬において英航空母艦シャーの空襲で損傷，その後英駆逐艦により撃沈さる



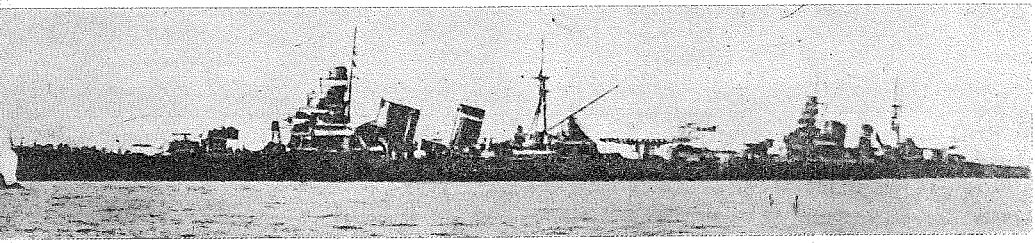
巡洋艦　那智　基準排水量10,000トン　長サ201.5米　巾17米　速力35.5節　備砲20糎×10　12糎高×6　発射管61糎×12（改装前を示す）昭和19年11月5日マニラ湾にて空襲により沈没



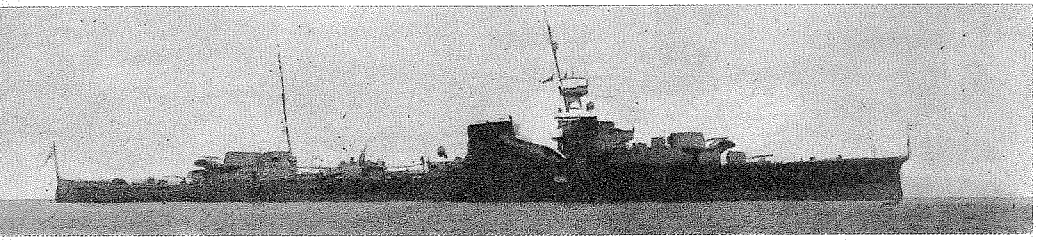
巡洋艦　加古　要目古鷹に同じ　昭和17年8月10日カヴィエンにて米潜S—44の雷撃により沈没（改装後は古鷹と共に排水量8,700トン・長サ181米　巾17米　速力33節　主砲は2連装　高角砲12糎　発射管4連×2となる）



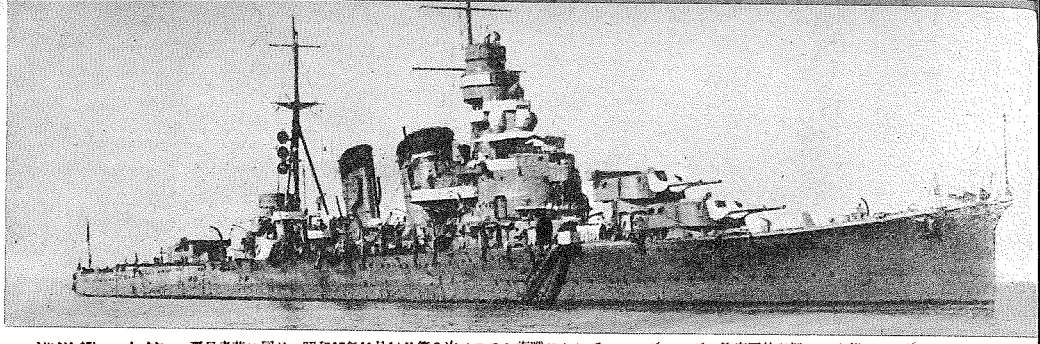
巡洋艦　古鷹　基準排水量7,100トン　長サ184米　巾16米　速力34.5節　備砲20糎×6（単）8糎高×4（改装前を示す）発射管61糎×12（2連）　昭和17年10月11日サヴォ島沖夜戦にて交戦沈没，サヴォ島の西15浬



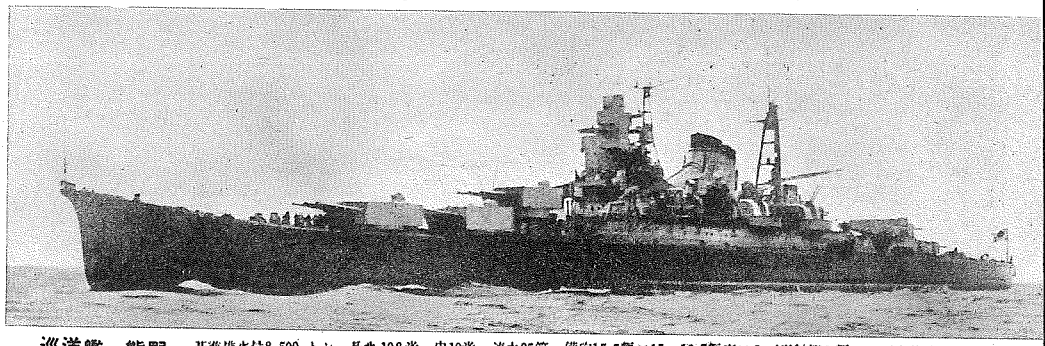
巡洋艦　青葉　基準排水量7,100トン　長サ184米　巾16米　速力34.5節　備砲20糎×6（2連）　12糎高×4　発射管61糎×12（2連）（改装前を示す）　昭和20年7月28日呉軍港にて空襲により大破



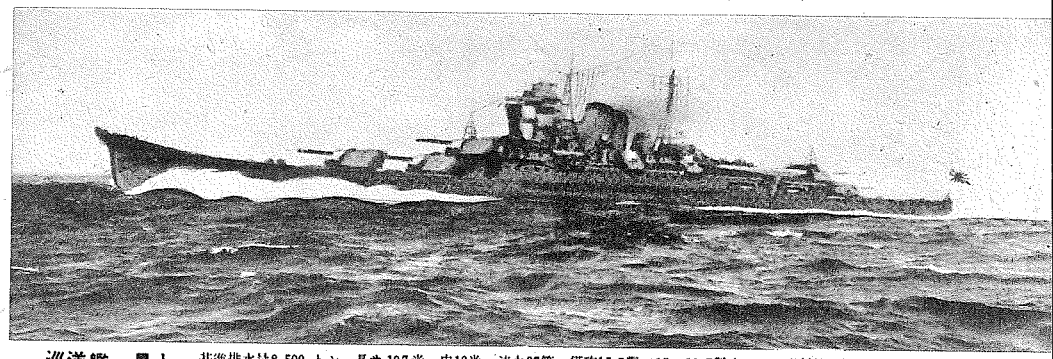
巡洋艦　夕張　基準排水量2,890トン　長サ137米　巾12米　速力36節　備砲14糎×6　8糎高×1　発射管61糎×4　昭和19年4月27日パラオ諸島の南西方において米潜ブルーギルの雷撃により沈没



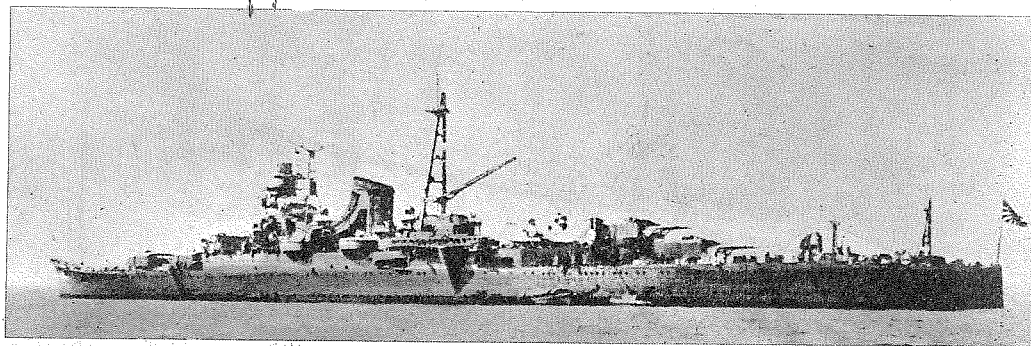
巡洋艦　衣笠　要目青葉に同じ　昭和17年11月14日第3次ソロモン海戦においてニュージョージャ島南西約60浬にて空襲により沈没　〔改装後は排水量9,000トン　長サ181米　巾17.6米　速力33.5節　発射管61糎×8（2連）となる〕



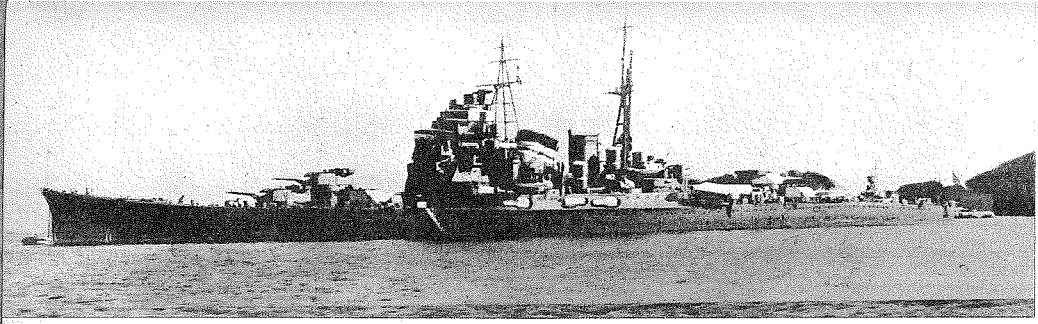
巡洋艦　熊野　基準排水量8,500トン　長サ198米　巾19米　速力35節　備砲15.5糎×15　12.7糎高×8　発射管61糎×12（改装前を示す）
改装後主砲20糎×10排水量12,000トン　巾20米　昭和19年10月25日サマール東方海面にて沈没



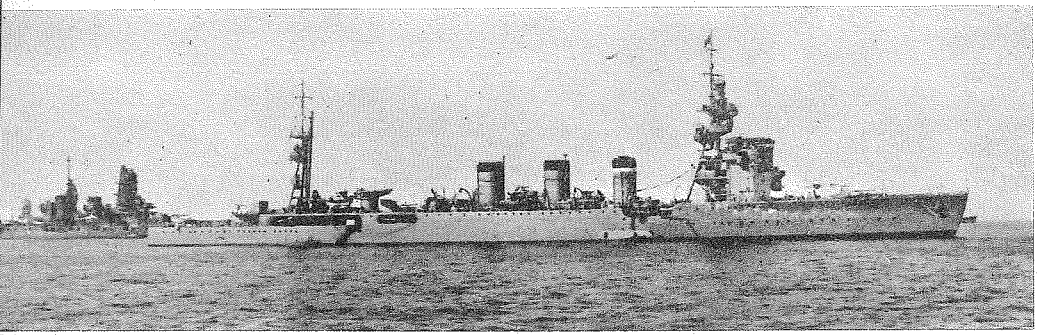
巡洋艦　最上　基準排水量8,500トン　長サ197米　巾18米　速力37節　備砲15.5糎×15　12.7糎高×8　発射管61糎×12（改装前）
改装後主砲20糎×10　長サ198米　巾20米　速力35節　昭和19年10月26日レイテ海戦にて沈没



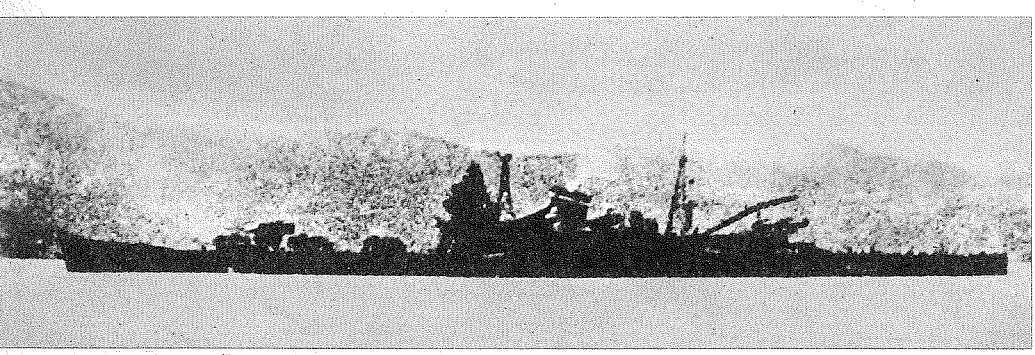
巡洋艦　三隈　要目最上に同じ　昭和17年6月6日ミッドウェー沖にて空襲により沈没



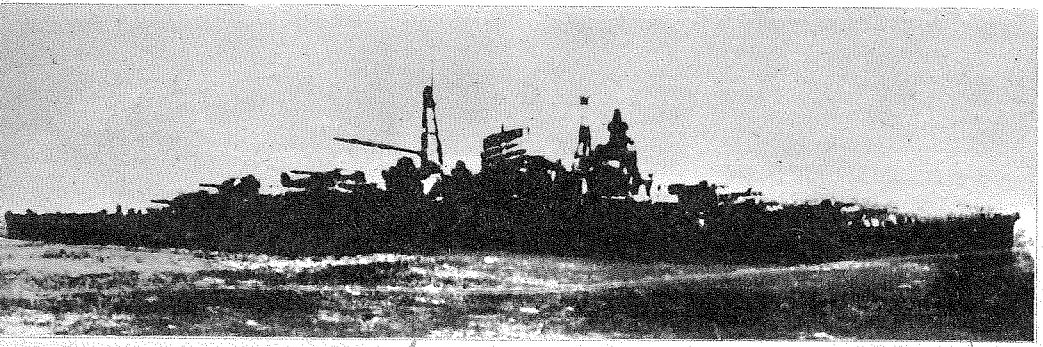
巡洋艦　高雄　愛宕に同じ（改装前を示す）　改装後は基準排水量13,400トン　巾20.7米　速力34節　12糎高を12.7糎高×8　発射管61糎×16　終戦時シンガポールにて大破状態



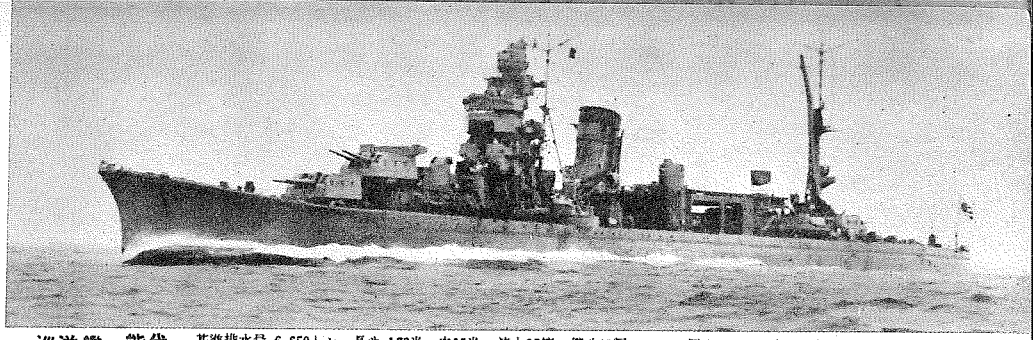
巡洋艦　長良　五十鈴と同型　昭和19年8月7日天草島牛深の西方10浬にて米潜クローカーにより撃沈さる



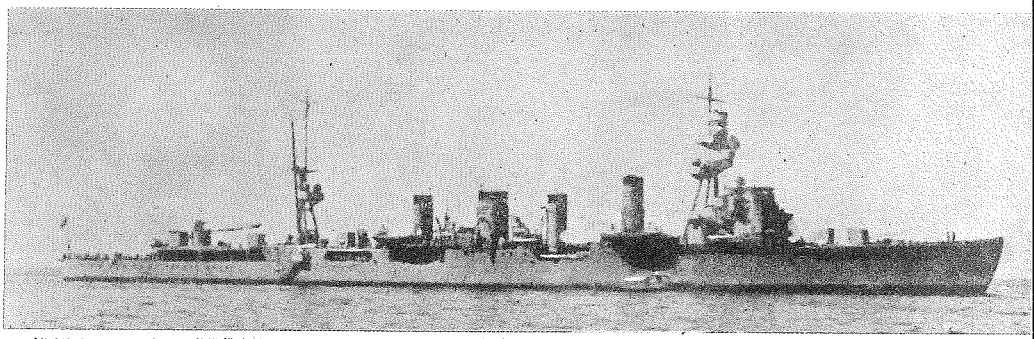
巡洋艦　利根　基準排水量8,500トン　長サ198米　巾18.5米　速力35節　備砲20糎×8　12.7糎高×8　発射管61糎×12　主砲を全部前甲板に集め，後甲板を飛行甲板としてカタパルト2，水偵5を搭載　理想的な重巡であつた　昭和20年7月28日呉軍港にて空襲により大破



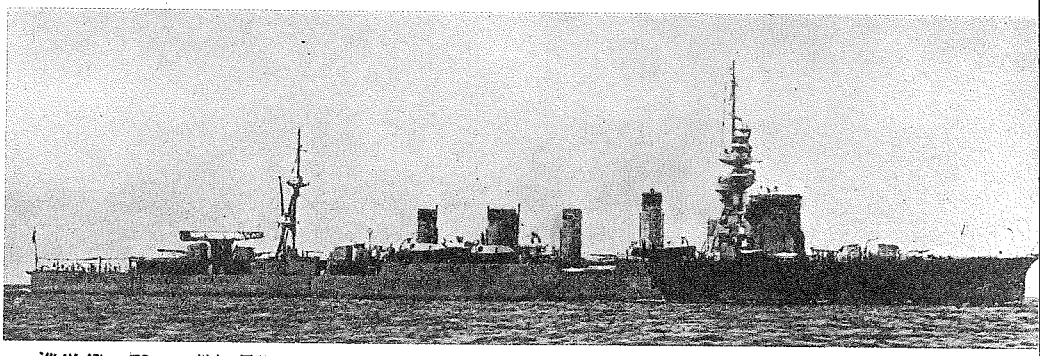
巡洋艦　鈴谷　要目，沈没年月日，場所等熊野に同じ



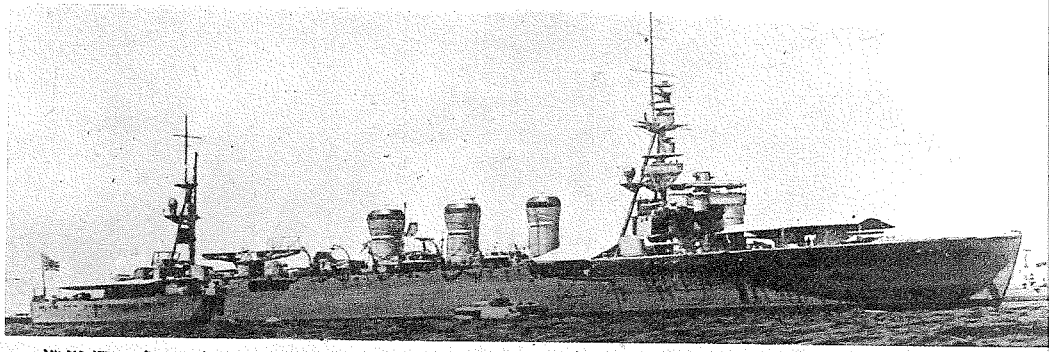
巡洋艦　能代　基準排水量 6,650トン　長サ 172米　巾15米　速力35節　備砲15糎×5　8糎高×4　発射管61糎×8　水雷戦隊旗艦用に設計さる　同型艦　阿賀野　矢矧　酒匂　昭和19年10月26日パネイ島北西にて空襲により沈没



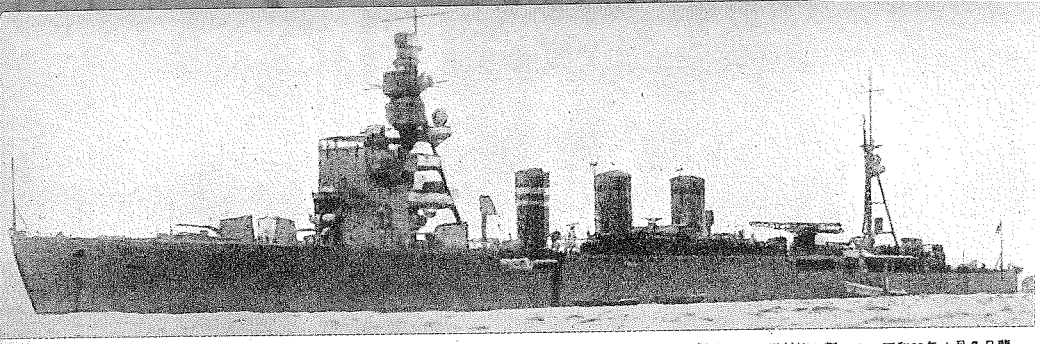
巡洋艦　川内　基準排水量 5,200トン　長サ 159米　巾74米　速力35節　備砲14糎×7　8糎高×2　発射管61糎×8　昭和18年11月2日ブーゲンビル島沖海戦にて第3水雷戦隊の旗艦として砲雷撃により沈没　戦死約440名



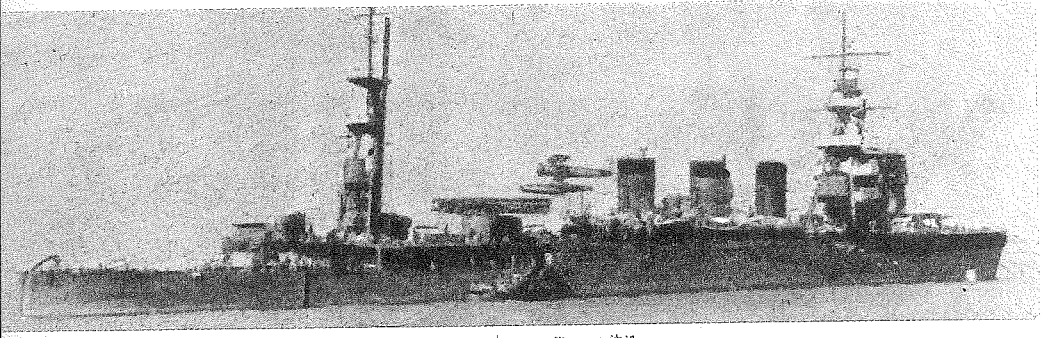
巡洋艦　那珂　川内と同型　昭和19年2月17日トラックの南西にて空襲により沈没



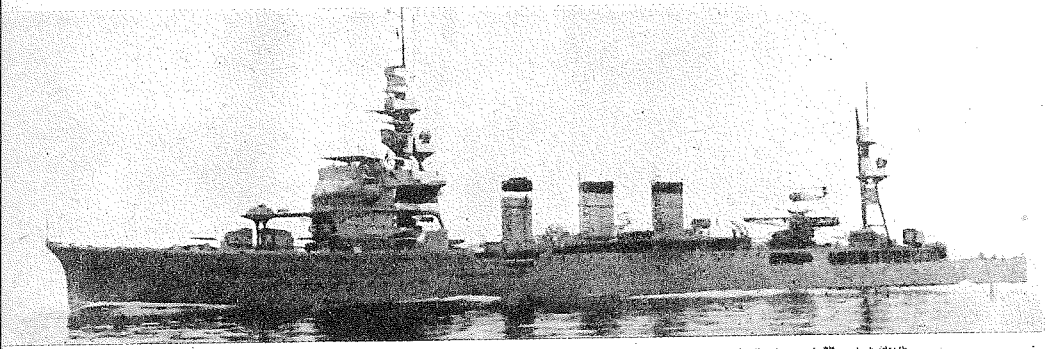
巡洋艦　球磨　木曽と同型　昭和19年1月11日ペナン沖にて英潜タリー・ホーの雷撃により沈没



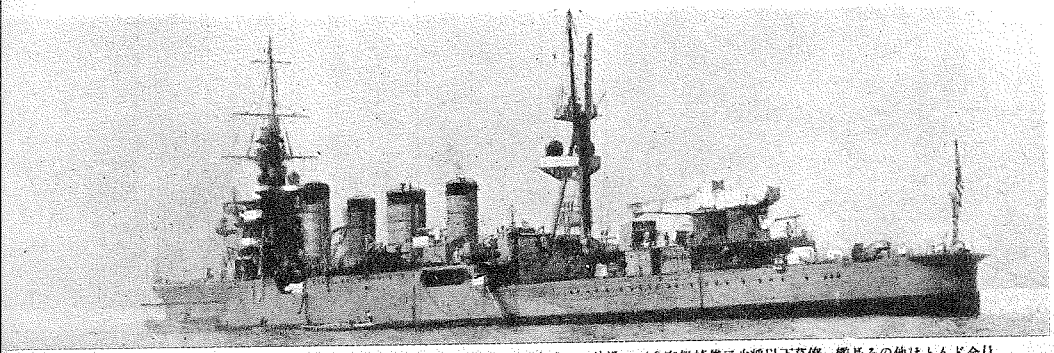
巡洋艦　五十鈴　基準排水量 5,200トン　長サ 159米　巾14米　速力36節　備砲14糎×７　８糎高×２　発射管61糎×８　昭和20年４月７日關印セレベス沖にて米潜ゲビラン及びチャーの雷撃により沈没



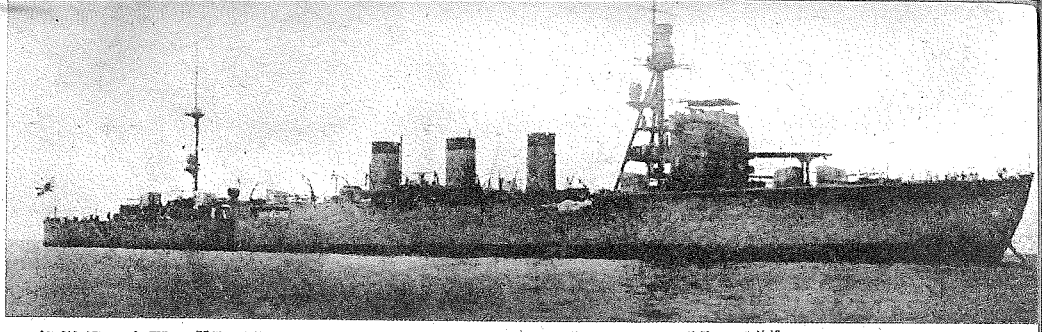
巡洋艦　鬼怒　五十鈴と同型　昭和19年10月26日パネイ島北西にて空襲により沈没



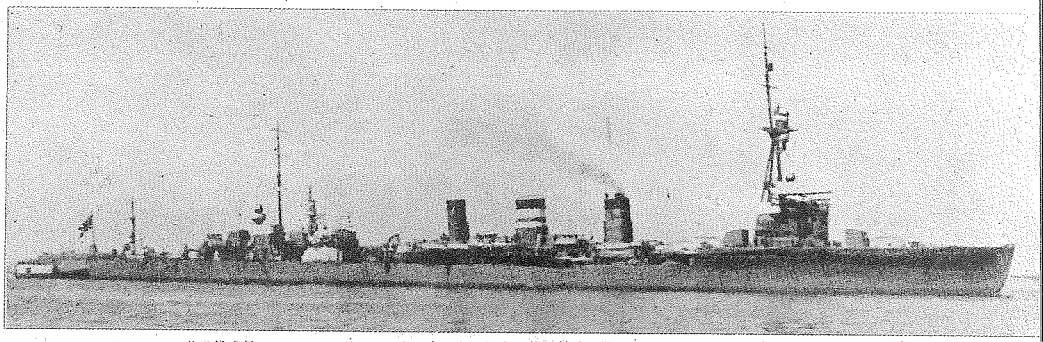
巡洋艦　阿武隈　要目五十鈴に同じ　昭和19年10月26日レイテ海戦にて第１水雷戦隊の旗艦，パネイ島北西にて空襲により沈没



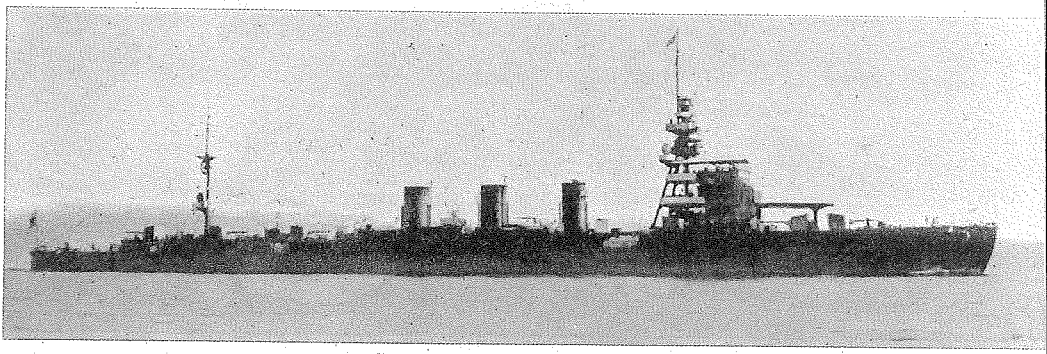
巡洋艦　神通　川内と同型　昭和18年７月13日コロンバンガラ島沖夜戦にて沈没　司令官伊崎俊二少将以下幕僚，艦長その他ほとんど全員（約 500名）戦死



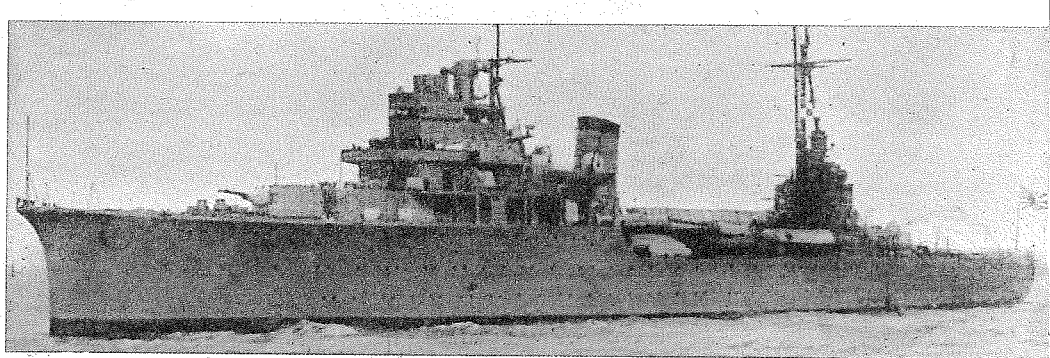
巡洋艦　名取　要目五十鈴に同じ　昭和19年8月18日サマール東方にて米潜ハードヘッドの雷撃により沈没



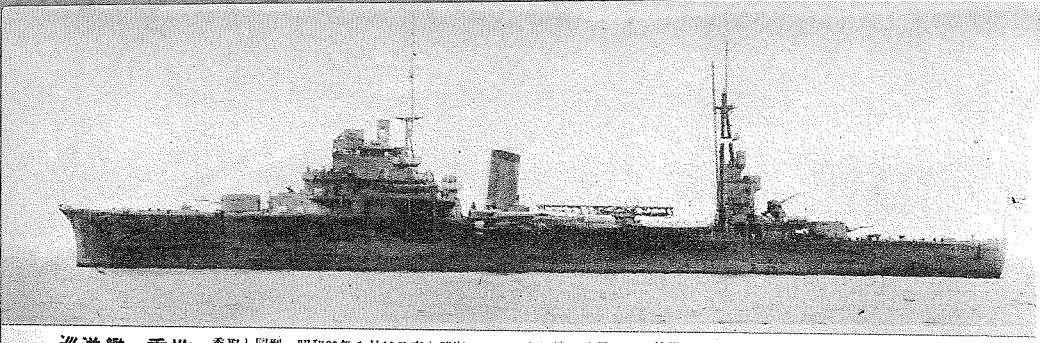
巡洋艦　天龍　基準排水量 3,200トン　長サ 140米　巾12米　速力33節　備砲14糎×4　8糎高×1　発射管53糎×6　昭和17年12月18日ビスマルク海にて米潜アルバコーアの雷撃により沈没



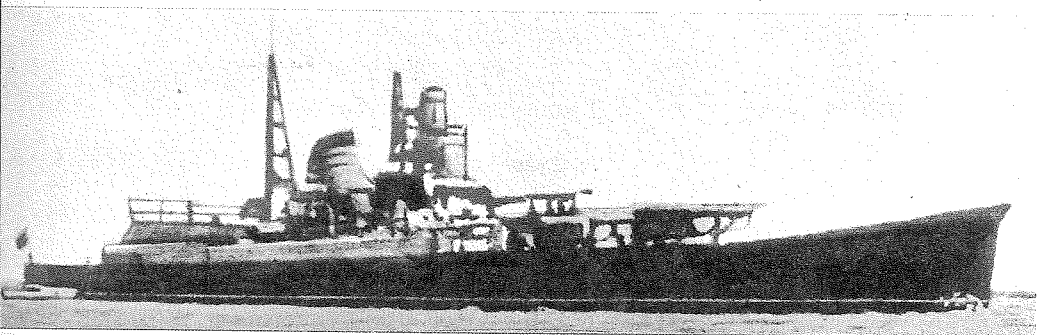
巡洋艦　由良　五十鈴と同型　昭和17年10月25日インディスペンサブル海峡東方にて空襲により沈没



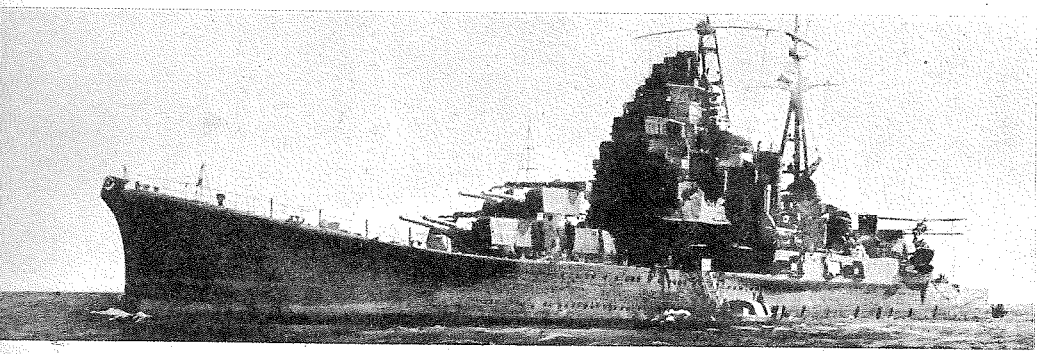
巡洋艦　香取　基準排水量 5,900トン　長サ 130米　巾16米　速力18節　備砲14糎×4　12.7糎高×2　発射管53糎×4　練習巡洋艦　昭和19年2月17日カロリン諸島トラック水域にて空母機及び水上部隊の攻撃により沈没



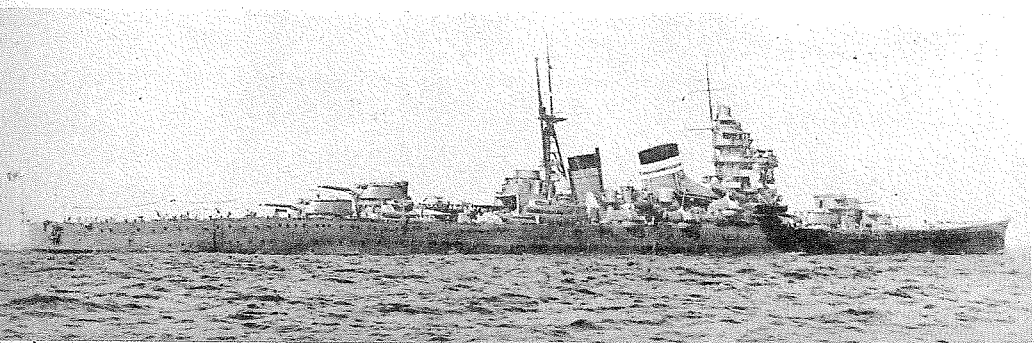
巡洋艦　香椎　香取と同型　昭和20年1月12日南支那海において空母機の攻撃により沈没



巡洋艦　矢矧　能代と同型　昭和20年4月7日九州沖にて空襲により沈没

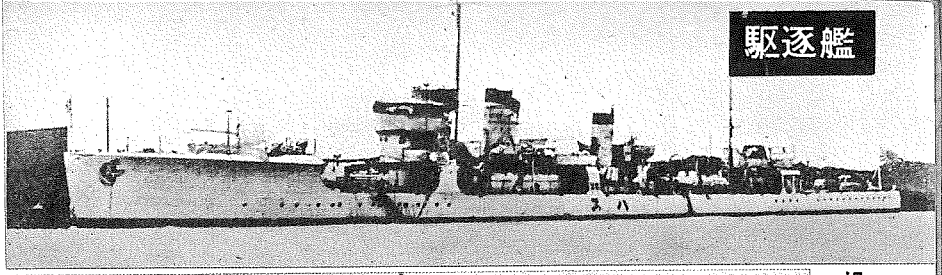


巡洋艦　鳥海　基準排水量 9,850トン　長サ 202米　速力36節　備砲20糎×10　12糎高×4　発射管61糎×8　昭和19年11月25日レイテ東方において大破のため自沈

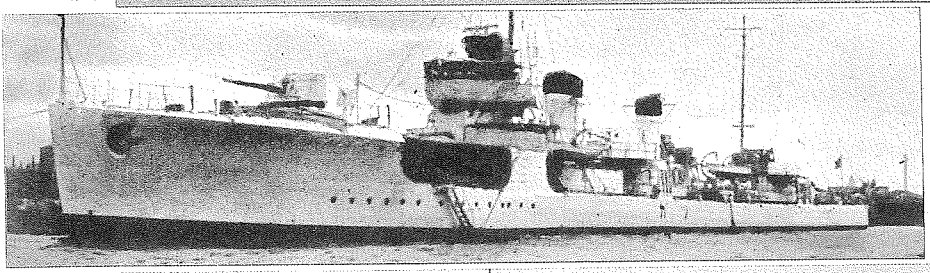


巡洋艦　妙高　基準排水量10,000トン　長サ 202米　巾17米　速力36節　備砲20糎×10　12糎高×6　発射管61糎×12　終戦時シンガポール港にありて大破航行不能

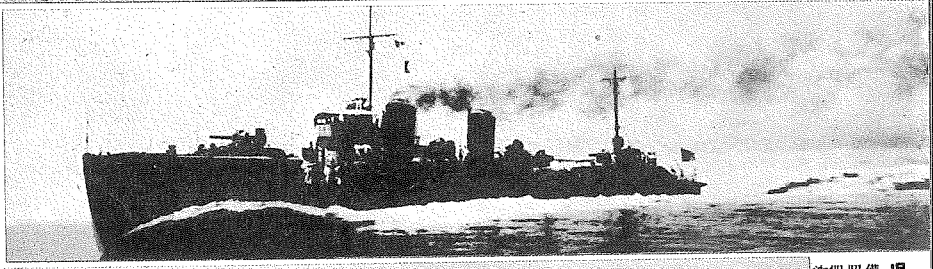
駆逐艦



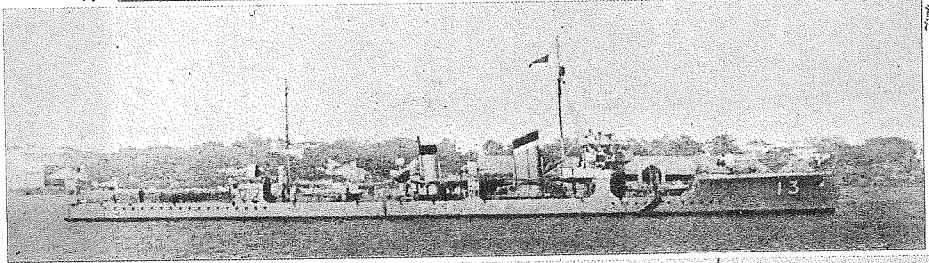
蓮　基準排水量七七〇トン　長サ八五米　巾八米　速力三六節　備砲一二糎×三　発射管五三糎×四　終戦時青島在泊



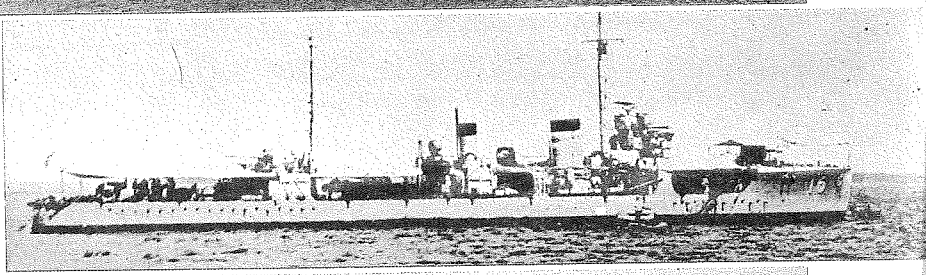
栂　蓮と同型　昭和二十年一月十五日馬公にて空襲により沈没



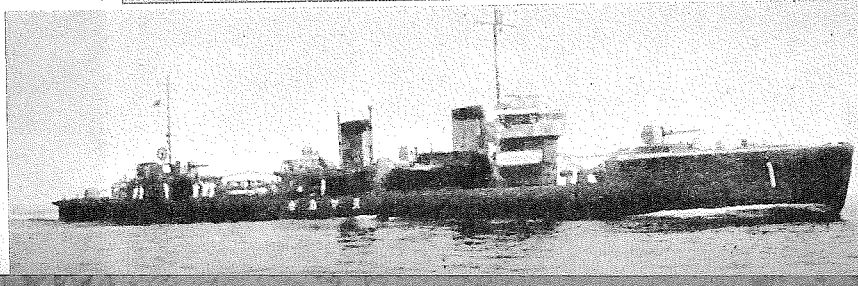
栗　蓮と同型　終戦時触雷により大破状態にて青島にあり



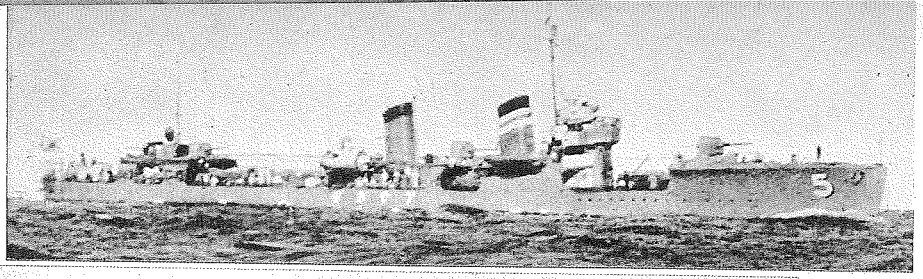
呉竹　基準排水量八二〇トン　長サ八五米　巾八米　速力三六節　備砲一二糎×三　発射管五三糎×四　昭和十九年十二月三十日高雄燈台の一四九度一一八浬にて敵潜の雷撃により沈没



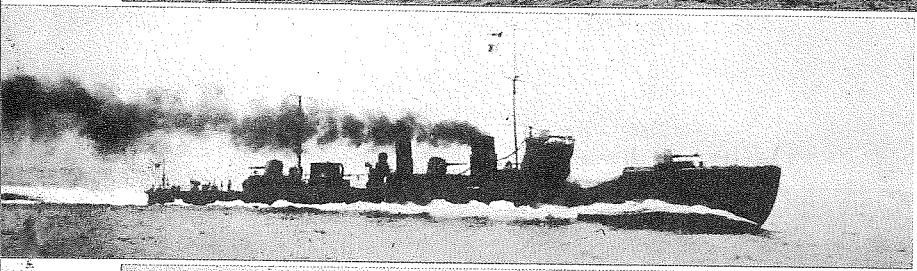
刈萱　呉竹と同型　昭和十九年五月十日船団護衛中マニラ沖にて米潜コッドの雷撃により沈没



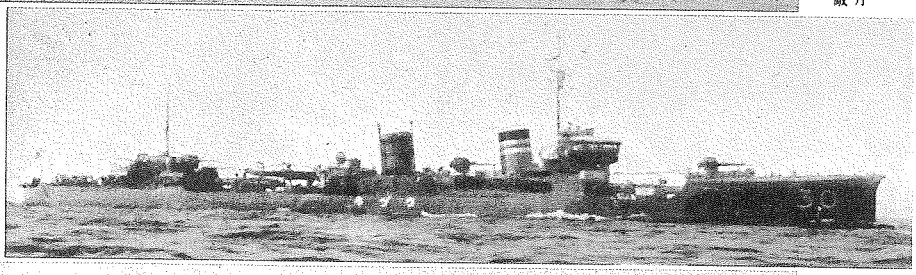
沼風　基準排水量一、二一五トン　一〇〇米　巾九米　速力三九節　備砲一二糎×四　発射管五三糎×六　昭和十八年十二月十八日船団護衛中琉球諸島沖にて米潜グレイバックの雷撃により沈没



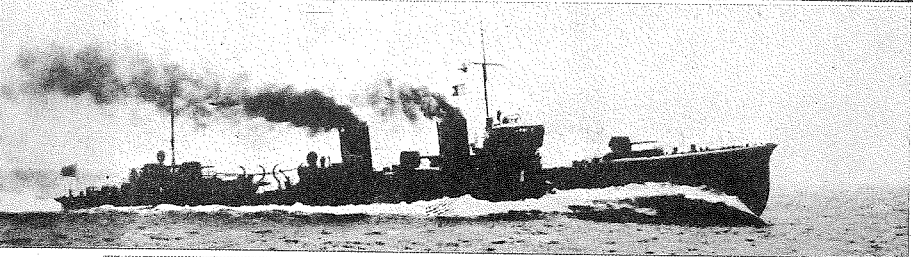
朝風　基準排水量一、二七〇トン　長サ一〇〇米　巾九米　速力三七節　備砲一二糎×四　発射管五十三糎×六　昭和十九年八月二十三日マニラ湾西方において米潜ハッドウーと交戦沈没



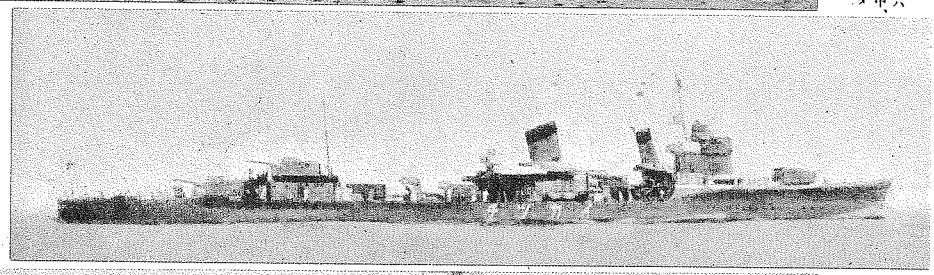
追風　朝風と同じ　昭和十九年二月十八日トラック環礁内にて敵機と交戦沈没



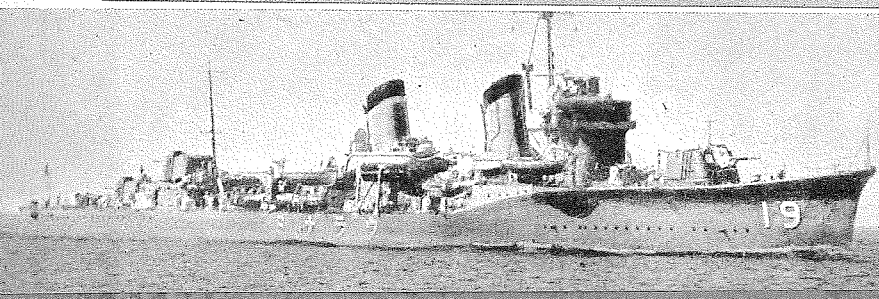
卯月　基準排水量一、三一五トン　長サ一〇〇米　巾九米　速力三七節　備砲一二糎×四　発射管六一糎×六　昭和十九年十二月十二日多号作戦九次輸送中レイテ島西岸にて魚雷艦の攻撃により沈没



水無月　卯月と同型　昭和十九年六月六日ダバオ発船団護衛中、セレベス海シブツ海峡にて米潜ハーダーと交戦被雷沈没



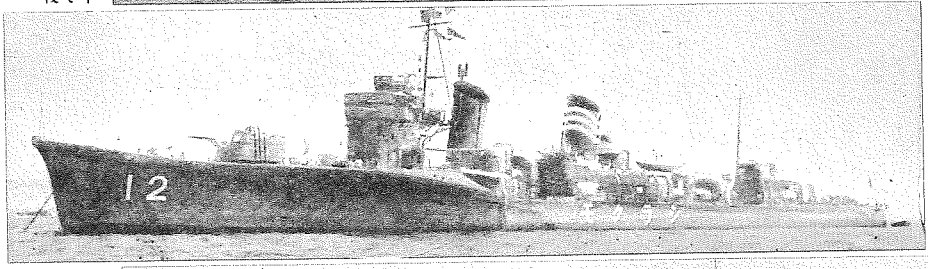
雷　吹雪型　昭和二十年三月二十九日姫島にて空襲により大破



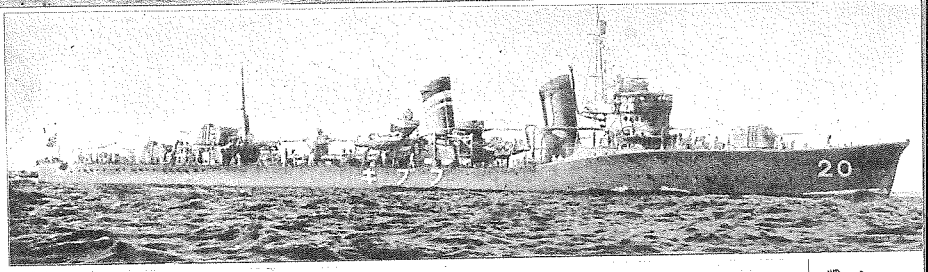
浦波　吹雪型　昭和十九年十月二十六日レイテ海戦にてパネイ島北西、空襲により沈没



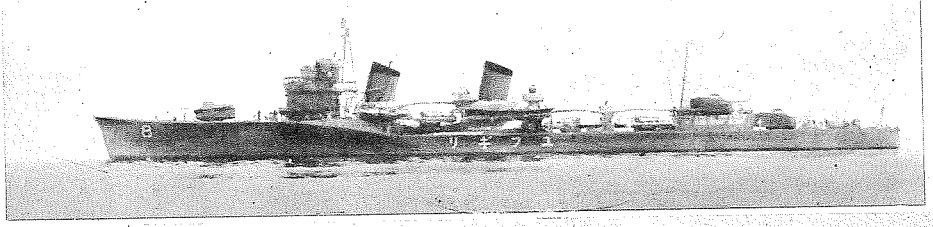
朝霧　吹雪型　昭和十七年八月二十八日サンタ・イサベル沖にて急降下爆撃機一〇機の爆撃を受け沈没



白雲　吹雪型　昭和十九年三月十六日北海道南東方にて米潜タウトグの雷撃により沈没



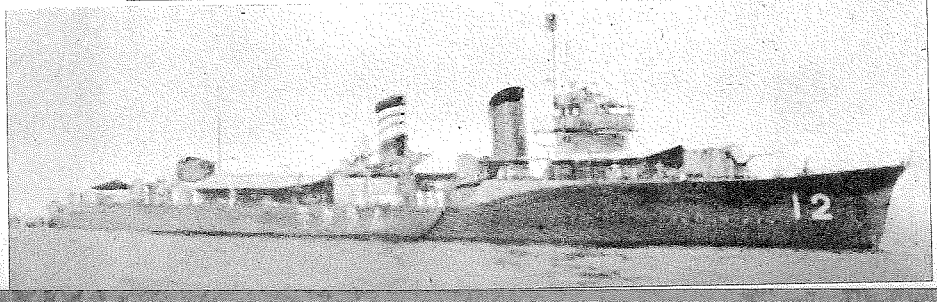
吹雪　基準排水量一、六八〇トン　長サ一一五米　巾一〇米　速力三八節　備砲一二・七糎×六　発射管六一糎×九（特型駆逐艦と称す）昭和十七年十月十一日サヴォ島沖夜戦にて米巡と交戦沈没



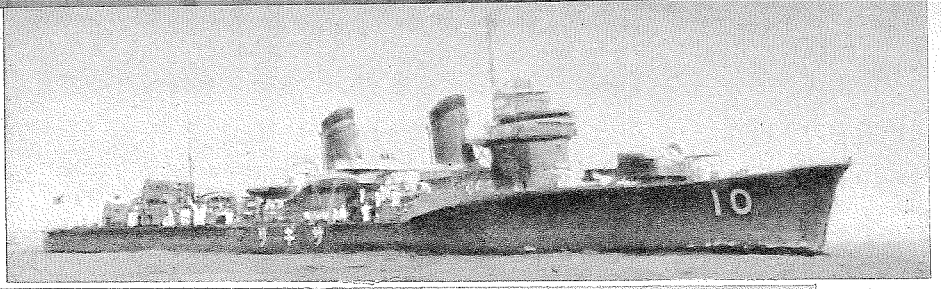
夕霧　吹雪型　昭和十八年十一月二十五日セント・ジョージ岬海戦にて駆逐艦の砲撃により沈没



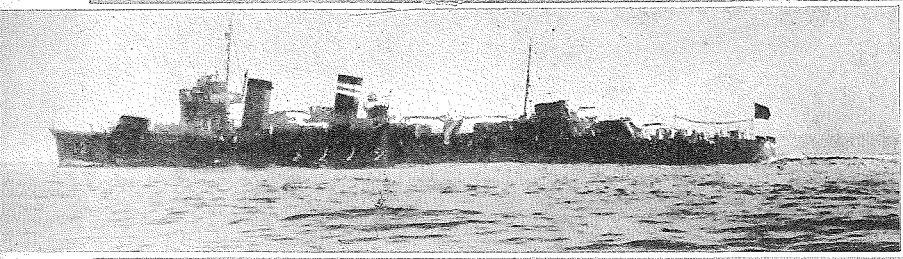
薄雲　吹雪型　昭和十九年七月七日オホーツク海にて米潜スケートの攻撃により沈没



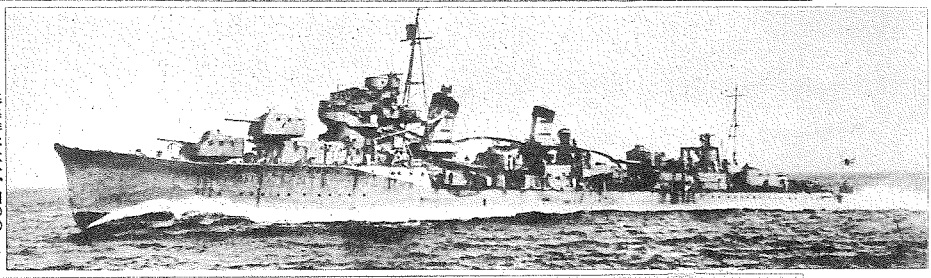
叢雲　吹雪型　昭和十七年十月十一日サヴォ島沖夜戦にて米巡と交戦沈没



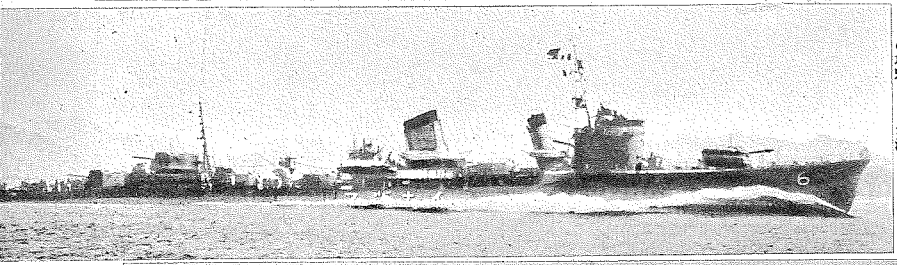
狭霧　吹雪型　昭和十六年十二月二十四日クチン北方三十浬にて米潜K―16により沈没



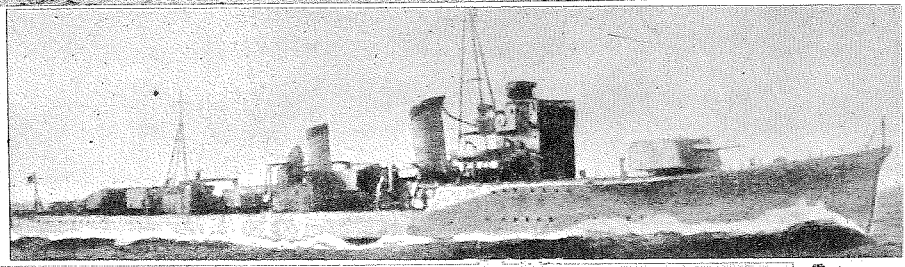
東雲　吹雪型　昭和十六年十二月十八日ボルネオのミリにて機雷により沈没



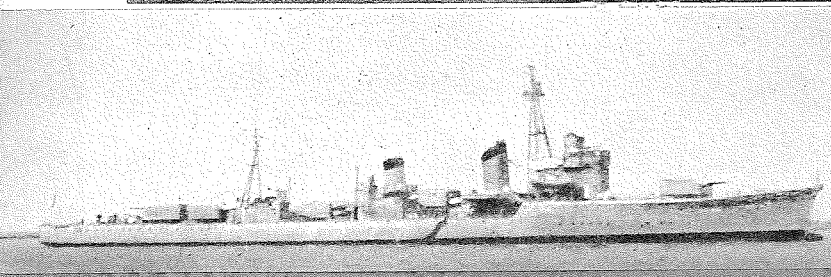
矛ノ日　基準排水量一、四〇〇トン　長サ一〇六米　巾一〇米　速力三七節　備砲一二・七糎×五　発射管六一糎×九（改装前を示す）　昭和十七年七月マクドナルド湾口にて米潜



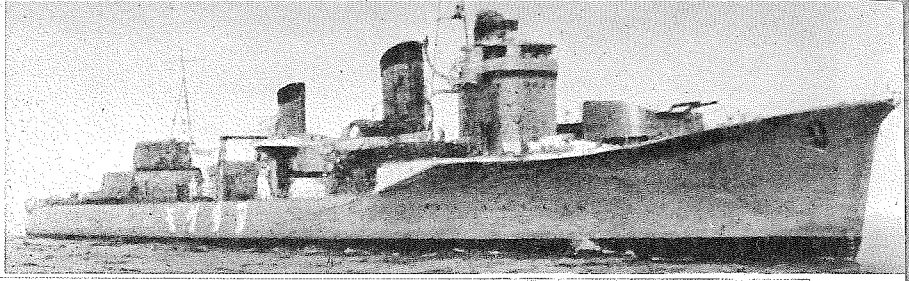
電　暁型　基準排水量一、六八〇トン　長サ一一五米　巾一〇米　速力三八節　備砲一二・七糎×六　発射管六一糎×九　昭和十九年五月十四日セレベス海において米潜ボーンフィシュの攻撃により沈没



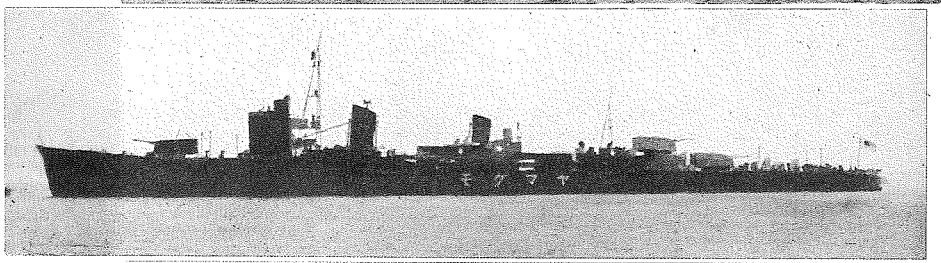
五月雨　基準排水量一、六八五トン　長サ一〇八米　巾一〇米　速力三四節　備砲一二・七糎×五　発射管六一糎×八　昭和十九年八月二十六日パラオ諸島サルアングル島環礁にて坐礁、米潜パットフィッシュの攻撃により沈没



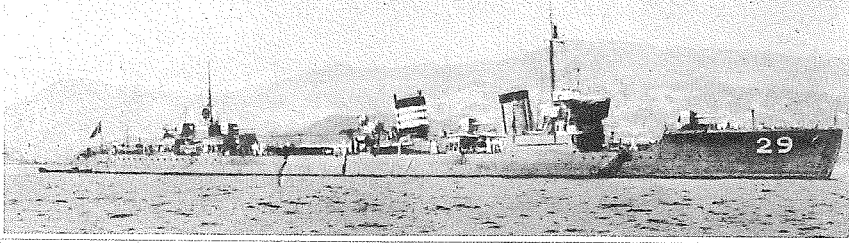
江風　五月雨と同型　昭和十八年八月六日ヴェラ湾海戦において、雷撃により同湾入口附近にて沈没



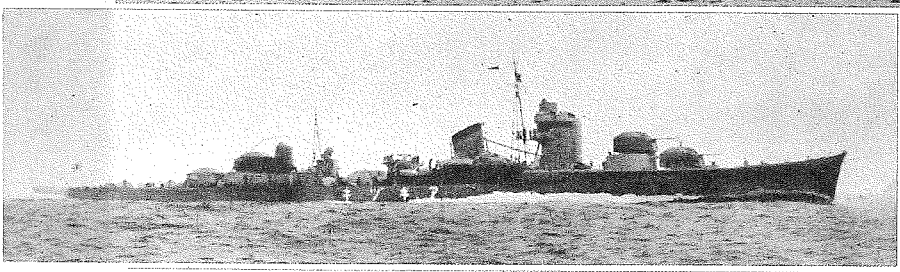
朝雲　基準排水量一、九六〇トン　長サ一一五米　巾一〇米　速力三五節　備砲一二・七糎×六　発射管六一糎×八　昭和十九年十月二十五日キャビテにて空襲により沈没



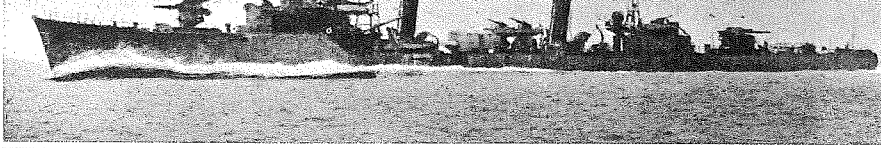
山雲　朝雲と同型　昭和十九年十月二十五日レイテ海戦において米機動部隊の雷撃によりパナオン島附近にて敵駆逐艦の雷撃により沈没



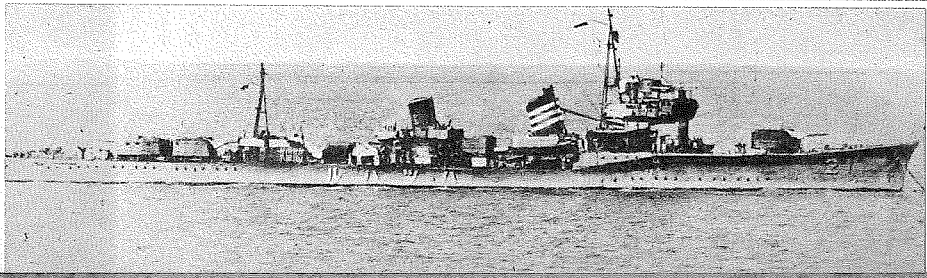
夕凪　朝凪と同型　昭和十九年八月二十五日ルソン北西部にて米潜ビクダの雷撃により沈没



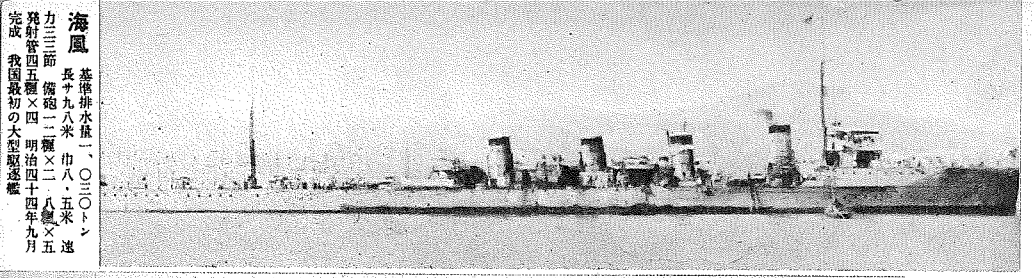
秋月　基準排水量二、七〇〇トン　長サ一三二米　巾一一・六米　速力三三節　備砲一〇糎高×八　発射管六一糎×四（防空直衛用超大型駆逐艦）　昭和十九年十月二十五日ルソン海峡東方二五〇浬にて空襲及び米潜ハリバットにより撃沈さる



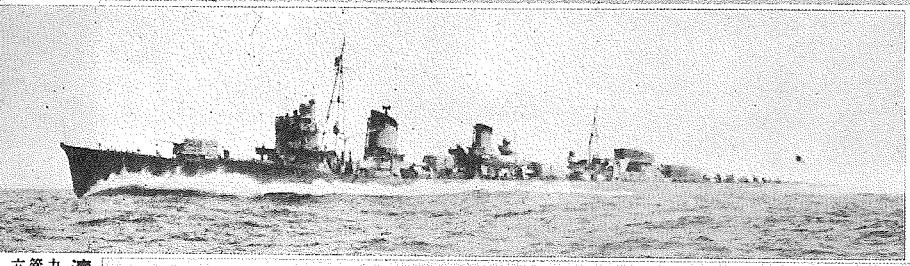
桃　基準排水量一、二六〇トン　長サ九八米　巾九・三五米　速力二八節　備砲一二・七糎高×三　発射管六一糎×四（戦時急造型低速なるも成績良好）　昭和二十年二月十日北緯一六度四〇分、東経二一七度四二分にて敵潜の雷撃により沈没



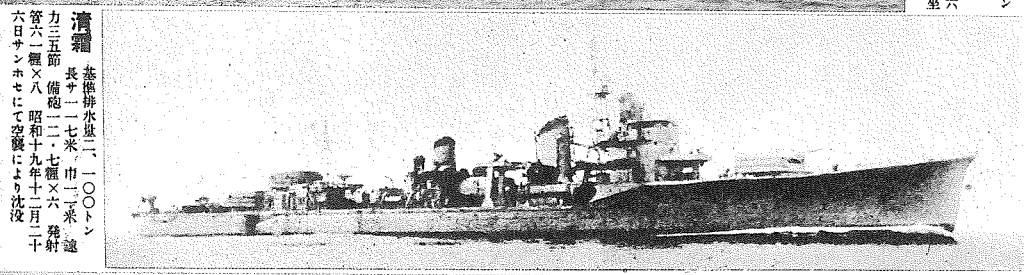
初春　初霜に同じ　昭和十九年十一月十三日マニラ港湾にて空襲により沈没



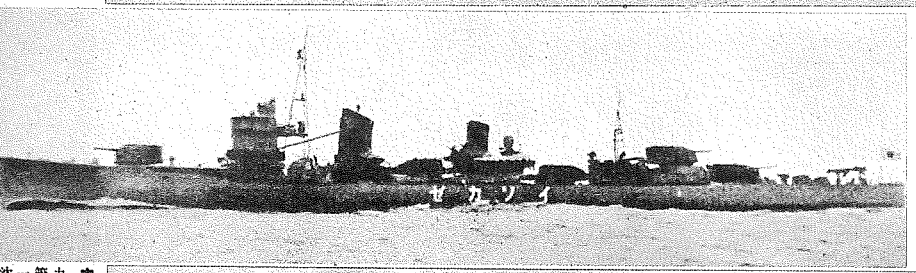
海風　基準排水量一、〇三〇トン　長サ九八米　巾八・五米　速力三三節　備砲一二糎×二　八糎×五　発射管四五糎×四　明治四十四年九月完成　我国最初の大型駆逐艦



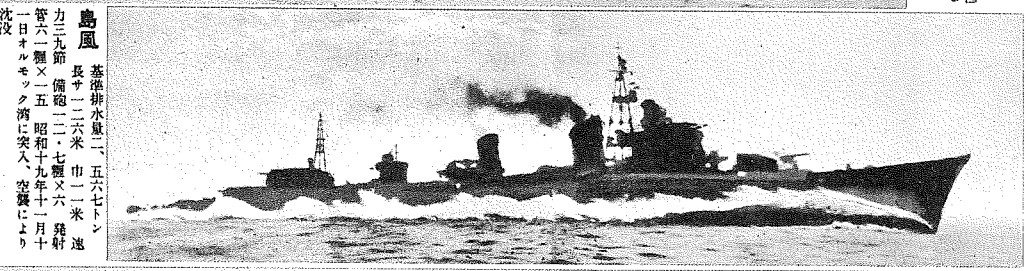
天津風　基準排水量二、〇〇〇トン　長サ一一六米　巾一一米　速力三五節　備砲一二・七糎×六　発射管六一糎×八　昭和二十年四月六日アモイ沖にて空襲により大破着底　擱坐処分



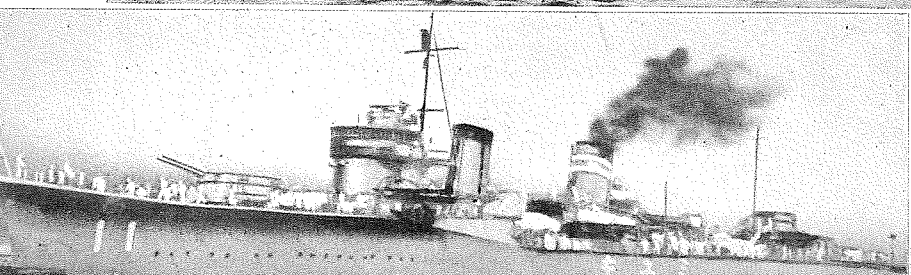
清霜　基準排水量二、一〇〇トン　長サ一一七米　巾一〇米　速力三五節　備砲一二・七糎×六　発射管六一糎×八　昭和十九年十二月二十六日サンホセにて空襲により沈没



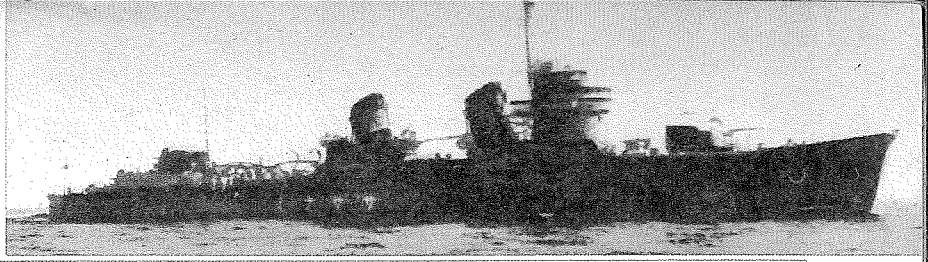
磯風　天津風と同型　昭和二十年四月七日九州南方にて空襲により大破処分



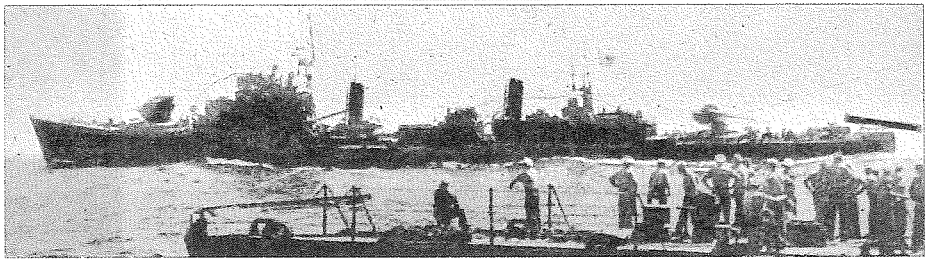
島風　基準排水量二、五六七トン　長サ一二六米　巾一一米　速力三九節　備砲一二・七糎×六　発射管六一糎×一五　昭和十九年十一月十一日オルモック湾に突入、空襲により沈没



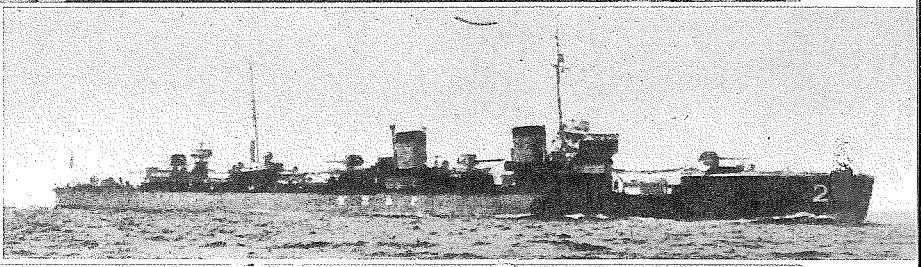
深雪　吹雪型　戦前演習中の事故による沈没のため太平洋戦争には参加せず



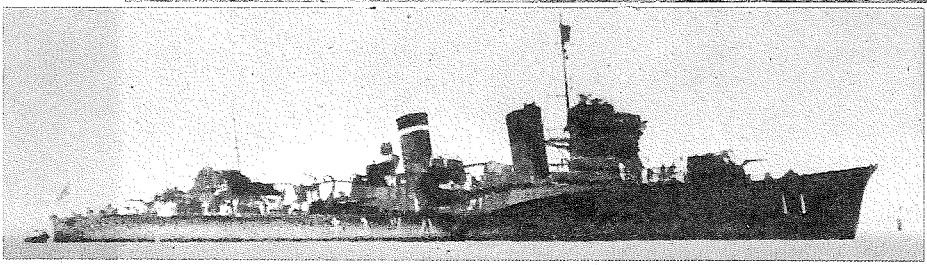
漣　吹雪型　昭和十九年一月十四日ヤップ島の南東において米潜アルパコーアにより撃沈さる



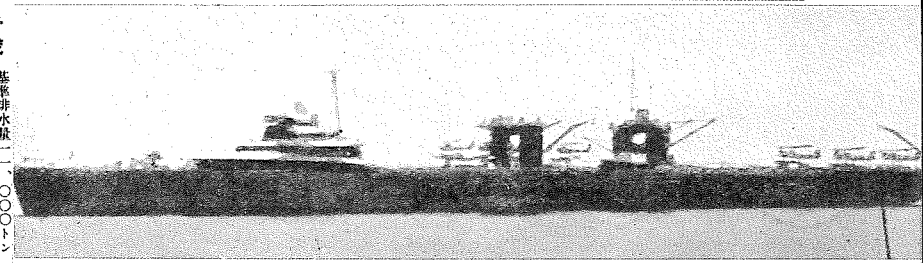
初桜　基準排水量一、二九〇トン　長サ九八米　巾九米　速力二八節　備砲一二・七糎高×三　発射管六一糎×四　終戦の年に完成した最後の駆逐艦橋型の一つ　終戦時横須賀



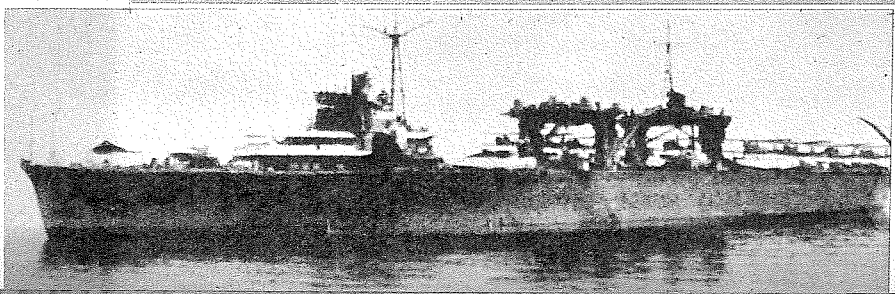
峯風　沼風に同じ　昭和十九年一月十日台湾沖にて米潜ボギイにより撃沈さる



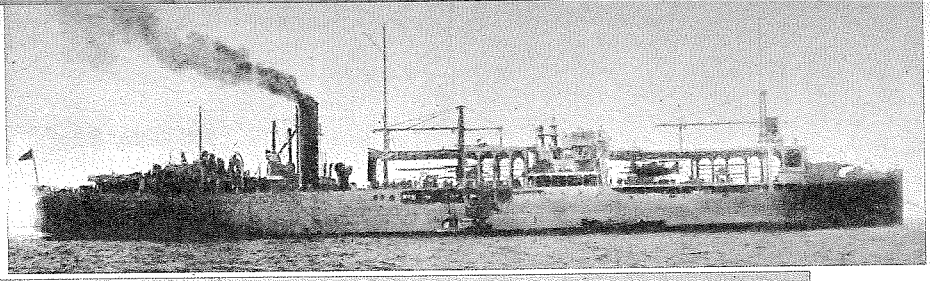
初雪　吹雪型　昭和十八年七月十七日ショートランド附近にて空襲により沈没



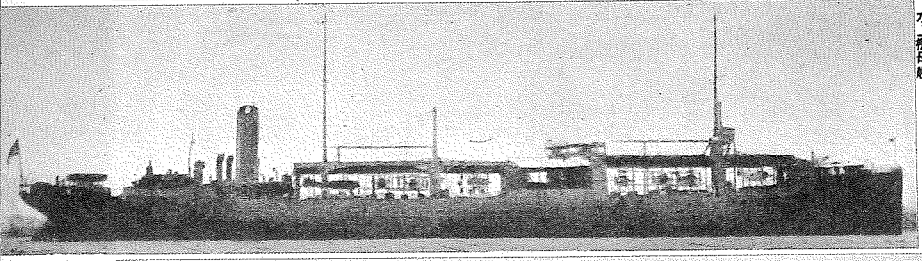
千歳　基準排水量一一、〇〇〇トン　長サ一八四米　巾一九米　速力二九節　備砲一二・七糎高×二　カタパルト×四　水偵×二四　後空母に改造　昭和十九年十月二十六日ルソン海峡北東方二五〇浬にて空襲により沈没、戦死四六八　水上機母艦



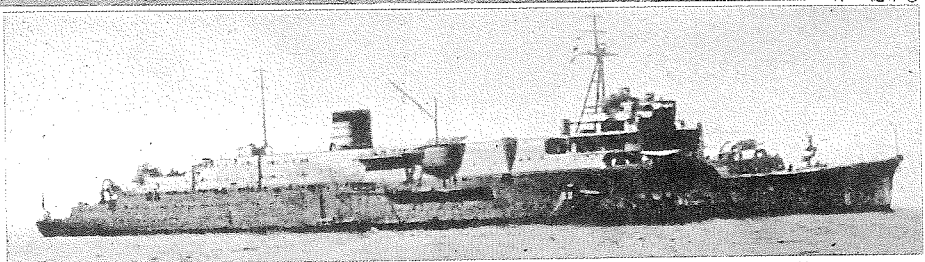
瑞穂　基準排水量一一、〇〇〇トン　長サ一八四米　巾一九米　速力二二節　備砲一二糎高×六　カタパルト×一　水偵×二四　昭和十七年五月二日御前崎燈台の二三〇度四〇浬にて米潜ドラムの雷撃により沈没　水上機母艦



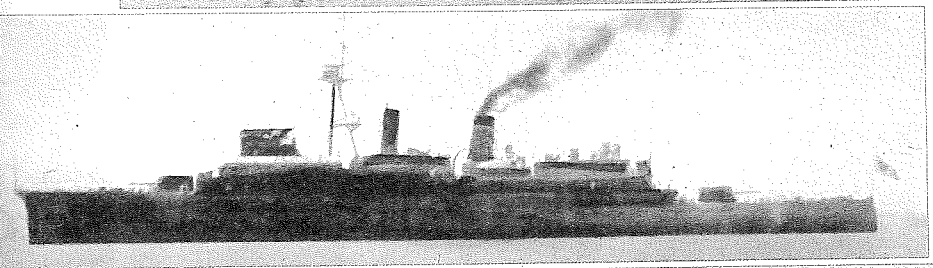
神威　基準排水量一七、〇〇〇トン　長サ四九六呎　巾六七呎　速力一五節　備砲五・五吋砲×二　三吋高×二　終戦時香港にて大破着底　水上機母艦



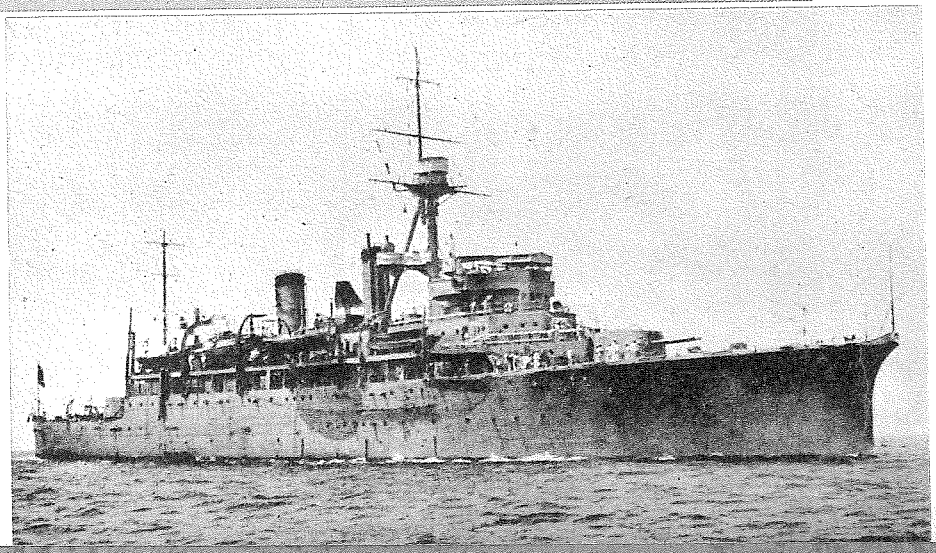
能登呂　基準排水量一四、一〇〇トン　長サ四七〇呎　巾五八呎　速力一二節　備砲四・七吋砲×二　三吋高×二　搭載機約一六機　昭和十九年十一月五日シンガポール沖において陸軍機により撃沈さる　水上機母艦



大鯨　基準排水量一〇、〇〇〇トン　長サ二一二米　巾一八米　速力二〇節　備砲一二・七糎高×四　後空母竜鳳に改装され終戦時呉にて小破状態　潜水母艦

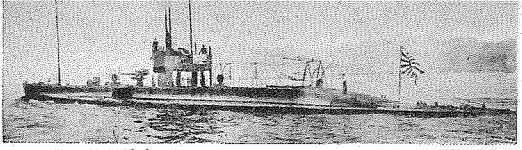


迅鯨　長鯨と同型　昭和十九年十月十日沖縄附近にて空襲により沈没　潜水母艦

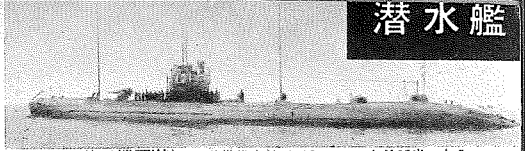


長鯨　排水量五、二〇〇トン　長サ三八〇呎　巾五三呎　速力一六節　備砲五・五吋×四　三吋高×二　終戦時舞鶴にて中破状態　潜水母艦

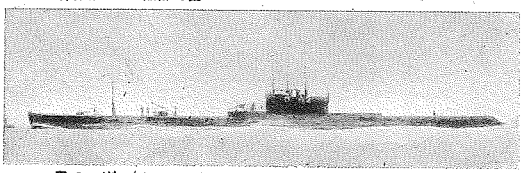
潜水艦



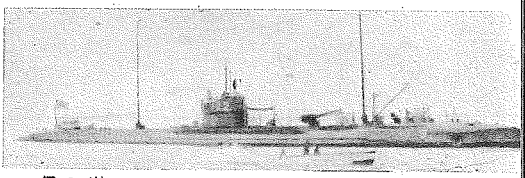
呂30潜（特中型）　基準排水量 665 トン　全長74米 巾6米 速力水上13節水中8節　航続力水上10節 6,000浬　備砲12糎×1　発射管艙×4　魚雷53糎×8



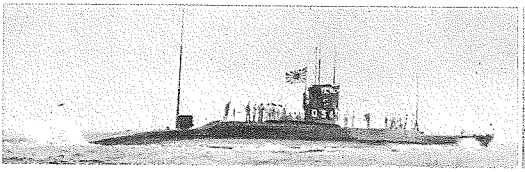
伊121潜（機雷潜）　基準排水量 1,150トン　全長85米 巾8米　速力水上15節水中7節　航続力水上8節10,500浬　備砲14糎×1　発射管艙4　魚雷53糎×12　機雷42　昭和18年9月1日以降呉



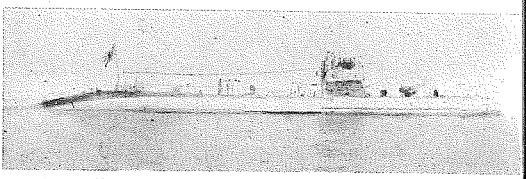
呂62潜（L4型）　基準排水量990 トン　全長76米　巾7米　速力水上16節水中8節　航続力水上10節5,500 浬　備砲8糎×1　発射管艙×6　魚雷53糎×10



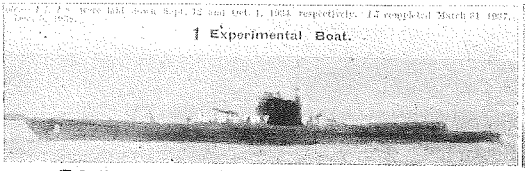
伊122潜　121潜と同型　昭和20年6月10日能登半島禄剛岬の115度3.5浬において米潜スケートと交戦沈没



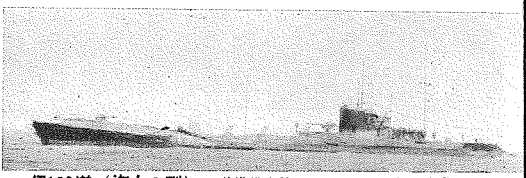
呂54潜（L2型）　基準排水量 890トン　全長71米　巾7米　速力水上17節水中8節　航空力水上10節5,500 浬　備砲8糎高×1 発射管艙×4　魚雷53糎×10



伊123潜　伊121潜と同型　昭和17年8月28日ガダルカナル島東方にて米敷設駆逐艦ガンブルにより撃沈さる



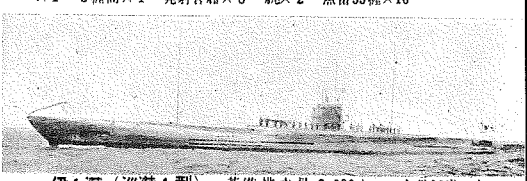
伊5潜　伊1潜と同型　昭和19年7月19日サイパン東方海面にて交戦沈没と認定



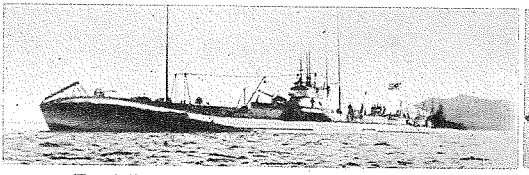
伊152潜（海大2型）　基準排水量 1,400トン　全長 101 米巾8米　速力水上22節水中10節　航続力水上10節10,000浬　備砲12糎×1　8糎高×1　発射管艙×6　舵×2　魚雷53糎×16



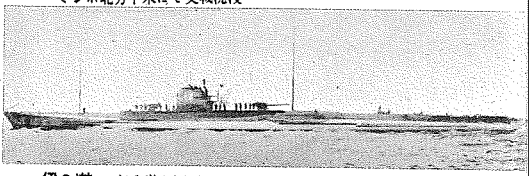
伊155潜（海大3型）　基準排水量1,600トン 全長101米 巾8米　速力水上22節水中10節　航続力水上10節10,000浬　備砲12糎×1発射管艙×6　舵×2　魚雷53糎×16　昭和20年7月20日第4予備



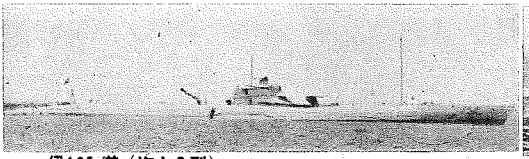
伊1潜（巡潜1型）　基準排水量 2,000トン　全長98米　巾9米　速力水上18節水中8節　航続力水上10節24,400浬　備砲14糎×2　発射管艙×4　舵×2　魚雷53糎×20　昭和18年1月29日ニミンボ北方千米にて交戦沈没



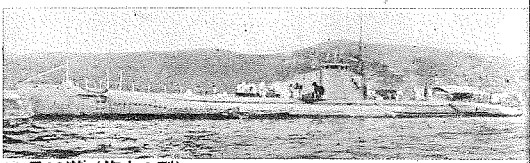
伊159潜　伊155 潜に同じ　昭和17年7月21日以後呉



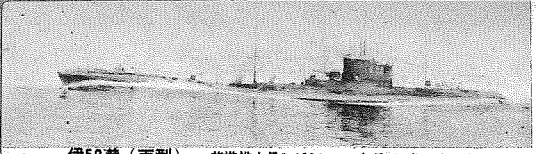
伊3潜　伊1潜と同型　昭和19年12月9日カミンボ沖約3浬にて米魚雷艇一59号と交戦沈没



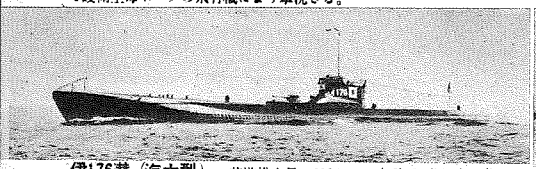
伊165潜（海大5型）　基準排水量1,600 トン　全長98米　巾8米　速力水上20節水中8節　航続力水上10節10,000 浬　備砲10糎高×1　発射管艙×4　舵×2　魚雷53糎×14　昭和20年6月27日中部太平洋方面にて米海軍機のため撃沈さる



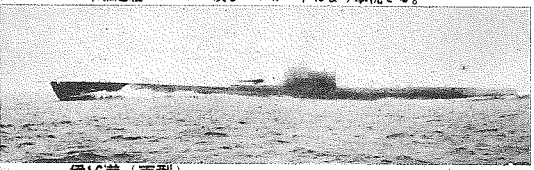
呂33潜（海中6型）　基準排水量 700トン　全長73米　巾6.7米　速力水上19節水中8節　航続力水上12節 8,000浬　備砲8糎×1　発射管艙×4　魚雷53糎×10　昭和17年9月1日ポートモレスビー方面敵攻撃中沈没と認定



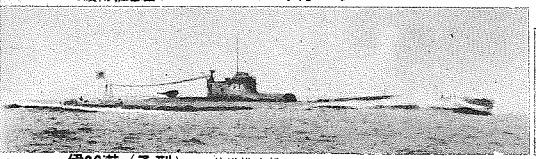
伊52潜（丙型） 基準排水量2,100トン 全長109米 巾9米 速力水上18節水中6.5節 航続力水上16節21,000浬 備砲14糎×2 発射管艙×6 魚雷53糎×19 昭和19年6月24日大西洋水域において護衛空母ボーグの飛行機により撃沈さる。



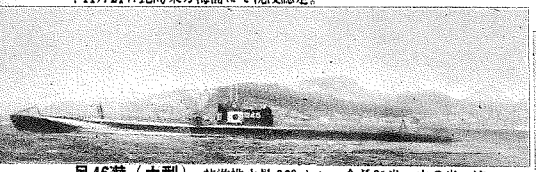
伊176潜（海大型） 基準排水量1,600トン。全長106米 巾8米 速力水上23節水中8節 航続力水上16節8,000浬 備砲12糎×1 発射管艙×6 魚雷53糎×20 昭和19年5月16日ブカの北東において米駆逐艦フランクス及びハッガードにより撃沈さる。



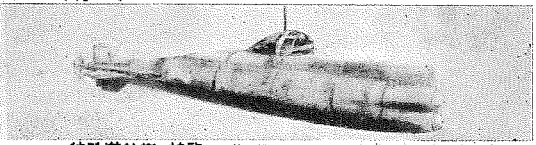
伊16潜（丙型） 基準排水量2,200トン 全長109米 巾9米 速力水上24節水中8節 航続力水上16節14,000浬 備砲14糎×1 発射管艙×8 魚雷53糎×20 昭和19年5月19日ソロモン北東において護衛駆逐艦イングランドにより撃沈さる。



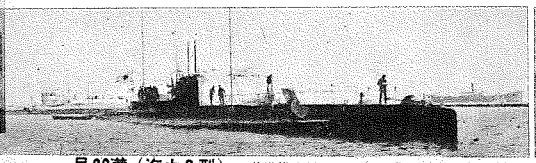
伊26潜（乙型） 基準排水量2,200トン 全長109米 巾9米 速力水上24節水中8節 航続力水上16節14,000浬 備砲14糎×1 発射管艙×6 魚雷53糎×17 カタパルト×1 水偵×1 昭和19年11月21日比島東方海面にて沈没認定。



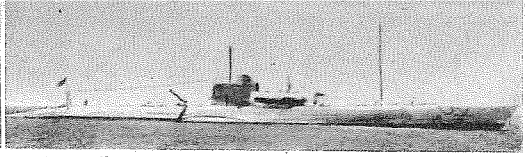
呂46潜（中型） 基準排水量960トン 全長81米 巾7米 速力水上20節水中8節 航続距離水上16節5,000浬 備砲8糎高×1 発射管艙×4 魚雷53糎×10（戦時急造型なるも成績良好） 昭和20年4月9日沖縄東方海面にて米駆逐艦メルツ及びモンセンにより撃沈さる。



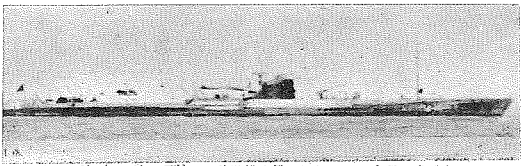
特殊潜航艇 蛟龍 潜航排水量60トン 全長26米 巾2米 速力水上8節水中16節 航続距離水上8節1,000浬水中16節320浬 発射管艙×2 魚雷45糎×2 乗員5名



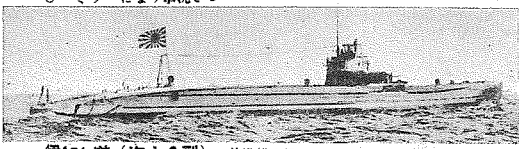
呂22潜（海中3型） 基準排水量740トン 全長70米 巾6米 速力水上17節水中8節 航続力水上10節6,000浬 備砲単8糎×1 発射管艙×4 水上×2 魚雷45糎×10



伊166潜 伊165潜に同じ 昭和19年7月17日シンガポール附近にて英潜により雷撃され沈没



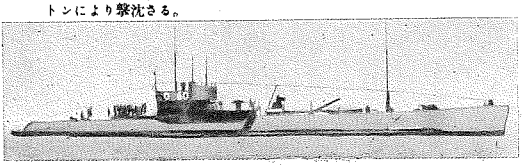
伊6潜（巡潜2型） 基準排水量1,900トン 全長99米 巾9米 速力水上20節水中7節 航続力以上10節20,000浬 備砲12糎高×1 発射管艙×4 舵×2 魚雷53糎×17 カタパルト×1 水偵×1 昭和19年6月14日サイパン附近にて米護衛駆逐艦ウイリアム・C・ミラーにより撃沈さる



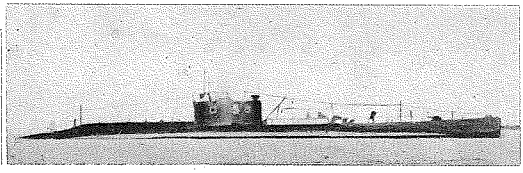
伊171潜（海大6型） 基準排水量1,400トン 全長105米 巾8米 速力水上23節水中8節 航続力水上10節14,000浬 備砲10糎高×1 発射管艙×4 舵×2 魚雷53糎×14 昭和19年1月31日ビスマルク群島水域において米駆逐艦ゲスト及びハドソンにより撃沈さる



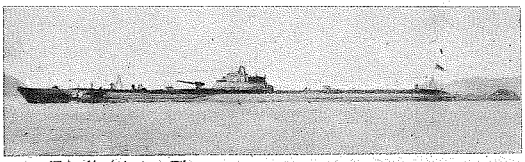
伊8潜（巡潜3型） 基準排水量2,200トン 全長109米 巾9米 速力水上23節水中8節 航続力水上16節14,000浬 備砲14糎×2 発射管艙×6 魚雷53糎×20 カタパルト×1 水偵×1 昭和20年3月31日那覇南西約30浬において米駆逐艦モリソン及びストックトンにより撃沈さる。



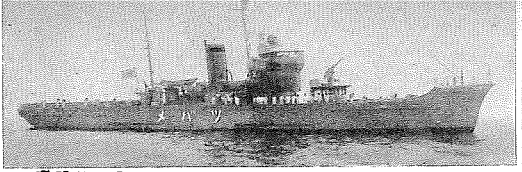
呂60潜（L4型） 呂62潜と同型 昭和16年12月29日ルオット島南方坐礁



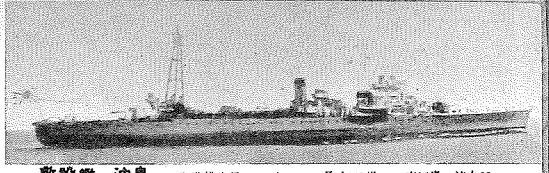
呂58潜（L3型） 基準排水量890トン 全長76米 巾7米 以下呂54潜に同じ昭和20年5月1日以降第4予備横須賀



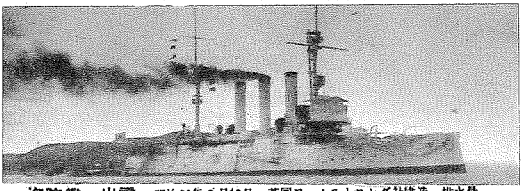
伊61潜（海大4型） 基準排水量1,772トン 全長98米 巾8米 速力水上20節水中8.5節 航続力水上10節10,800浬 備砲12糎×1 発射管艙×4 舵×2 魚雷53糎×14



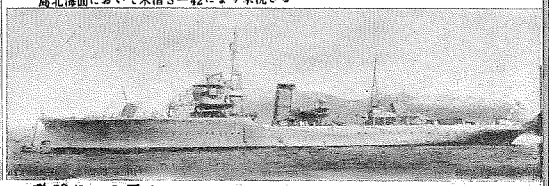
敷設艇　燕　基準排水量450トン　長サ206呎　巾23呎　速力19節　備砲3吋高×1　昭和20年3月1日台湾海峡において空母機により撃沈さる



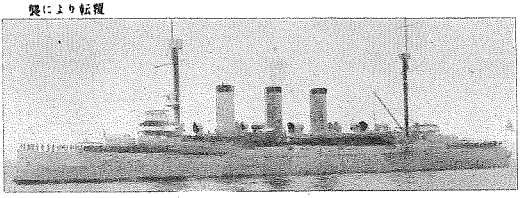
敷設艦　沖島　基準排水量4,500トン　長サ119米　巾16米　速力20節　備砲14糎×4　8糎高×2　搭載機雷数500昭和17年5月11日ソロモン群島北海面において米潜S—42により撃沈さる



海防艦　出雲　明治32年9月19日、英国アームストロング社建造　排水量9,180トン　長サ434呎　巾68呎　昭和20年7月28日瀬戸内海において空母機の空襲により転覆



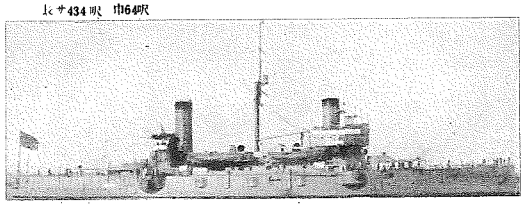
敷設艇　八重山　基準排水量1,100トン　長サ89米　巾11米　速力20節　備砲12糎高×2　搭載機雷数185　昭和19年9月24日ミンドロ南端にて空襲により沈没



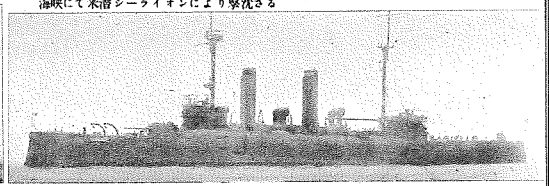
海防艦　八雲　明治32年7月8日ヴアルカン社建造　排水量9,000トン　長サ434呎　巾64呎



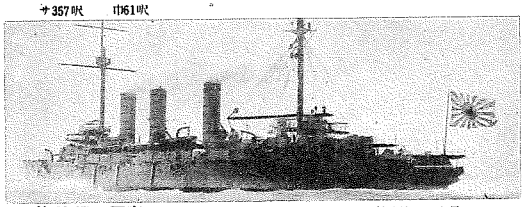
急設網艦　白鷹　基準排水量1,350トン　長サ84米　巾12米　速力16節　備砲12糎高×3　急設網6　浬分又は機雷100　昭和19年8月31日ルソン海峡にて米潜シーライオンにより撃沈さる



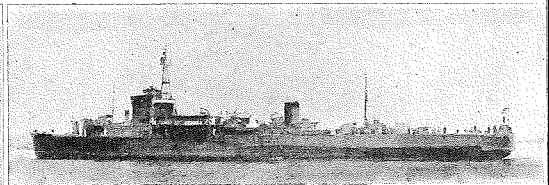
海防艦　春日　明治37年、アルゼンチンより購入　排水量7,000トン　長サ357呎　巾61呎



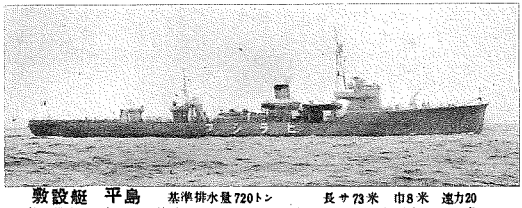
敷設艦　常盤　明治31年7月6日英国アームストロング社建造　基準排水量9,200トン　長サ442呎　巾67呎（旧巡洋艦）　終戦時大湊にて大破着底



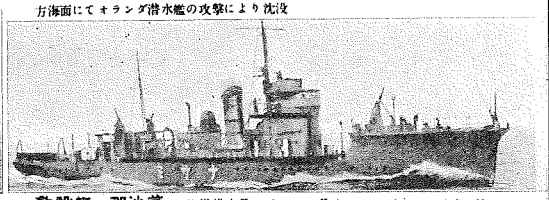
海防艦　吾妻　明治32年6月24日セント・ナザール社建造　排水量8,600トン　長サ450呎　巾59呎



敷設艦　厳島　基準排水量2,000トン　長サ104米　巾12米　速力17節　備砲14糎／3　8糎高×2　搭載機雷数300　昭和19年10月17日パウエアン島東方海面にてオランダ潜水艦の攻撃により沈没



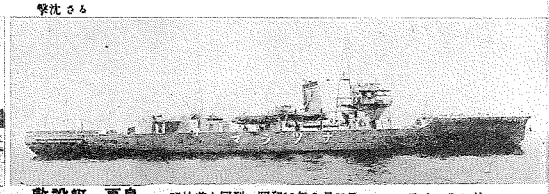
敷設艇　平島　基準排水量720トン　長サ73米　巾8米　速力20節　備砲8糎高／1　機雷120　昭和18年7月27日九州沖において米潜ソーフィッシュにより撃沈さる



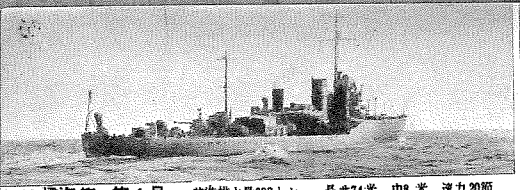
敷設艇　那沙美　基準排水量440トン　長サ225呎　巾24呎　速力19節　備砲3吋高角砲×2　昭和19年1月31日中部太平洋水域にて米潜トリガーにより撃沈さる



海防艦　崎戸　基準排水量860トン　長サ76米　巾9米　速力19.5節　備砲12糎高×2　8糎×1　25粍機銃×6　爆雷×18



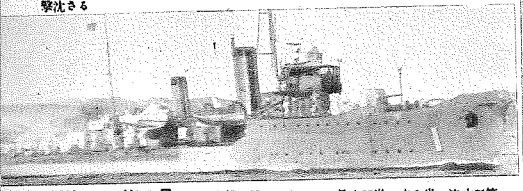
敷設艇　夏島　那沙美と同型　昭和19年2月22日ニュー・アイルランド島沖において駆逐艦により撃沈さる



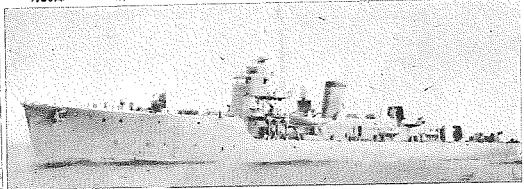
掃海艇　第１号　基準排水量600トン　長サ74米　巾8 米　速力20節
備砲12糎×２　８糎高×１　昭和20年８月10日本州北部沖において空母機により撃沈さる



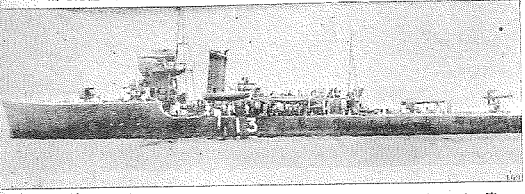
海防艦（甲型）　占守　基準排水量860トン　長サ76米　巾9 米　速力20節　備砲12糎×３　爆雷×18



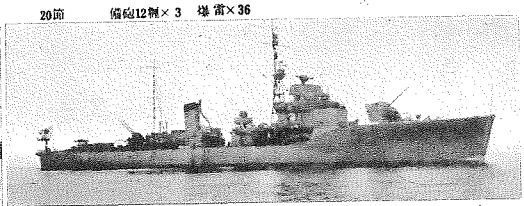
掃海艇　第６号　基準排水量620トン　長サ75米　巾8 米　速力21節
備砲12糎×２　８糎高×１



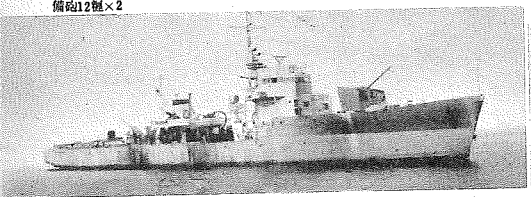
海防艦（甲型）択捉　基準排水量870トン　長サ76米　巾9米　速力20節　備砲12糎×３　爆雷×36



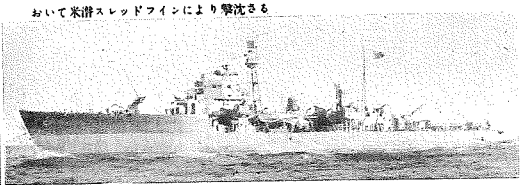
掃海艇　第13号　基準排水量500トン　長サ72米　速力20節
備砲12糎×２



海防艦（甲型）御蔵　基準排水量940トン　長サ78米　巾9米　速力19.5節　備砲12糎高×３　爆雷×120　昭和18年３月28日九州沖において米潜スレッドフインにより撃沈さる



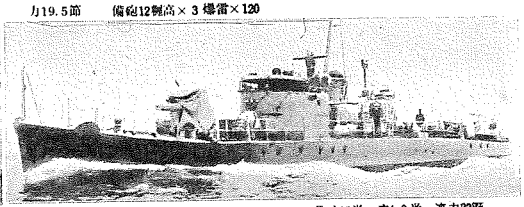
海防艦　第17号　基準排水量750トン　長サ66米　巾8.5米　速力16.5節　備砲12糎高×２　25粍機銃×６　爆雷×120



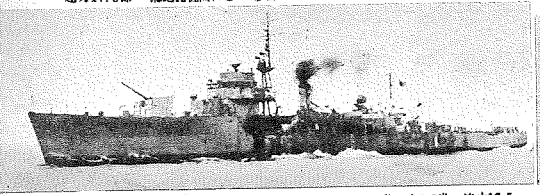
海防艦（甲型）四阪　基準排水量940トン　長サ76.5米　巾9米　速力19.5節　備砲12糎高×３爆雷×120



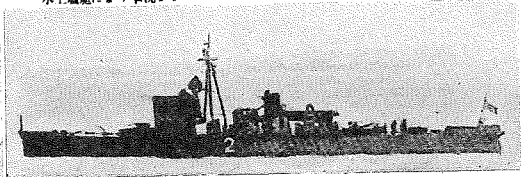
海防艦（T型）　第８号　基準排水量740トン　長サ68米　巾8.6米　速力17.5節　備砲12糎高×２　爆雷×120



駆潜艇　第53号　基準排水量170トン　長サ45米　巾4.8米　速力23節　武装40粍機銃×２　爆雷×18　昭和19年12月28日オルモック湾において水上艦艇により撃沈さる



海防艦　第２号　基準排水量750トン　長サ68米　巾8.6米　速力17.5節　備砲12糎高×２　25粍機銃×６　爆雷×120



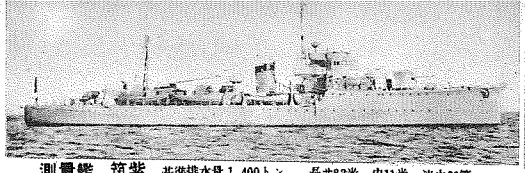
駆潜艇　第２号　基準排水量270トン　長サ64米　巾5.9米　速力24節　武装40粍機銃×２　爆雷×36　昭和20年６月27日ジャワ海において米潜ブルーバックにより撃沈さる



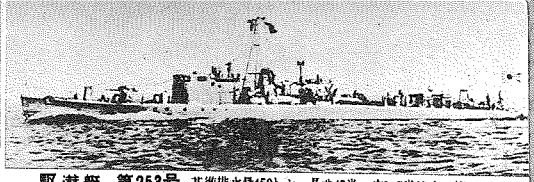
掃海艇　第26号　基準排水量650トン　長サ71米　巾8米　速力20節
昭和19年５月17日ラバウルにおいて空襲により沈没



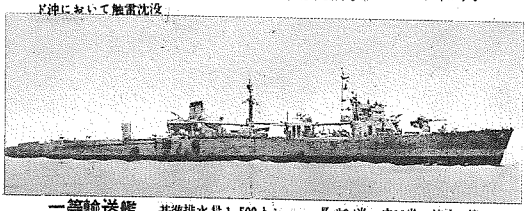
駆潜艇　第３号　基準排水量270トン　長サ55米　巾5.6米　速力20節　武装40粍



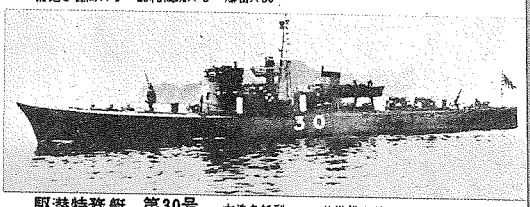
測量艦　筑紫　基準排水量1,400トン　長サ83米　巾11米　速力20節
備砲12糎高×4　小型水偵×1　昭和18年11月4日ニュー・アイルラン
ド沖において触雷沈没



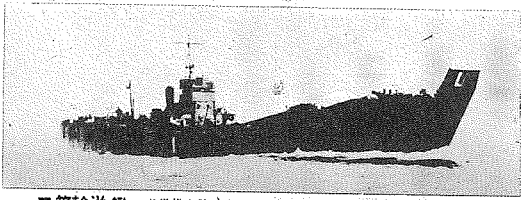
駆潜艇　第253号　基準排水量450トン　長サ49米　巾6.7米速力16節
備砲8糎高×1　25粍機銃×3　爆雷×36



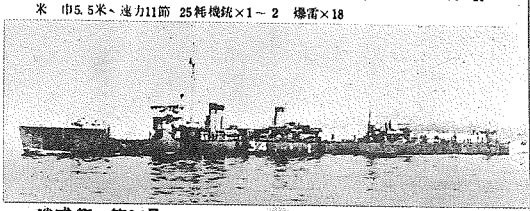
一等輸送艦　基準排水量1,500トン　長サ94米　巾10米　速力22節
備砲12.7糎高×2　大発又は水陸両用戦車搭載



駆潜特務艇　第30号　木造魚船型　基準排水量130トン　長サ26米　巾5.5米、速力11節　25粍機銃×1～2　爆雷×18



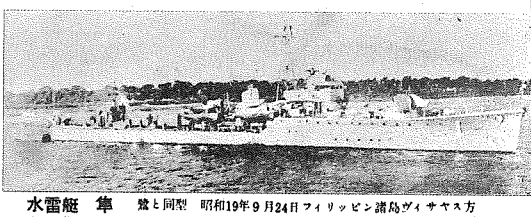
二等輸送艦　基準排水量950トン　長サ75米　巾9米　速力13節　備砲8糎高×1　接岸櫓座上陸用



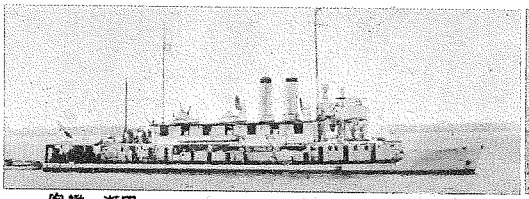
哨戒艇　第34号　三等駆逐艦薄改造



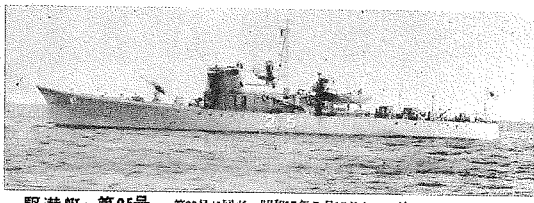
砲艦　瑾珑　昭和19年10月6日香港沖にて機雷により沈没



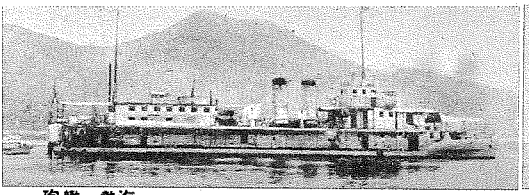
水雷艇　隼　鵯と同型　昭和19年9月24日フィリッピン諸島ヴィサヤス方面の空襲により沈没



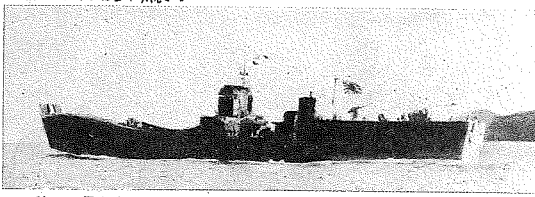
砲艦　瀬田　基準排水量305トン　長サ50米　巾10米　速力17節　備砲8糎高×1



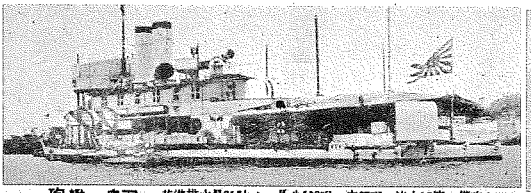
駆潜艇　第25号　第30号に同じ　昭和17年7月15日キスカ沖において米潜グラニオンにより撃沈さる



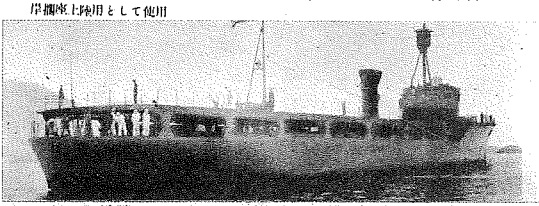
砲艦　熱海　基準排水量205トン　長サ45米　巾7米　速力17節　備砲8糎高×1



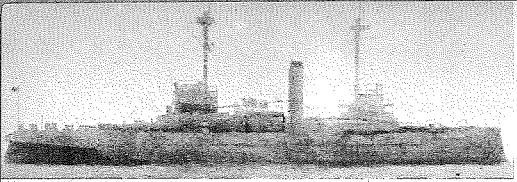
第149号輸送艦　（2等）　基準排水量950トン通称「SB艇D」接岸櫓座上陸用として使用



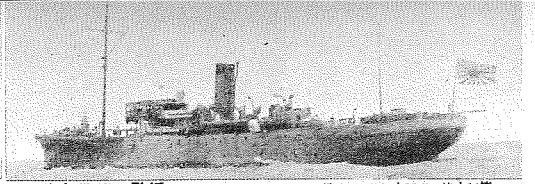
砲艦　鳥羽　基準排水量215トン　長サ108呎　巾27呎　速力15節　備砲8糎高×2



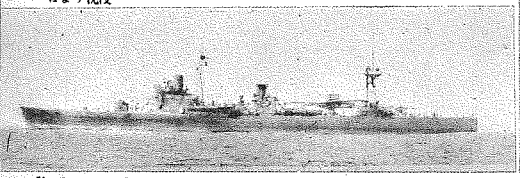
標的艦　波勝　基準排水量1,650トン　長サ92米　巾11米　速力19節



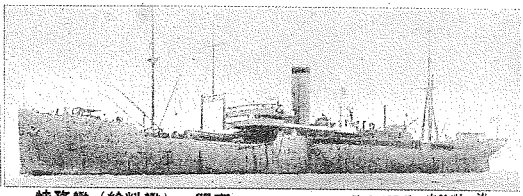
工作艦　朝日　基準排水量15,000トン　長サ400呎　巾75呎　速力18節
（旧戦艦）　昭和17年5月26日カムラン湾の南々東120浬附近にて敵潜の雷撃により沈没



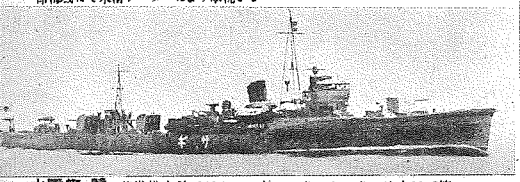
潜水母艦　駒橋　排水量1,100トン　長サ227呎　巾35呎　速力14節
備砲8糎×1　8糎高×2



敷設艦　津軽　基準排水量4,000トン　長サ121米　巾15.5米　速力20節
備砲12.7糎高×4　機雷×600　カタパルト×1 水偵×1　昭和19年6月28日蘭印海域にて米潜ダーターにより撃沈さる



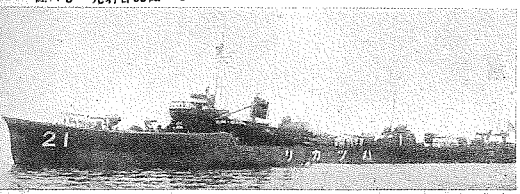
特務艦（給料艦）　間宮　排水量15,800トン　長サ475呎　巾61呎　速力14節　備砲14糎×2　8糎高×2　昭和19年12月20日北緯17度55分東経114度11分において敵潜により撃沈さる



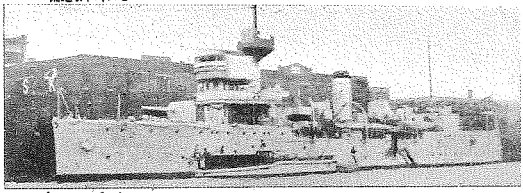
水雷艇　鷺　基準排水量 840トン　長サ85米　巾 8米　速力30.5節
糎×3　発射管53糎×3



特務艦　野島　排水量8,200トン　長サ355呎　巾50呎　速力12節
備砲4.7吋×2



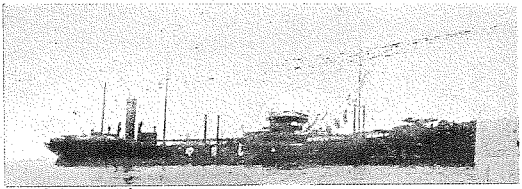
水雷艇　初雁　基準排水量 535トン　長サ79米　巾 7.4米　速力30節　備砲12.7糎×3　発射管53糎×4　ロンドン条約の結果建造したため設計に無理があつて同型艦友鶴が佐世保港外で転覆した



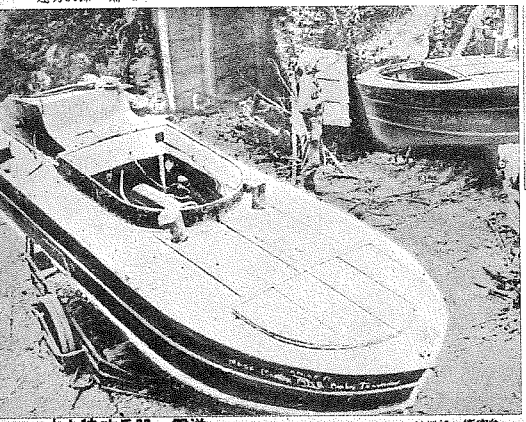
砲艦　安宅　排水量725トン　長サ222呎　巾32呎　速力16節　備砲4.7吋×2　8糎高×2



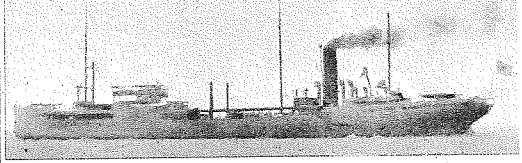
水雷艇　千鳥　基準排水量 535トン　水線長79米　巾 7.4米
速力30節　備砲12.7糎×3　発射管53糎×4



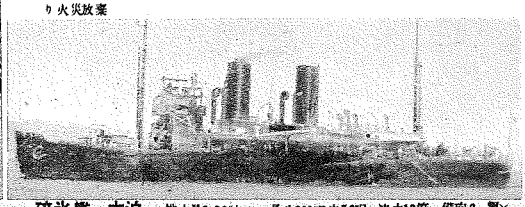
特務艦　尻矢　排水量14,100トン　長サ470呎　巾58呎　速力12節
備砲4.7吋×2　8糎高×2



水上特攻兵器　震洋　艦首に炸薬約250瓩を搭載して敵艦船に衝突自爆する一人乗り特攻艇　速力20節



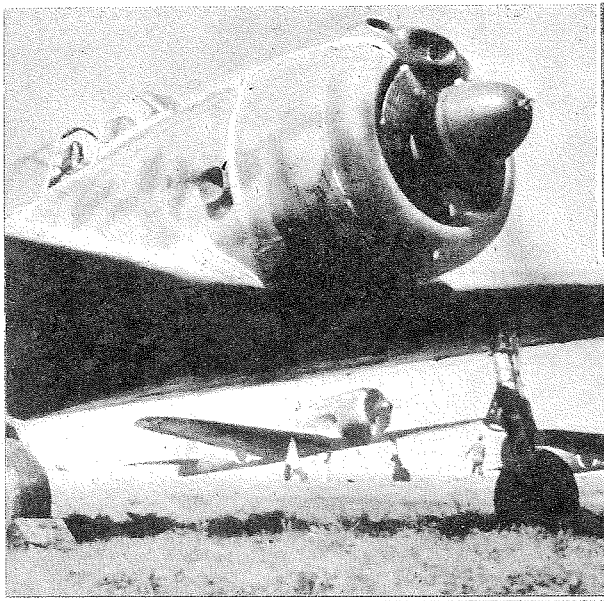
特務艦　鳴戸　尻矢に同じ　昭和19年3月2日ラバウルにおいて空襲により火災放棄

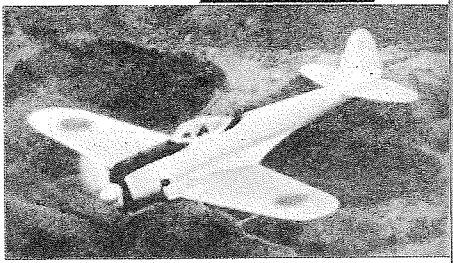


砕氷艦　大泊　排水量2,300トン　長サ200呎　巾50呎　速力13節　備砲8糎×1　終戦時大泊

太平洋戦争航空機一覧

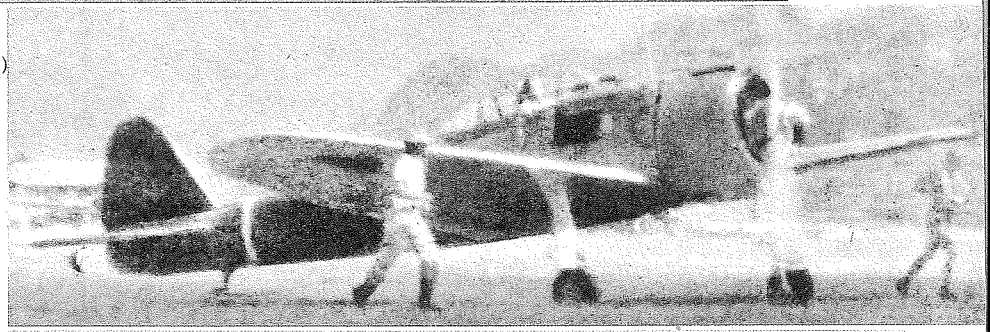
陸軍



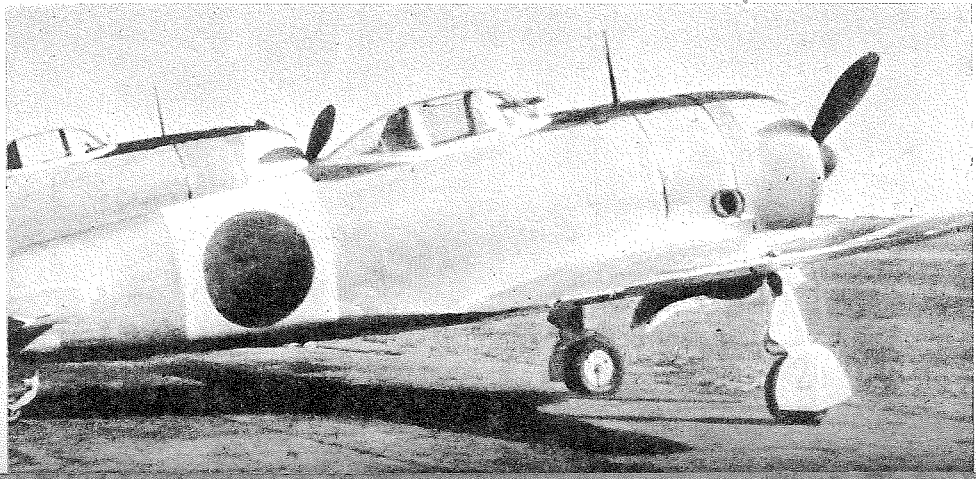


一式戦斗機「隼」（上）一型（左）二型

素晴らしい運動性と大きい航続力を利して終戦時まで活躍した。有名な加藤隼部隊長は五月22日のアキャブ攻撃で戦死した。

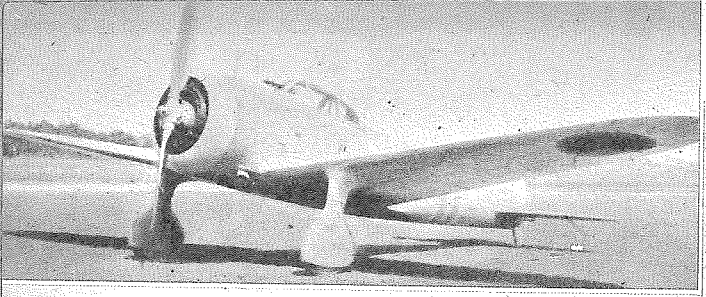


（右）離陸に移る一式戦斗機「隼」（一型）

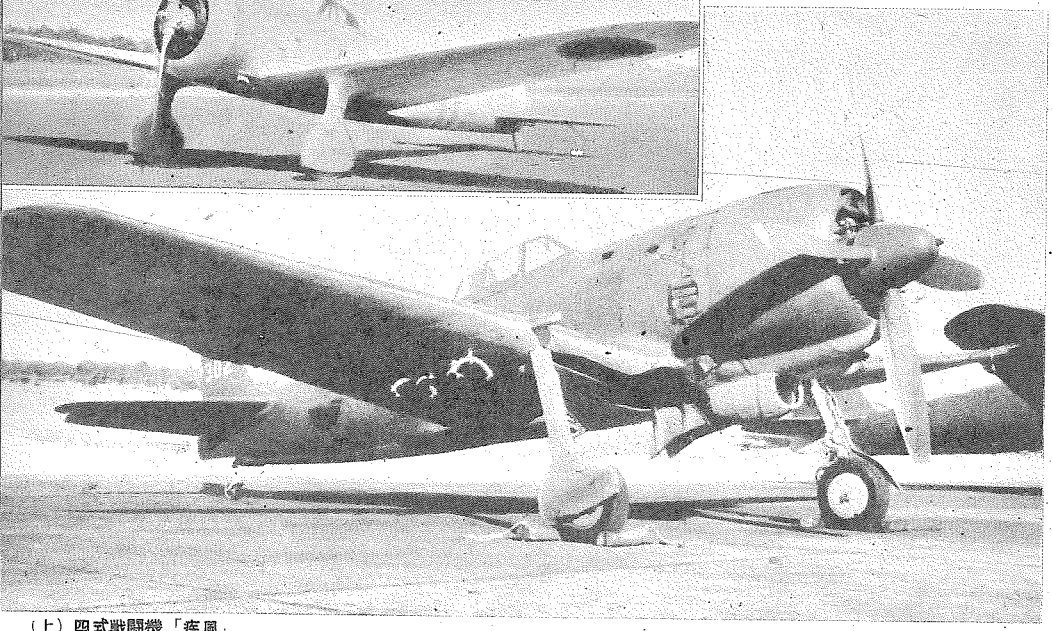


（左）二式戦斗機「鍾馗」

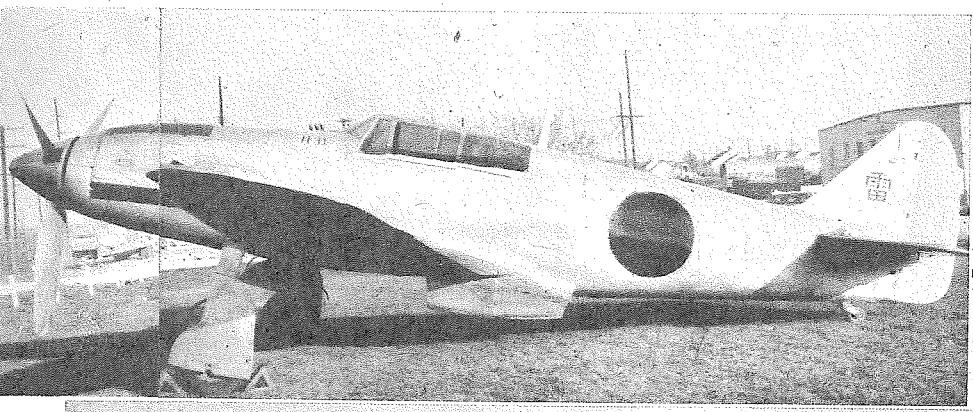
速度上昇力に重点をおいた重戦で主として内地防空戦斗に活躍した。



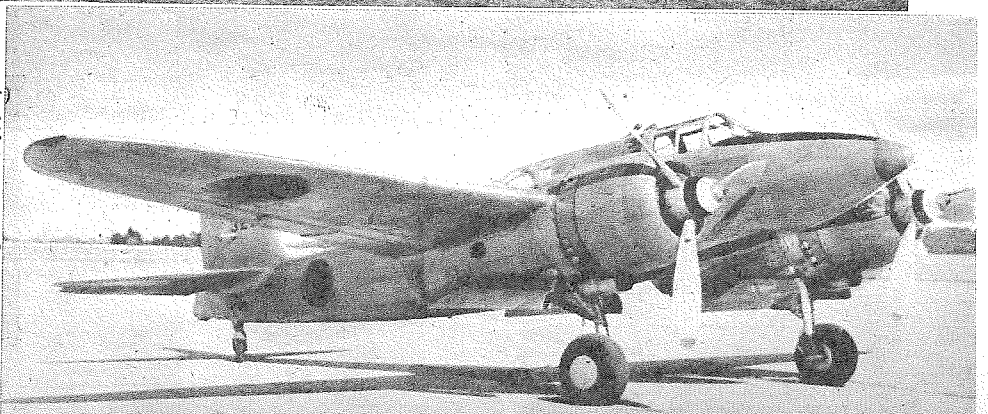
（左）九七式戦闘機
ノモンハンでソ連機
1,500機を撃墜し有名となる



（上）四式戦闘機「疾風」
隼の運動性と鍾馗の速度を加味し軍が最も力を入れた戦闘機

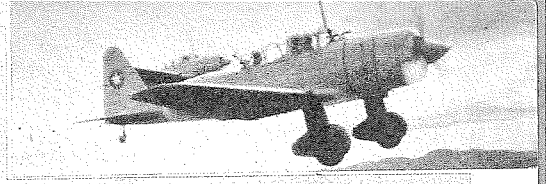


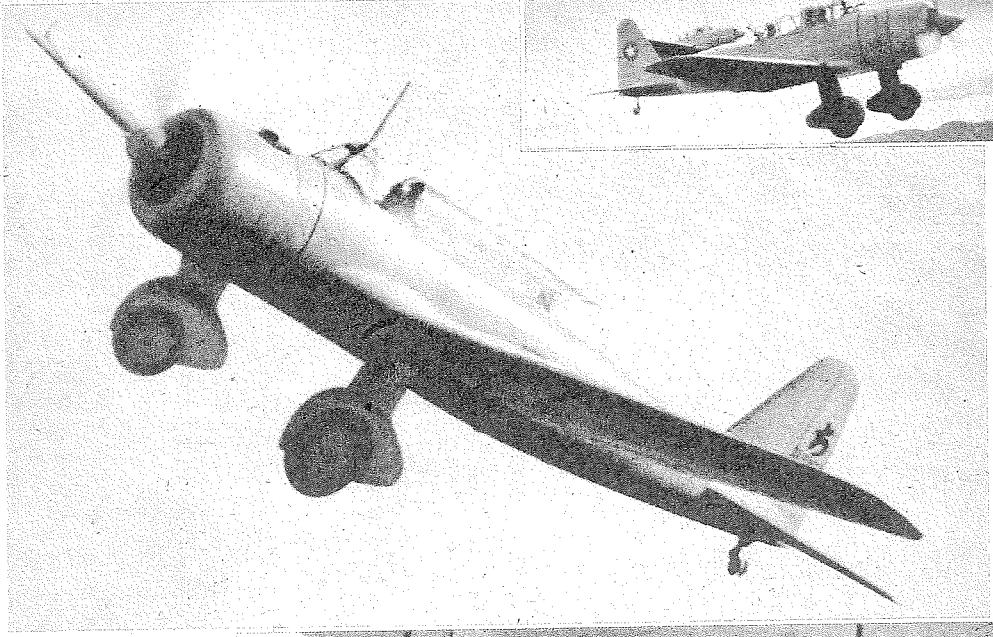
（左）三式戦斗機「飛燕」
太平洋戦争に活躍した日本機中唯一の液冷戦斗機



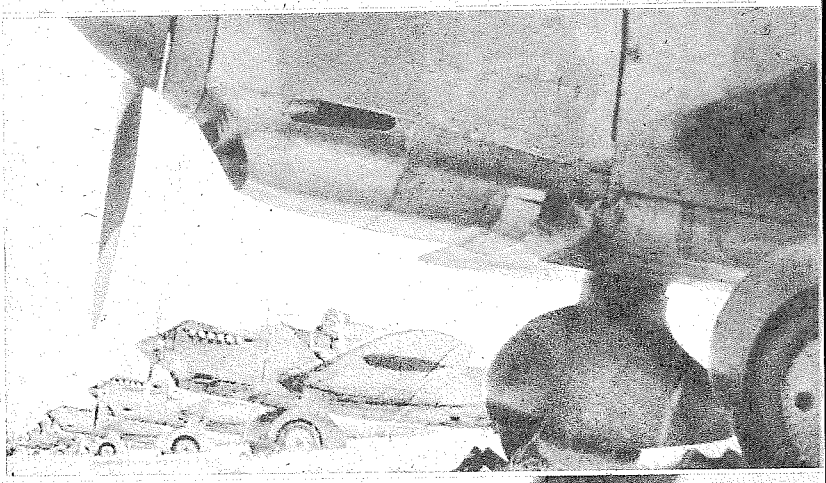
（右）二式双発戦斗機「屠龍」
遠巨離侵攻又は爆撃機邀撃用の重戦

(右)九九式軍偵察機　卓越した操縦性を誇る





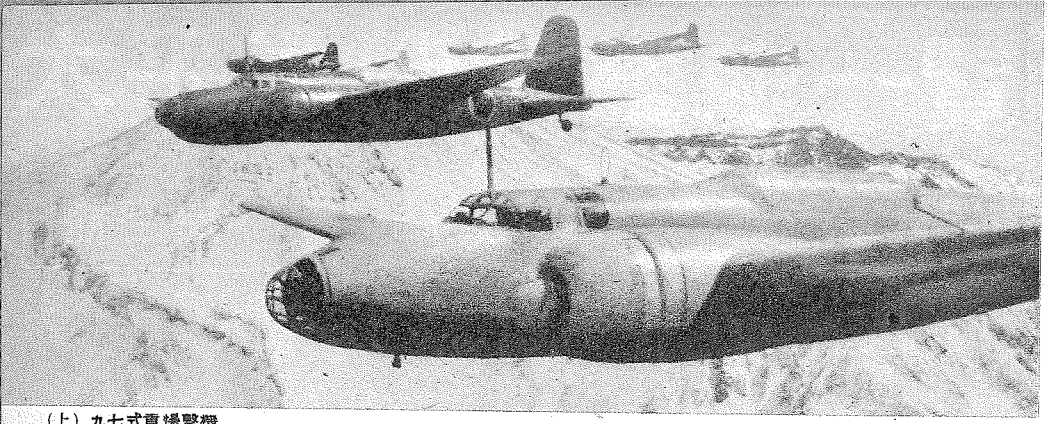
(左)九七式軽爆撃機　支那事変に活躍した



(右)九八式軽爆撃機　主として中國大陸に活躍した

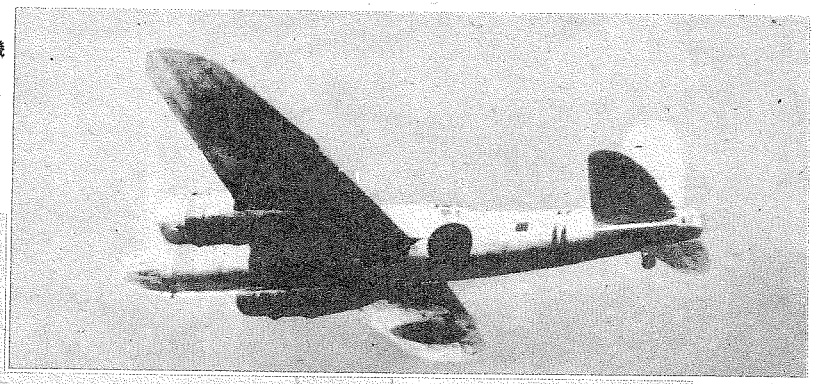
(下)九九式双発爆撃機　中國大陸に於て奮闘した



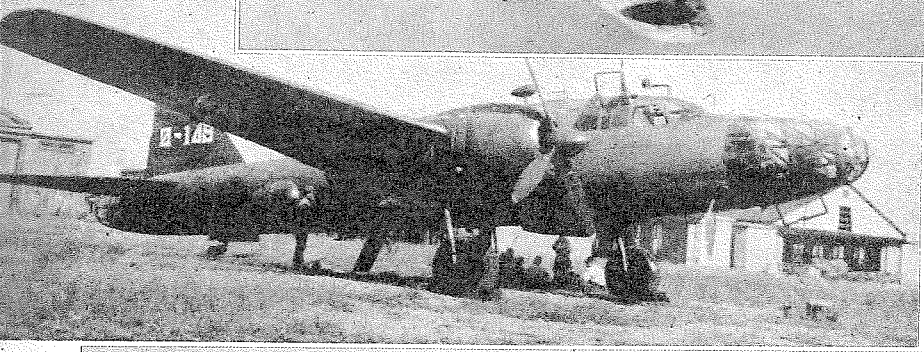


（上）九七式重爆撃機
支那事変から太平洋戦中期まで活躍

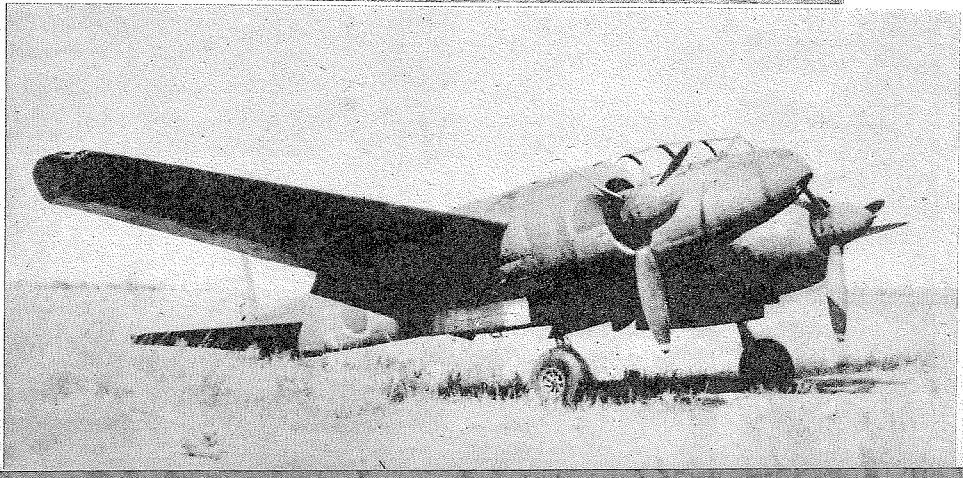
（右）一〇〇式重爆撃機「呑龍」
昭和19年12月14日敵のミンドロ島上陸に際し全機特攻隊として敵艦船に突入した

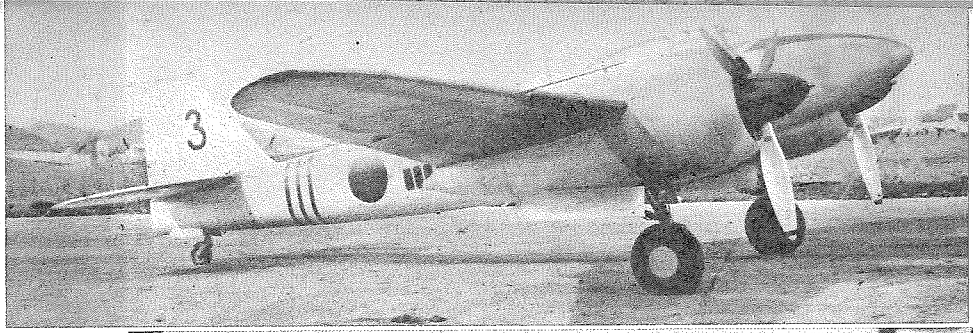


（左）四式重爆撃機「飛龍」
海軍でも「靖国」として使用した傑作機

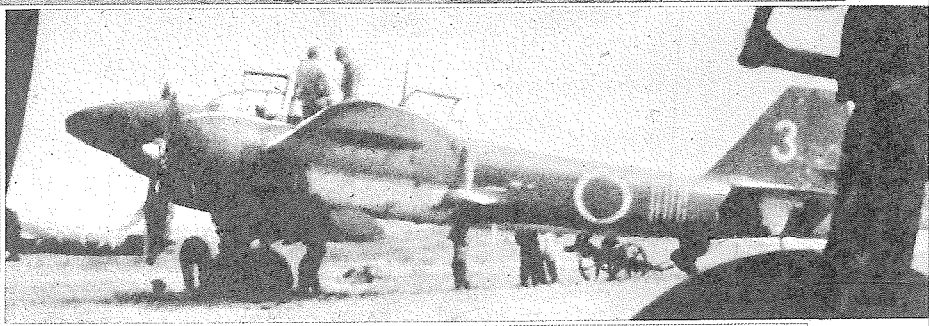


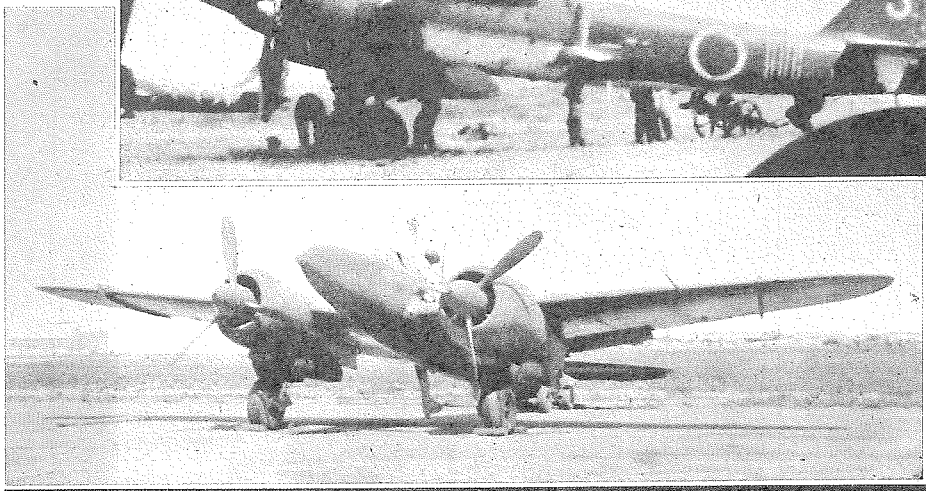
（右）一〇〇式司令部偵察機
戦闘機をしのぐ高速で高々度より東亜全域の写真撮影を敢行して有名となつた



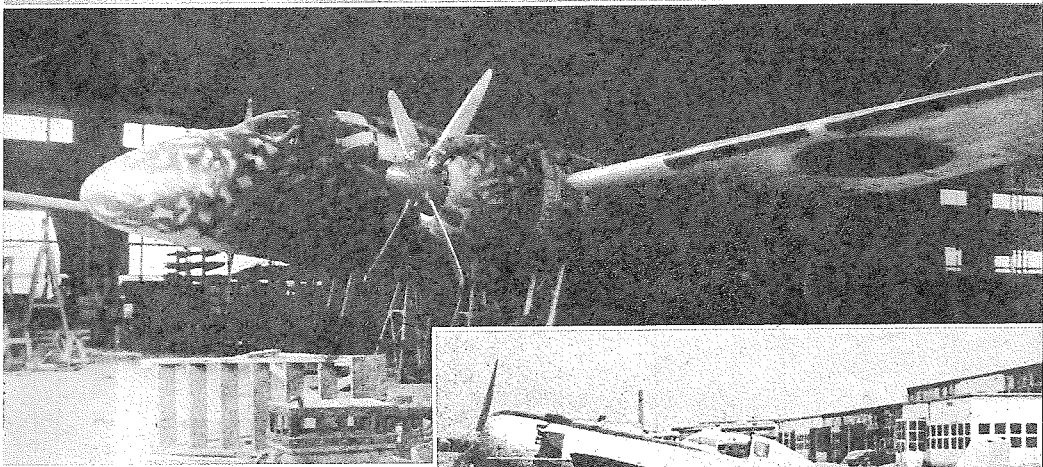


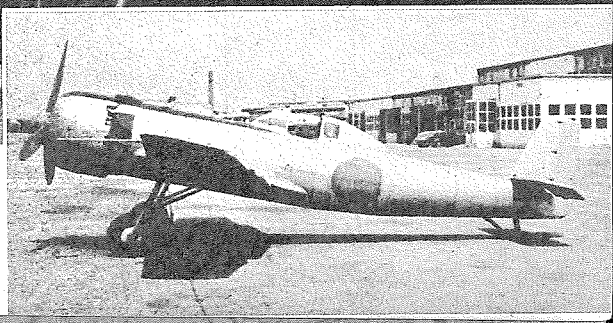
（左）キ－96試作重戦闘機
単座双発戦闘機で三機完成





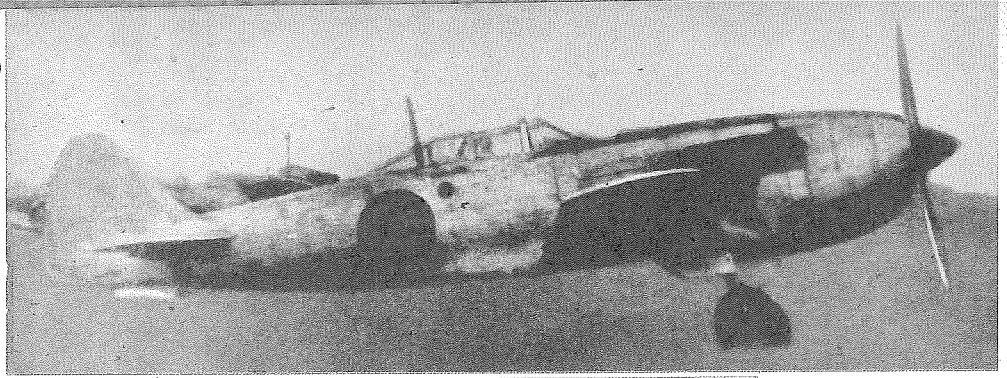
キ－102試作襲撃機（上・左）
キ－96より再出発した襲撃機で機首に57粍の大口径砲を積んでいた



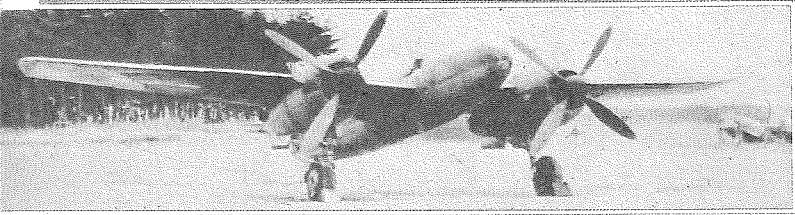


（上）キ－109試作防空戦闘機
四式重爆の機首を改造し7.5糎
高射砲をつけた機体

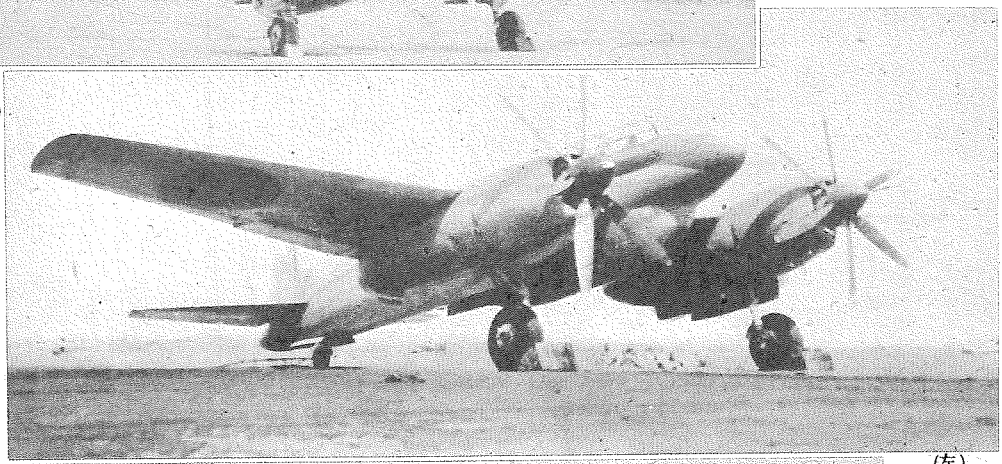
（右）キ－115特別攻撃機



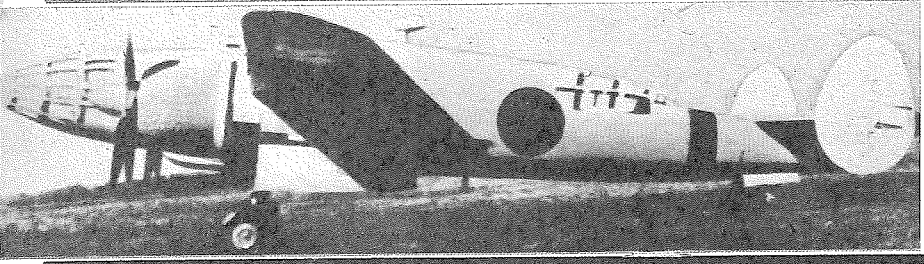
(右) キ—87試作高々度戦闘機



(左) キ—83試作遠距離戦闘機
陸軍唯一の遠距離戦闘機



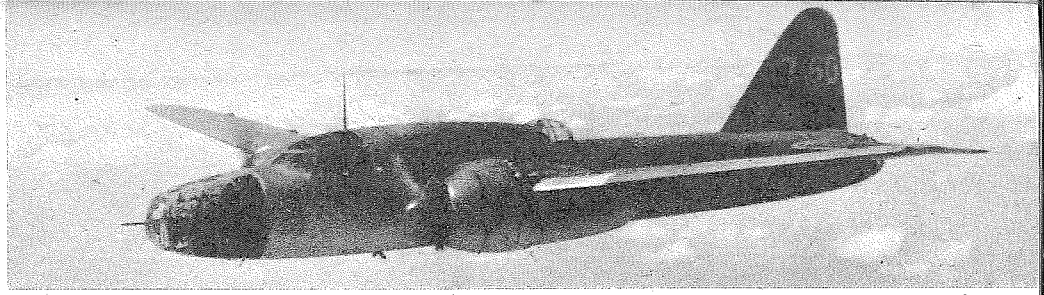
(右) キ—93試作襲撃機 一機のみ完成



(左) キ—70試作司令部偵察機
一〇〇式司偵に代るものとして計画されたが少数の試作に終つた



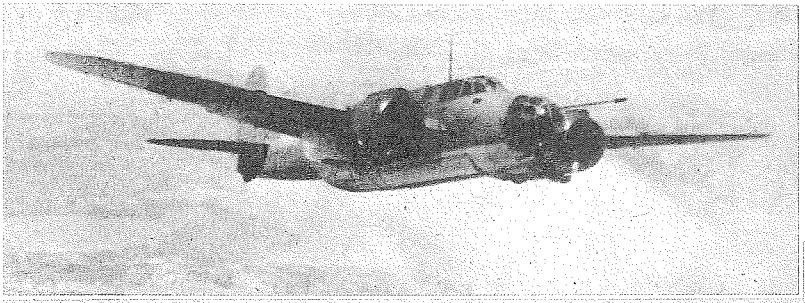
(右) キ—66試作急降下爆撃機

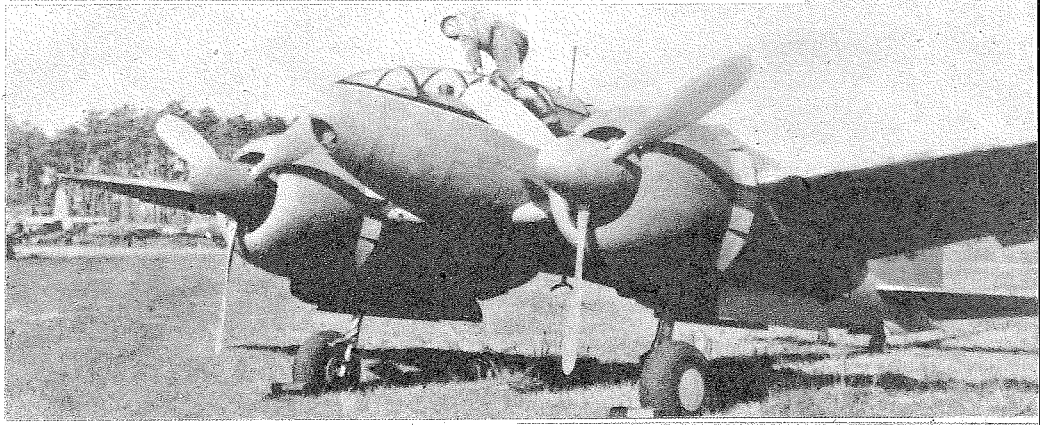


（上）四式重爆撃機「飛龍」

（下）一〇〇式司偵
北京―福生間を平均時速七〇〇粁で飛んだ快速偵察機

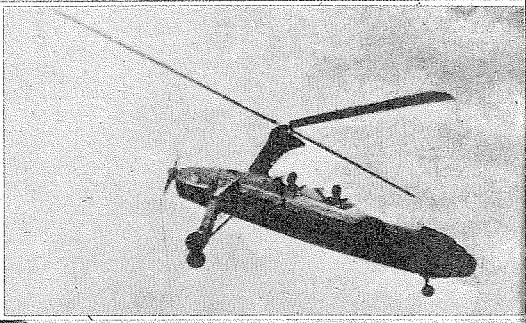
（左）九九式二型Z双発軽爆撃機
60度までの急降下爆撃が行えた

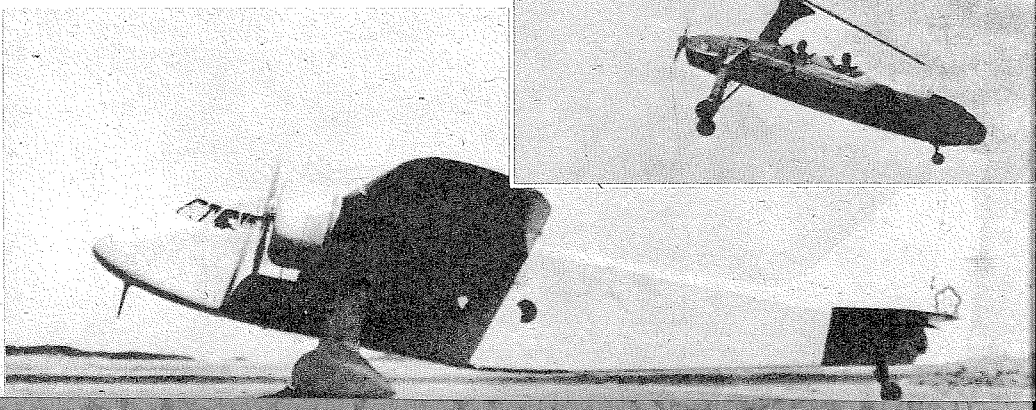


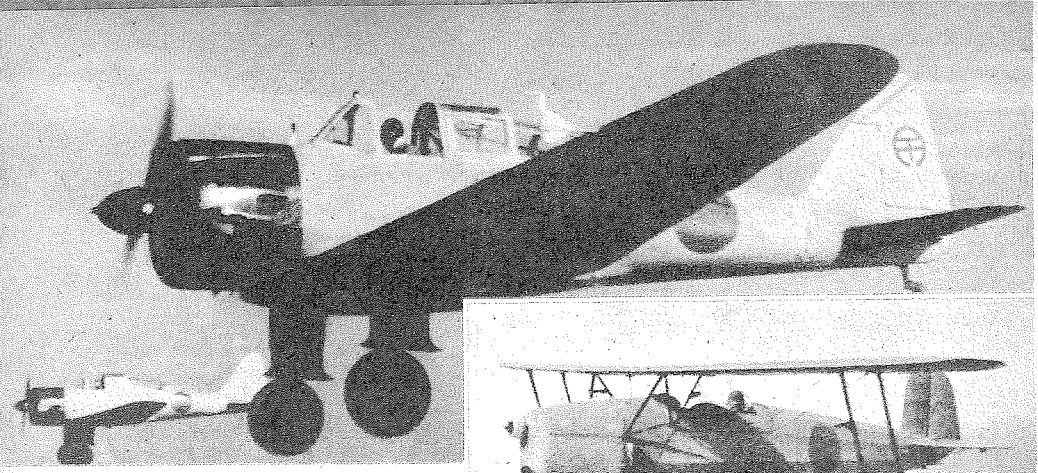


（下）一式輸送機
近距離輸送や機上作業訓練に使われた

（右）カ―1号観測機
偵察観測，対潜警戒に活躍した





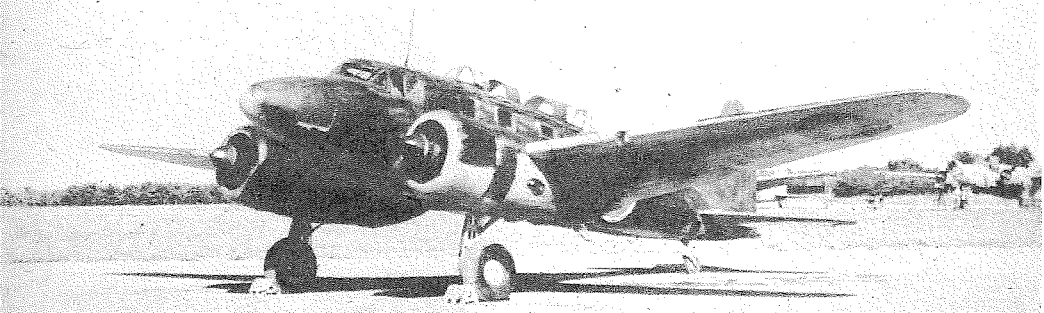


（上）九九式高等練習機

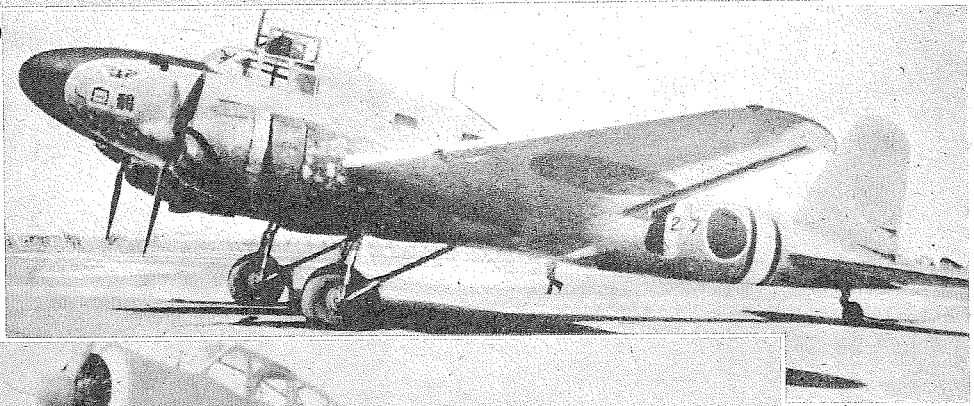
（右）四式基本練習機

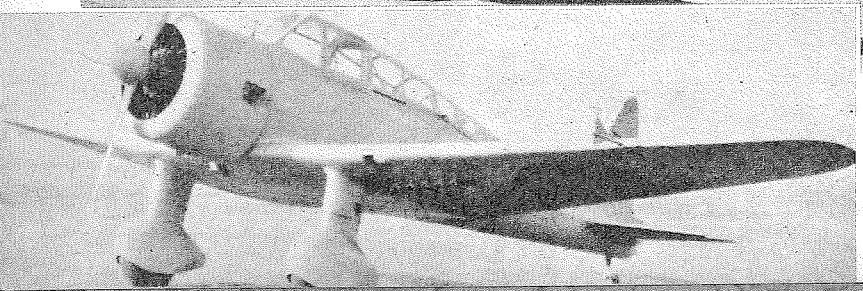
（下）一式双発高等練習機
射撃・偵察・通信・爆撃の練習用



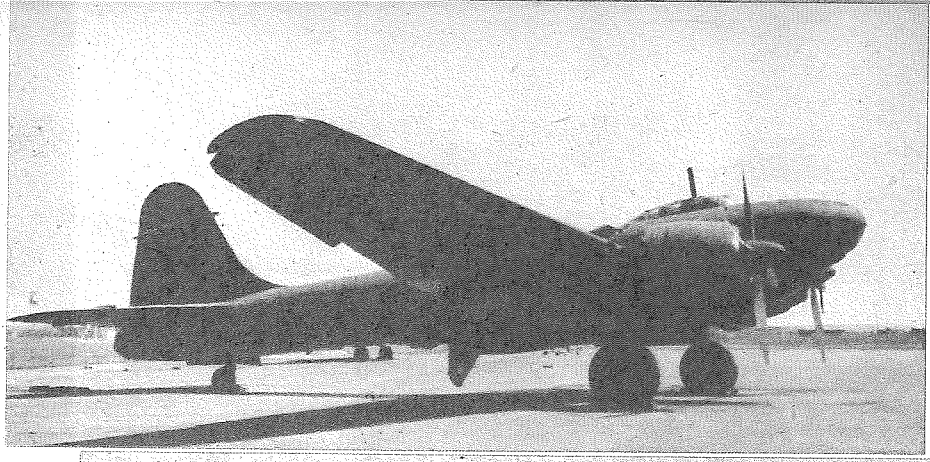


（右）一〇〇式輸送機
民間用にも多数使用され九七式重爆より発達したもの

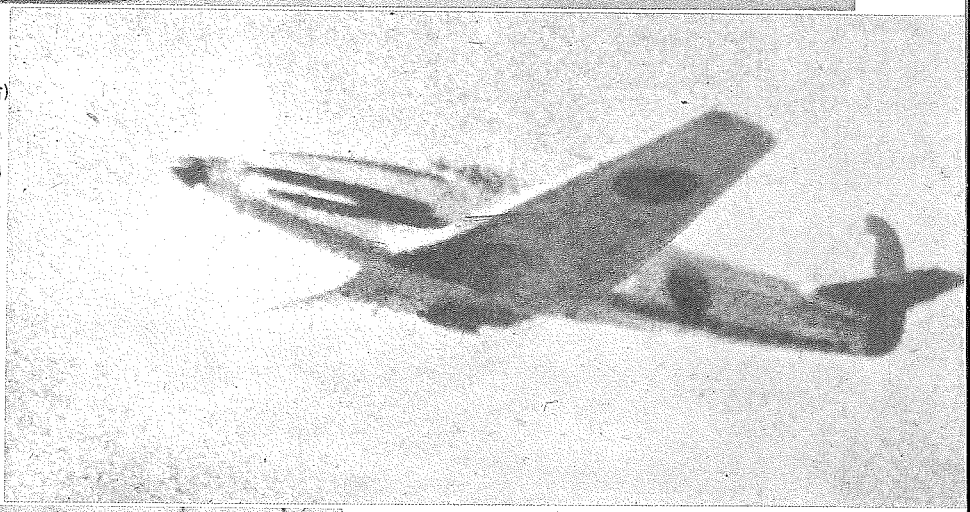




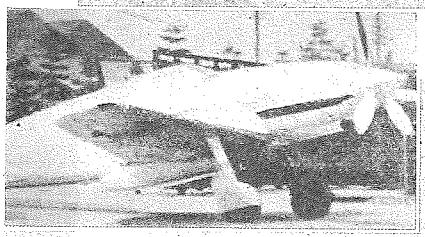
（左）九八式直協機
地上部隊に協力する偵察機で大陸によく使われた



（左）キ—74試作遠距離偵察爆撃機
本土—サイパンの往復爆撃が十分可能であつた

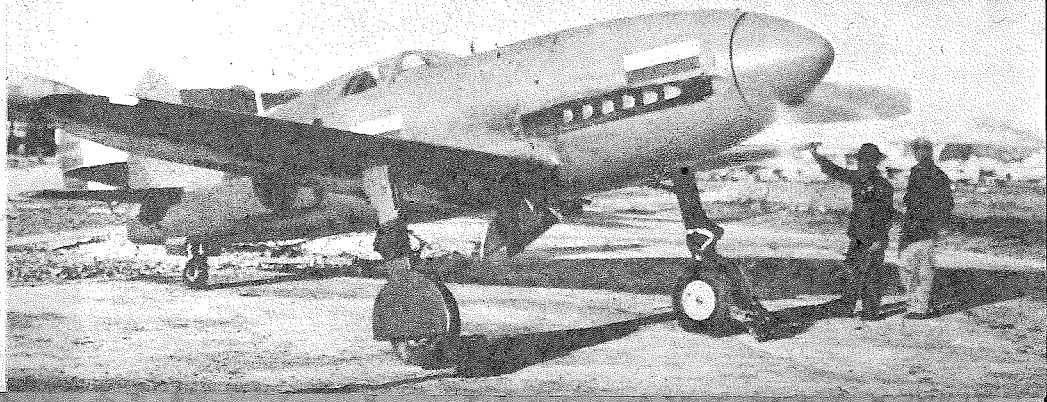


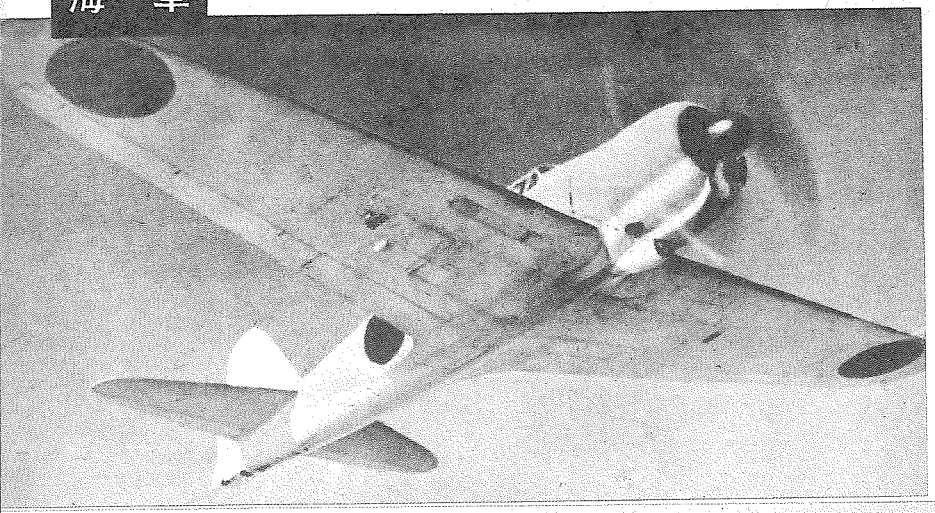
（右）キ—64試作戦闘機
翼表面を冷却器とし胴体内に液冷発動機を二基串型に並べた珍機



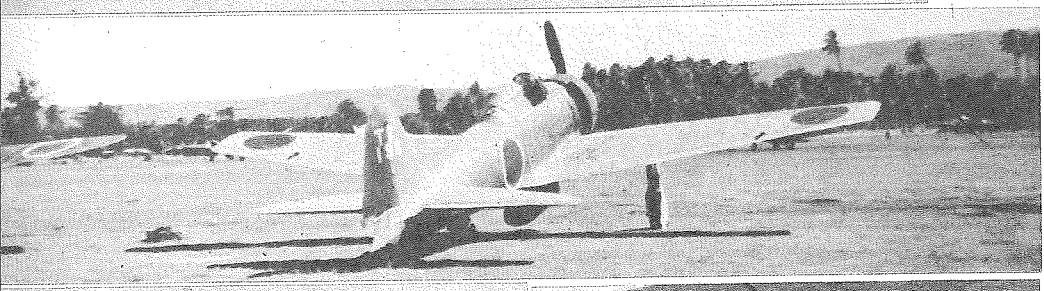
（左）キ—60試作戦闘機

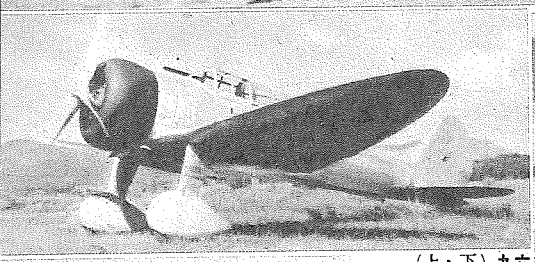
（下）キ—78高速度研究機
視界は悪かつたが速度上昇力は日本一だつた

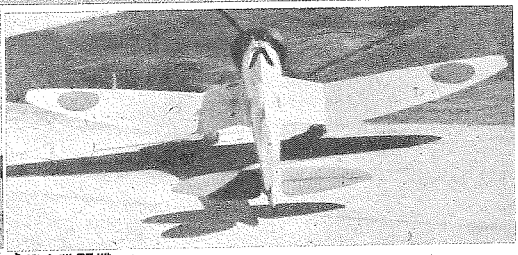




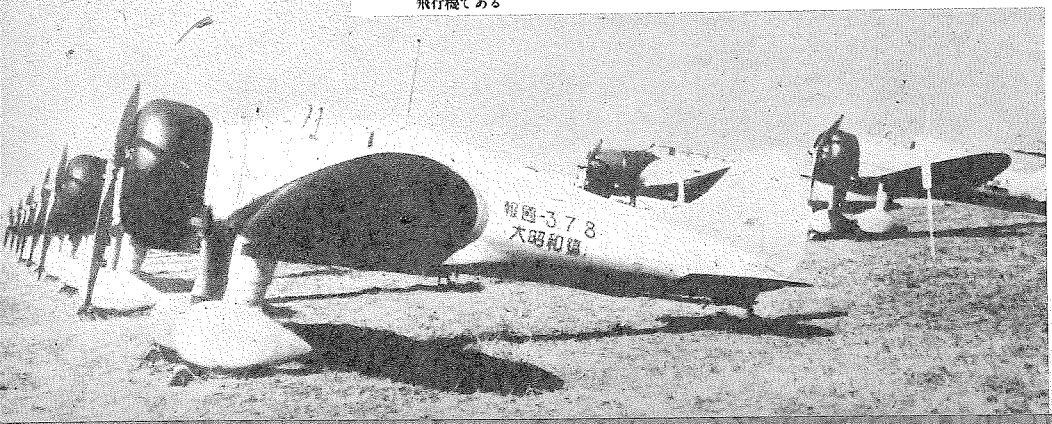
零式艦上戦闘機（左・下）
世界に優秀性をとどろかした艦上戦闘機でハワイ海戦以来西南太平洋をあばれ廻つた



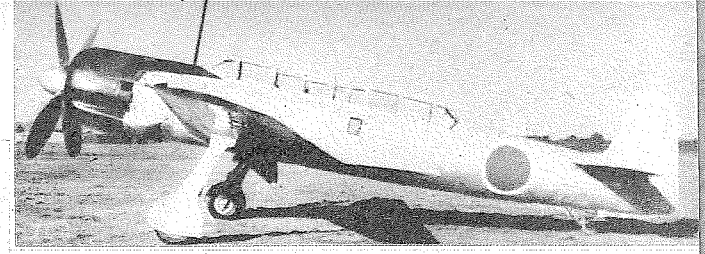


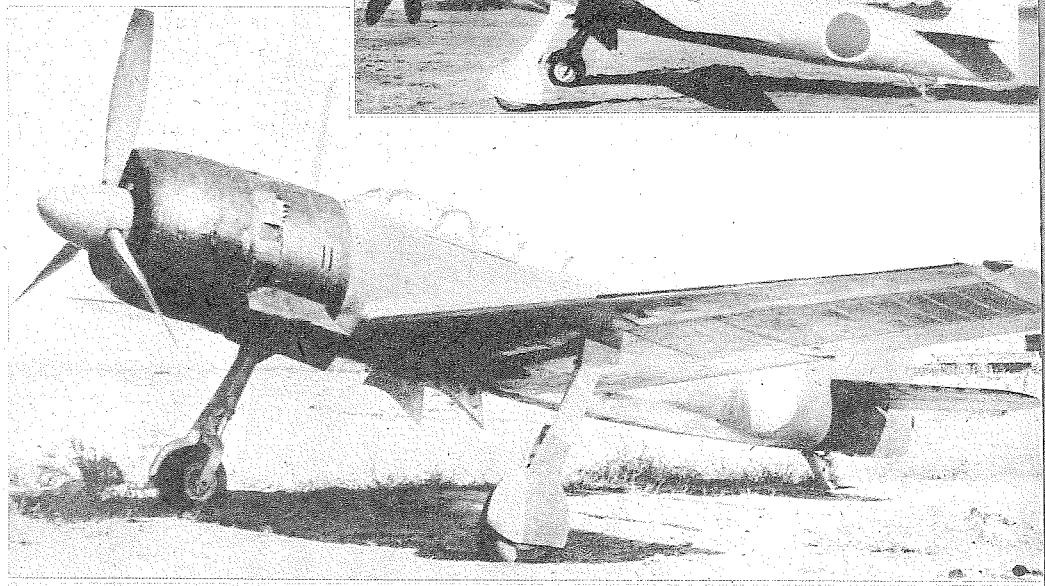


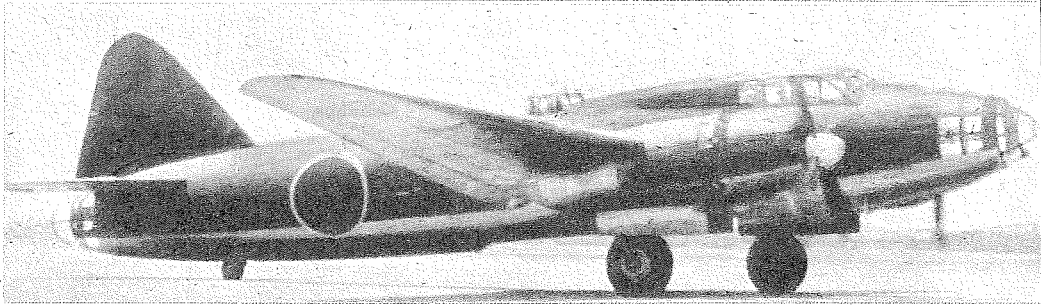
（上・下）**九六式艦上戦闘機**
近代的日本軍用機の
先駆をなした輝かしい
飛行機である



（右・下）**艦上偵察機「彩雲」**
陸軍の新司偵と共に時速600km以上の高速で
敵要地の偵察に活躍した本格的艦上偵察機

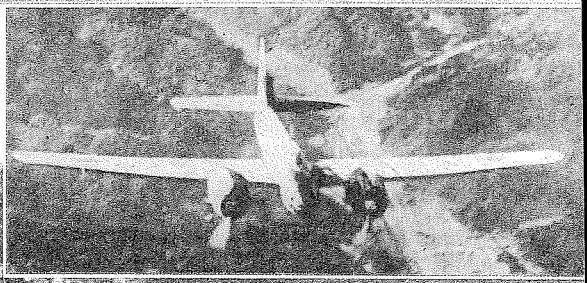


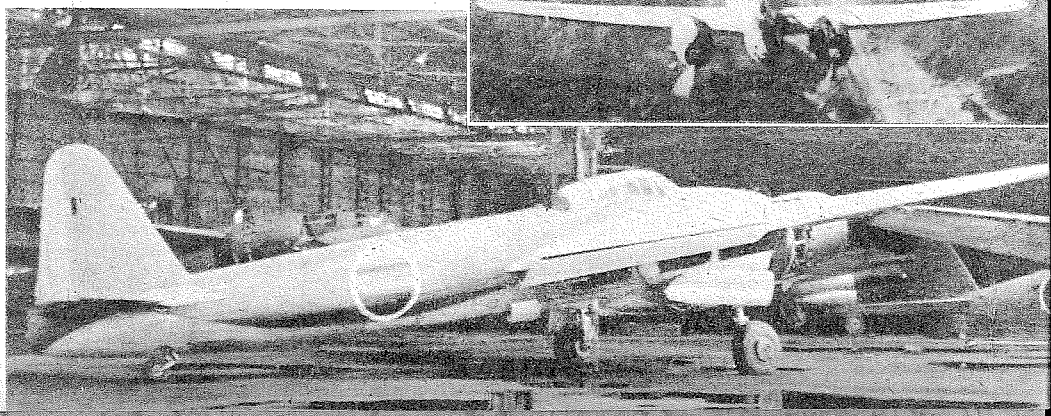


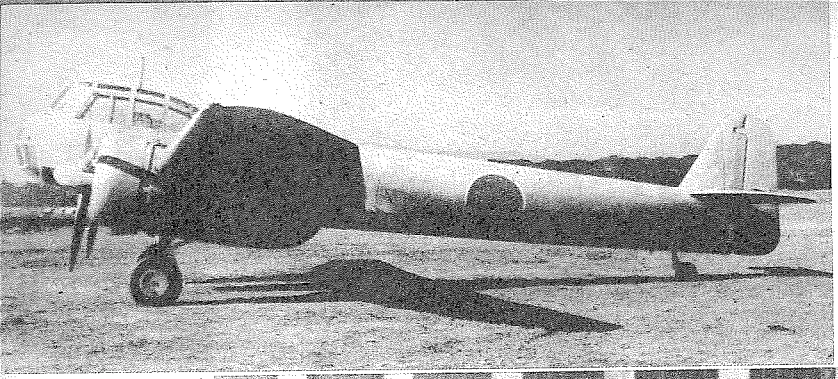


（上）**一式陸上攻撃機**
4発に匹敵する航続力と武装を要求された攻撃機で爆撃
雷撃行に広く用いられ世界にその名を轟かした

（右・下）**陸上爆撃機「銀河」**
高速度急降下爆撃機として期待された海軍のホープ

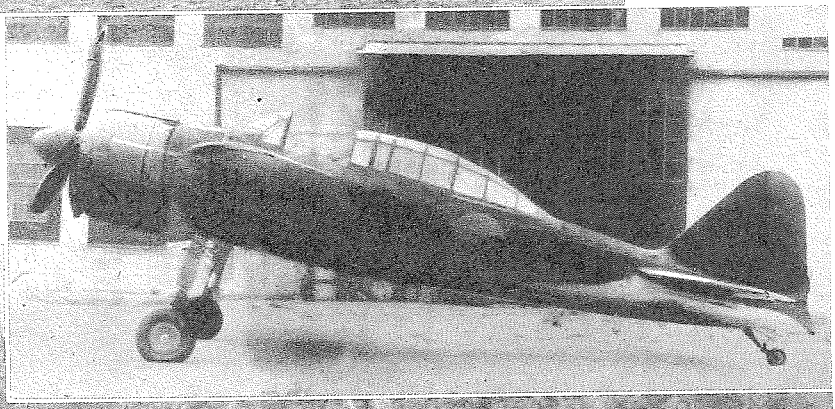




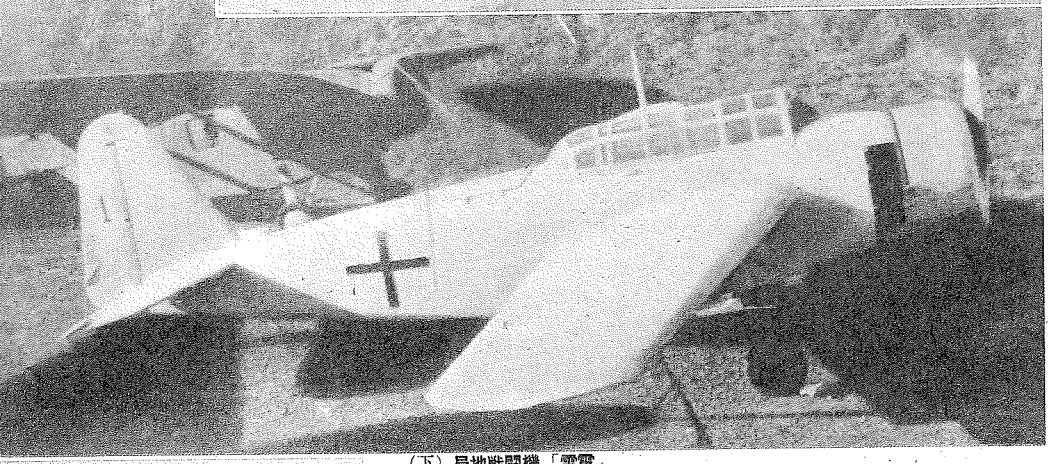


（左）陸上哨戒機「東海」
敵潜水艦の探索攻撃機

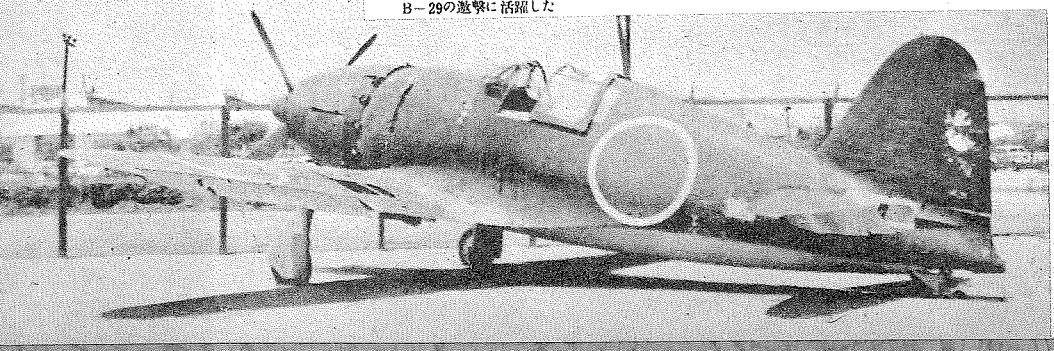
（下）零式戦闘練習機
零戦を改造した練習機

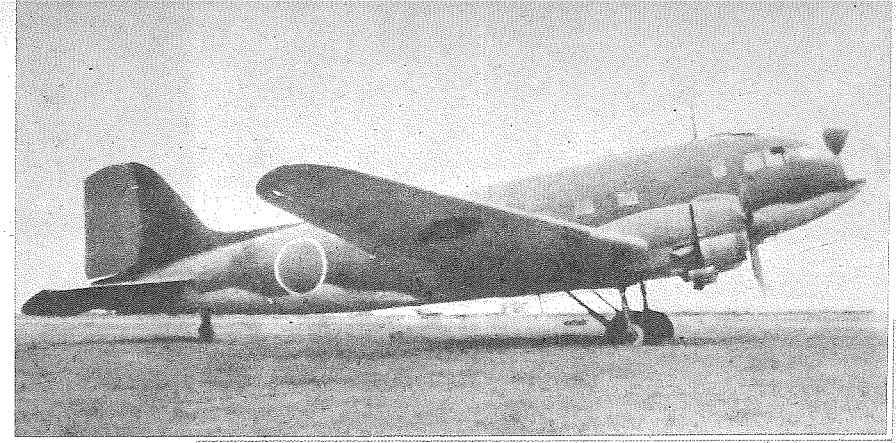


（下）機上作業練習機
「白菊」

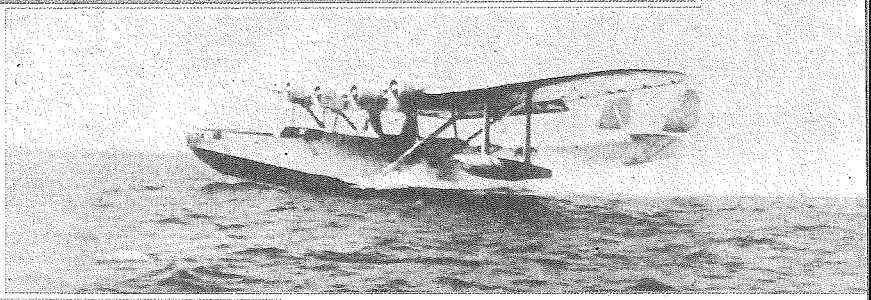


（下）局地戦闘機「雷電」
海軍最初の局地戦闘機で速度と上昇力を誇り
B－29の邀撃に活躍した

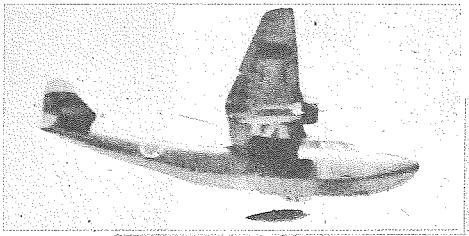




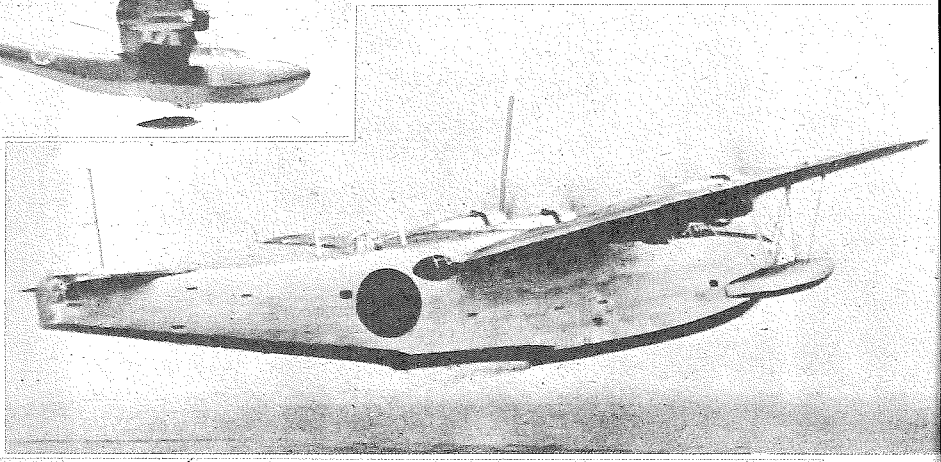
(左) **零式輸送機**
上方に銃座をつけた機体



(右) **九七式大型飛行艇**
哨戒雷撃輸送に活躍　低速のためよく撃されたが水上安定は優秀であった



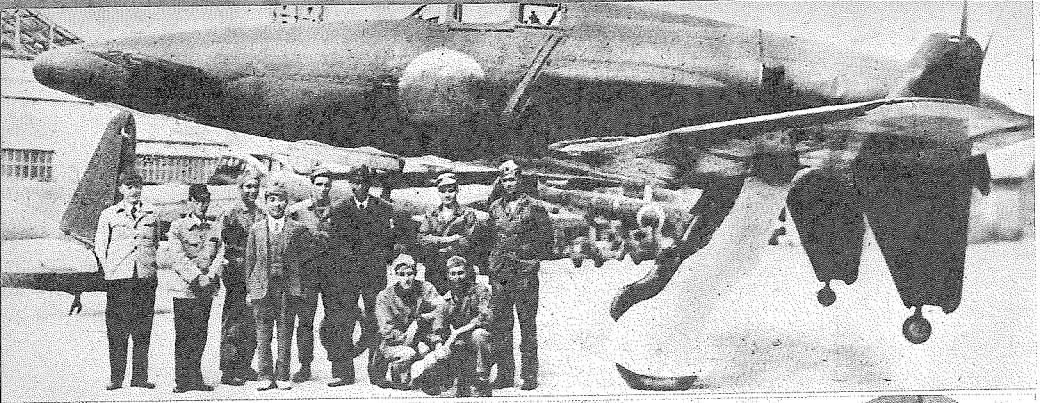
(下) **二式大型飛行艇**
ハワイ爆撃を敢行したのは本艇で空中性能は優秀だった



(上) **二式練習飛行艇**

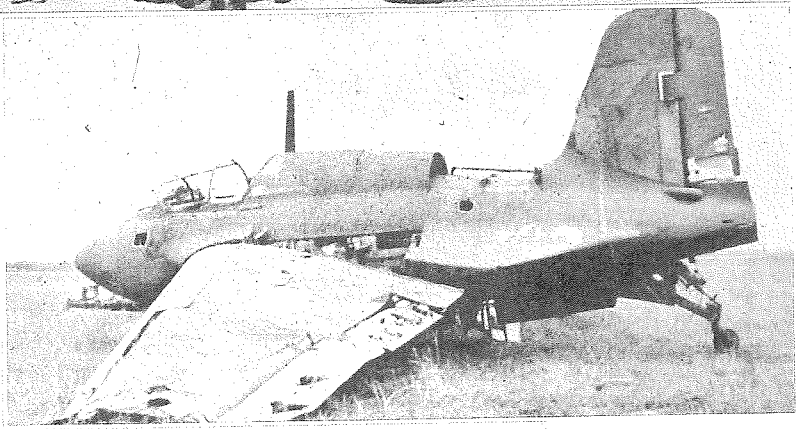


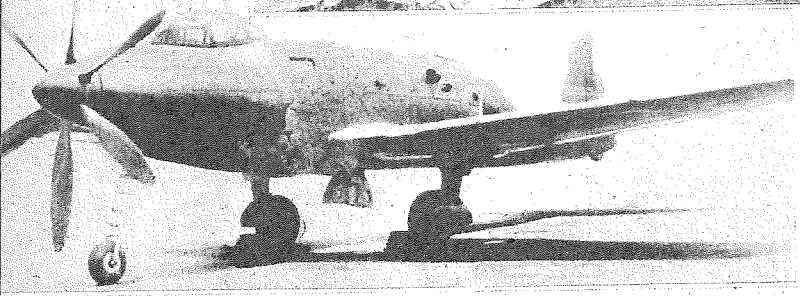
(左) **九九式中型飛行艇**
実戦には殆んど使われなかった



(上) **18試局地戦闘機「震電」**
先尾翼式の邀撃戦闘機

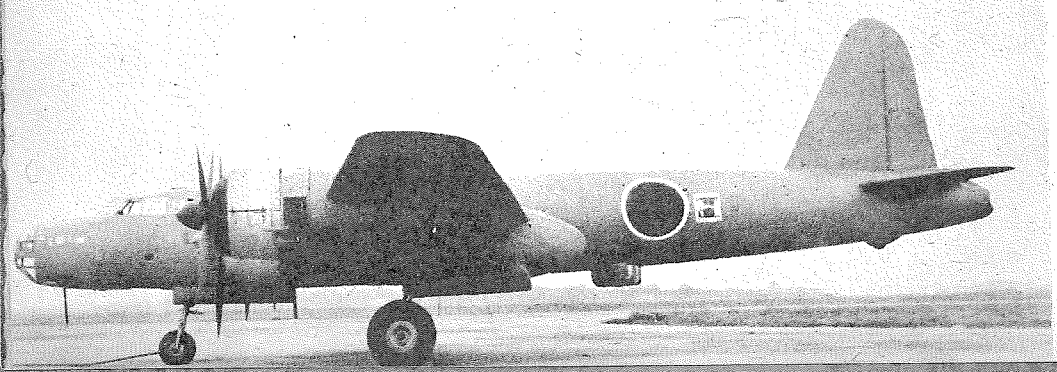
(右) **局地戦闘機「秋水」**
ロケット装備で一万米まで三分という機体



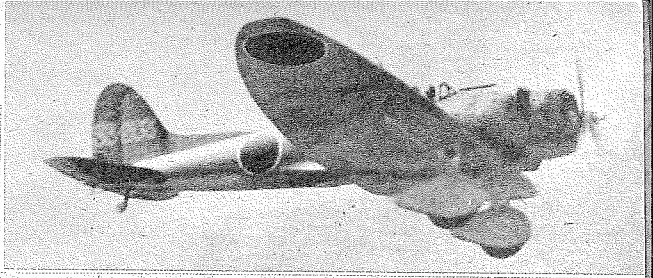


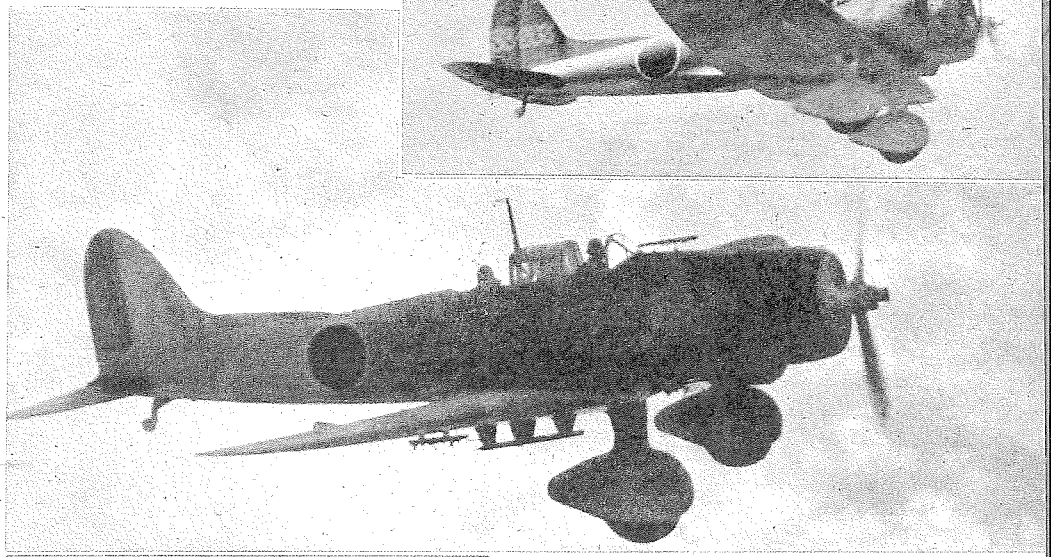
(下) **17試大型陸上攻撃機「連山」**
日本航空技術の粋を集めて試作された長距離攻撃機

(左) **18試陸上偵察機「景雲」**
試験飛行中終戦になった

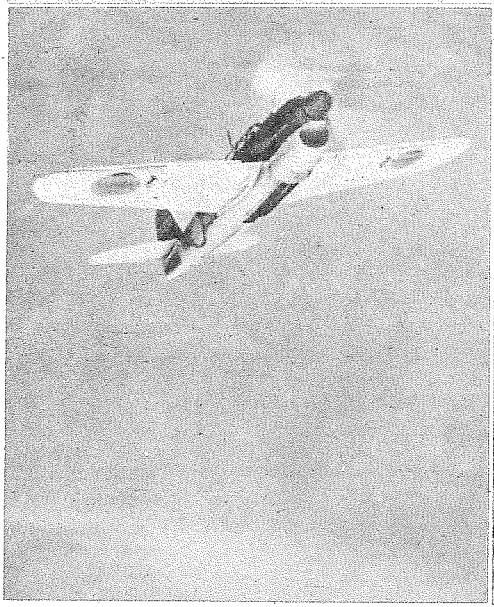


（右・下）**九九式艦上爆撃機**
ドイツのユンカースＪＵ―87をしのぐ急降下爆撃機で実用性が高く評価されている

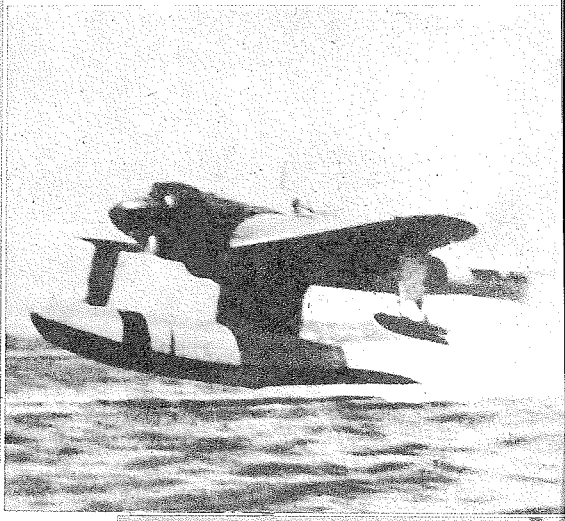




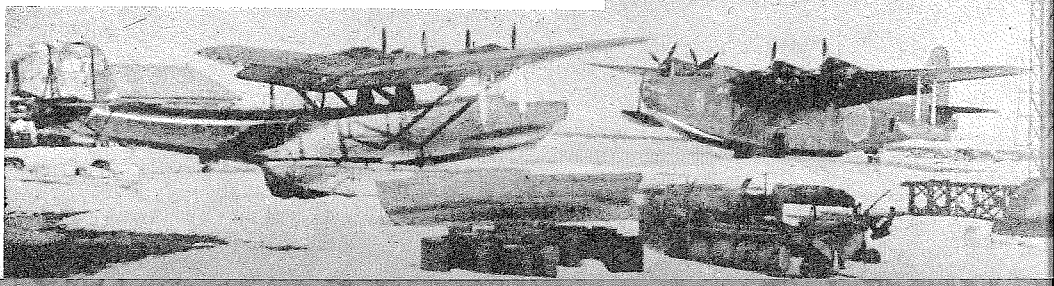
（左）**艦上爆撃機「彗星」**
性能極めて優秀

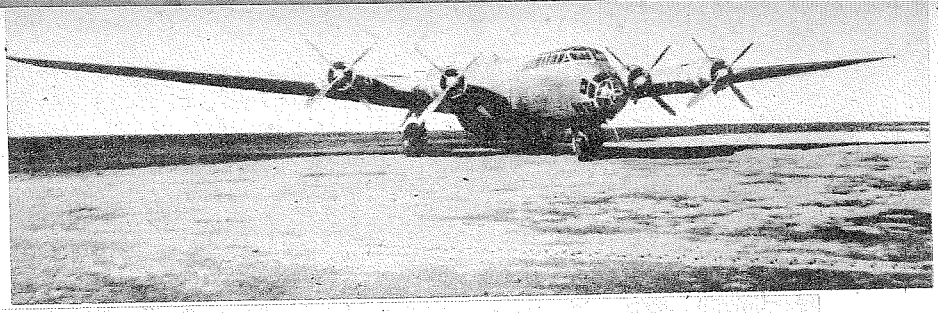


（下）**高速水上偵察機「紫雲」**
翼端フロートを引込め緊急時には主フロートを落すことが出来る強行偵察機

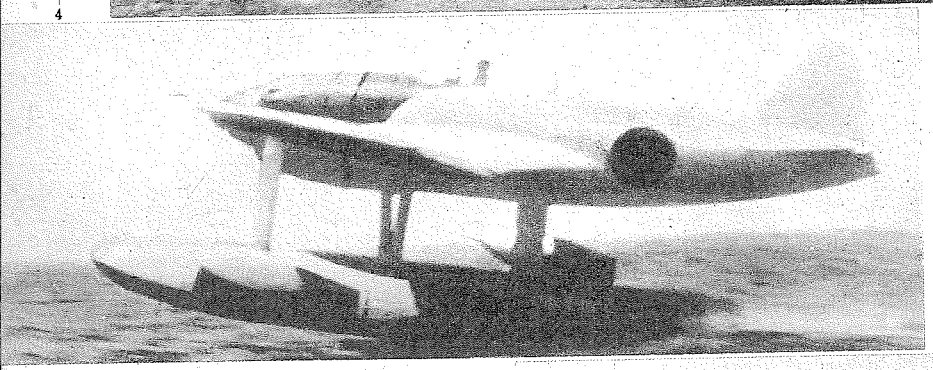


（下）**九七式大型飛行艇**



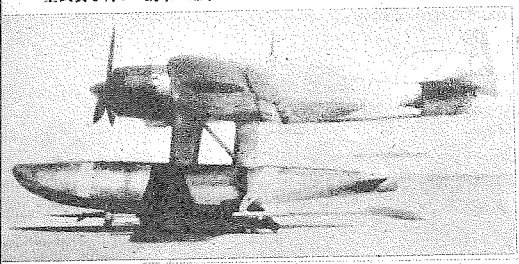


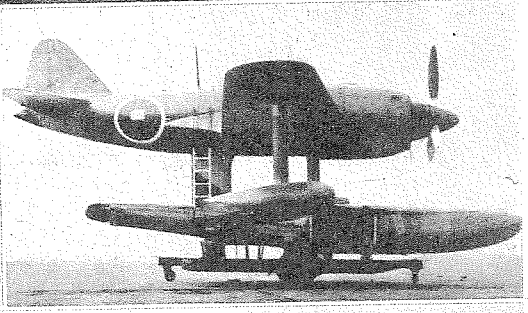
（右）13試大型陸上攻撃機「深山」
アメリカから輸入したダグラスDC－4をもとに試作した四発攻撃機



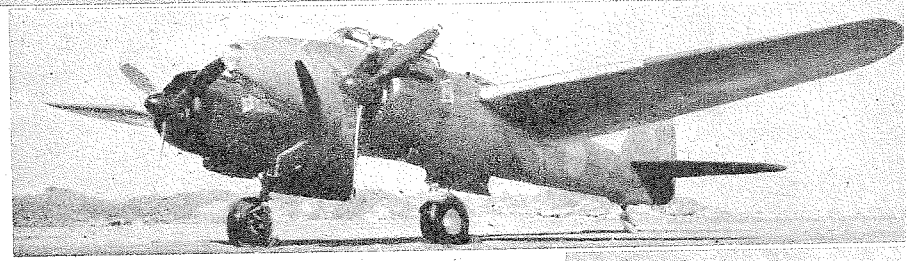
水上戦闘機「強風」（左・下）
本格的な水上戦闘機であったが戦局の関係でパッとしなかった

（下）海軍水上偵察機「瑞雲」
重武装を利して銃撃や爆撃に使用

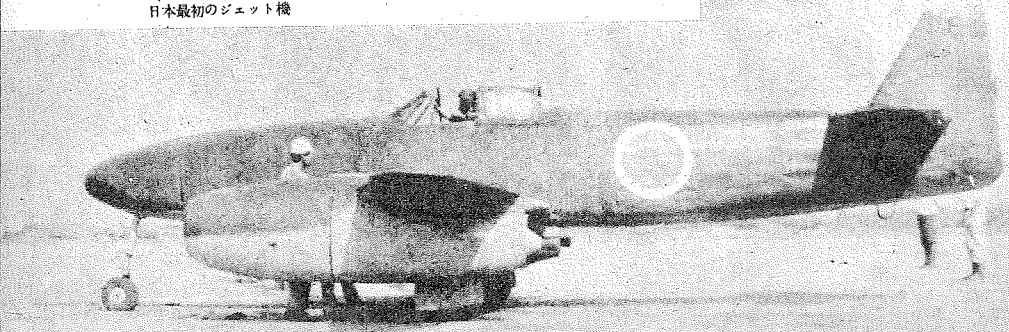


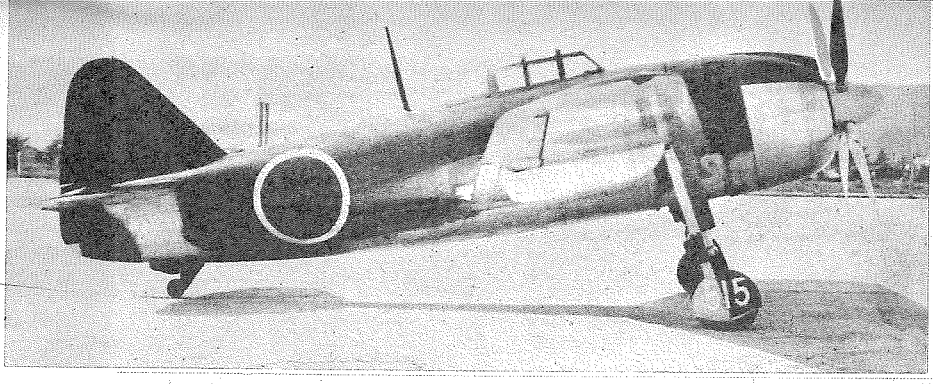


（右）夜間戦闘機「月光」
ラバウル夜戦以来斜銃をつけて夜間防空に活躍した

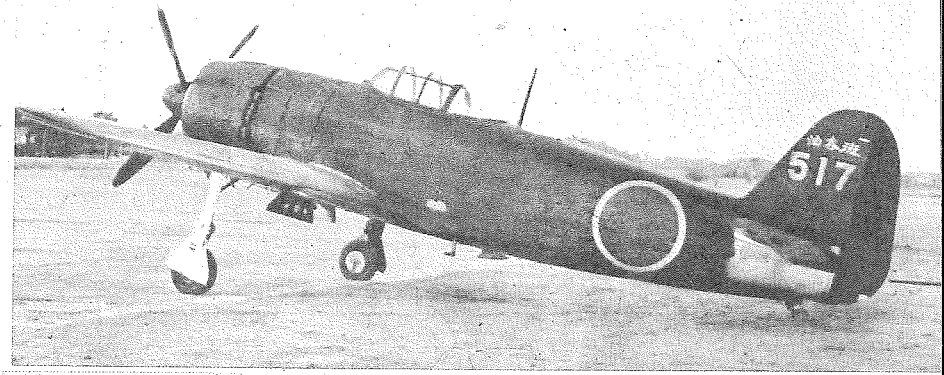


（下）特殊攻撃機「橘花」
日本最初のジェット機



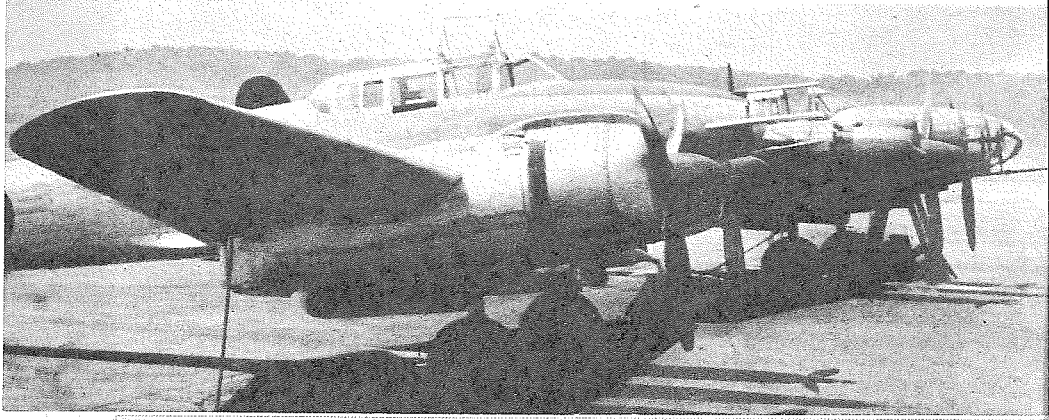


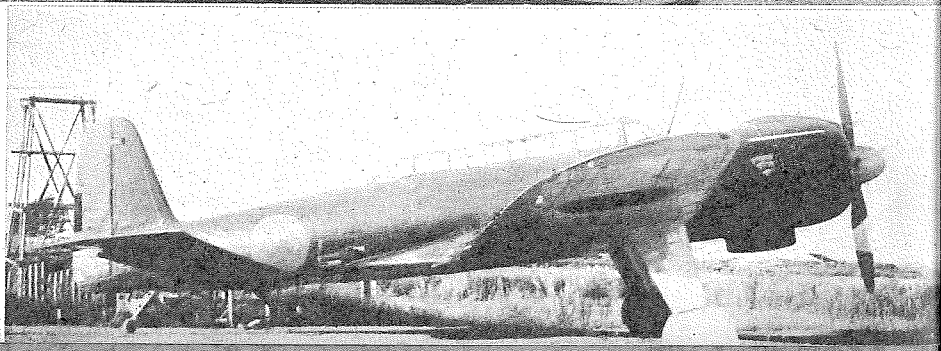
（左）局地戦闘機「紫電」「強風」より出発した戦闘機で燃えにくいので好評だった



（右）局地戦闘機「紫電改」「紫電」の改造機でグラマンF6Fと互格に戦った優秀機

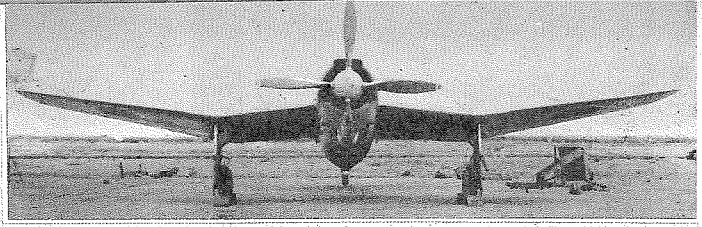
（下）夜間戦闘機「月光」

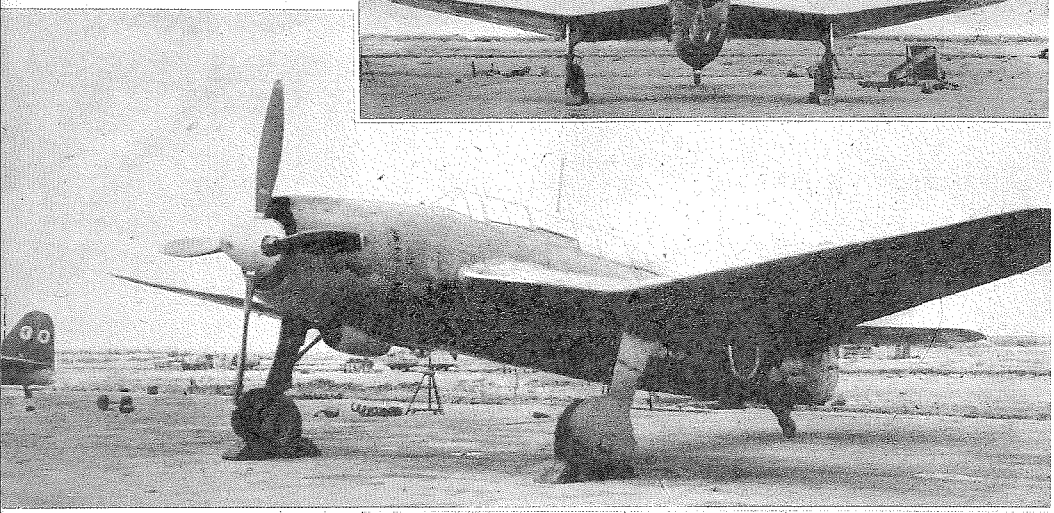




（右）艦上攻撃機「天山」フーゲンビル島沖海戦以来活躍し好評だった

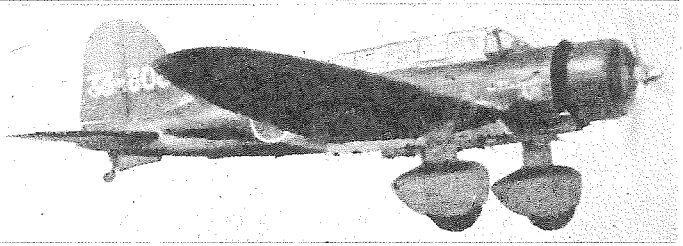
（右・下）艦上攻撃機「流星」
零戦並みの高速ぶりを発揮した艦攻で急降下爆撃も行つた

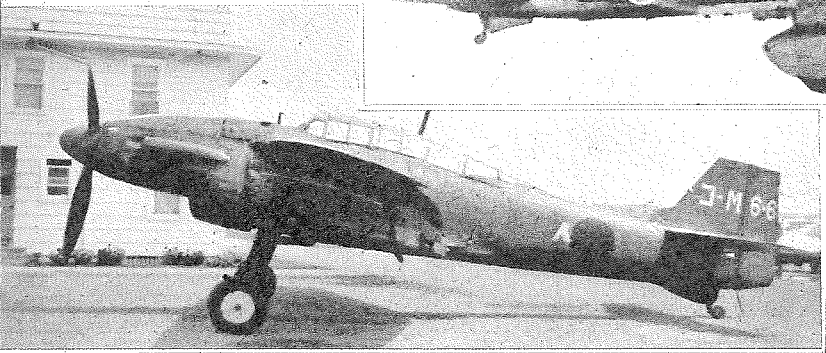




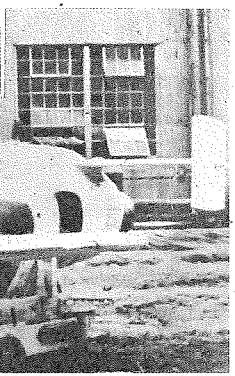
（右）九七式2号艦上攻撃機
少数機しか作られなかつたが取扱いは容易

（下）特殊爆撃機「南山」
フロートをつけた「晴嵐」の試験機

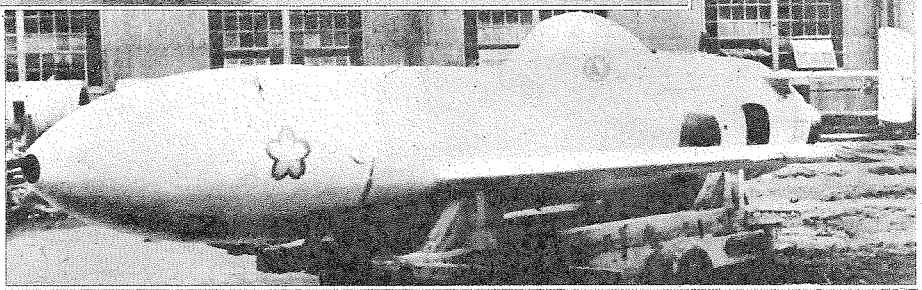


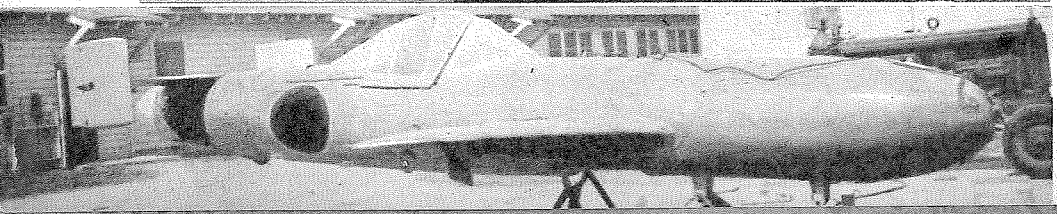


（下）桜花22型
人間爆弾とも云える特攻機

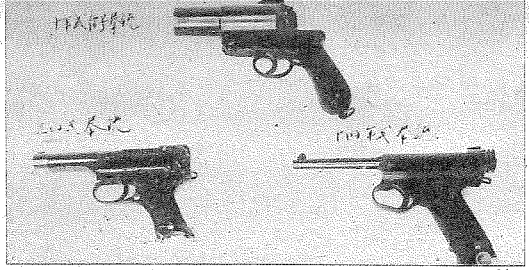


（下）桜花11型
特攻機として一式陸攻の胴下に抱かれて出撃した

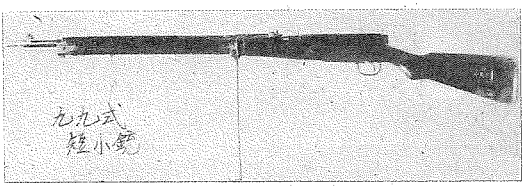




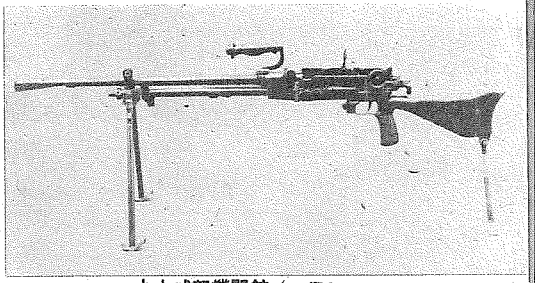
太平洋戦争
陸軍兵器一覧



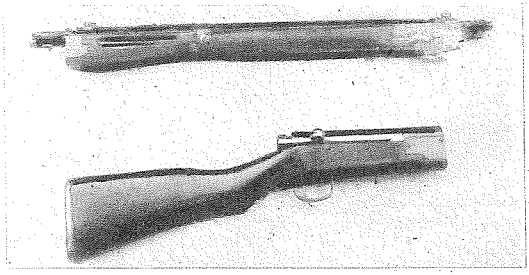
（上）十年式信号拳銃（左）九四式拳銃（右）十四年式拳銃



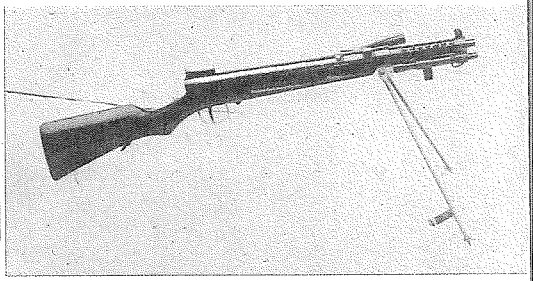
九九式短銃身脚付小銃（口径7.7粍）



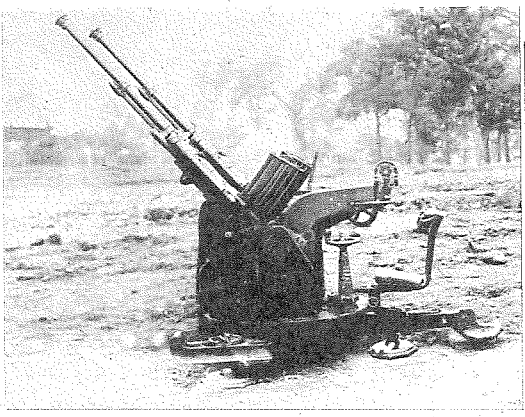
九九式軽機関銃（口径7.7粍）



九九式（テラ銃）落下傘部隊用小銃



バレンバン奇襲に用いた一〇〇式機関短銃



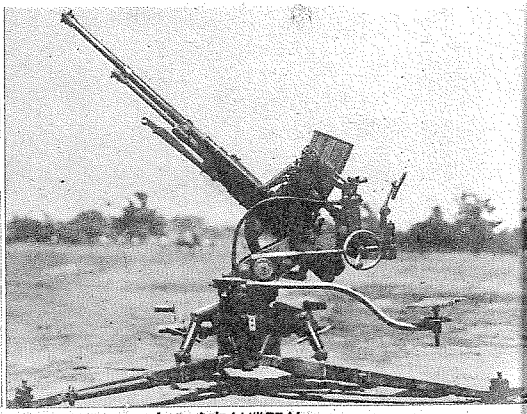
双連20粍高射機関砲（ソキ砲）



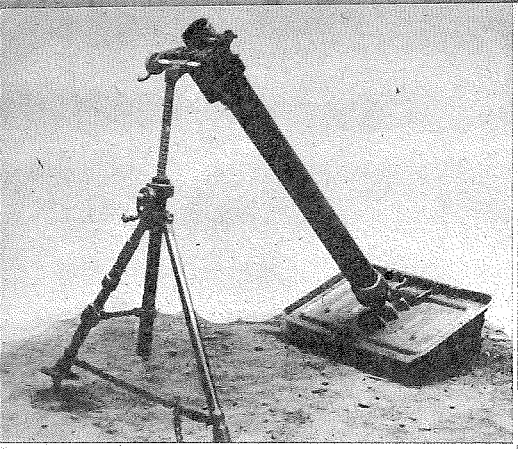
九二式機関銃（口径7.7粍）



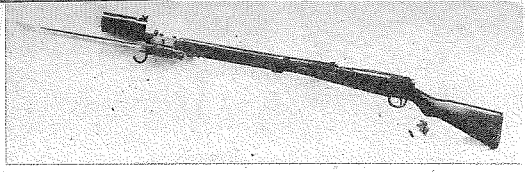
九九式落下傘投下用兵器



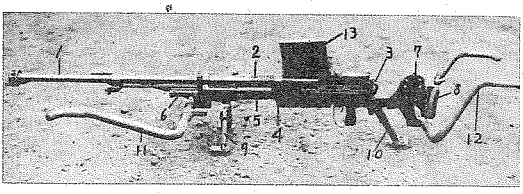
九八式高射機関銃



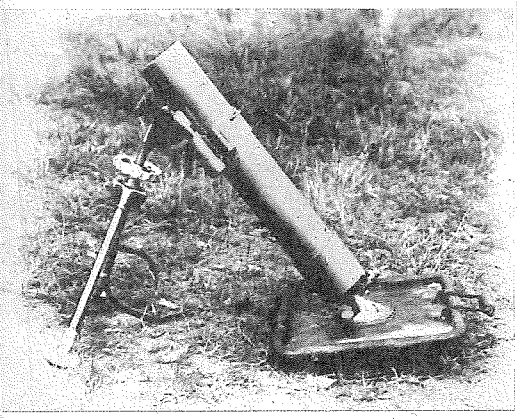
九七式曲射歩兵砲（81粍



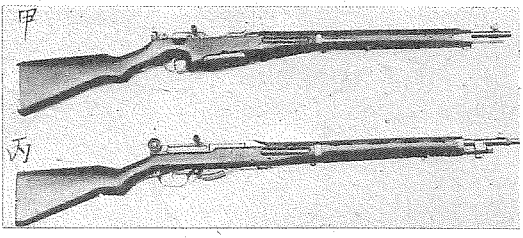
小銃に装備した擲弾器



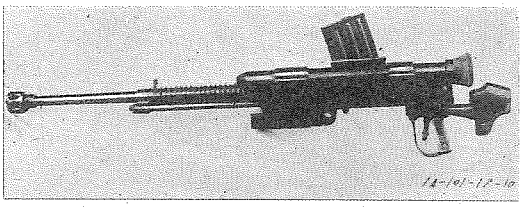
九七式20粍自動砲



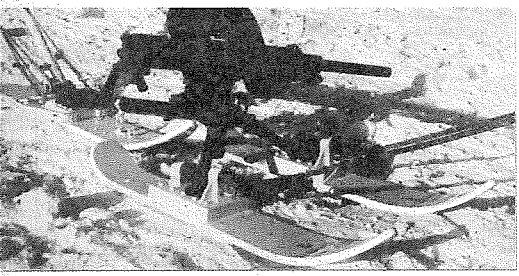
九七式軽迫撃砲（90粍）



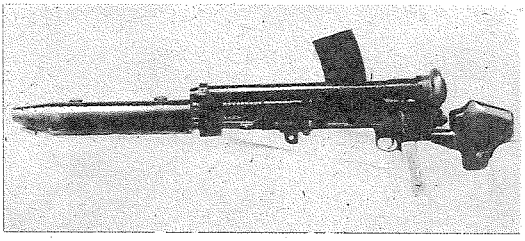
造兵廠案の自動小銃



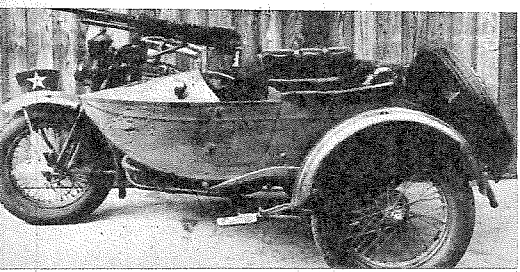
九二式車載13粍重機関銃



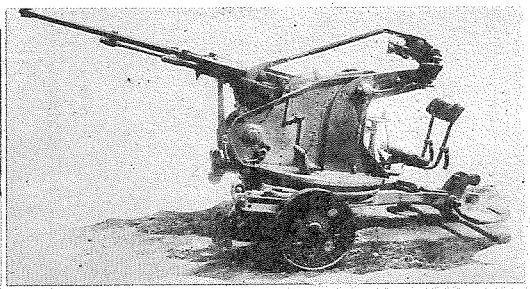
重機を装備した橇



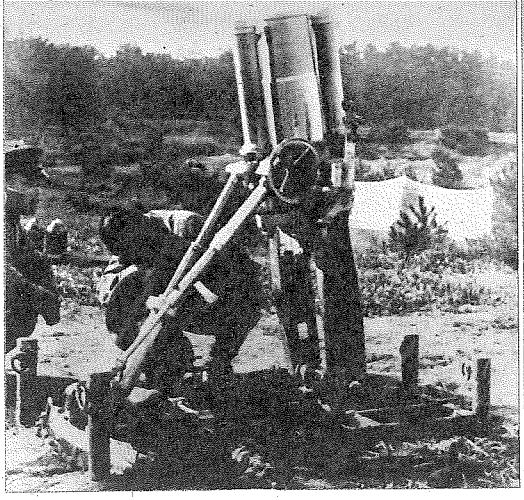
九七式車載7.7粍機関銃



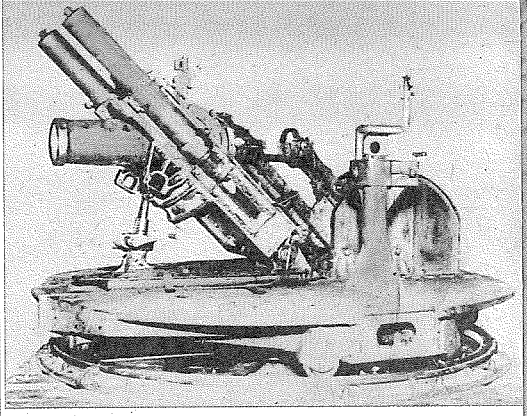
サイドカーに搭載した機関銃



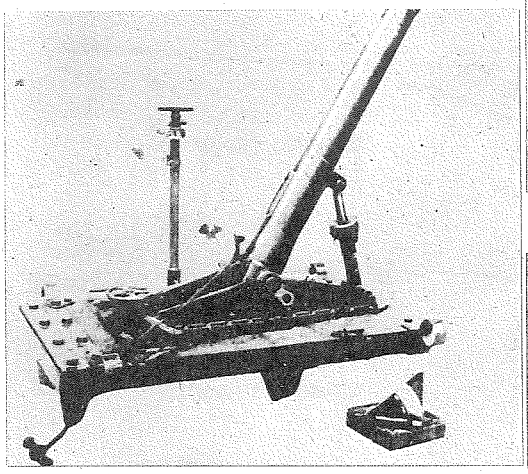
二式多連高射機関砲（20粍）



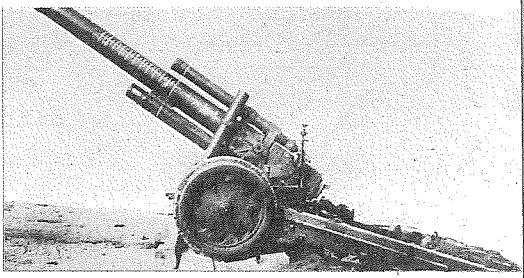
九〇式軽迫撃砲（150 粍）



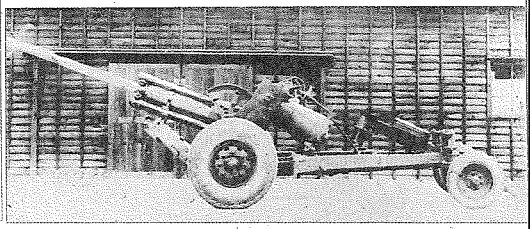
十四年式中迫撃砲



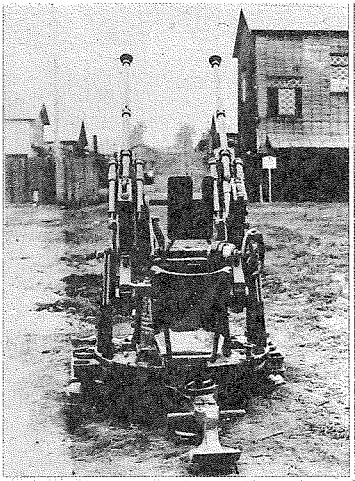
十一年式曲射歩兵砲（70粍）



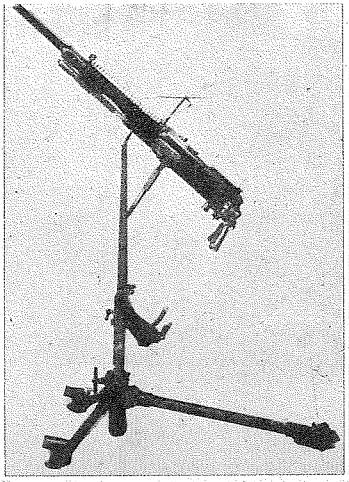
試製20糎臼砲



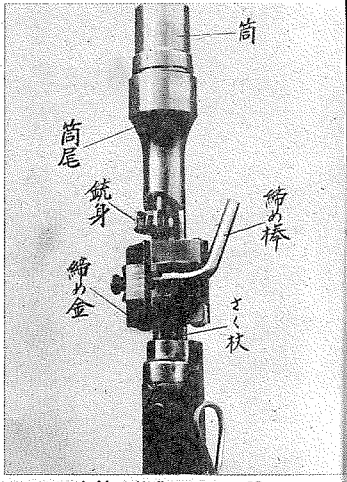
試製基筒7糎高射砲



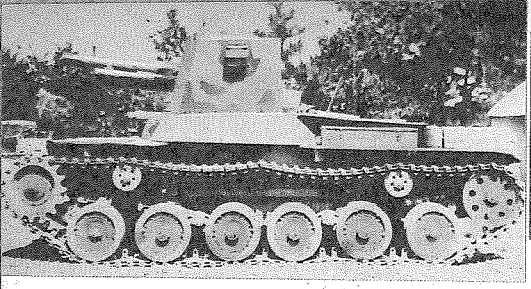
双連20粍高射機関砲



重機関銃の高射姿勢



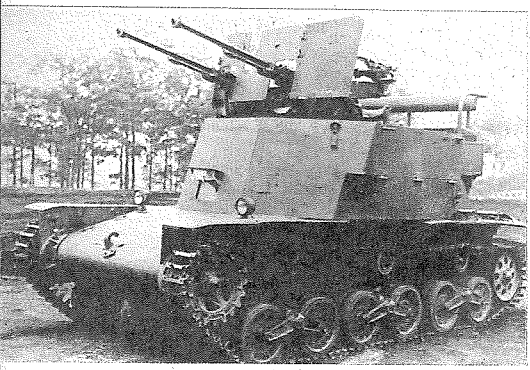
小銃に装備したタテ器



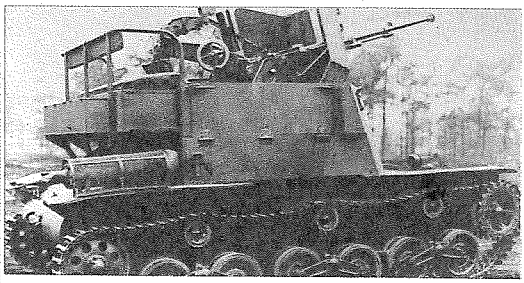
一式10糎自走砲



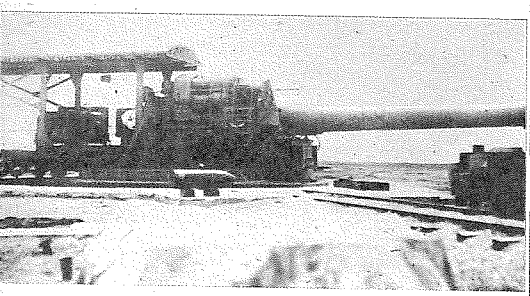
ラ式37粍高射機関砲



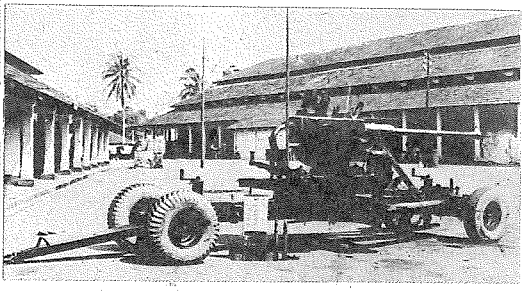
搭載双連20粍高射機関砲



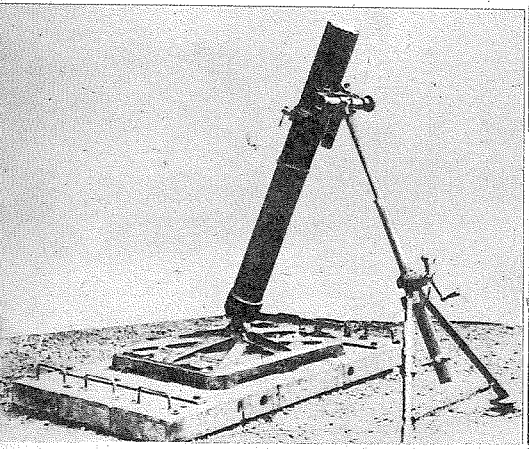
軽戦車搭載用20粍高射機関砲



試製41糎榴弾砲



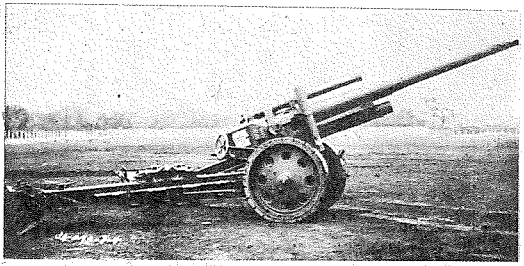
ボ式40粍高射機関砲



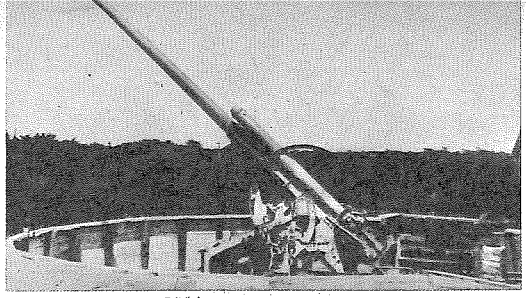
九九式小迫撃砲



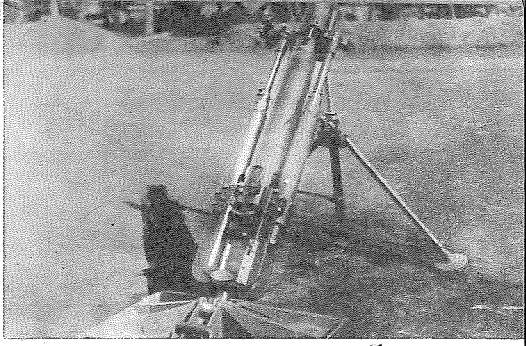
機動九一式10糎榴弾砲



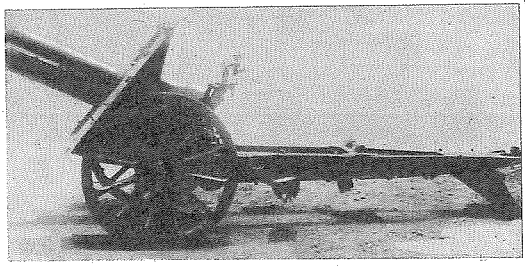
ラ式15糎榴弾砲



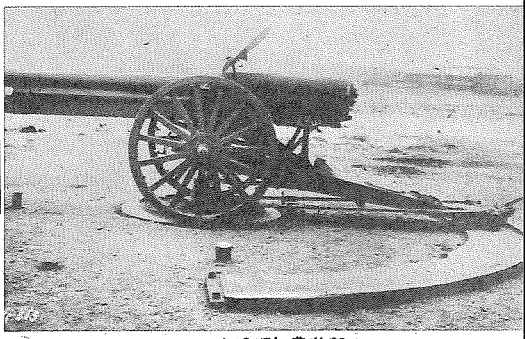
試製12糎要地高射砲



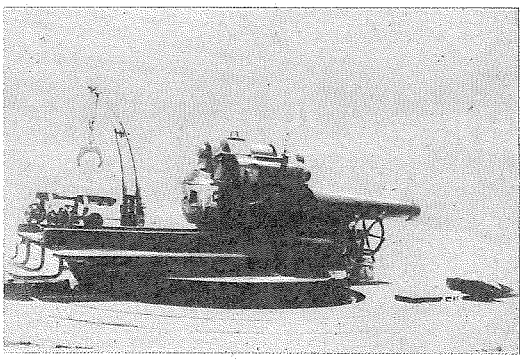
九四式軽迫撃砲（90粍）



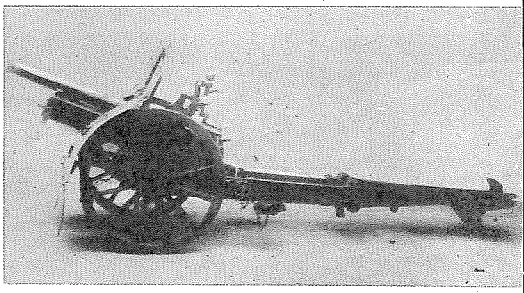
九九式10糎山砲



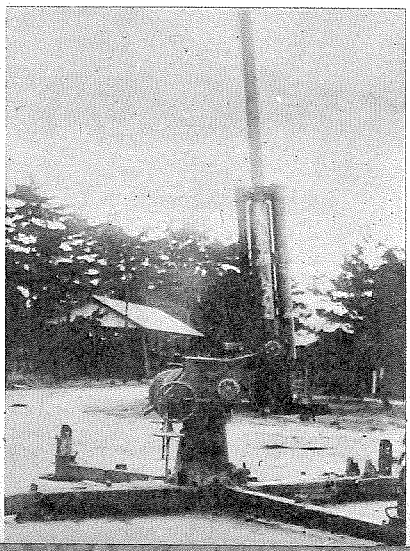
三八式10糎加農装載砲床



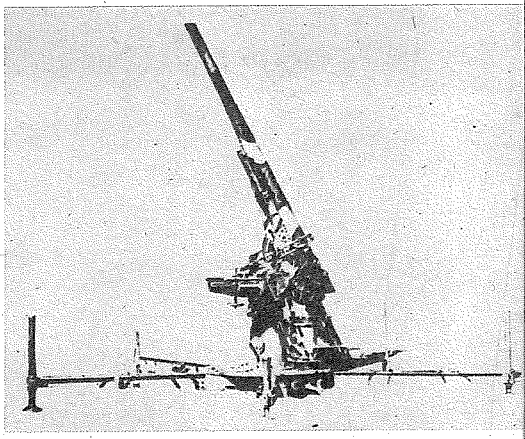
七年式30糎長榴弾砲



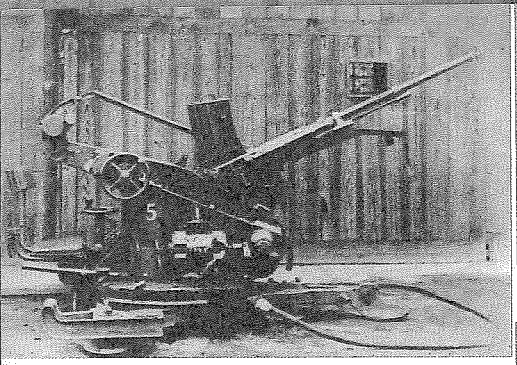
一式 7糎 半山砲



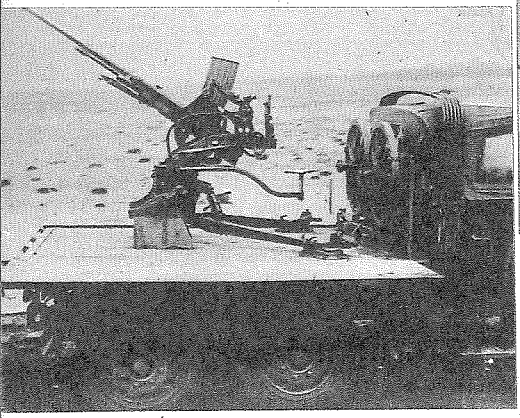
試製基筒七糎高射砲



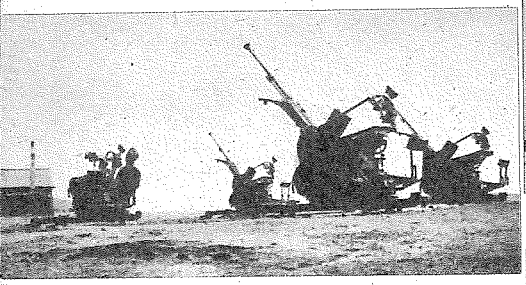
八五式 7糎 野戦高射砲



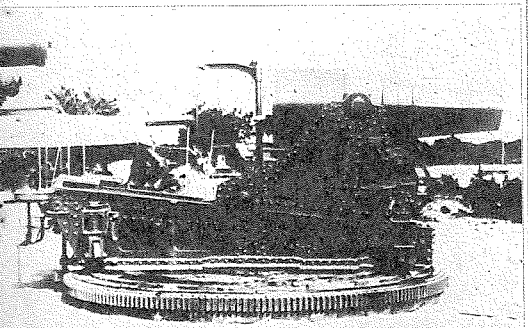
20粍多連高射機関砲（単砲）



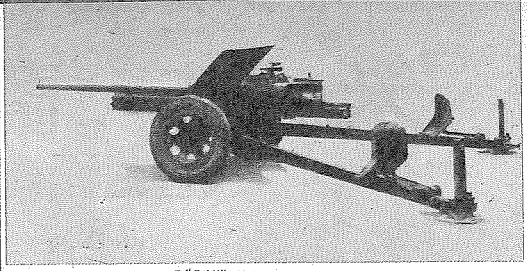
20粍多連高射機関砲（車載）



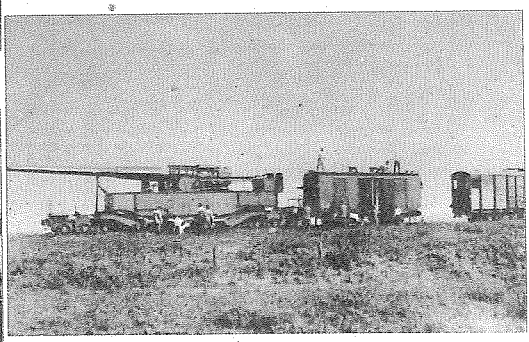
（同上）指揮装置にて照準



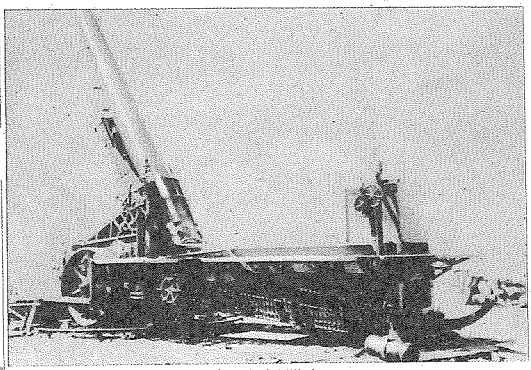
28糎榴弾砲



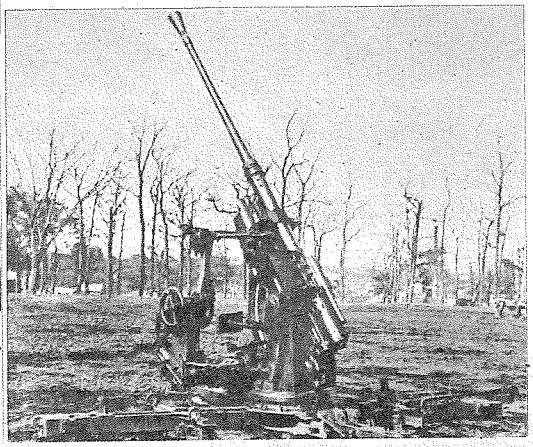
試製機動57粍砲



九〇式24糎列車加農

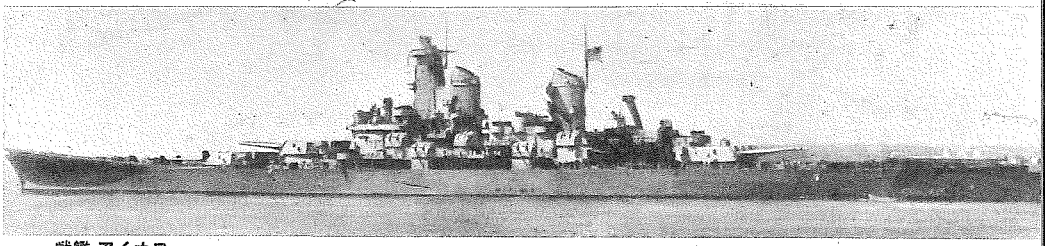


九六式24糎榴弾砲

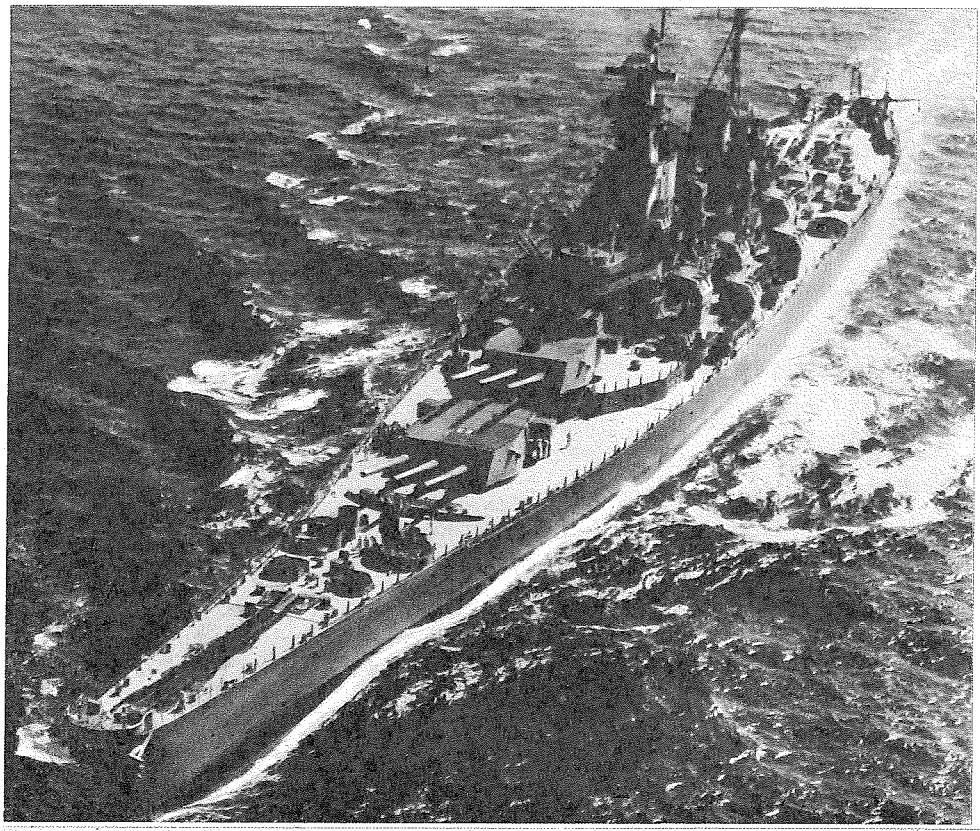


ラ式37粍高射機関砲

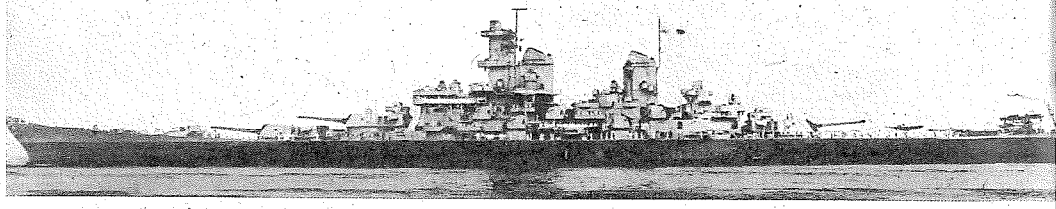
米・英・蘭艦艇一覧



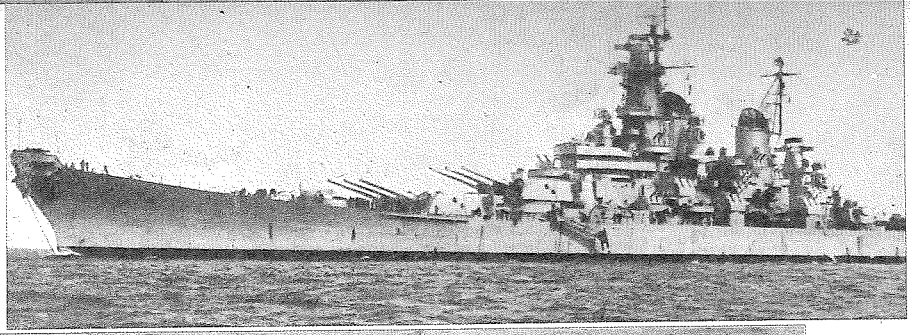
戦艦 アイオワ 基準排水量45,000トン　長サ 887呎　巾108 呎　速力33節　備砲16吋×９　５吋高×12　40粍４連装高×80　20粍高×48　カタパルト×２　飛行機×４　就役1943年２月22日　1944年カサブランカ会談の時ルーズベルト大統領乗艦　ケゼリン、サイパン、トラック、ナニアン攻撃　レイテ海戦にて英艦を撃沈　1945年室蘭、本州砲撃



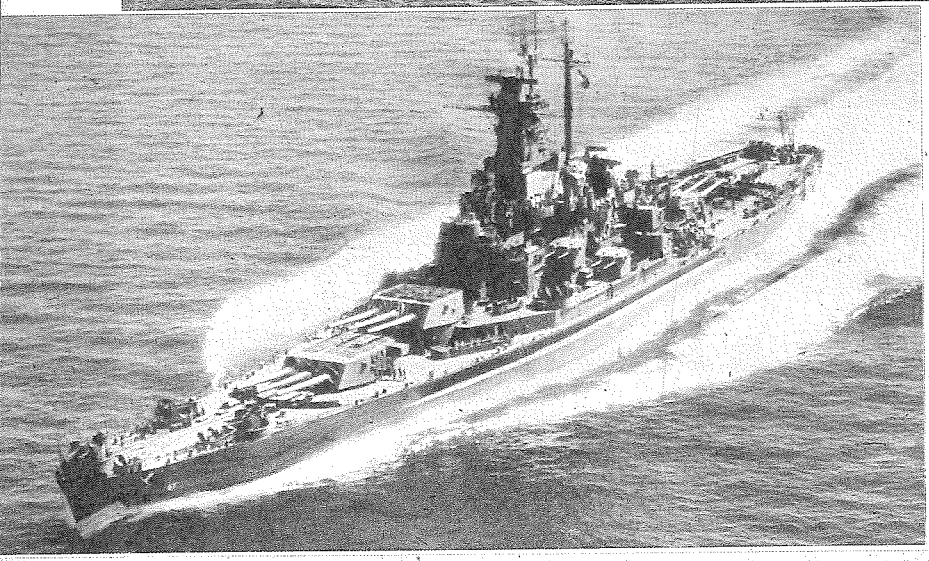
戦艦 ミズーリ　アイオワ級　就役一九四四年六月一一日　一九四五年硫黄島上陸支援　沖縄作戦にてハルゼーの第三艦隊旗艦　室蘭、本州砲撃　九月二日日本降伏文書東京湾在泊本艦上にて調印



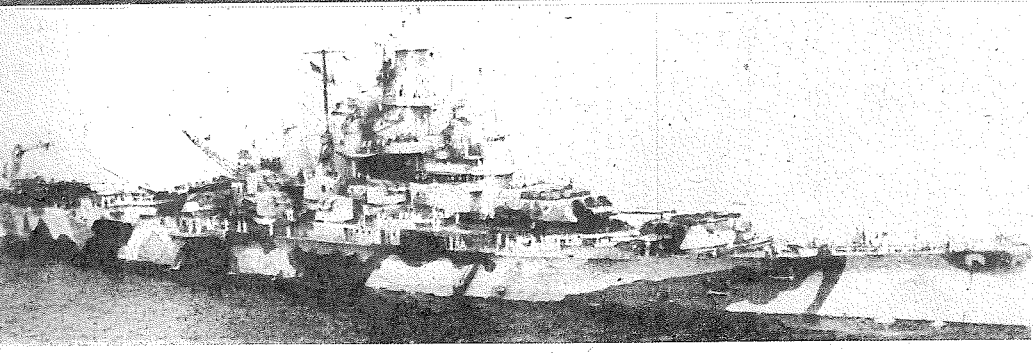
戦艦 ウイスコンシン　アイオワ級　就役1944年４月16日　1944年比島作戦　1945年比島作戦　仏印、南支那海作戦　硫黄島作戦　沖縄作戦　北海道、本州砲撃



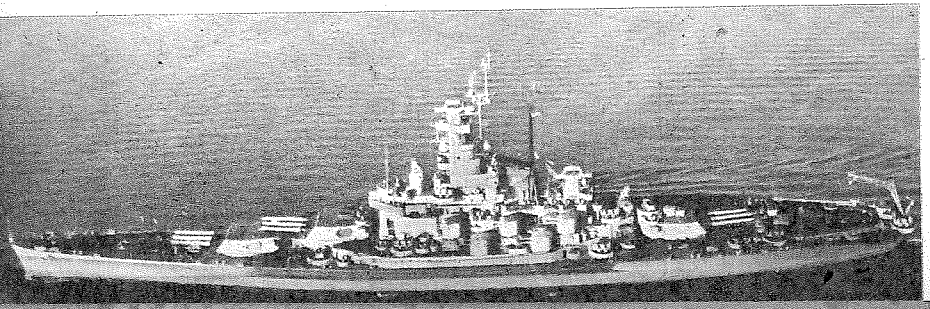
戦艦 ニュー・ジャージー アイオワ級 就役一九四三年五月二三日 一九四四年南洋群島方面作戦 比島海戦 レイテ海戦 一九四五年南支、仏印方面攻撃 硫黄島作戦 第五八機動部隊として東京、八丈島攻撃 沖縄作戦



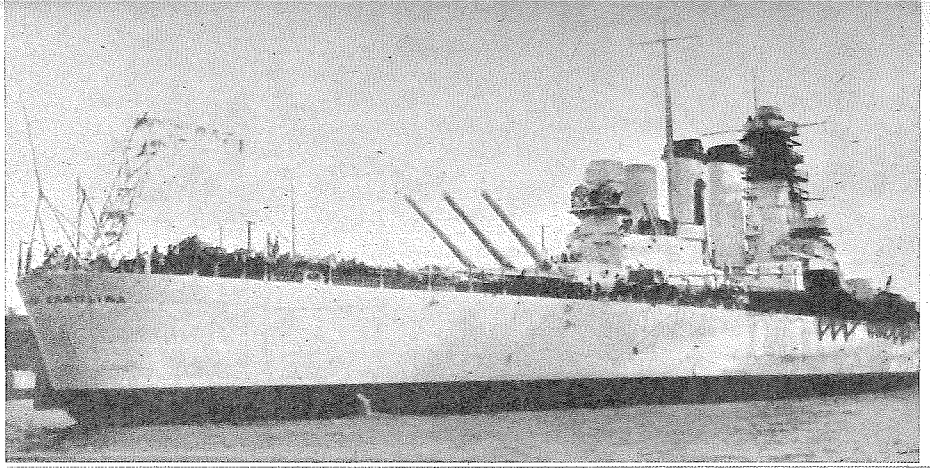
戦艦 サウス・ダコタ 基準排水量三五、〇〇〇トン 長サ六八〇呎 巾一〇八呎 速力二七節 備砲二六吋×九 五吋高×一六（連装） 四〇粍二〇粍高多数 カタパルト×二 飛行機×三 就役 一九四二年三月二〇日 一九四二年南太平洋海戦 第三次ソロモン海戦 一九四五年 東京、釜石を含む本州砲撃



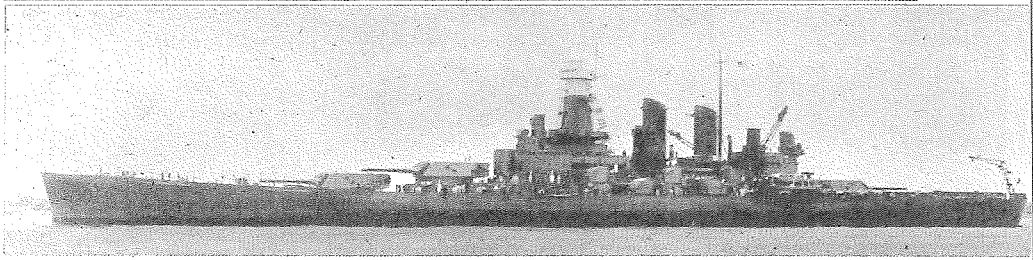
艦戦 インディアナ サウス・ダコタ級 但し5吋高×20 就役1942年4月30日 1945年7月―8月釜石を含む本州砲撃



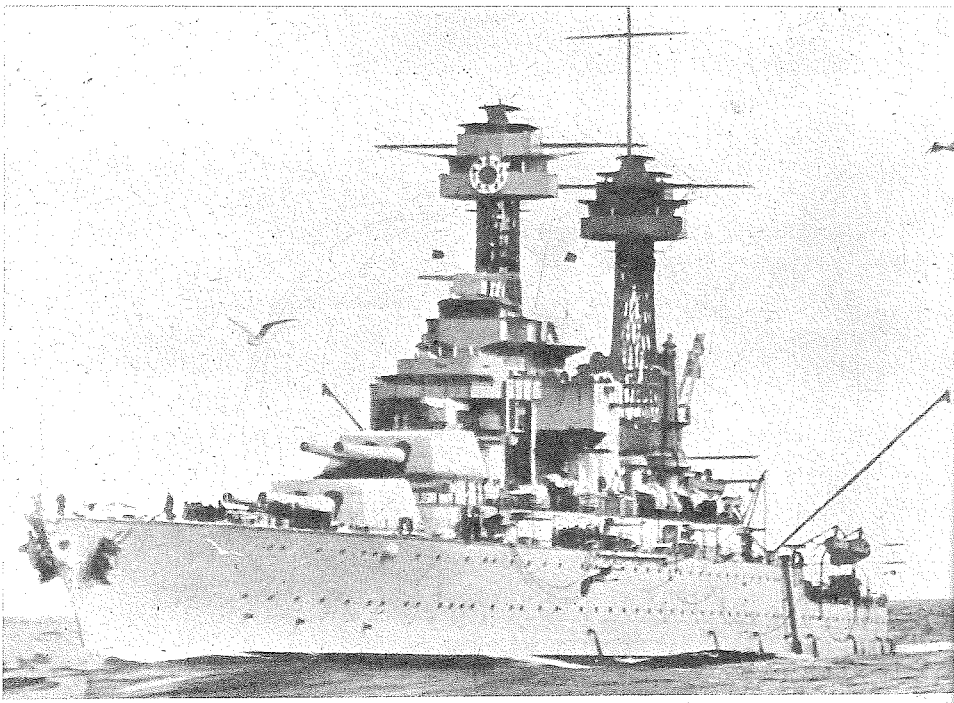
戦艦 マサチューセッツ サウス・ダコタ級 但し五吋高×二〇 就役一九四二年五月一二日 一九四五年七月―八月 東京攻撃、浜松、釜石の砲撃を含む本州攻撃



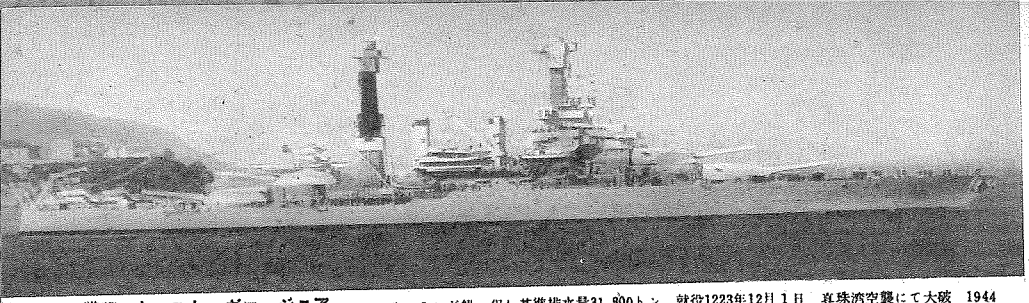
戦艦 ノース・キャロライナ　基準排水量三三、〇〇〇トン　長サ七二九呎　巾一〇八呎　速力二七節　備砲一六吋×九　五吋高×一〇（連装）　四〇粍二〇粍高多数　カタパルト×二　飛行機×三　就役一九四一年四月九日　一九四二年　フロリダ島及びガタルカナル上陸援護　第二次ソロモン海戦　一九四五年沖縄作戦　七―八月日本攻撃



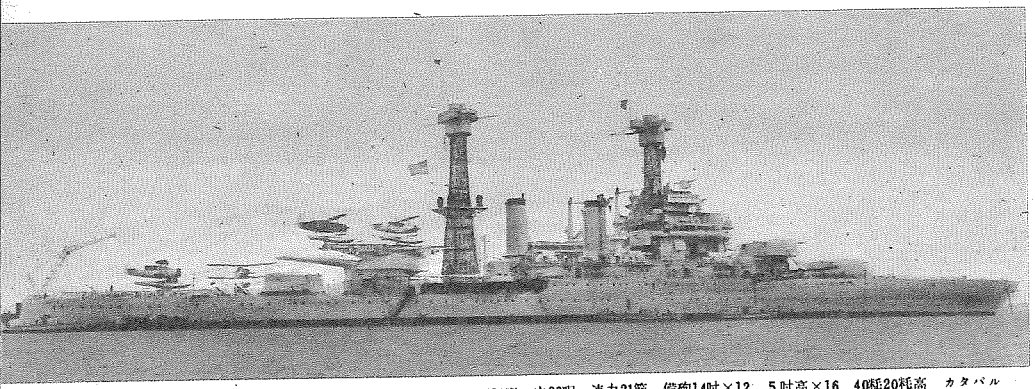
戦艦 ワシントン　ノース・キャロライナ級　就役1941年5月15日　1942年9月以降ソロモン作戦　1943年ギルバート、ナウル島攻撃　1944年ケゼリン、サイパン作戦　比島海戦　沖縄作戦　レイテ海戦　1945年仏印、南支那海方面作戦　硫黄島作戦　沖縄作戦



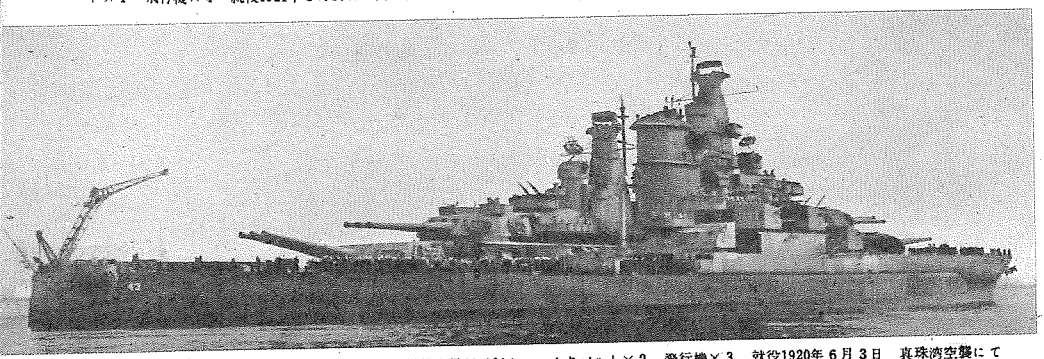
戦艦 メリーランド　基準排水量31,500トン　長サ 624呎　巾98呎　速力21節　備砲16吋×8　5吋×10　5吋高×8　40粍20粍高　カタパルト×1　飛行機×3　就役1921年7月21日　真珠湾空襲にて損傷　1944年サイパン砲撃中被雷　レイテ海戦　1945年沖縄作戦　（レイテ及び沖縄にて神風機命中）



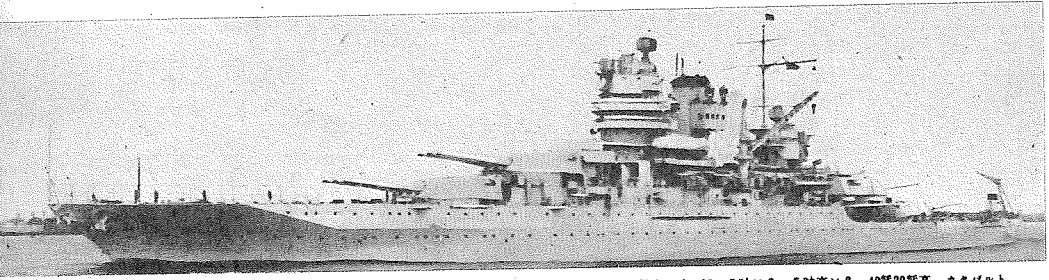
戦艦 ウエスト・ヴァージニア メリーランド級 但し基準排水量31,800トン 就役1223年12月1日 真珠湾空襲にて大破 1944年レイテ海戦 1945年 沖縄作戦にて神風機により損傷



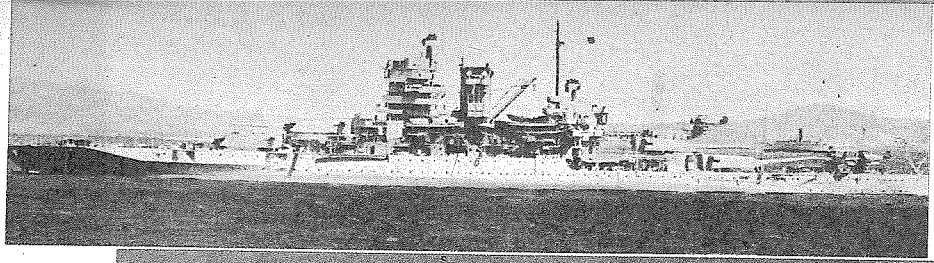
戦艦 カリフォルニア 基準排水量32,600トン 長サ 624呎 巾98呎 速力21節 備砲14吋×12 5吋高×16 40粍20粍高 カタパルト×1 飛行機×4 就役1921年8月10日 真珠湾空襲にて大破 1944年サイパン作戦 レイテ海戦



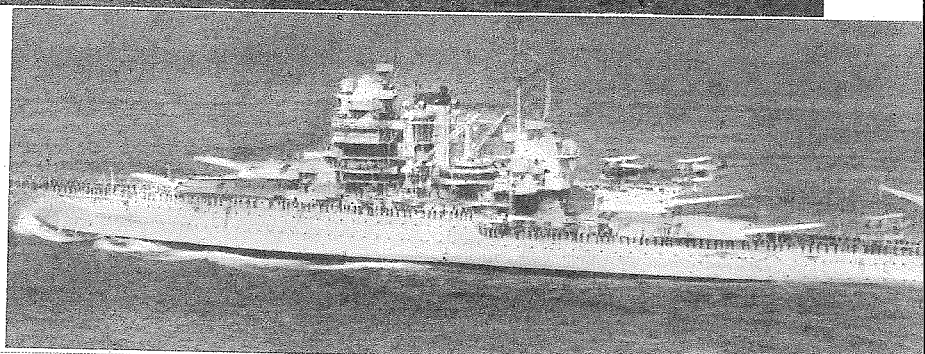
戦艦 テネシー カリフォルニア級 但し基準排水量32,300トン カタパルト×2 飛行機×3 就役1920年6月3日 真珠湾空襲にて爆弾2発命中 1943年タラワ占領 1944年サイパン、ガム、テニアン、ペリリュー、レイテ上陸支援 レイテ海戦 1945年硫黄島作戦 沖縄作戦中神風機により損傷



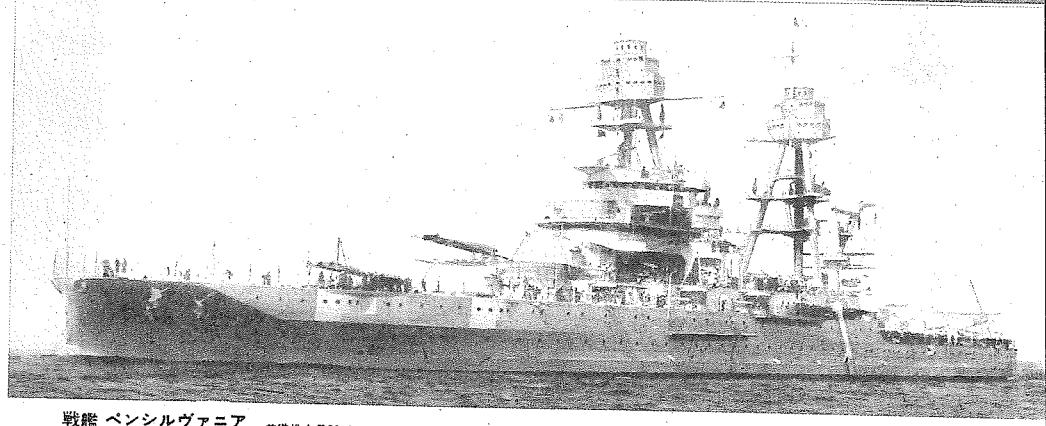
戦艦 ニュー・メキシコ 基準排水量33,400トン 長サ 624呎 巾 106呎 速力21節 備砲14吋×12 5吋×6 5吋高×8 40粍20粍高 カタパルト×2 飛行機×3 就役1918年5月20日 1943年 アッツ作戦 1944年テニアン、ガム上陸作戦 レイテ海戦 比島作戦 1945年リンガエン上陸援護中神風機体当りにて艦長外26名戦死 沖縄作戦にてスプルアンス大将乗艦、神風機体当りにて損傷



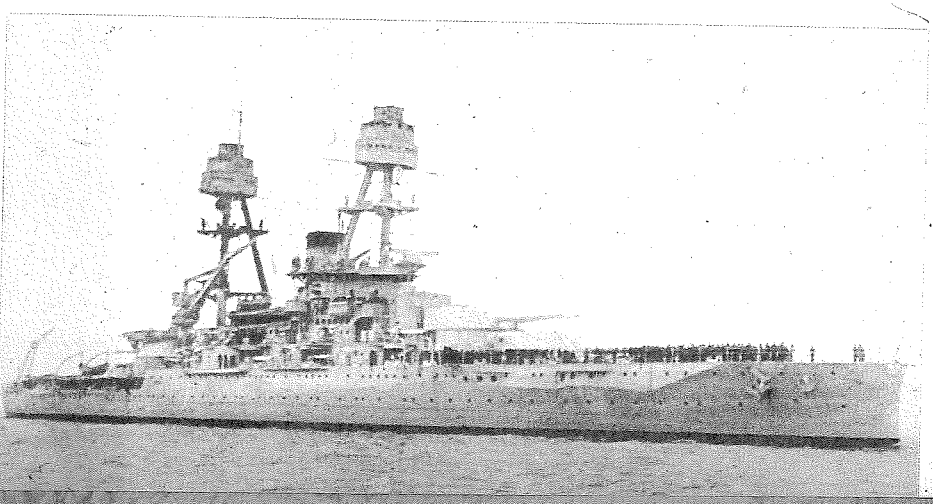
戦艦 アイダホ　ニューメキシコ級　就役一九一九年三月二四日　一九四四年サイパン作戦　一九四五年硫黄島作戦　沖縄作戦中機銃掃射及び航空魚雷により損傷



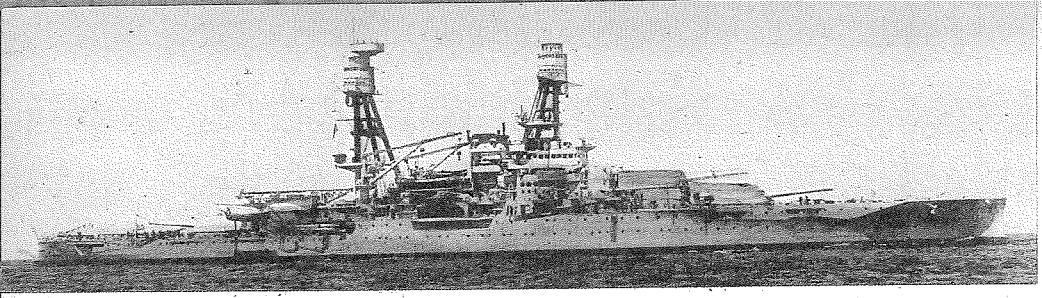
戦艦 ミシシッピー　ニューメキシコ級　就役一九一七年一二月一八日　一九四二年南太平洋海戦　ガ島作戦　一九四三年アリューシャン作戦　一九四四年マーシャル作戦　ペリリュー作戦　レイテ海戦　一九四五年リンガエン及び沖縄作戦中機銃掃射命中



戦艦 ペンシルヴァニア　基準排水量32,600トン　長サ608呎　巾106呎　速力21節　備砲14吋×12　5吋高×16　40粍20粍高　カタパルト×2　飛行機×3　就役1916年6月12日　真珠湾空襲にて損傷　1943年キスカ砲撃　1944年サイパン作戦　レイテ海戦　沖縄作戦にて航空魚雷により損傷　真珠湾にて撃沈されし戦艦アリゾナはこの級

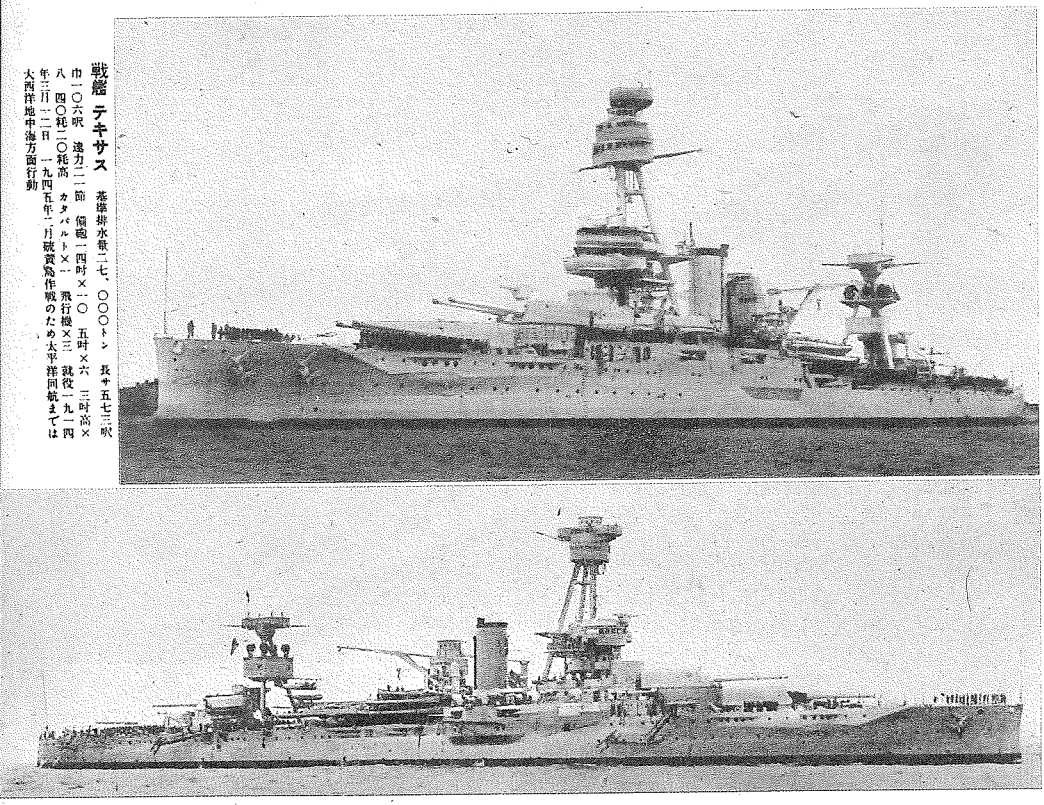


戦艦 オクラホマ　基準排水量二九、〇〇〇トン　長サ五八三呎　巾一〇八呎　速力二〇・五節　備砲一四吋×一〇　五吋×一二　五吋高×八　四〇粍高　カタパルト×一　飛行機×三　就役一九一六年五月二日　真珠湾空襲にて大破転覆、引揚修理されしも一九四四年九月一日除役

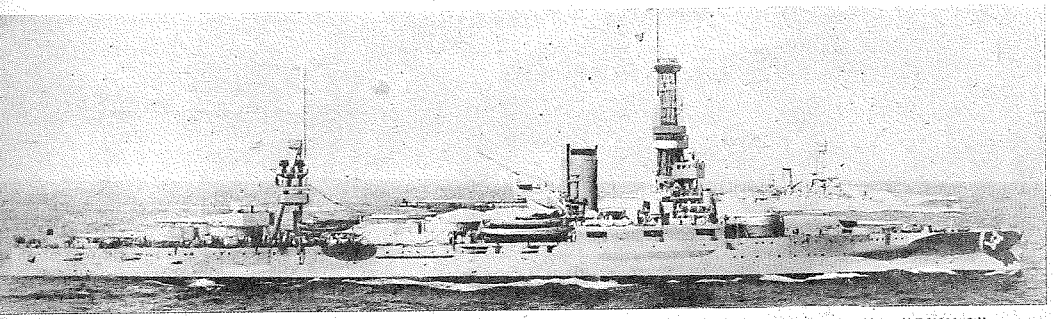


戦艦 ネヴァダ　オクラホマ級　但し5吋×16　40粍20粍高多数　就役1916年3月11日　真珠湾空襲被雷損坐　1943年アッツ作戦　1945年　硫黄島、沖縄島、沖縄作戦　3月27日日本機後部砲塔に体当り

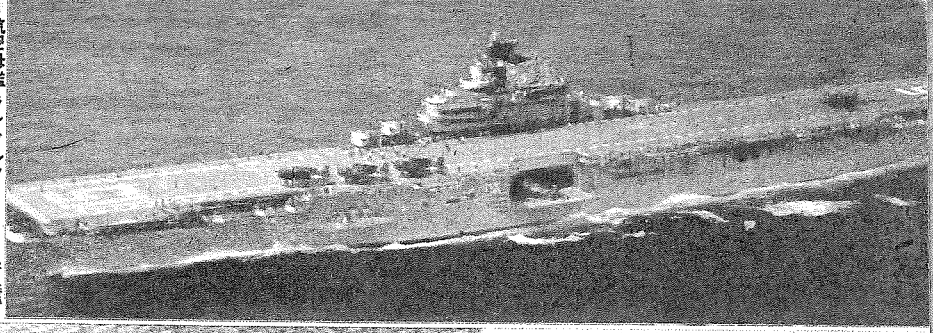
戦艦 テキサス　基準排水量二七、〇〇〇トン　長サ五七三呎　巾一〇六呎　速力二一節　備砲一四吋×一〇　五吋×六　三吋高×八　四〇粍二〇粍高　カタパルト×一　飛行機×三　就役一九一四年三月一二日　一九四五年二月硫黄島作戦のため太平洋回航までは大西洋地中海方面行動



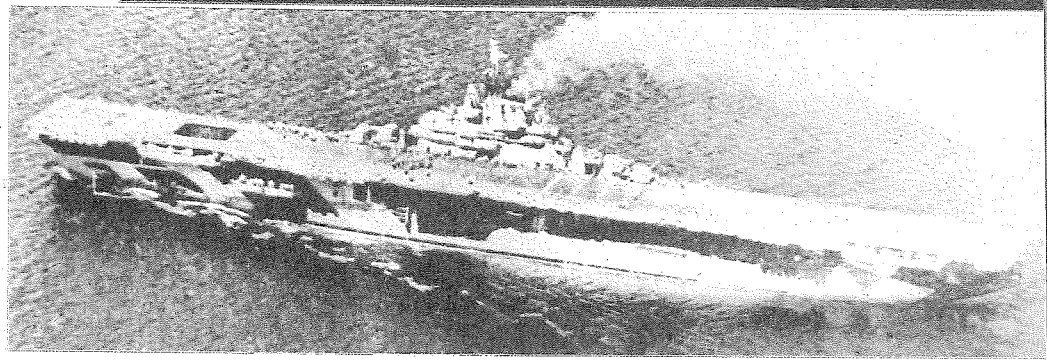
戦艦 ニュー・ヨーク　テキサス級　就役1914年4月15日　1945年硫黄島作戦　沖縄作戦全期間中従事



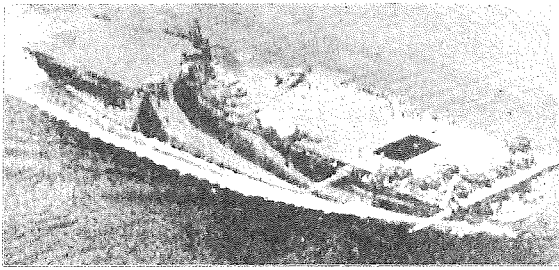
戦艦 アーカンサス　基準排水量26,100トン　長サ 562呎　巾 106呎　速力20.5節　備砲12吋×12　5吋×6　3吋高×8　40粍20粍高　就役1912年9月17日　1945年硫黄島上陸作戦までは大西洋地中海方面行動



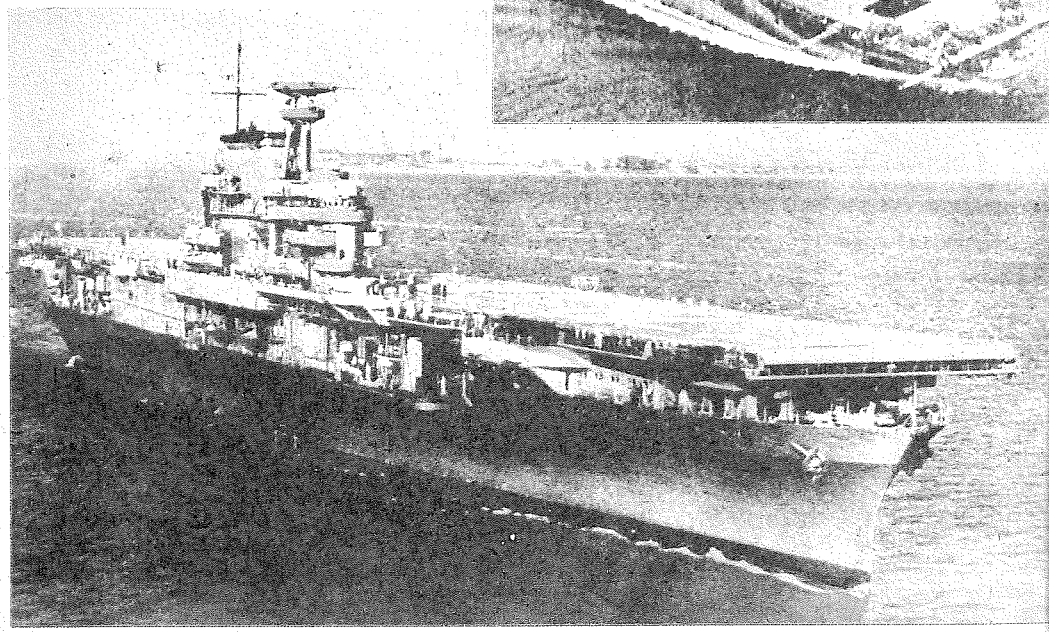
航空母艦 ランドルフ エセックス級 基準排水量二七、一〇〇トン 長サ 八五六呎 巾九三呎 速力三三節 備砲五吋高×一二 四〇粍二〇粍高 搭載機約八〇 就役一九四四年一〇月九日 一九四五年七―八月、日本空襲



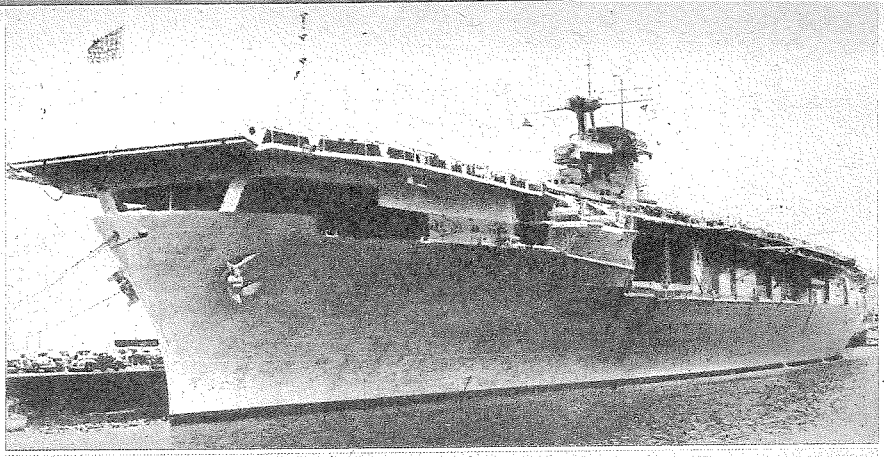
航空母艦 シャングリラ エセックス級 就役1944年9月15日 1945年7―8月、日本空襲 （ドリットルの東京初空襲の爆撃機の発進地を聞かれたルーズベルト大統領は、それは小説 "失われた地平線" に出てくる架空の地シャングリラからと答えたという）



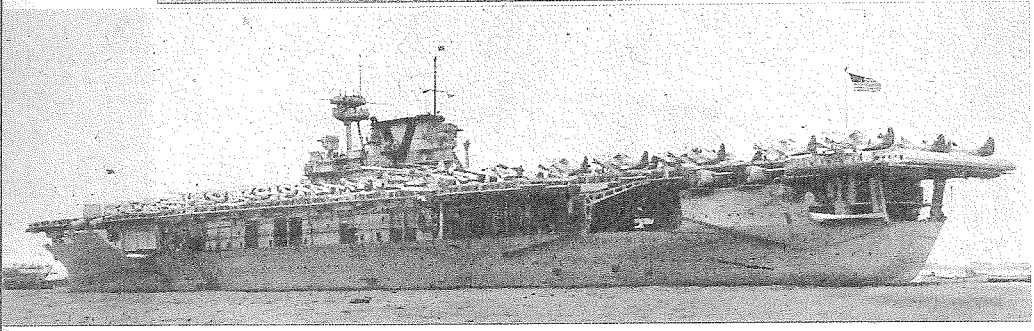
航空母艦 タイコンデロガ エセックス級 就役1944年5月8日 第58機動部隊として幾多の作戦参加・多数の艦船航空機を撃沈破撃墜す 1945年1月21日台湾攻撃中神風2機体当り損傷大破本国帰投 7―8月日本空襲



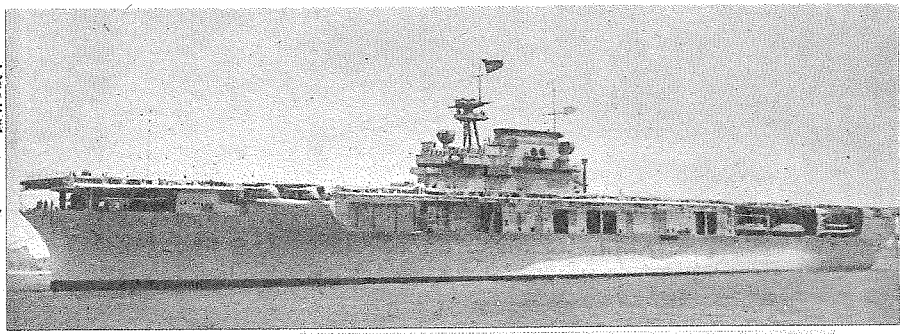
航空母艦 ホーネット 排水量20,000トン 長サ 809呎 巾83呎 速力34節 備砲5吋高×8 小対空砲多数 搭載機81 就役1941年10月20日 1942年4月18日 ドリットル東京初空襲の母艦 ミッドウエー海戦 ソロモン作戦10月26日南太平洋海戦にて沈没



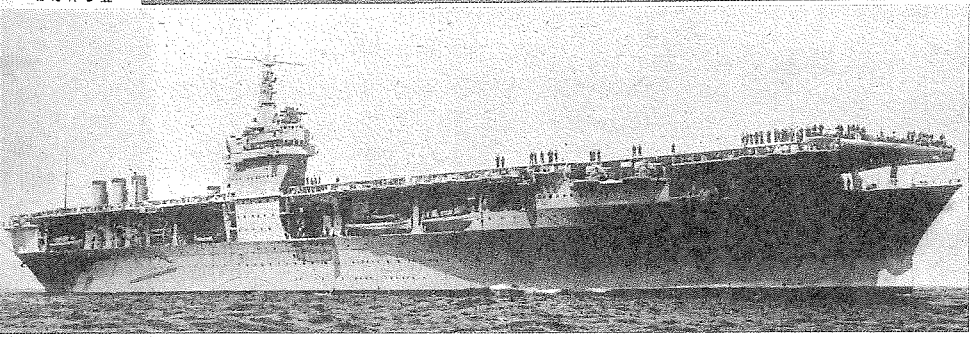
航空母艦 ワスプ 排水量一四、七〇〇トン 長さ七三九呎 巾八一呎 速力三〇節 備砲五吋高×八 小対空砲多数 搭載機八四 就役一九四〇年四月二五日 一九四二年ガダルカナル作戦九月一五日伊一九潜の雷撃により沈没



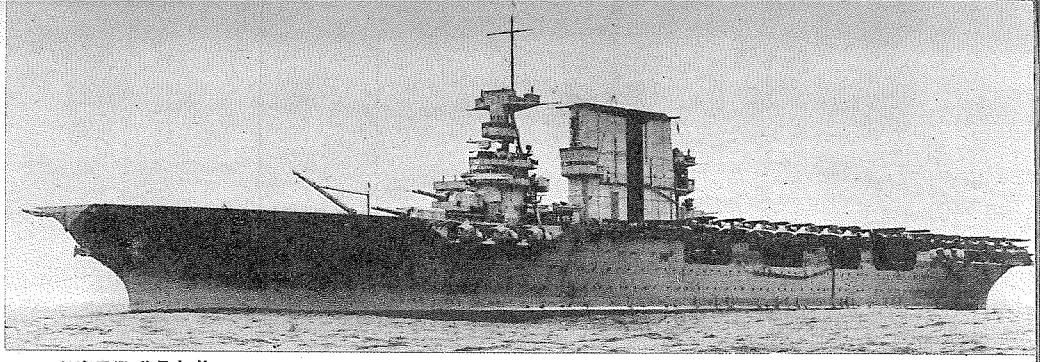
航空母艦 ヨークタウン 排水量19,900トン 長さ 809呎 巾83呎 速力34節 備砲5吋高×8 小対空砲多数 搭載機85 就役1937年9月30日 1942年ギルバート、マーシャル、ソロモン方面作戦 6月4日ミッドウエー海戦にて空襲により被雷弾曳航中、6日伊168潜の雷撃を受け、7日沈没



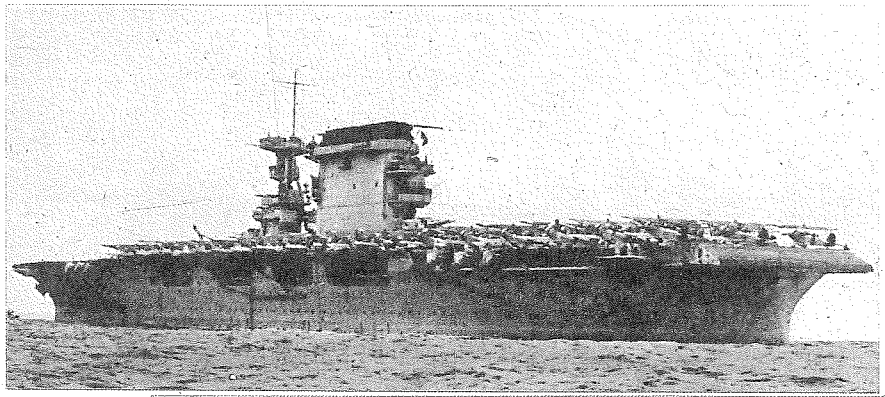
航空母艦 エンタープライズ ヨークタウン級 但し搭載機八一 就役一九三八年五月一二日 米海軍の歴史上最も多くの作戦をなしとげた艦で、一九四五年五月沖縄作戦での神風機の体当りを含め実に二回も損傷を受けたが撃破撃墜の艦船飛行機数は驚くほどの数に達し、大統領感状を受けた最初の空母である。



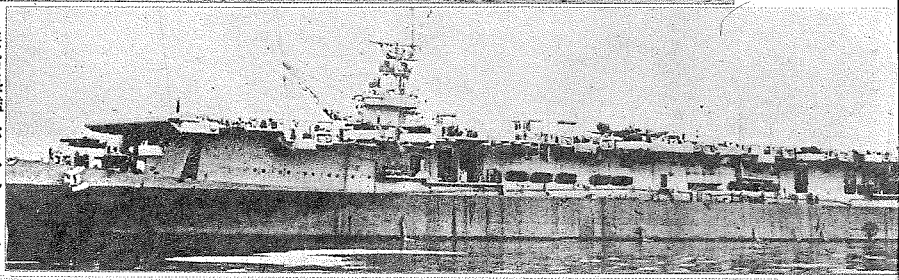
航空母艦 レンジャー 排水量14,500トン 長さ 769呎 巾80呎 速力29.5節 備砲5吋高×8 小対空砲多数 搭載機86 就役1934年6月4日 1944年6月太平洋に回航するまでは大西洋地中海作戦、回航後は主として訓練用母艦



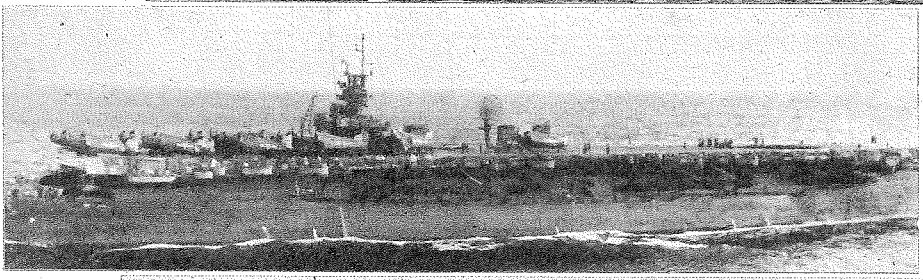
航空母艦 サラトガ　排水量33,000トン　長サ 888呎　巾 105呎　速力 34 節　備砲5吋高×16　40粍高×8　搭載機83　就役1927年11月16日　1942年より44年まで中部太平洋ソロモン、西南太平洋方面作戦　1945年 2月21日硫黄島作戦中神風機 7 機の体当りにて大破、本国帰還



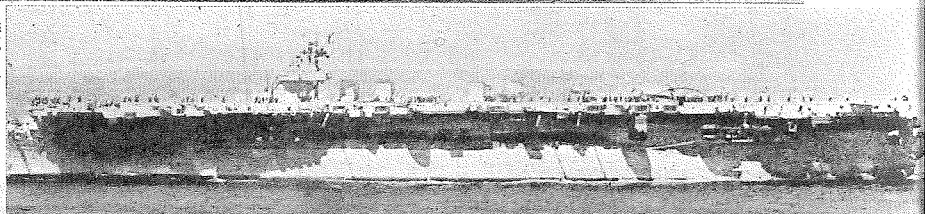
航空母艦 レキシントン　サラトガ級　但し八吋砲×八　五吋高×一二　就役一九二七年一二月一四日　レキシントンを中心として機動部隊を編成しブラウン中将（後大将）指揮し、ラバウル・ニューギニア方面作戦　一九四二年五月八日珊瑚海々戦にて空襲により沈没



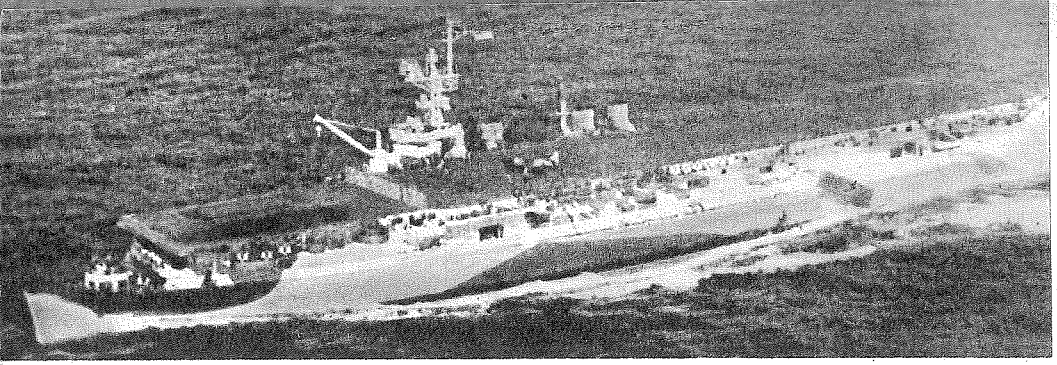
軽航空母艦 バタアン　インデペンデンス級　基準排水量一一、〇〇〇トン　長サ六一〇呎　巾七二呎　速力三三節　備砲四〇粍高×一六　二〇粍高（連装）×四〇　搭載機約四五　就役一九四三年八月一日　一九四四年四月以降ニューギニア、南洋群島、比島、沖縄、日本本土攻撃　大和撃沈に参加



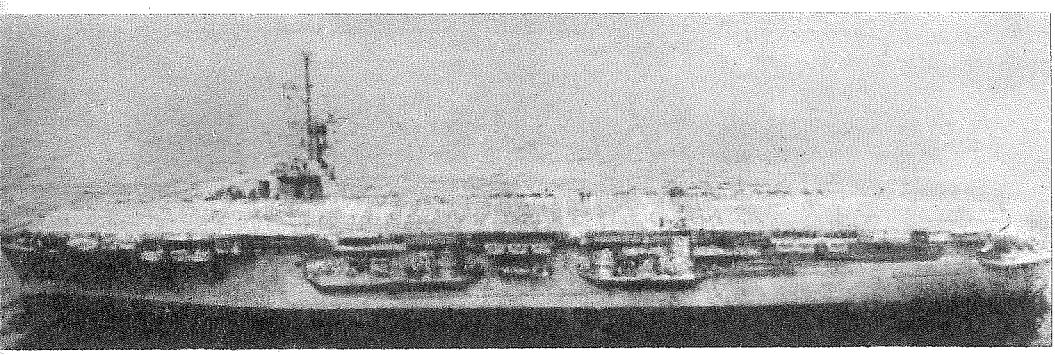
軽航空母艦 キャボット　インデペンデンス級（この級は軽巡クリーヴランド級の改装）就役一九四三年七月二四日　一九四四年ヒリッピン海々戦　台湾攻撃　レイテ海戦



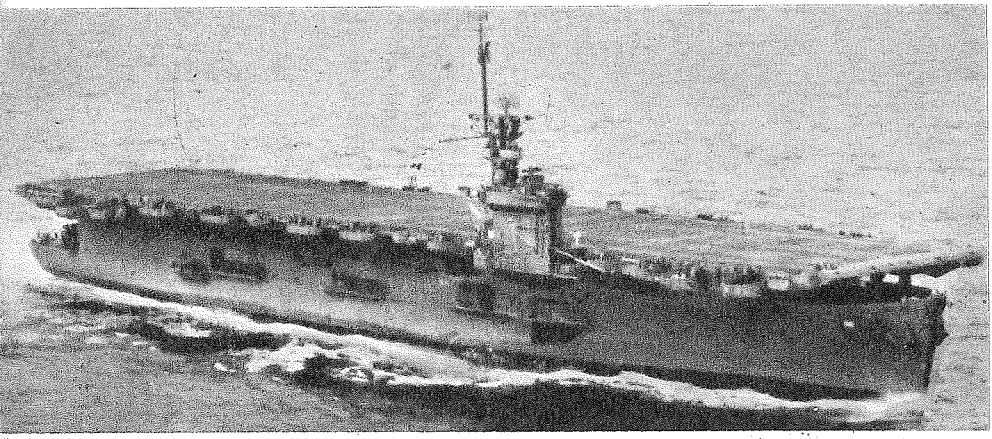
軽航空母艦 カウペンズ　インデペンデンス級　就役一九四三年五月二八日　一九四三年ウエーキ、ギルバート攻撃　一九四四年台湾攻撃　レイテ海戦　七ー八月日本攻撃



軽航空母艦 サン・ハーシント インデペンデンス級 就役1943年12月15日 1944年5月以降南洋群島、日本本土、沖縄、台湾、比島、仏印、支那沿岸等攻撃 この間サイパン、レイテ、硫黄島、沖縄の各上陸作戦、レイテ海戦、大和撃沈等に参加



護衛航空母艦 ヴエラ・ガルフ 基準排水量12,000トン 長サ 553呎 巾75呎 速力18節 備砲 5吋×2 40粍高×16 20粍高×30 搭載機20～30 就役1944年10月19日 終戦時占領軍と共に相模湾入港



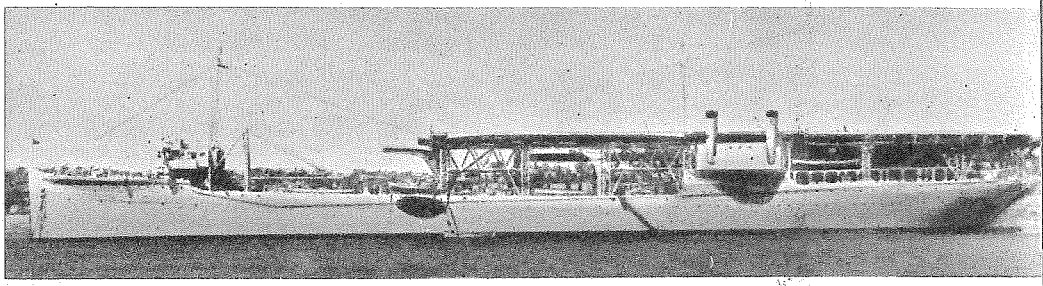
護衛航空母艦 コレヒドール 基準排水量6,730トン 長サ 499呎 巾65呎 速力18節 備砲 5吋×1 40粍高×16 20粍高×30 搭載機20カタパルト×1引渡1943年8月31日 1944年2月ケゼリン攻撃



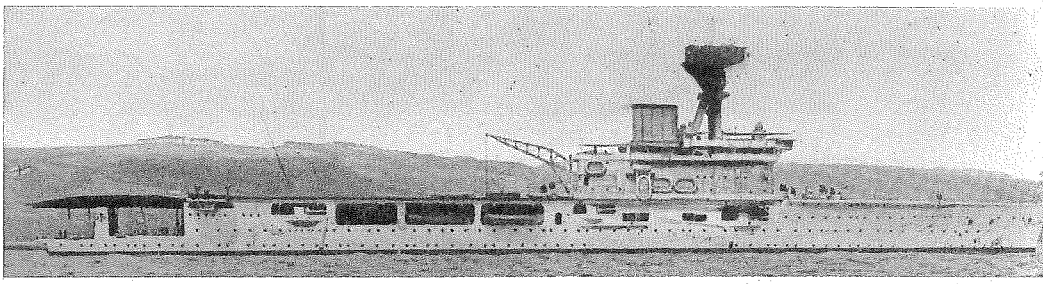
護衛航空母艦 スワニー サンガモン級 改装一九四二年 レイテ海戦中爆撃により損傷



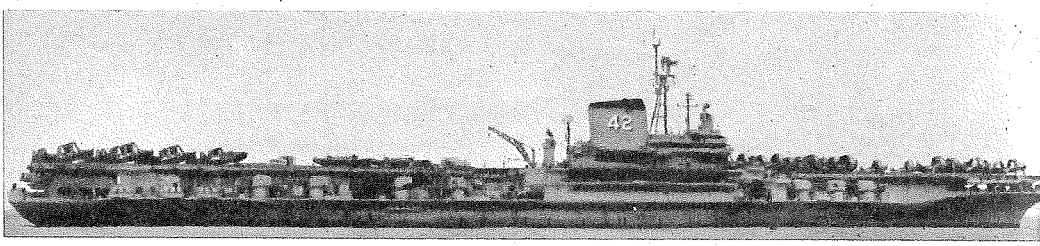
護衛航空母艦 サンガモン　基準排水量12,000トン　長サ 553呎　巾75呎　速力18節　備砲5吋×4　40粍高×16　20粍高×30　搭載機25（機種により異る）　改装1942年（重油船改装）　1943年2月以降中部太平洋、ニューギニア、比島方面作戦　レイテ海戦と沖縄作戦にては神風機体当り命中



水上機母艦 ラングレイ　満載排水量11,050トン　長サ 542呎　巾65呎　速力15節　備砲5吋×4　小対空砲　改装1932年　1942年2月27日濠州よりジャワに飛行機輸送中ジャワのチラチャップの南方75哩にて水平爆撃機の空襲を受け沈没



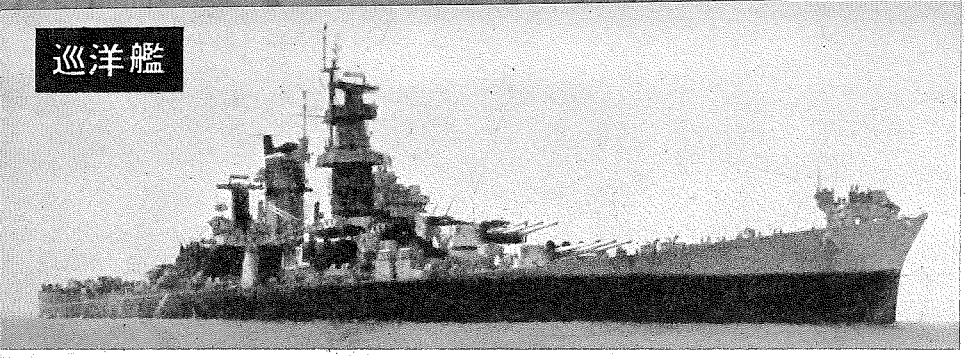
英航空母艦 ハーミス　排水量10,850トン　長サ 598呎　巾70呎　速力25節　備砲 5.5吋×6　4吋高×3　47粍高×4　対空機銃×14　搭載機20　完成1924年　改装1933—34年　1942年4月9日ツリンコマリを脱出して約70哩にて海軍航空部隊により撃沈さる



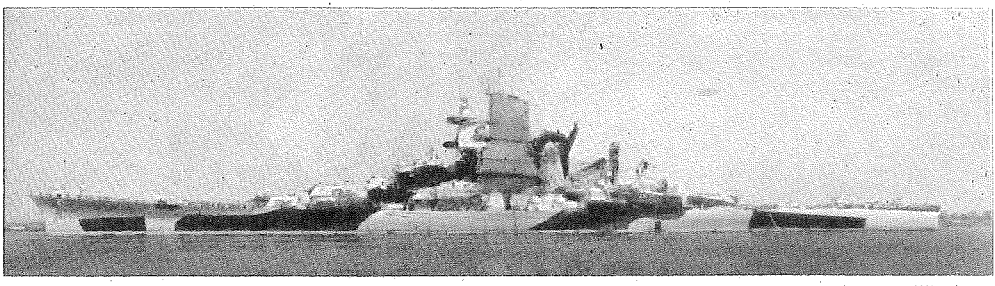


航空母艦 フランクリン・D・ルーズヴェルト　世界最大航空母艦ミッドウエー、コーラル、シィーの姉妹艦　基準排水量45,000トン　長サ 986呎　巾 113呎　速力33節　備砲5吋×18　40粍高×84　20粍高×28　カタパルト×2　飛行機 137　乗員 4,000名（含搭乗員）　就役1945年10月27日

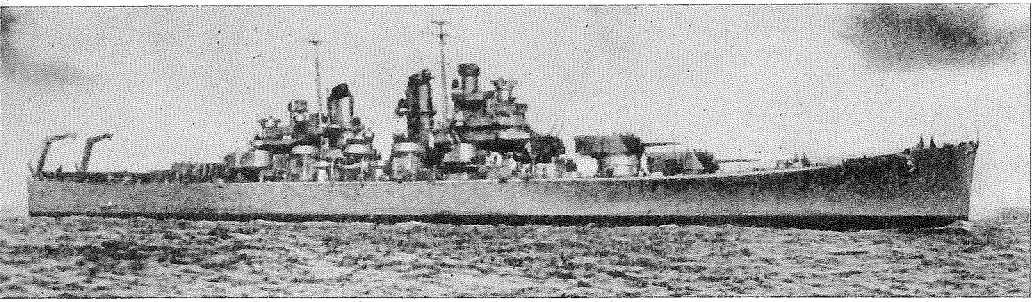
巡洋艦



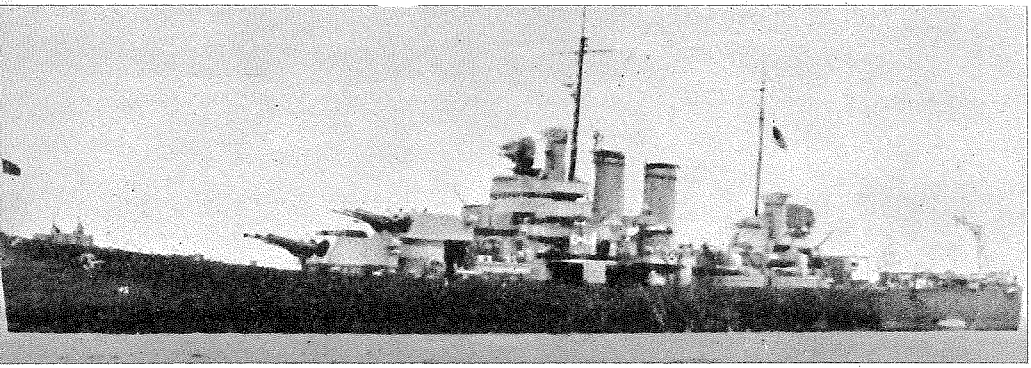
大型巡洋艦 グアム　アラスカ級　就役1944年９月17日　1945年硫黄諸島攻撃　南大東島、沖大東島砲撃　沖縄作戦支援　日本々土攻撃



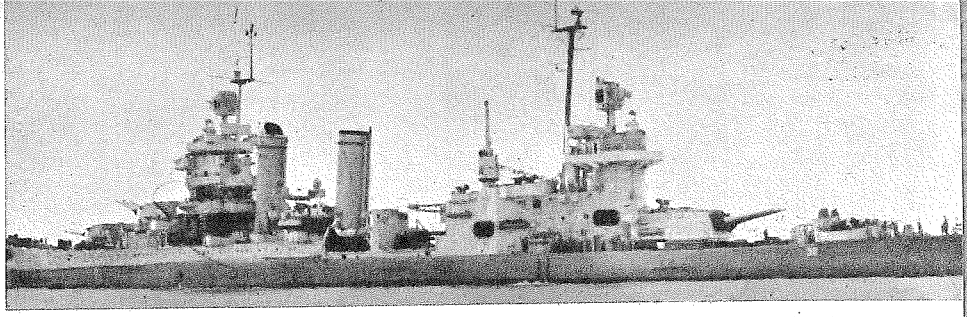
大型巡洋艦 アラスカ　基準排水量27,500トン　長サ 808呎　巾89呎　速力30節　備砲12吋×９　５吋高×12　40粍20粍高　カタパルト×２　飛行機×４　就役1944年６月17日　1945年空母の東京攻撃支援　南大東島、沖大東島砲撃



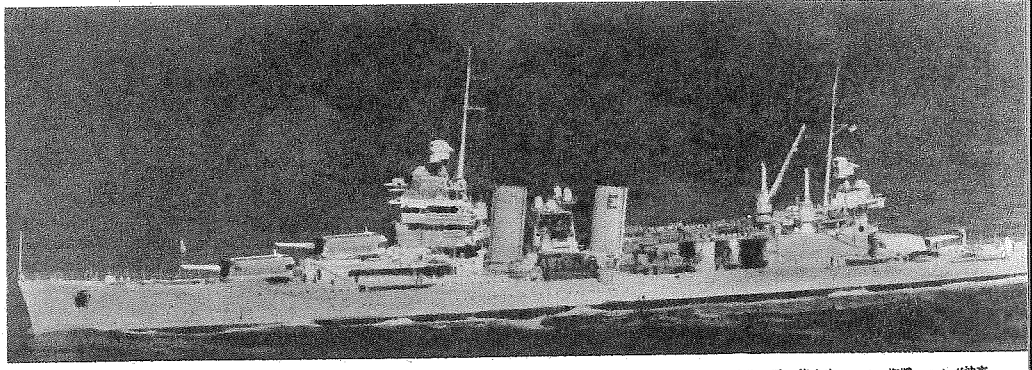
重巡洋艦 ボルチモア　基準排水量13,600トン　長サ 673呎　巾70呎　速力30節　備砲８吋×９　５吋高×12　40粍高×32（約）20粍高×30（約）　カタパルト×２　飛行機×４　就役1943年４月15日　1943年マキン占領　1944年トラック攻撃　ル大統領太平洋旅行乗艦　比島海々戦　台湾攻撃



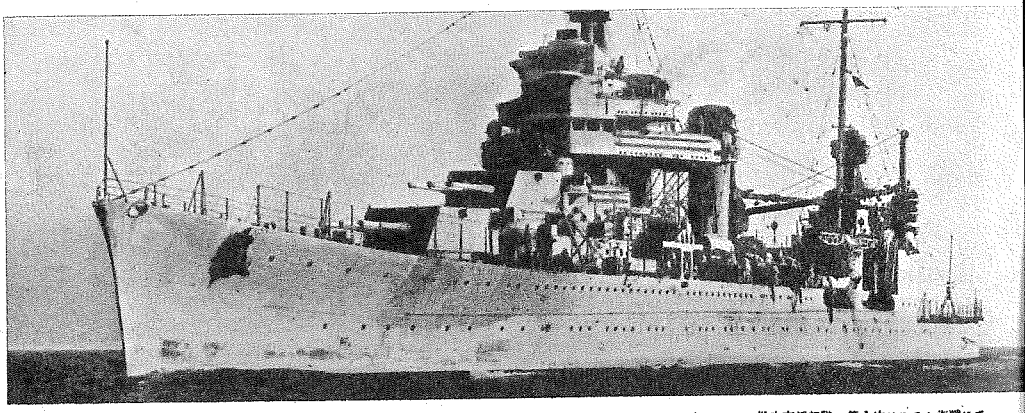
重巡洋艦 ウィチタ　基準排水量10,000トン　長サ 614呎　巾62呎　速力32.5節　備砲８吋×９　５吋高×８　小対空砲多数　カタパルト×２　飛行機×４　就役1939年２月16日　1945年沖縄作戦にて陸上砲及び味方砲弾にて損傷



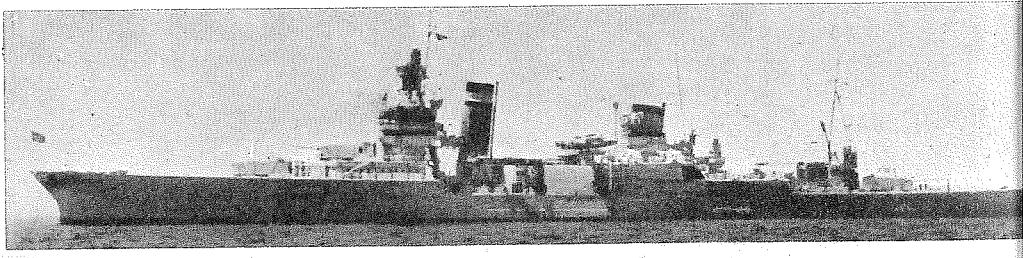
重巡洋艦 ニュー・オルリアンズ 基準排水量 9,950トン　長サ 588呎　巾62呎　速力33節　備砲 8吋×9　5吋高×8　40粍高20粍高　カタパルト×2　飛行機×4　就役1930年 2月15日　1942年珊瑚海々戦　ルンガ沖夜戦にて雷撃により大破本国帰還　1944年レイテ海戦にて損傷せる千代田を撃沈す



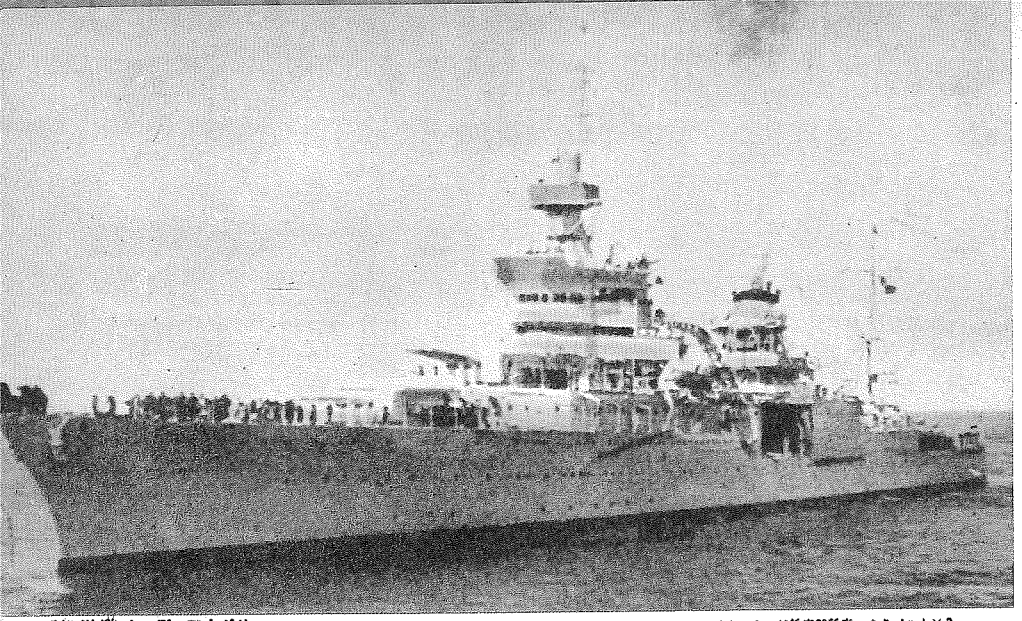
重巡洋艦 ミネアポリス ニュー・オルリアンズ級　就役1934年 5月19日　1942年ラエ、サラモア攻撃　珊瑚海々戦　第2次ソロモン海戦　ルンガ沖夜戦にて雷撃により艦首切断　1944年レイテ海戦



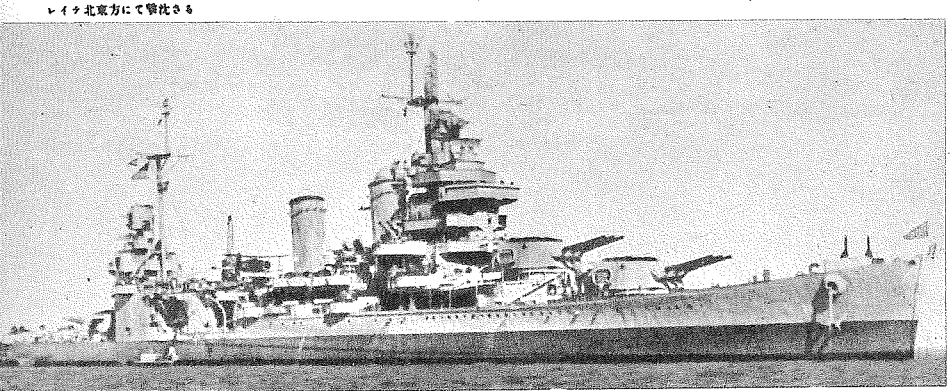
重巡洋艦 クインシー ニュー・オルリアンズ級　但し排水量 9,375トン　就役1936年 6月 9日　1942年ソロモン侵攻支援部隊　第1次ソロモン海戦にて沈没



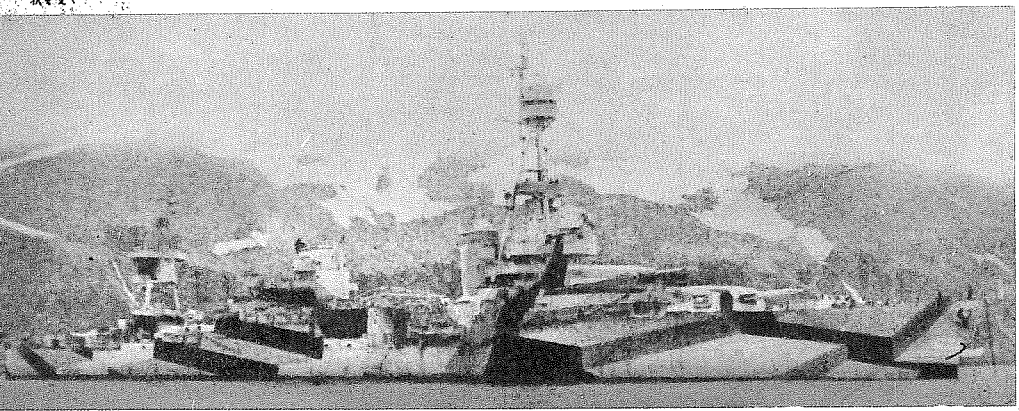
重巡洋艦 ポートランド インディアナポリス級　但し排水量 9,800トン　就役1933年 2月23日　1942年珊瑚海々戦　第2次ソロモン海戦　第3次ソロモン海戦にて雷撃され損傷　1944年レイテ海戦



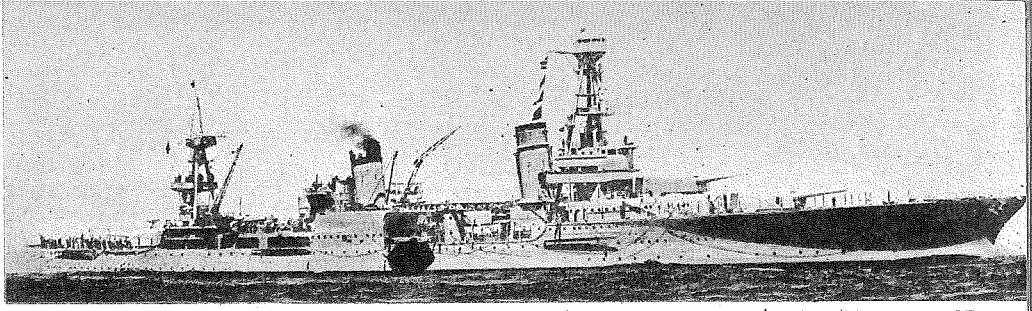
重巡洋艦インディアナポリス　基準排水量 9,950トン　長サ 610呎　巾66呎　速力33節　備砲 8吋×9　5吋高×8　40粍高20粍高　カタパルト×2　飛行機×5　就役1932年11月15日　開戦以降南洋群島、アリューシャン、ニューギニア、沖縄等作戦　1945年7月グアム島に原爆部品輸送後、29日伊58潜によりレイテ北東方にて撃沈さる



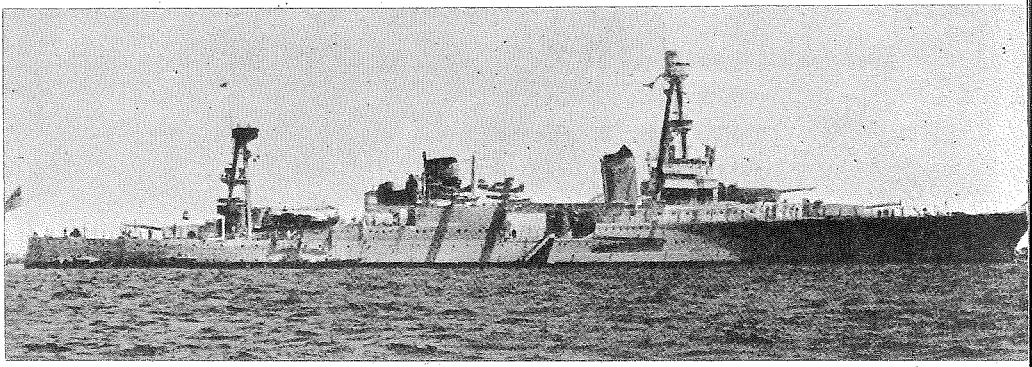
重巡洋艦 サン・フランシスコ　ニュー・オルリアンズ級　就役1934年2月10日　真珠湾空襲の際在港被害なし　1942ラエ、サラモア攻撃　サヴオ島沖夜戦　第3次ソロモン海戦当日往間日本機の体当りにて死傷者多数、更に夜戦にて大破、司令官スコット少将艦長ヤング大佐戦死　1943年5月5日大統領感状を受く



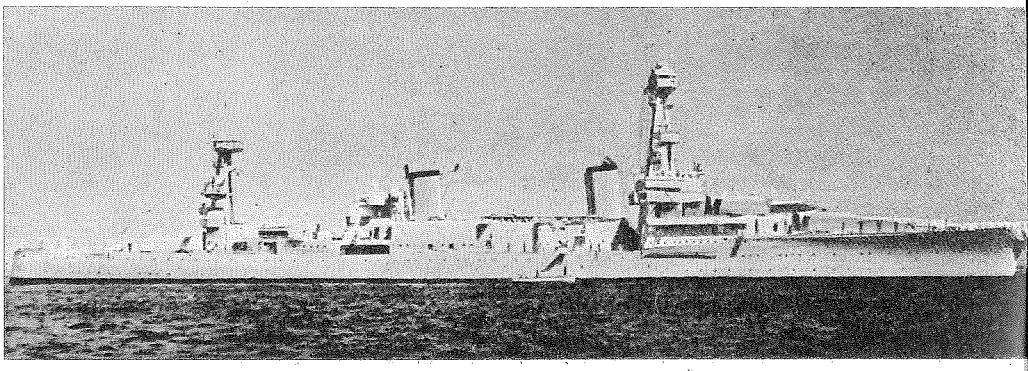
重巡洋艦 チェスター　ノーサンプトン級　但し排水量 9,200トン　就役1930年6月24日　1942年マーシャル方面作戦　ツラギ空襲空母ヨークタウン護衛　珊瑚海々戦　10月20日ガ島沖にて伊176潜の魚雷2本命中



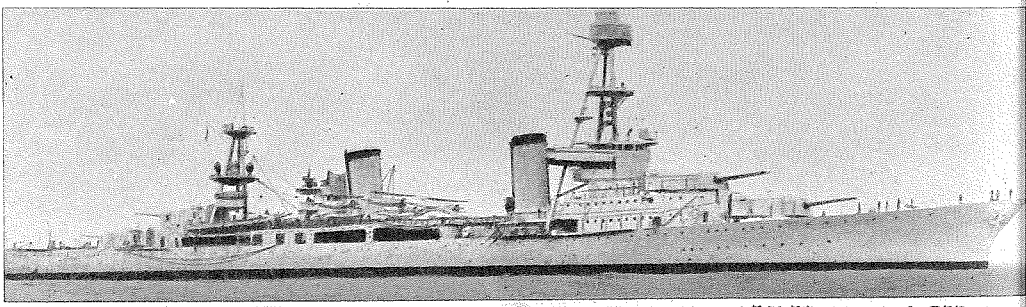
重巡洋艦 ノーサンプトン　基準排水量 9,050トン　長サ 600呎　巾66呎　速力33節　備砲 8吋×9　5吋高×8　40粍高20粍高　カタパルト×2飛行機×4　就役1930年5月17日　1942年ハルゼー機動部隊にてマーシャル方面作戦　東京初空襲空母ホーネット護衛　南太平洋海戦　ルンガ沖夜戦にて沈没



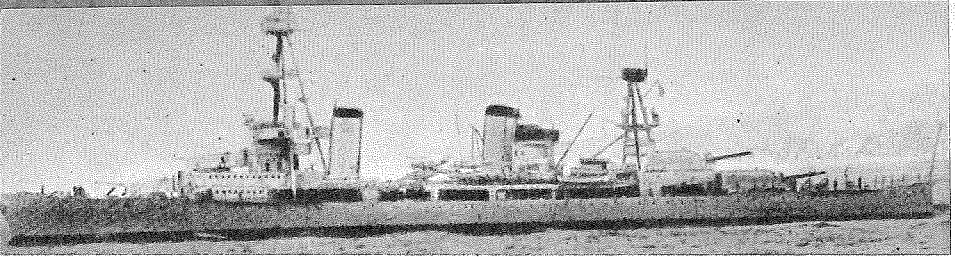
重巡洋艦 シカゴ　ノーサンプトン級　但し排水量 9,300トン　就役1931年3月9日　1942年5月空母ヨークタウンと共にツラギ空襲　珊瑚海々戦に加わらなかったが空襲さる　ガ島侵攻輸送船団護衛　第1次ソロモン海戦にて大損傷　1943年1月29日ガ島輸送船団護衛中雷撃機により撃沈さる



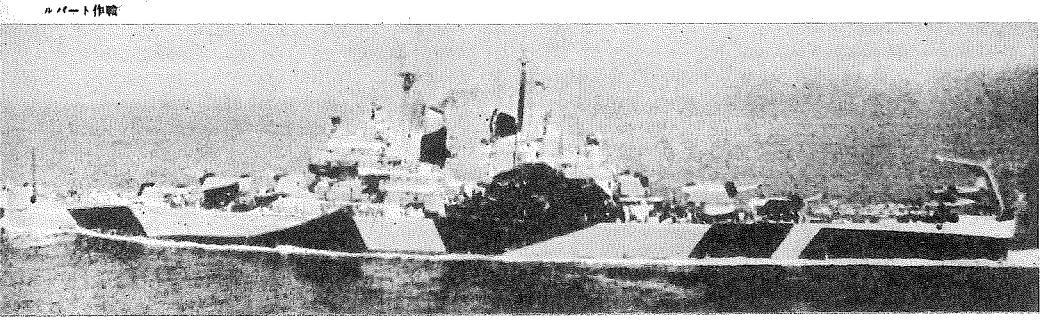
重巡洋艦 ルイスヴィル　ノーサンプトン級　就役1931年1月15日　1942年マーシャル方面作戦　ラエ方面作戦　アリューシャン作戦　1943年ガ島、アリューシャン作戦　1944年レイテ海戦　沖縄作戦中神風機の体当りにより損傷



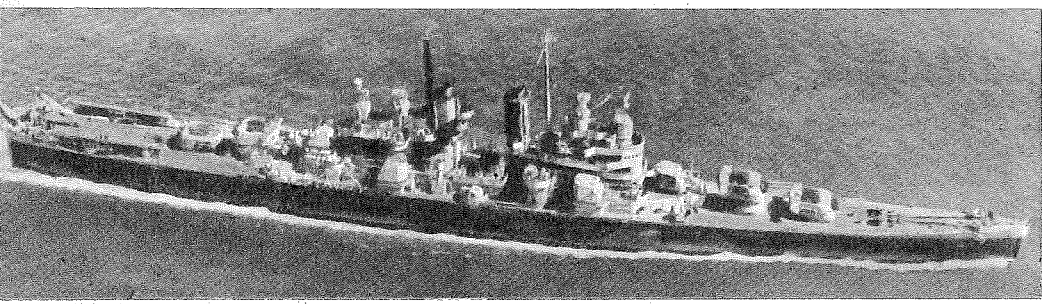
重巡洋艦 ペンサコラ　基準排水量 9,100トン　長サ 585呎　巾65呎　速力33節　備砲 8吋×10　5吋高×8　40粍高20粍高　カタパルト×2　飛行機×4　就役1930年2月6日　1942年ウエーキ、マーカス、ラエ、サラモア攻撃　ミッドウエー海戦　ルンガ沖夜戦にて雷撃により大破



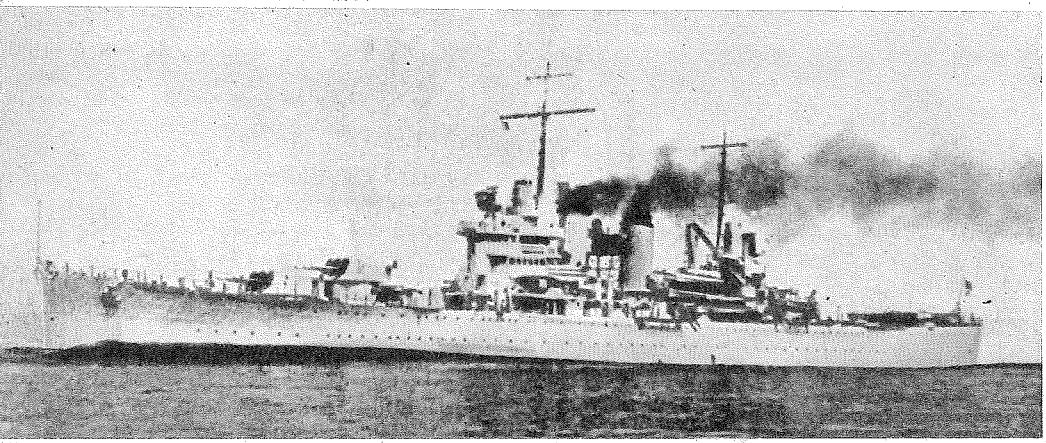
重巡洋艦 ソールト・レーク・シテイ　ペンサコラ級　就役1929年12月11日　1942年マーシャル方面作戦　東京空襲空母ホーネットの護衛　珊瑚海海戦　ガ島侵攻支援　サヴォ島沖夜戦にて小損傷　1943年コマンドルスキー島海戦にて大損傷　1943年アッツ、キスカ占領　1944年パラオ侵攻　マーシャル、ギルバート作戦



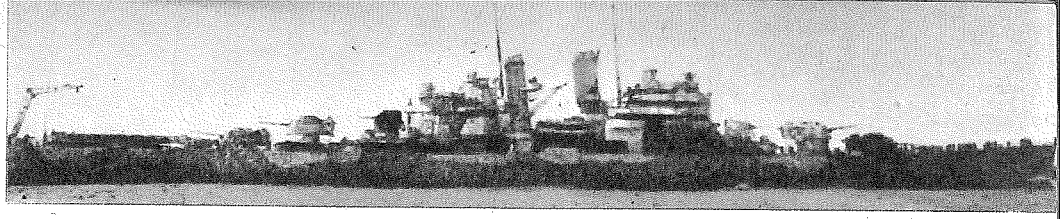
軽巡洋艦 ウィルクス・バアリイ　クリーヴランド級　基準排水量10,000トン　長サ 608呎　巾63呎　速力33節　備砲6吋×12　5吋高×12　40粍高20粍高　カタパルト×2　飛行機×2　就役1944年7月1日　1945年沖縄作戦　日本本土攻撃



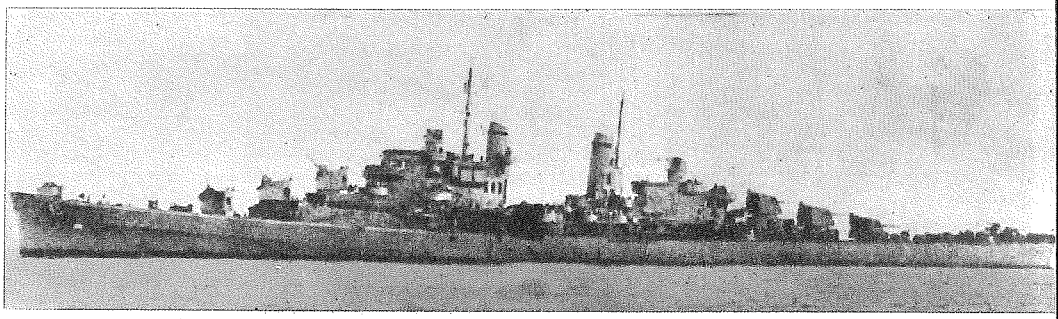
軽巡洋艦 バーミンガム　クリーヴランド級　就役1943年1月29日　1943年タラワ攻撃　11月ブーゲンビル島にて空襲により大損傷帰国　1944年第58機動部隊としてマリアナ侵攻作戦　比島海戦　ペリリュー侵攻　台湾空襲空母護衛　レイテ上陸　レイテ海戦にて空母プリンストン救助作業中同艦火薬庫爆発のため大損傷　1945年硫黄島作戦　沖縄作戦中神風機命中



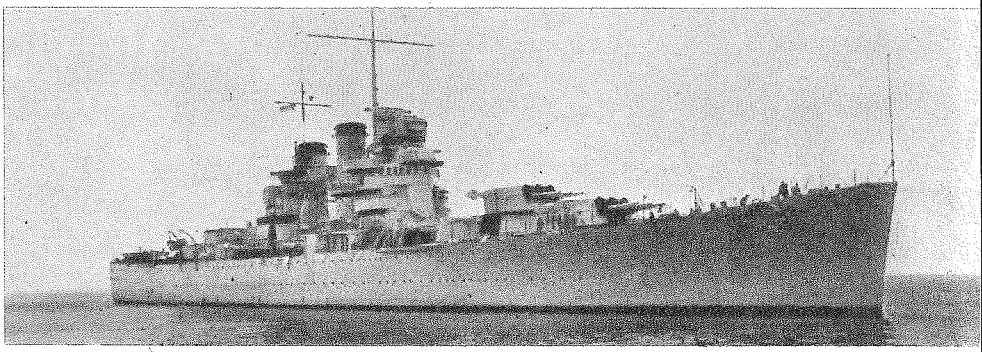
軽巡洋艦 ボイス　ブルックリン級　基準排水量 9,700トン長サ 608呎　巾61呎　速力33節　備砲6吋×15．5吋高×8　小対空砲多数　カタパルト×2　飛行機×4　就役1938年8月12日　1942年ジャワ作戦に短時間参加本国修理　サヴォ島沖夜戦にて大損傷帰国修理後地中海へ　1944年レイテ海戦



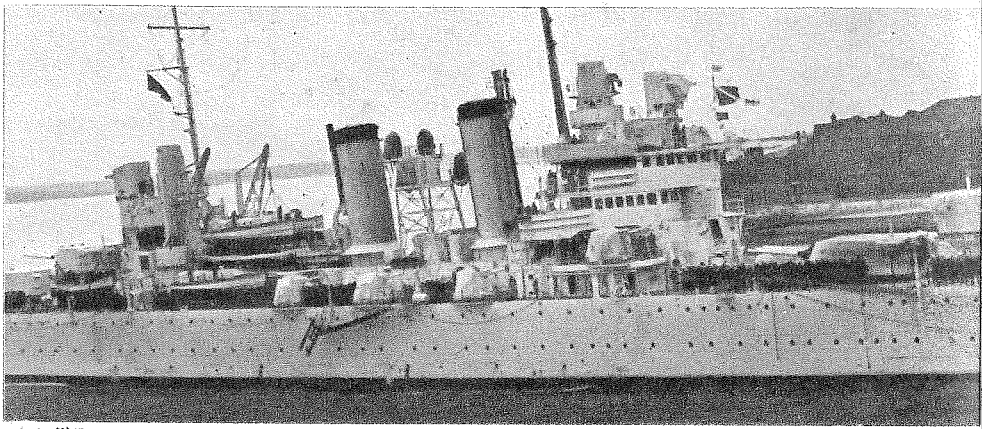
軽巡洋艦 モントペリアー　クリーヴランド級　就役1942年9月9日　1943年1月以降メリル少将麾下の第39機動部隊旗艦となり、ソロモン方面の作戦に参加　ブーゲンビル島沖海戦



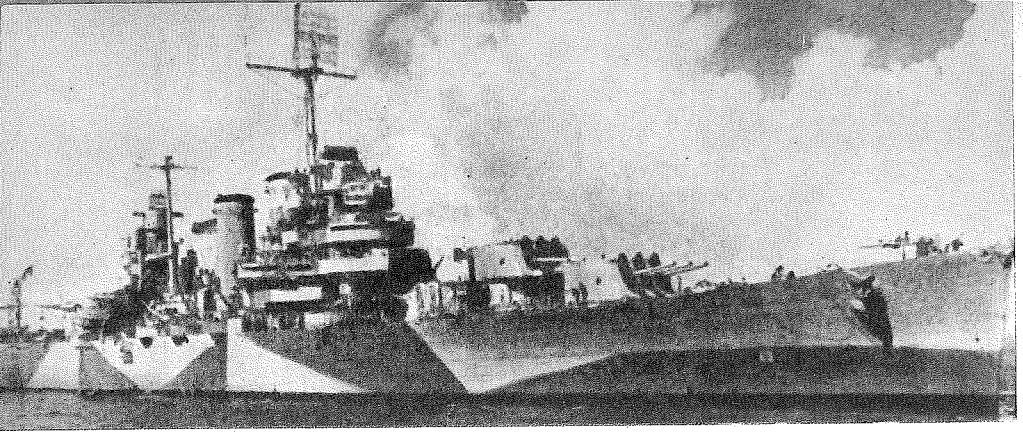
軽巡洋艦 オークランド　基準排水量 6,000トン　長さ 541呎　巾53呎　速力33節　備砲 5吋高×12（連装）　40粍×32（4連装及び連装）　20粍高×16　21吋発射管×8（4連装）　就役1943年　ケゼリン攻撃空母機動部隊　1944年マーシャル侵攻　1945年日本々土攻撃



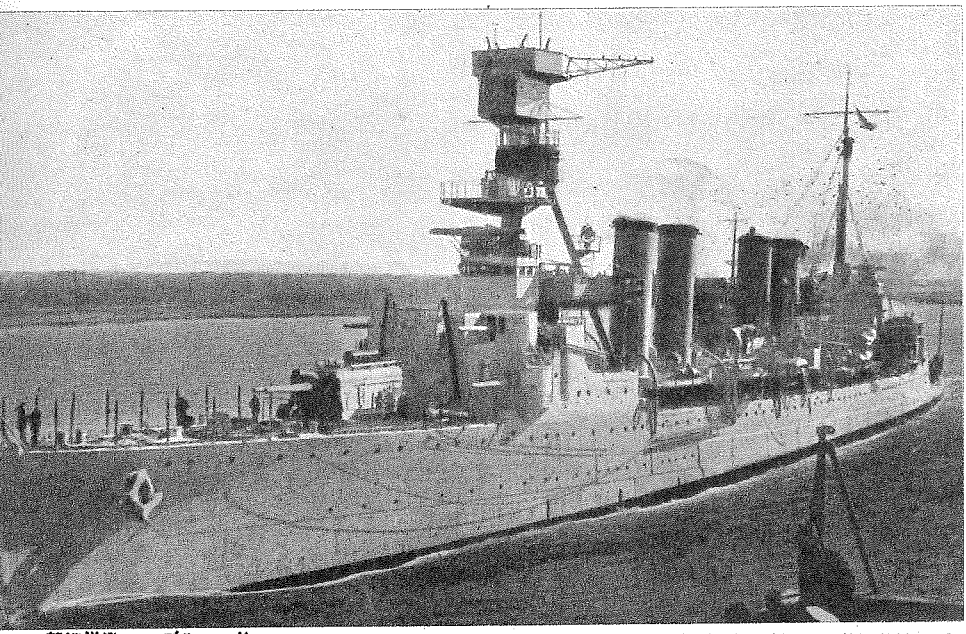
軽巡洋艦 セント・ルイス　基準排水量10,000トン　長さ 608呎　巾61呎　速力32.5節　備砲 6吋×15　5吋高×8（連装）　小対空砲多数　カタパルト×2　飛行機×4　就役1939年5月19日　真珠湾空襲の際直ちに航行反撃せる最初の主要艦、3機撃墜、特殊1隻砲撃補殺　1942年マーシャル、ギルバート作戦　1943年ソロモン作戦　クラ湾夜戦　コロンバンガラ島夜戦にて被雷損傷　キスカ占領　1944年サイパン、レイテ作戦



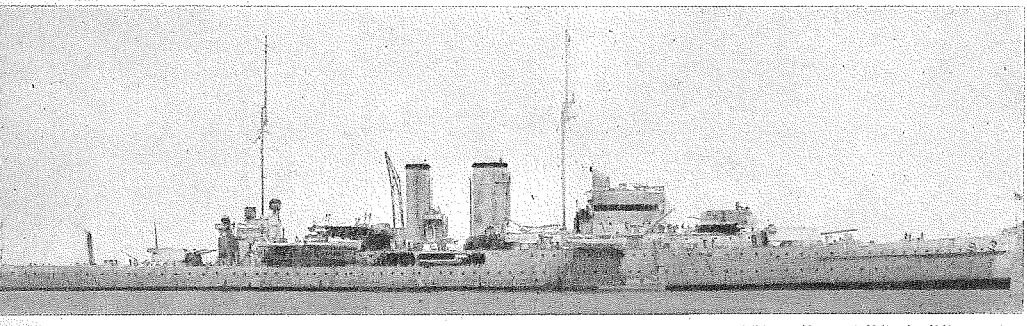
軽巡洋艦 ホノルル　ブルックリン級　就役1938年6月15日　真珠湾空襲にて損傷1942年ルンガ沖夜戦　1943年クラ湾夜戦　コロンバンガラ島沖夜戦にて被雷損傷　1944年マリアナ作戦にてサイパン、グム、テニアン砲撃　レイテ上陸援護中航空魚雷命中



軽巡洋艦 ナッシュヴィル ブルックリン級 就役1938年6月6日 1942年空母ホーネットの東京初空襲護衛 1944年ホーランディア作戦、モロタイ上陸戦、レイテ上陸戦にてマッカーサーの乗艦 12月13日ネグロス島沖にて爆弾2個を抱いた戦斗機の体当にて損傷帰国 1945年6月艦隊復帰



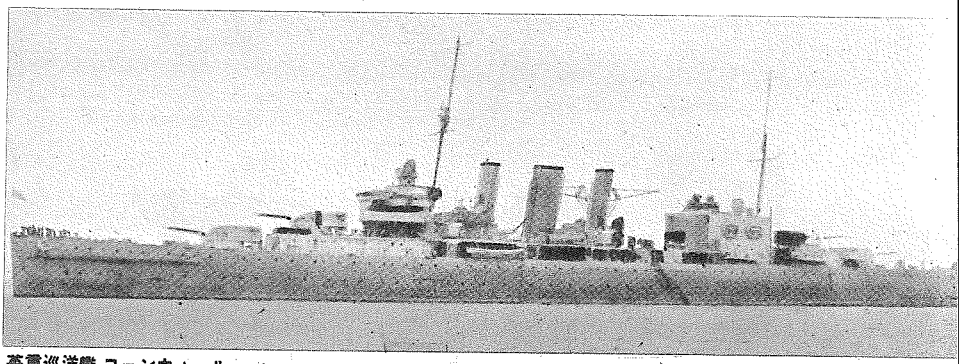
軽巡洋艦 マーブルヘッド オマハ級 基準排水量 7,050トン 長サ 555呎 巾55呎 速力35節 備砲6吋×10 3吋高×8 40粍高 対空機銃×8 21吋発射管×6（3連装） カタパルト×2 飛行機×2 就役1924年9月8日 1942年2月4日バリックパパン沖にて爆撃を受け大損傷、コロンボにて応急修理の上南阿を廻り4月5日帰国 1943年5月就役欧州作戦



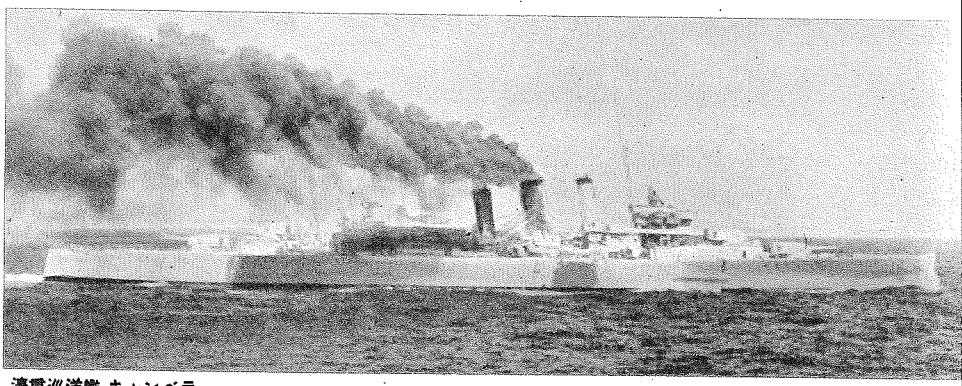
英重巡洋艦 エクゼター 排水量 8,390トン 長サ 575呎 巾58呎 速力32節 備砲8吋×6 4吋高×8（連装） 47粍×4 40粍高×8 機銃×8 発射管21吋×6（3連装）カタパルト×2 飛行機×2 完成1931年 1942年2月28日スラバヤ沖にて日本艦隊に撃沈さる



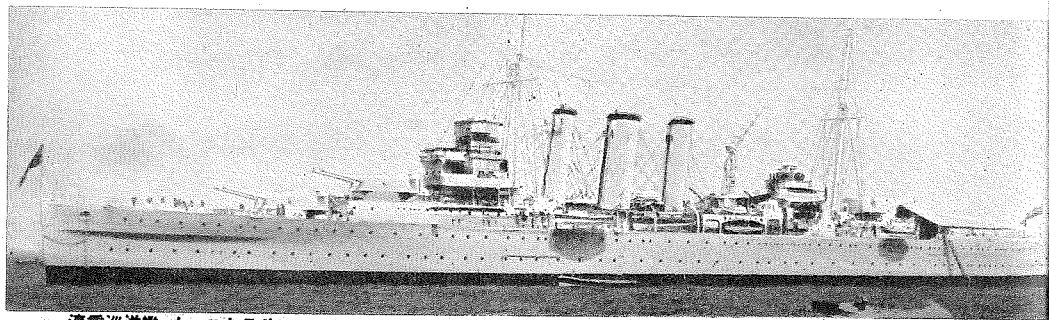
英重巡洋艦 ドーセットシャー　排水量 9,975トン　長さ 630呎　巾66呎　速力32節　備砲8吋×8　4吋高×8（連装）　47粍×4　40粍高×16　発射管21吋×8（4連装）　カタパルト×1　飛行機×1　完成1930年　1942年4月9日印度洋にて空母ハーミス重巡コーンウォールと共に海軍航空部隊により撃沈さる



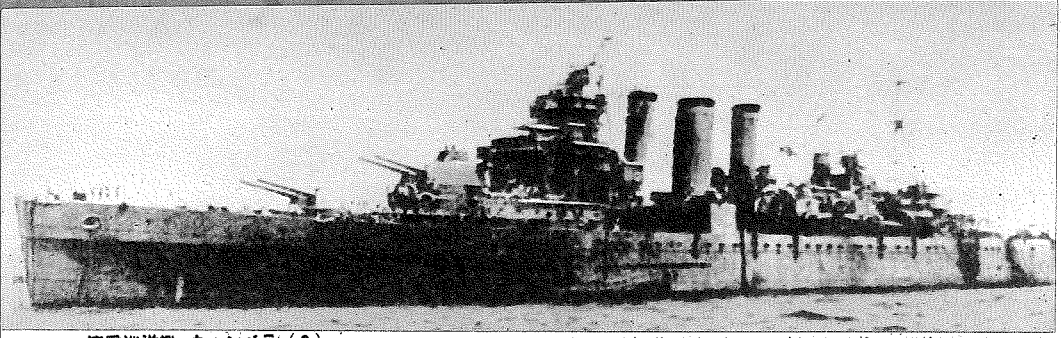
英重巡洋艦 コーンウォール　排水量10,000トン　長さ 630呎　巾68呎　速力31.5節　備砲8吋×8　4吋高×8（連装）47粍高×4　40粍高×16　カタパルト×1　飛行機×1　完成1928年　改装1935－38年　1942年4月9日印度洋にて海軍航空部隊により撃沈さる



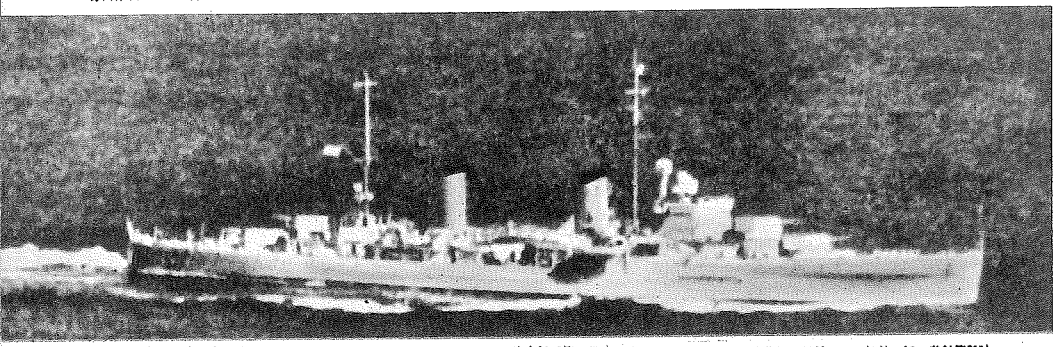
豪重巡洋艦 キャンベラ　排水量10,000トン　長さ 630呎　巾68呎　速力31.5節　備砲8吋×8　4吋高×8（連装）　47粍×4　40粍ポムポム×4　機銃×18　カタパルト×1　飛行機×3　完成1928年　1942年珊瑚海々戦　第1次ソロモン海戦にて撃沈さる



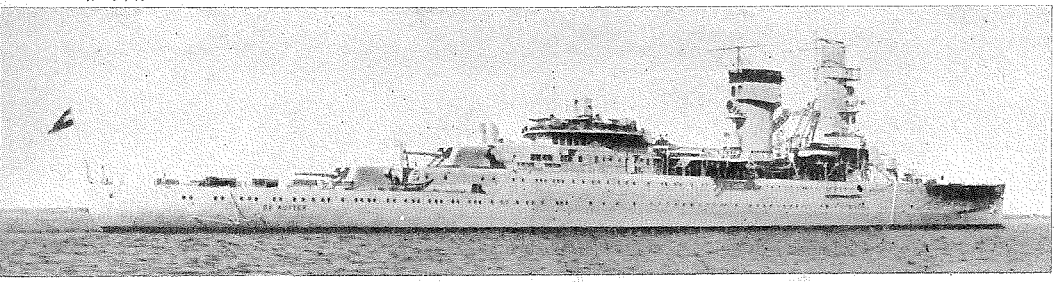
豪重巡洋艦 オーストラリア　キャンベラと同型　完成1928年　1942年ラエ、サラモア攻撃　珊瑚海々戦　第1次ソロモン海戦（クラッチレイ少将旗艦戦斗不参加）1943年ニューブリテン侵攻作戦　1944年ソロモン作戦　モロタイ侵攻　レイテ侵攻　1945年リンガエンにて連日陸上砲火を受け損傷）月10日後退す



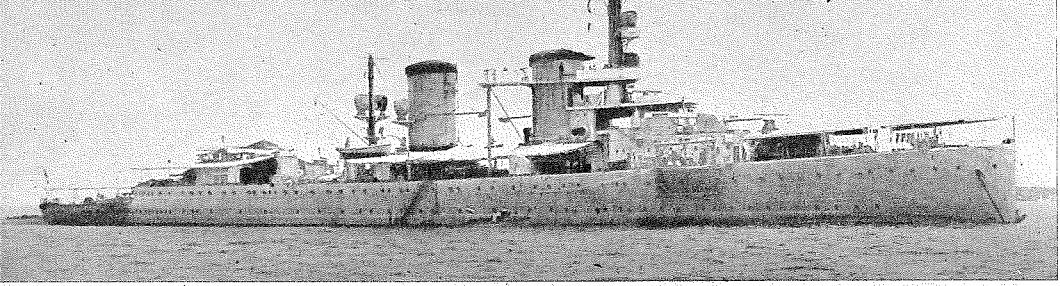
濠豪巡洋艦 キャンベラ（2） 基準排水量 9,830トン 長サ 633呎 巾66呎 速力32節 備砲 8吋×8 4吋高×8 47粍×4 40粍高×4 機銃×14 発射管21吋×8（4連装） カタパルト×1 飛行機×1 完成1929年 1942年9月8日英海軍より前に沈没した一世の代りに贈らる ソロモン、比島方面作戦 レイテ海戦で山城を撃沈したものと認められている



濠軽巡洋艦 ホバート 排水量 7,105トン 長サ 555呎 巾57呎 速力32.5節 備砲 6吋×8 4吋高×8（連装） 47粍×4 機銃×12 発射管21吋×8（4連装） カタパルト×1 飛行機×1 完成1936年 1942年ジャワ、珊瑚海方面作戦 ツラギ、ガ島侵攻作戦 1945年ウエワク上陸援護 1942年2月28日スンダ海峡にて撃沈された濠巡パースは同型

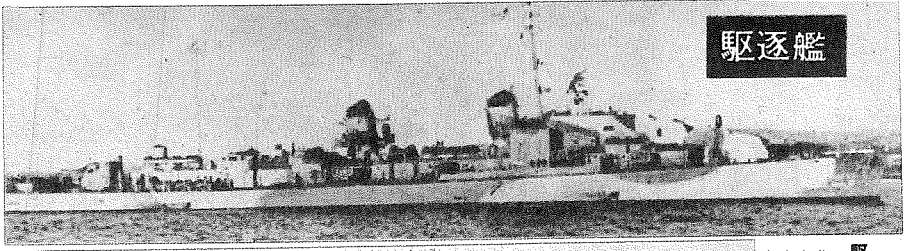


オランダ軽巡洋艦 デ・ロイテル 排水量 6,450トン 長サ 558呎 巾51呎 速力32節 備砲 5.9吋×7 40粍高×10（連装） 12.7粍高×8（連装） カタパルト×1 飛行機×2 完成1936年 1942年2月27日スラバヤ沖海戦にて砲雷撃により撃沈さる

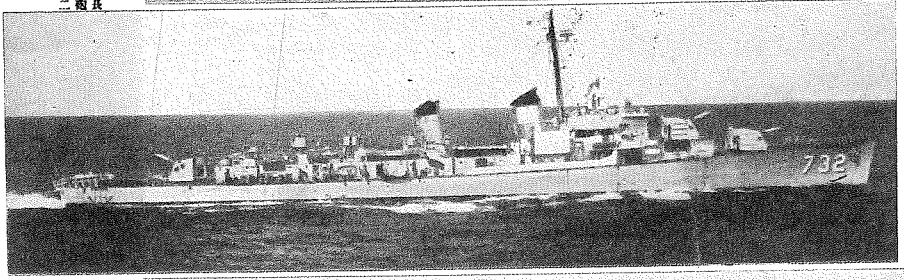


オランダ軽巡洋艦 ジャワ 排水量 6,670トン 長サ 509呎 巾52呎 速力31節 備砲 5.9吋×10 40粍高×8（連装） 40粍×4 12.7粍高×6 飛行機×2 完成1921年 改装1935年 1942年2月19日ロンボック海峡にて日本艦隊により大損傷 27日スラバヤ沖海戦にて砲雷撃により撃沈さる

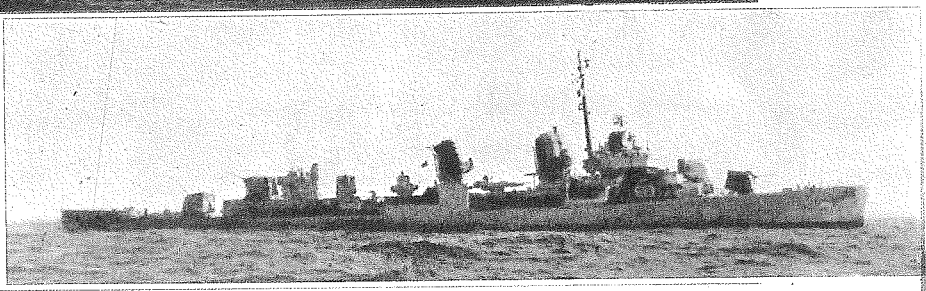
駆逐艦



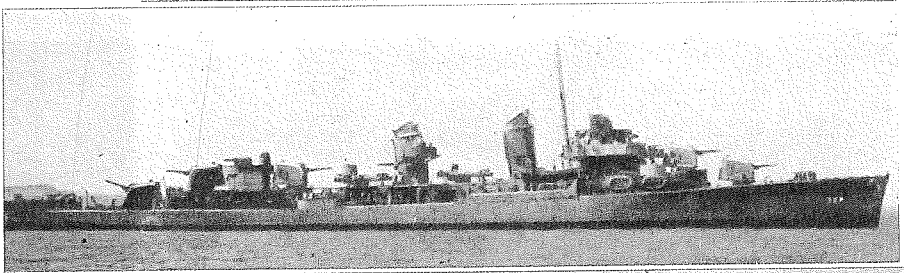
駆逐艦 フランク・ノックス ギアリング級 排水量二、四〇〇トン 長さ三九〇呎 巾四一呎 速力三五節 備砲五吋高×六 四〇粍高二〇粍高 発射管二一吋×一〇（五連装） 就役一九四四年一九四五年七—八月日本本土攻撃



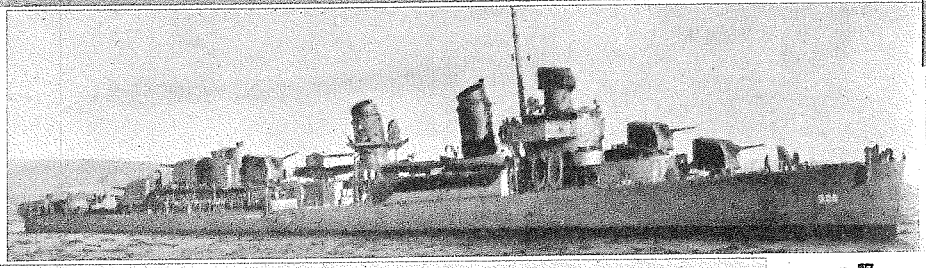
駆逐艦 ハイマン アレン・M・サムナー級 排水量二、二〇〇トン 長さ三七六呎 巾四一呎 速力三五節 備砲五吋高×六 四〇粍高二〇粍高 発射管二一吋×一〇（五連装） 就役一九四四年 一九四五年四月六日沖縄沖にて神風機命中損傷



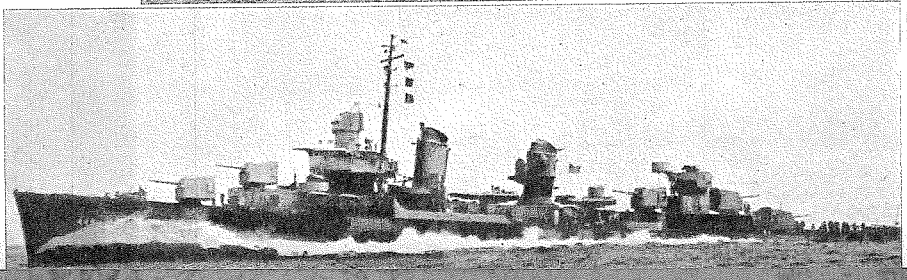
駆逐艦 コラハン フレッチャー級 排水量二、〇五〇トン 長さ三七六呎 巾三九呎 速力三五節 備砲五吋高×五 四〇粍高二〇粍高 発射管二一吋×一〇（五連装） 就役一九四三年 一九四五年七—八月日本々土攻撃



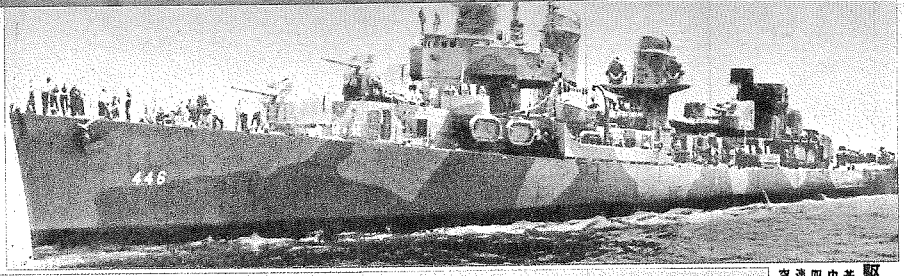
駆逐艦 アンメン フレッチャー級 就役一九四二年 一九四四年一一月一日レイテ湾にて特攻機により、一九四五年四月二二日沖縄沖にて水平爆撃機により損傷



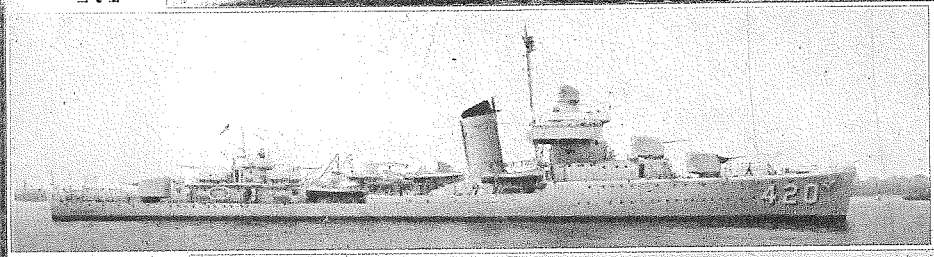
駆逐艦 コニー フレッチャー級 就役一九四二年 一九四三年三月六日ヴィラ・スタンモーア夜戦にて駆逐艦二隻撃沈 一一月二七日トレジャリイ群島沖にて爆撃により損傷



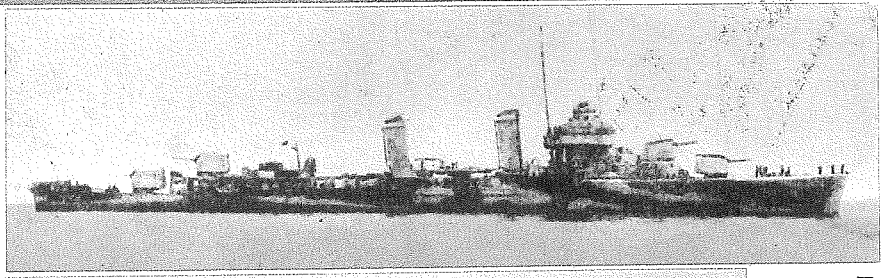
駆逐艦 ニコラス フレッチャー級 就役一九四二年 一九四三年ソロモン作戦クラ湾夜戦にて艦船への生存者救助及び交戦の功により大統領感状を受く コロンバンガラ島沖夜戦 ヴェラ・ラヴェラ上陸援護



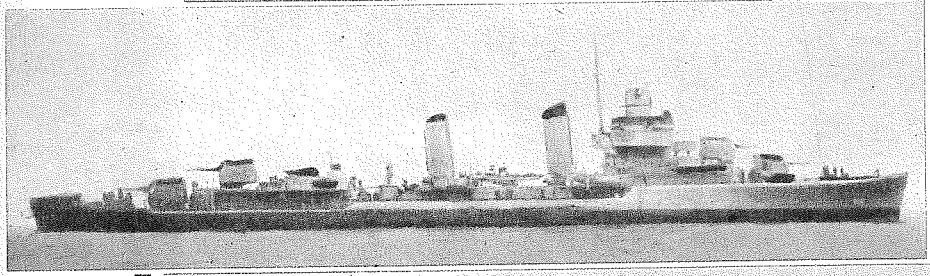
駆逐艦 ラドフォード フレッチャー級 就役一九四三年一月ソロモン作戦 タラワ沖夜戦にて重巡ヘレナの生存者救助及び支援の功により大統領感状を受く コロンバンガラ島沖夜戦 一一月二六日ギルバート沖にて伊一九潜を撃沈



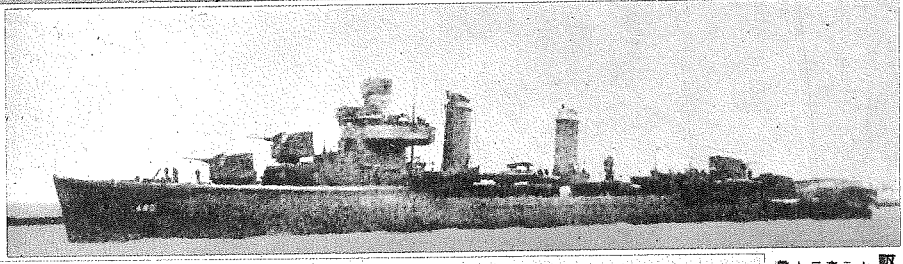
駆逐艦 グレイソン リヴァモア級 基準排水量一、六三〇トン 長さ三四八呎 巾三六呎 速力三七節 備砲五吋高×四 四〇粍高二〇粍高 発射管二吋又は五(五連装) 就役一九四一年一九四二年東京初空襲の空母護衛



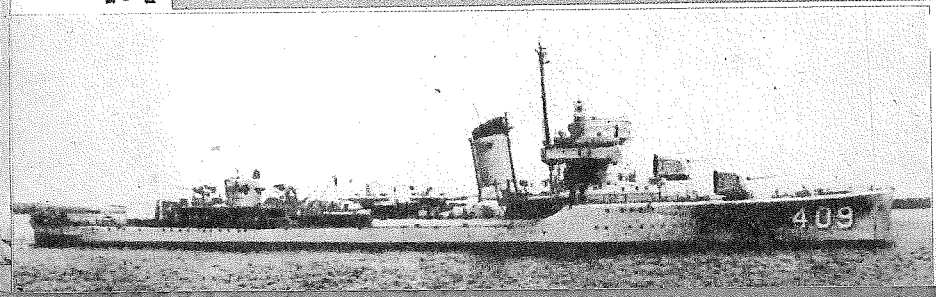
駆逐艦 ベーリイ ベンソン級 基準排水量一、六二〇トン 長さ三四八呎 巾三五呎 速力三七節 五吋高×四 四〇粍高二〇粍高 発射管二吋×五(五連装) 就役一九四二年 一九四三年コマンドルスキー諸島海戦にて機雷射撃により、一九四四年一〇月二日パラオ水域にて砲撃により損傷



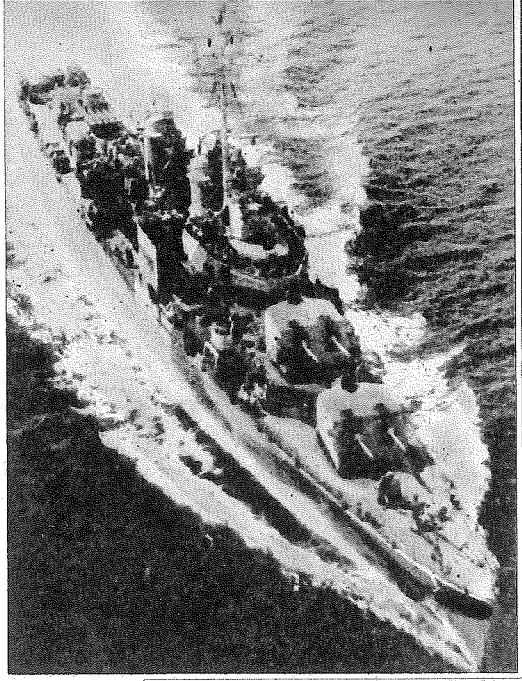
駆逐艦 ホッビイ ベンソン級 就役一九四二年一月 一九四四年ソロモン、ニューギニア方面作戦 ペリリュー上陸作戦 一九四五年前年末から当年一月中ルソン、台湾、支那沿岸攻撃の第五八機動部隊 硫黄島作戦 一、二三月東京空襲 沖縄作戦中同地区の哨戒

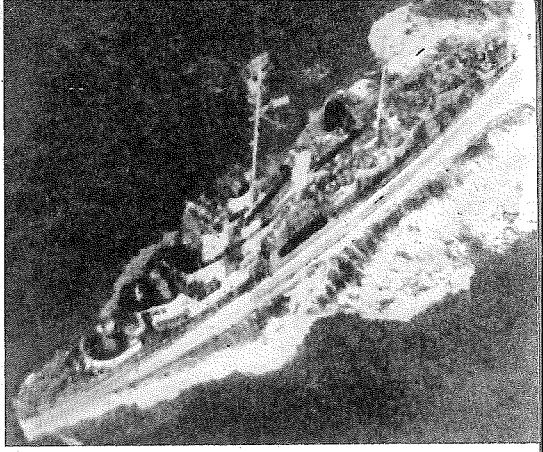


駆逐艦 ウッドワース ベンソン級 就役一九四二年一九四三年七月一三日コロンバンガラ島沖夜戦にて味方駆逐艦と衝突損傷



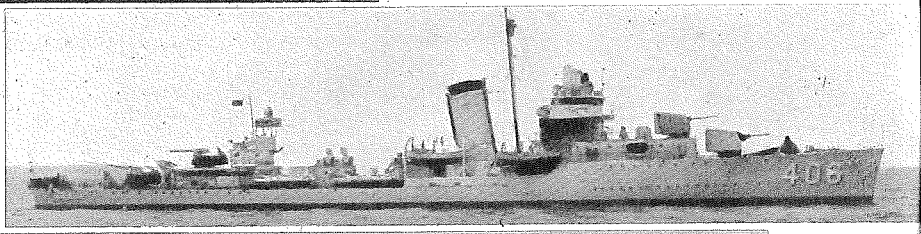
駆逐艦 シムス 基準排水量一、五七〇トン 長さ三四八呎 巾三六呎 速力三七節 備砲五吋高×四 四〇粍高二〇粍高 発射管二吋×八(四連装) 就役一九三九年 一九四二年マーシャル、ギルバート攻撃 五月七日珊瑚海々戦にて急降下爆撃機により撃沈さる



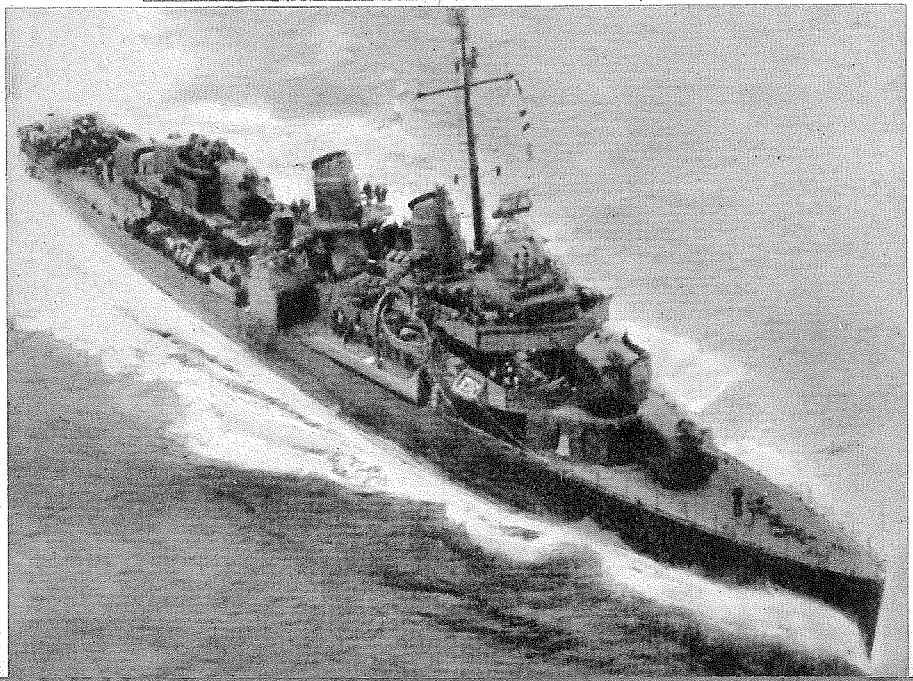


駆逐艦　カッシング（2）　フレッチャー級　就役1944年
1945年7－8月日本本土攻撃

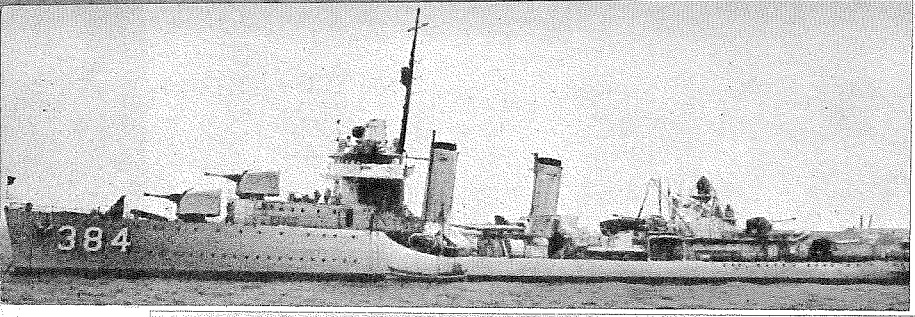
駆逐艦　ジョン・W・ウィークス　アレン・M・サムナー級
就役1944年　1945年7－8月日本本土攻撃



駆逐艦　スタック　マッコールL級　就役一九三九年　一九四二年八月七日ガダルカナル侵攻支援　一九四三年八月六日ヴェラ湾海戦



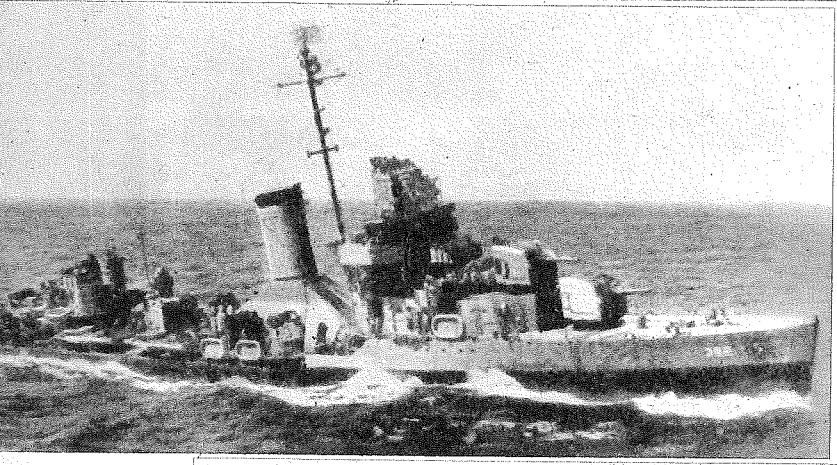
駆逐艦　マーシャル　フレッチャー級　就役一九四三年　一九四五年三月三日九州沖で爆撃された空母フランクリンの救助に協力



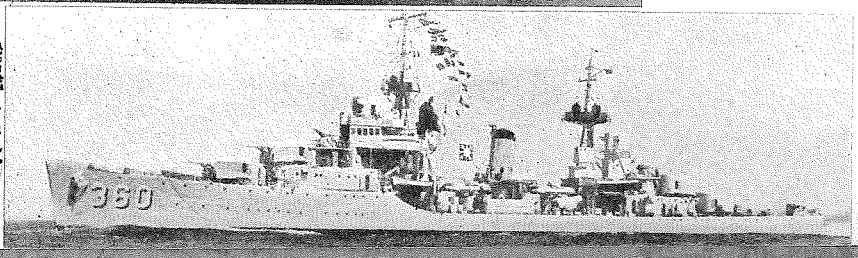
駆逐艦 ダンラップ ファンニング級 就役一九三七年 一九四二年マーシャル、ギルバート攻撃 一九四三年八月六日ヴェラ湾海戦 四—五月サパン、ラバヤ攻撃中英東洋艦隊と共に行動



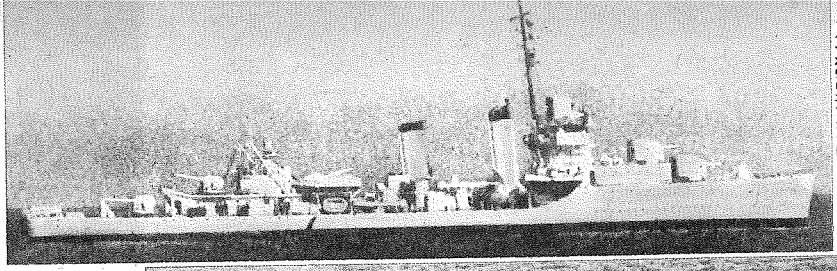
駆逐艦 マッコール 基準排水量一、五〇〇トン 長サ三四一呎、巾三五呎 速力三六・五節 備砲五吋高×四 四〇粍高二〇粍高 発射管二一吋×八（四連装） 就役一九三八年 一九四二年二月一日マーシャル、ギルバート侵攻



駆逐艦 バターソン クレイヴェン級 基準排水量一、五〇〇トン 長サ三四一呎 巾三五呎 速力三六・五節 備砲五吋高×四 四〇粍高二〇粍高 発射管二一吋×一六（四連装） 就役一九三七年 一九四二年ラエ、サラモア攻撃 珊瑚海々戦 ガ島上陸支援 第一次ソロモン海戦にて損傷、同夜同じく損傷せるラルフ・タルボット及び沈没せるジャーヴィスは同級 一九四三年八月七日南太平洋方面にて伊一七八潜を撃沈

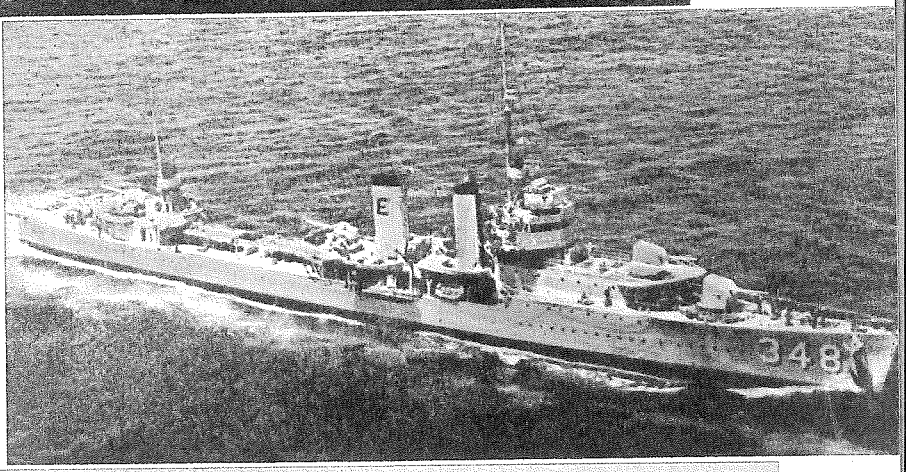


駆逐艦 フェルプス ポーター級 基準排水量一、八五〇トン 長サ三八一呎 巾三六呎 速力三七節 備砲五吋×五 四〇粍高×八 二〇粍高 発射管二一吋×八（四連装） 就役一九三六年 一九四二年ラエ、サラモア攻撃 珊瑚海々戦 ガダルカナル侵攻の時第一一機動部隊



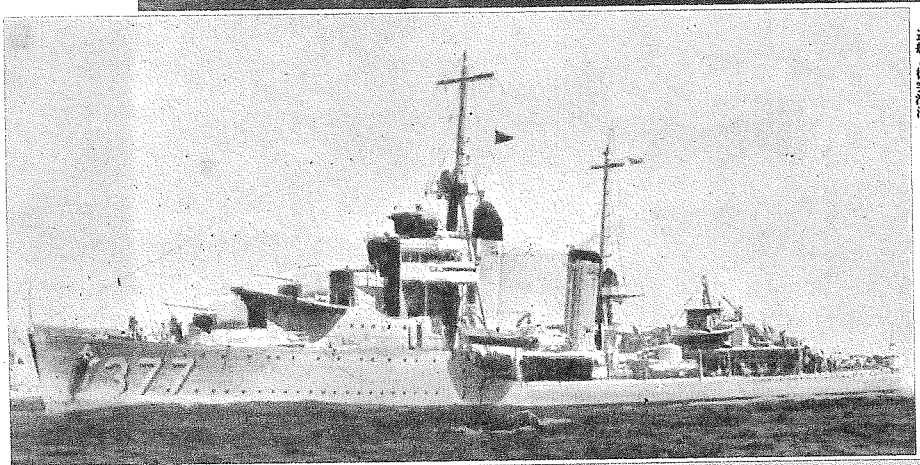
駆逐艦　ファニング

基準排水量一、四九〇トン　長サ三四一呎　巾三五呎　速力三六、五節　備砲　五吋高×五　四〇粍高二〇粍高　発射管二一吋×二二（四連装）　就役一九三七年一九四二年四月一八日　東京初空襲空母の護衛　一九四四年四―五月サバン、スラバヤ攻撃中英東洋艦隊と共に行動



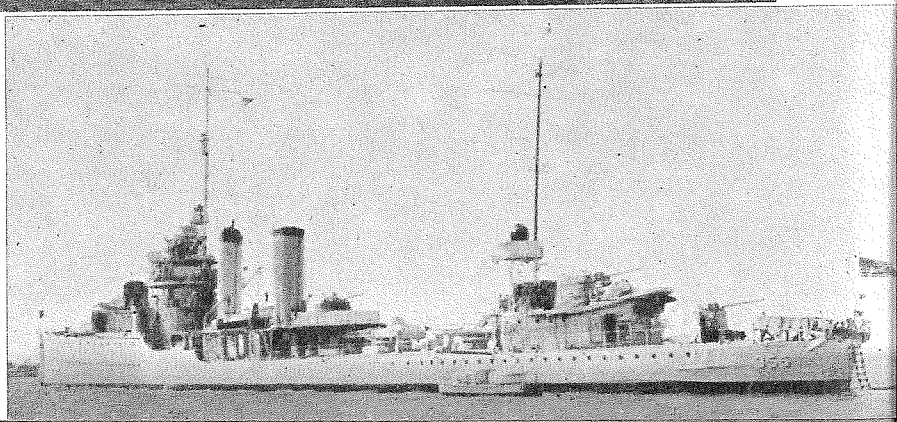
駆逐艦　ファラガット

基準排水量一、三五〇トン　長サ三四一呎　巾三四呎　速力三六、五節　備砲五吋高×四、四〇粍高二〇粍高　発射管二一吋×八（四連装）　就役一九三四年　一九四二年珊瑚海々戦　ガダルカナル侵攻の時第一一機動部隊



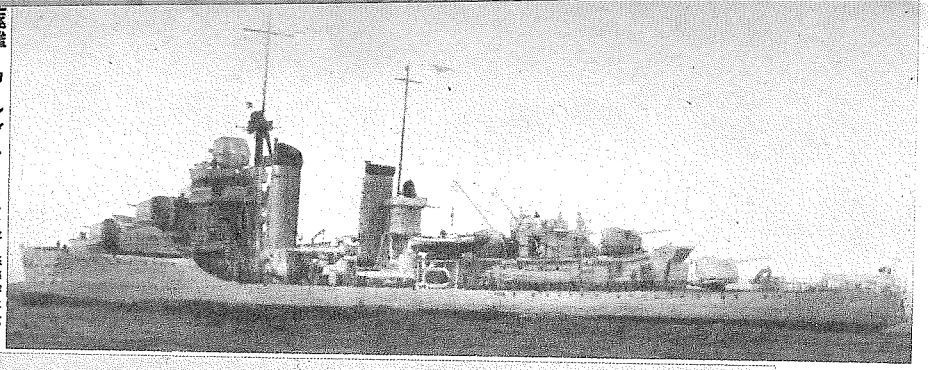
駆逐艦　パーキンズ

マハン級　就役一九三六年　一九四二年五―六月連州艦隊と共に珊瑚海作戦　五月七―八日珊瑚海々戦　一九四三年一一月二九日朝ニューギニアの南西岸にて輸送船と衝突沈没

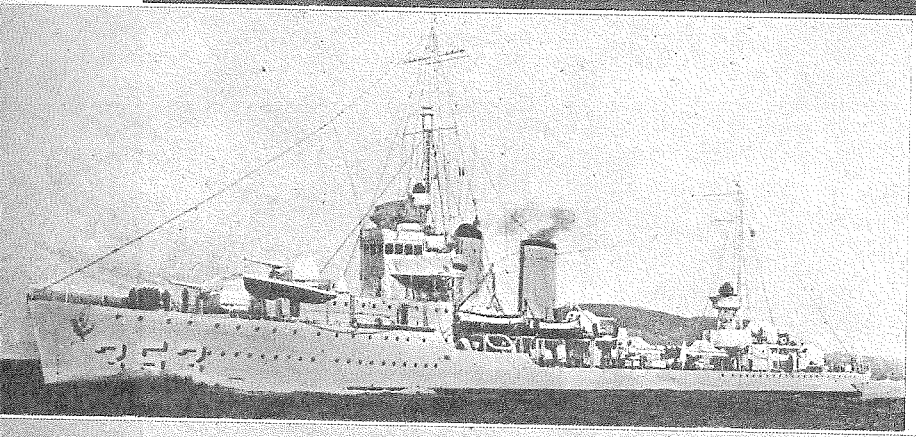


駆逐艦　エルウイン

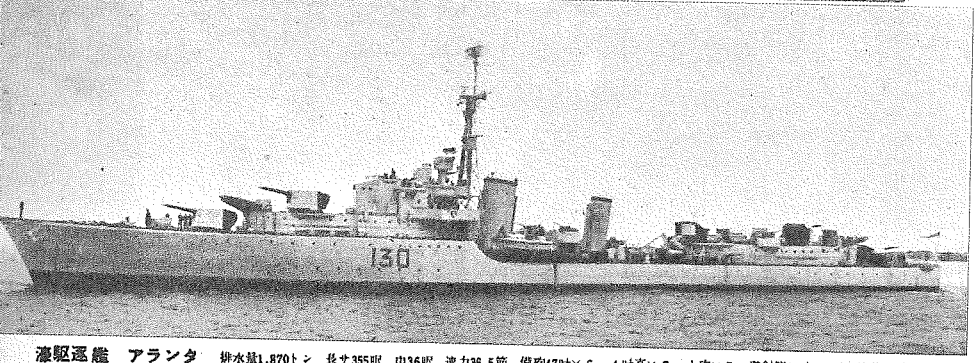
ファラガット級　就役一九三五年　一九四二年ラエ、サラモア攻撃　珊瑚海々戦



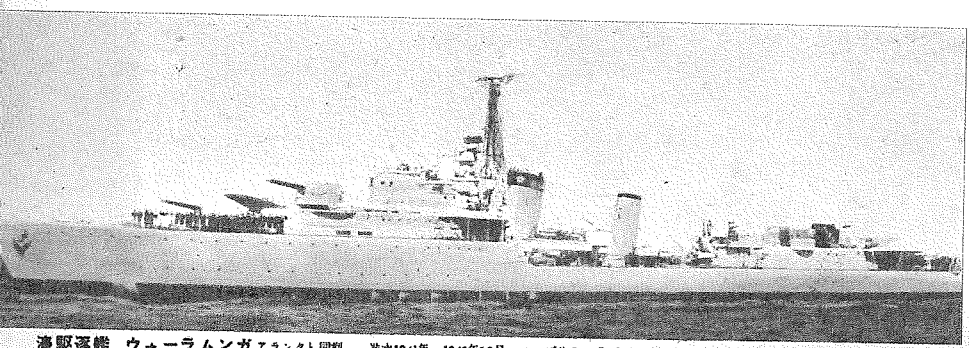
駆逐艦　カミングス　マハン級　蒸気排水量一、四五〇トン　長サ三四二呎　巾三五呎　速力三六ノット　備砲五吋砲×四　四〇粍高一〇粍高　発射管二一吋×四（四連装）　就役一九三六年　一九四四年四―五サバン、スラバヤ攻撃中英艦隊と共に行動



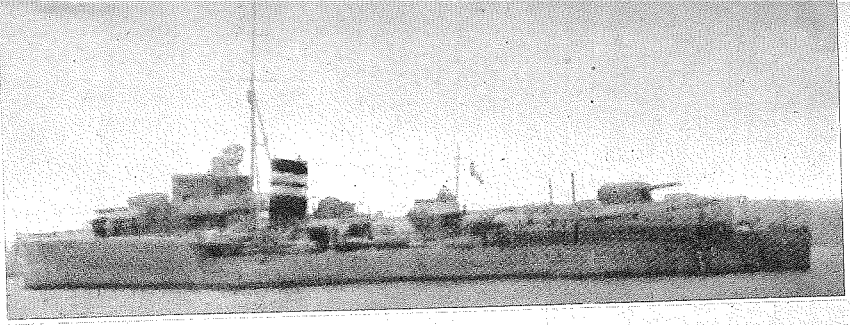
駆逐艦　デイル　ファラガット級　就役一九三五年　一九四二年ラエ、サラモア攻撃　一九四三年三月二六日コマンドルスキー諸島海戦



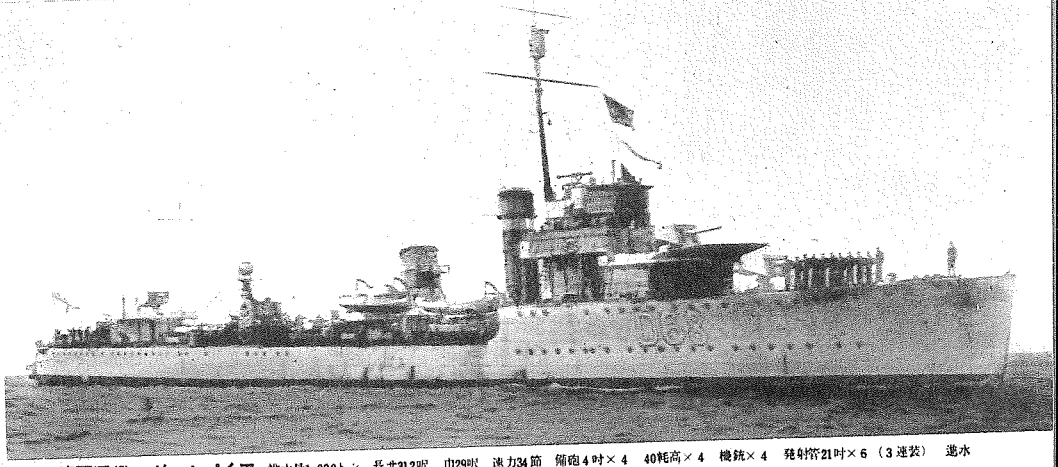
準駆逐艦　アランタ　排水量1,870トン　長サ355呎　巾36呎　速力36.5節　備砲47吋×6　4吋高×2　小砲×7　発射管21吋×4（4連装）　進水1940年1943年以降ソロモン方面作戦　1944年モロタイ侵攻　レイテ海戦　1945年ルソン侵攻　ウエワク上陸作戦



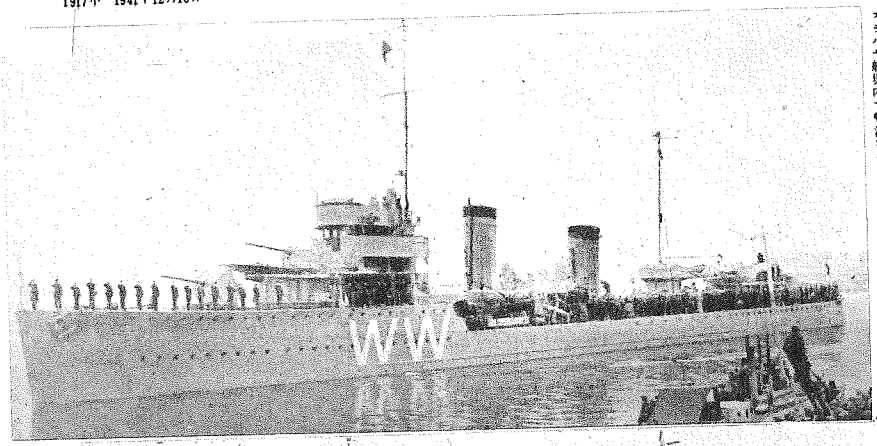
準駆逐艦　ウォーラムンガ　アランタと同型　進水1941年　1943年12月ニューブリテンのグロースター岬上陸作戦以降　マヌス島砲撃、ホーランディア上陸　ナムウル島砲撃侵攻　モロタイ侵攻　ルソン侵攻等各作戦



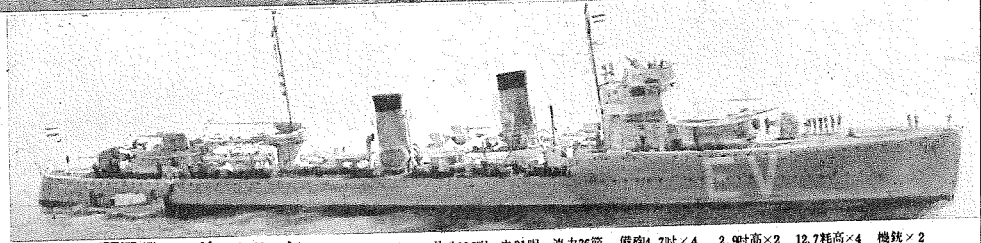
駆逐艦　ネイピア　排水量一、六九五トン　長サ三四八呎　巾三五呎　速力三六節　備砲四、七吋×四　四吋高×二　機銃×六　発射管二一吋×五　完一九四一年　一九四五年英太平洋艦隊と共に行動



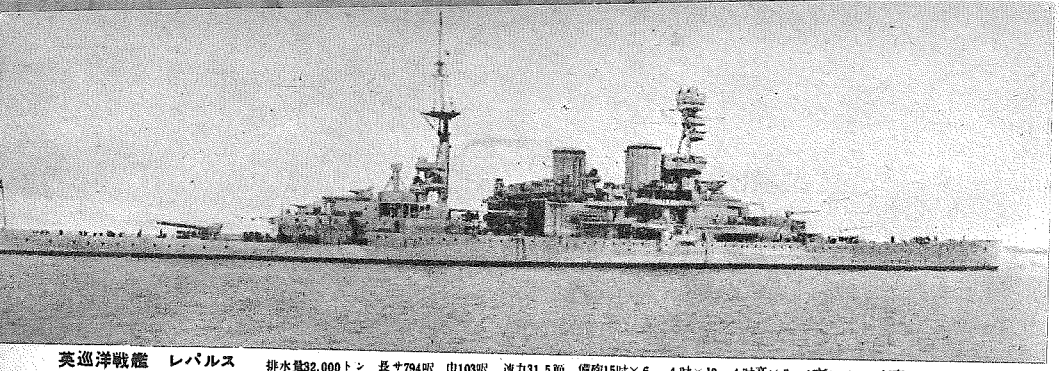
濠駆逐艦　ヴァムパイア　排水量1,090トン　長サ312呎　巾29呎　速力34節　備砲4吋×4　40粍高×4　機銃×4　発射管21吋×6（3連装）　進水1917年　1941年12月10日　プリンス・オヴ・ウエールズの撃沈された時護衛艦であつた。1942年4月22日ベンガル湾にて撃沈さる。



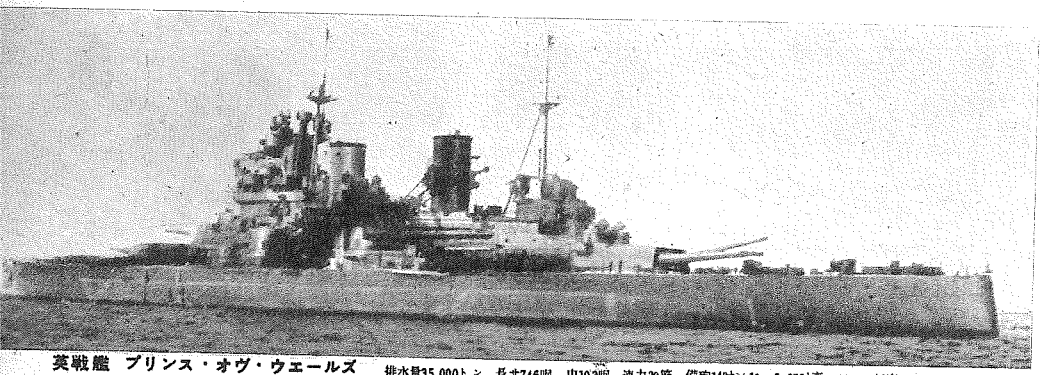
オランダ駆逐艦　ウイッテ・デ・ウイット　排水量一、三二六トン　長サ三一二呎　巾三一呎　速力三六節　備砲四、七吋×四　二、九吋高×一　四〇粍高×四　一二、七粍高×四　爆雷投射機×二　発射管二一吋×六（三連装）　飛行機一　進水一九二八年　一九四二年二月二七日スラバヤ沖海戦　三月二日スラバヤ船渠内で撃沈さる



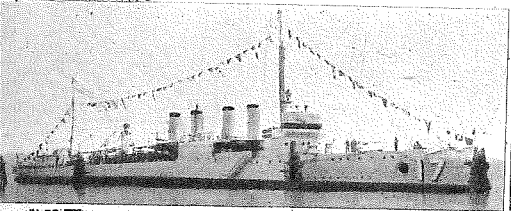
オランダ駆逐艦　エヴェルツエン　排水量1,310トン　長サ322呎　巾31呎　速力36節　備砲4.7吋／4　2.9吋高×2　12.7粍高×4　機銃×2　爆雷投射機×2　発射管21吋×6（3連装）　機雷24個　1942年2月27日スラバヤ沖海戦、遁走中28日スンダ海峡にて擱坐沈没　同海戦にて撃沈されたコルテノールも同型艦



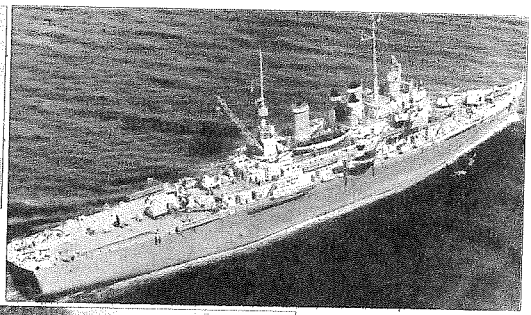
英巡洋戦艦　レパルス　排水量32,000トン　長サ794呎　巾103呎　速力31.5節　備砲15吋×6　4吋×12　4吋高×8　47粍×4　40粍高×16　機銃×15　発射管21吋×8　カタパルト×1　飛行機×4　完成1916年　改装1932—36　プリンス・オヴ・ウエールズと共に撃沈さる。

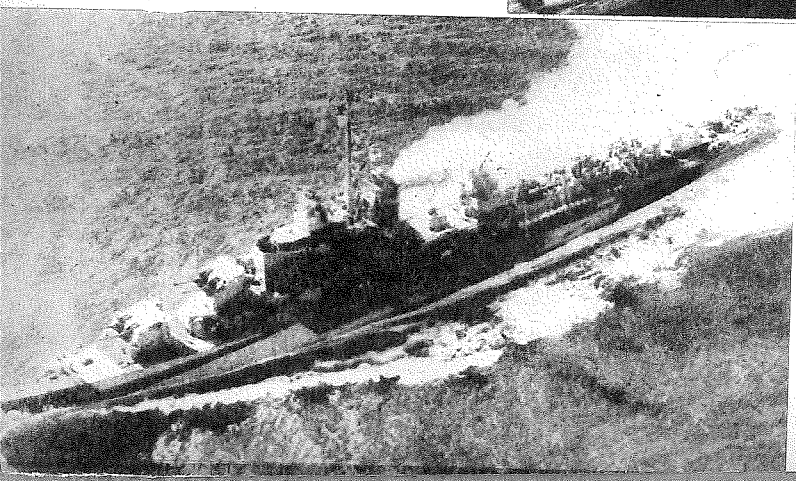


英戦艦　プリンス・オヴ・ウエールズ　排水量35,000トン　長サ746呎　巾103呎　速力30節　備砲14吋×10　5.25吋高×16　40粍高×32　小対空砲　カタパルト×1　飛行機×4　完成1940年　1941年12月10日　マレー沖にて日本海軍機の攻撃により沈没、東洋艦隊長官フィリップス大将、艦長リーチ大佐外約700名戦死



敷設駆逐艦　モントコメリー　旧駆逐艦改装　排水量1，160トン　長サ 314呎　巾30呎　速力35節　備砲4吋×4　小対空砲　機雷80　就役1935年　1943年8月25日ソロモン水域にて衝突事故により損傷　44年10月17日パラオ諸島の東方にて触雷沈没。



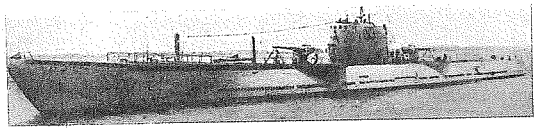


敷設艦　テラー　排水量五、八七五トン　長サ四五四呎　巾六〇呎　備砲五吋高×四　四〇粍高二〇粍高　就役一九四二年一九四五年四月三〇日沖縄沖にて神風機により損傷

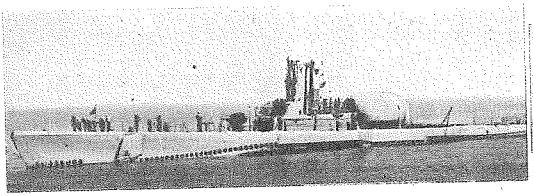
敷設駆逐艦　シェー　（駆逐艦改装）　基本要目はアレン・M・サムナー級駆逐艦を参照　排水量二、〇九〇トン　その他発射管除去敷設艦としての装置をつけ機雷一〇〇個以上を搭載　就役一九四四年　一九四五年四月二三日（二二日？）特攻機、五月四日（三日？）桜花特攻機命中損傷



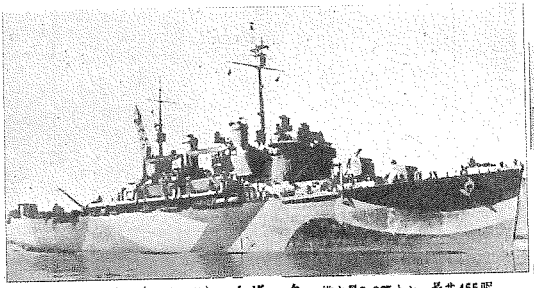
潜水艦　ノーチラス　排水量2,730トン　長サ371呎　巾33呎　速力17節…8.5節　備砲6吋×2　機銃×2　発射管21吋首4尾2　就役1930年　1942年ミッドウェー海戦にて損傷空母蒼龍を撃沈　8月マキン島に海兵隊輸送　日本沖にて油槽船、駆逐艦、輸送船各1撃沈　1943年5月5日大統領感状を受く



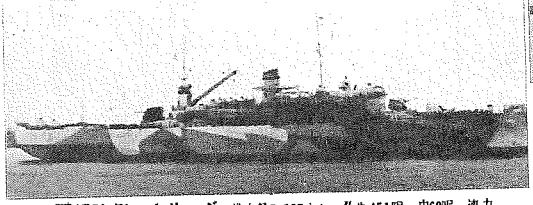
輸送潜水艦　アゴーノート　排水量2,710トン　長サ381呎　巾35呎　速力14.6節－8節　備砲6吋×2　対空機銃×2　発射管21吋首×4　機雷60個　就役1928年　改造1940…41年　1942年8月ノーチラスと共にマキン島に海兵隊輸送　1943年1月10日ニューブリテン沖にて日本輸送船団を攻撃し護衛駆逐艦に撃沈さる



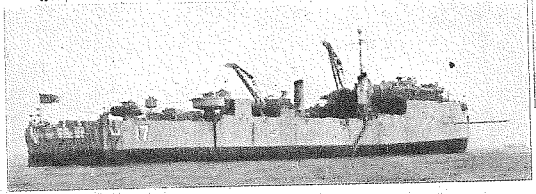
潜水艦　バーチ　ピカーレル級　就役1936年　1942年3月3日ジャワ海にて日本駆逐艦3隻に攻撃され損傷自沈（但し写真は2世）



車両揚陸艇（ＬＳＶ）　オザーク　排水量5,875トン　長サ455呎，巾60呎　速力20節　5吋砲×2　40粍高×8　大型敷設艦として設計されたが車両揚陸艇に改装　1942年建造



車両揚陸艇　オサージ　排水量5,625トン　長サ451呎　巾60呎　速力20節　5吋砲×2　40粍高×8　設網艦として設計、後車両揚陸艇に改装、車両40台、兵員800名搭載　1943年建造



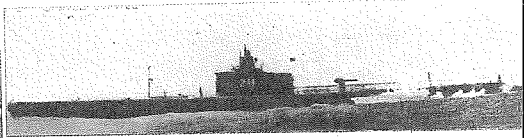
上陸艇母艦（ＬＳＤ）　キャタアマウント　排水量4,032トン　長サ457呎　巾72呎　速力15.4節　5吋砲×1　40粍高×12　中型上陸艇14を搭載　1945年1月建造



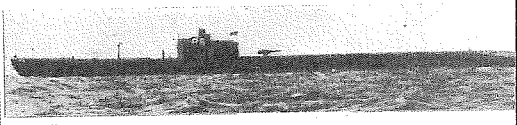
潜水艦　ハードヘッド　バオラ級　排水量1,525トン　長サ311呎　速力20節…　備砲5吋×1小対空砲　発射管21吋首6尾4就役1944年　1944年8月18日サマール東方にて哨巡名取、11月25日ルソン西方にて海防艦第38号、45年7月23日ジャワ沖にて駆潜艇第117号を撃沈



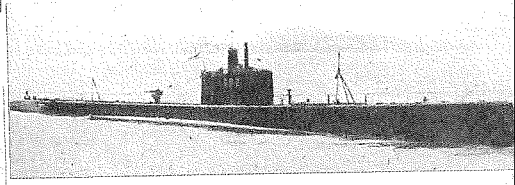
潜水艦　シルヴァサイズ　アルバコーア級　排水量1,525トン　長サ311呎　巾27呎　速力20節…　備砲4吋高×1　対空機銃×2　発射管21吋首6尾4　就役1942年　1942年4月から45年7月まで敵海面に行動日本船舶撃沈29隻撃破15隻計221,113トン　大統領感状を受く



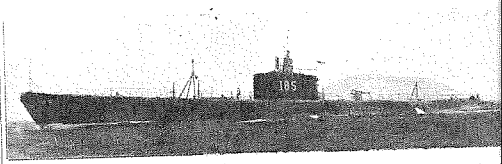
潜水艦　ガジョン　ガー級　排水量1,475トン　長サ307呎　巾27呎　速力21節－　備砲3吋高×1　対空機銃×2　発射管21吋首6尾4　就役1941年　1942年1月27日ミッドウェー沖における伊173潜、1943年11月23日東支那海における海防艦若宮の撃沈を含め開戦以来撃沈19隻133,957トン撃破3隻13,944トン、1943年9月30日大統領感状　1944年6月7日太平洋水域にて沈没認定



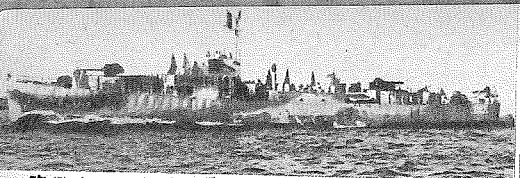
潜水艦　ピカーレル　排水量1,330トン　長サ300呎　巾25呎　速力20節－9節　備砲3吋×1　対空機銃×1　発射管21吋首尾各2　就役1937年　1943年3月2日本州沖にて駆潜艇第13号を撃沈　5月12日太平洋水域にて沈没と認定



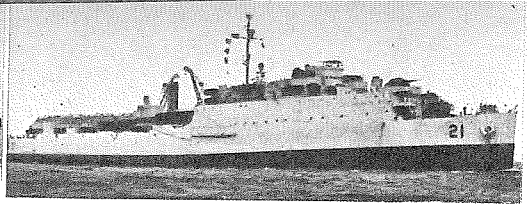
潜水艦　セールフイッシユ　サーゴ級　排水量1,475トン　長サ310呎　巾27呎　速力20節－9節　備砲3吋高×1　対空機銃×1　発射管21吋首尾各4　就役1939年　1942年12月21日ラバウル南方にて伊4潜撃沈　1943年12月4日本州南東沖にて空母沖鷹を撃沈　1944年6月1日大統領感状を受く



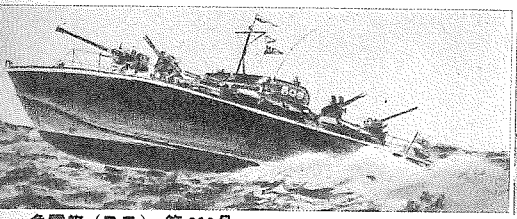
潜水艦　スナッパー　サーモン級　排水量1,445トン　長サ308呎　巾26呎　速力20節…9節　備砲3吋高×1　対空機銃×1　発射管21吋首尾各4　就役1938年　11回の作戦哨戒中日本船舶撃沈34,750トン　撃破12,000トン　コレヒドル降伏前若干の米軍救出　1944年2月17日…18日　トラック攻撃中零戦の銃撃司令塔に命中艦長及び見張員2名負傷見張員1名戦死



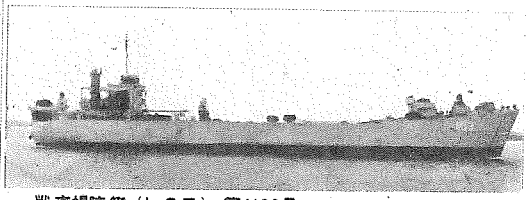
砲艦（ＰＧＭ） 第31号　排水量280トン　長サ173呎　巾23呎 速力20節　3吋砲×1　40粍高×2　ロケット砲



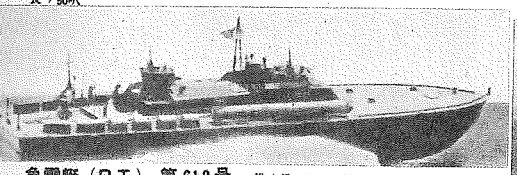
上陸艇母艦（ＬＳＤ） フォート・マンダン　キャタマウントに同じ　建造1945年



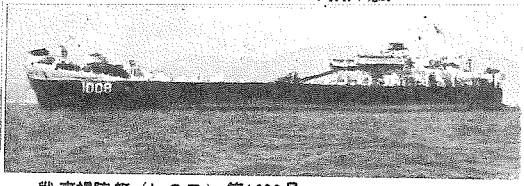
魚雷艇（ＰＴ） 第809号　1950年8月進水　戦時中の魚雷艇よりも排水量、航続距離、火力及び安定性を増大し、全金属性である　排水量75トン　長サ90呎



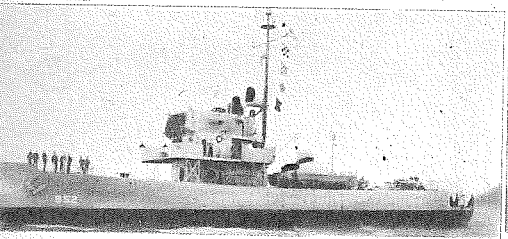
戦車揚陸艇（ＬＳＴ） 第1153号　排水量2,324トン　長サ382米　巾54米　速力14節　5吋砲×2　40粍高×4　小型上陸艇4を搭載、兵員、大型戦車、車両及び貨物等の運搬能力を増している。1947年完成



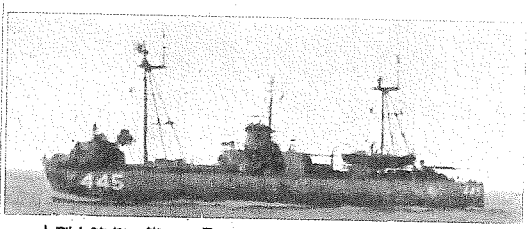
魚雷艇（ＰＴ） 第613号　排水量45トン　長サ80呎　巾20呎　速力41節　40粍高×1　20粍高×1　発射管2　爆雷4　戦時中ソロモン方面、比島方面で活躍した



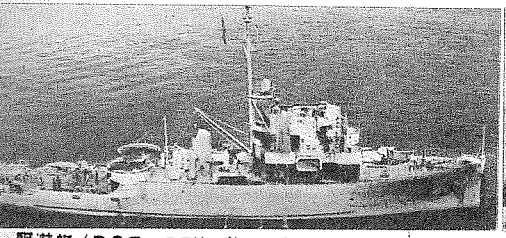
戦車揚陸艇（ＬＳＴ） 第1008号　排水量1,653トン　長サ328米　巾50米　速力11節　40粍高×7　20粍高×2　積載量2,100トン



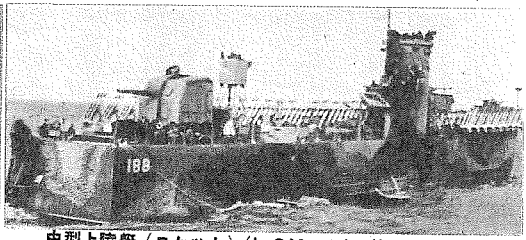
駆潜艇（ＰＣＥ） 第893号　排水量650トン　長サ180米　巾33米　速力16節　3吋砲×1　40粍高×6　爆雷投射機×4　1942―1943年建造



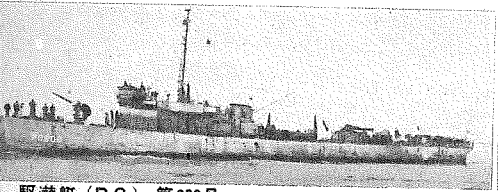
中型上陸艇 第445号　排水量743トン　長サ203呎　巾34呎　速力12節　40粍高×2　戦車中型5



駆潜艇（ＰＣＥ・Ｒ型） 第852号　本艇は40粍高×4　外に病院施設を備え患者57人を収容し得　その他はＰＣＥ型に同じ



中型上陸艇（ロケット）（ＬＳＭ－Ｒ） 第188号　排水量520トン　長サ203呎　巾34呎　速力13節　5吋砲×1　4.2吋自動×4　40粍高×2　ロケット発射機×10　1分間に5吋ロケット発射機×10　1分間に5吋ロケットを30発連続発射　300発搭載

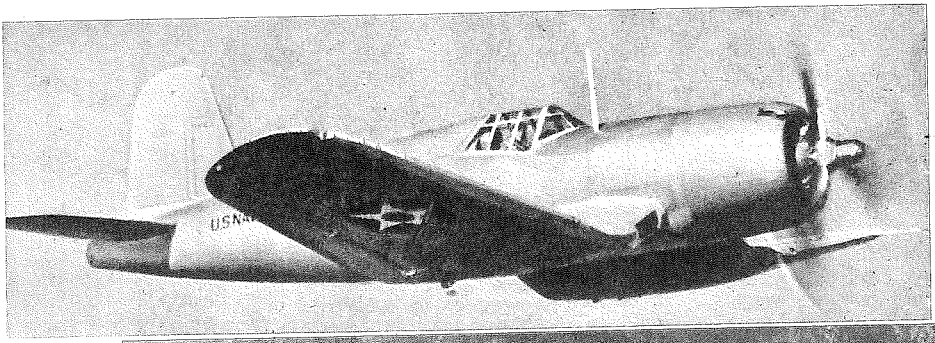


駆潜艇（ＰＣ） 第600号　排水量280トン　長サ170呎　巾23呎　速力20節　3吋砲×1　40粍高×1　20粍高×2（又は5）　爆雷投射機×4　1942年5月建造

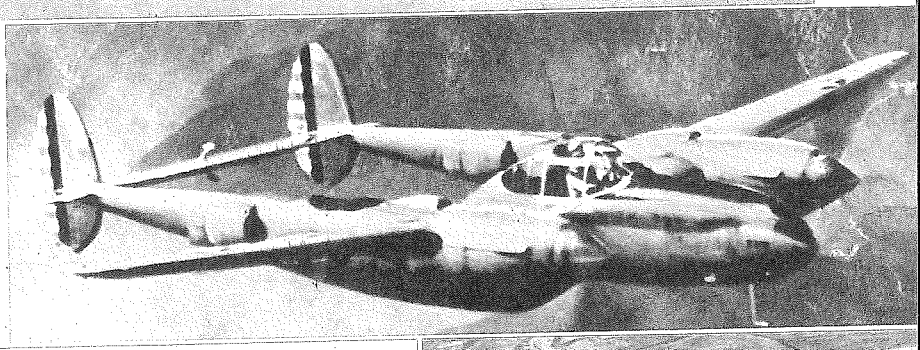


上陸艇（ＬＳＵ） 第501号　排水量143トン　長サ120呎　巾32呎　速力10節　小型戦車4又は貨物150トン搭載

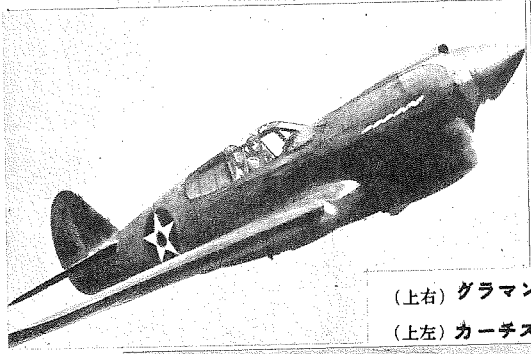
米・英・蘭航空機一覧

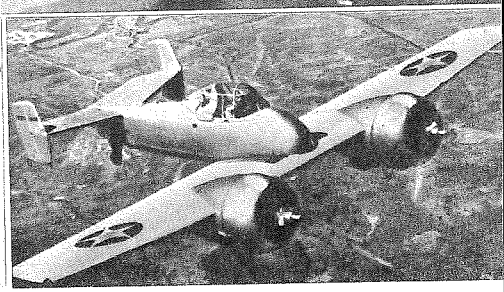


（左）ヴォート・シコルスキー XF四U一型戦斗機（アメリカ）



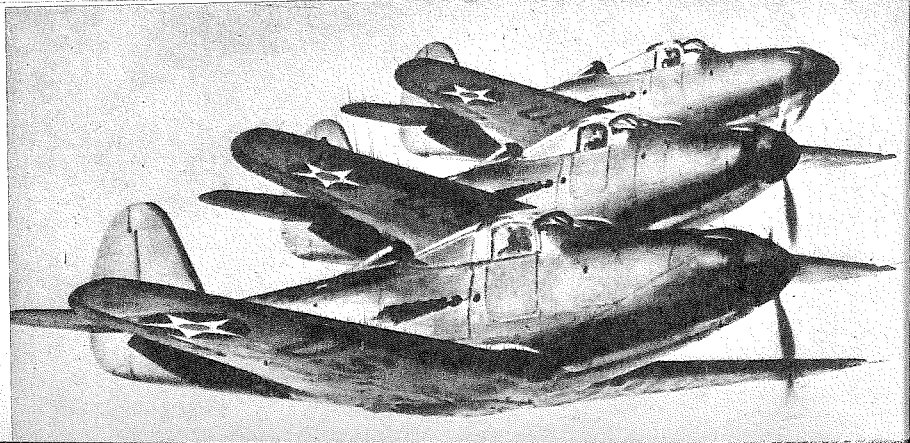
（右）ロッキードP三八型戦斗機（アメリカ）



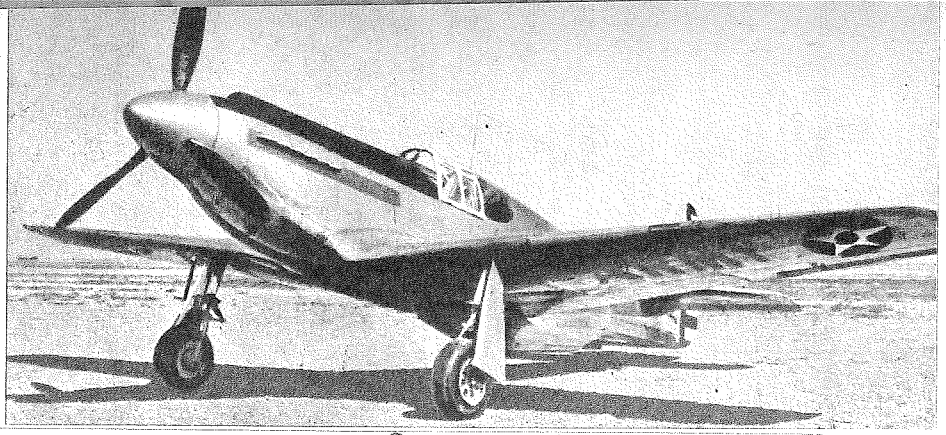


（上右）グラマン「スカイロケット」（アメリカ）

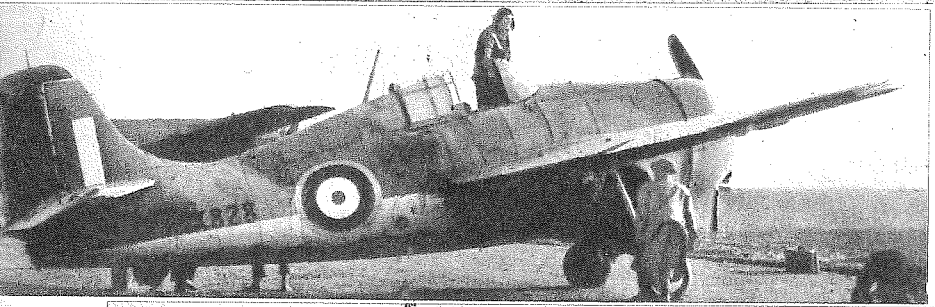
（上左）カーチスP—40D型戦斗機（アメリカ）



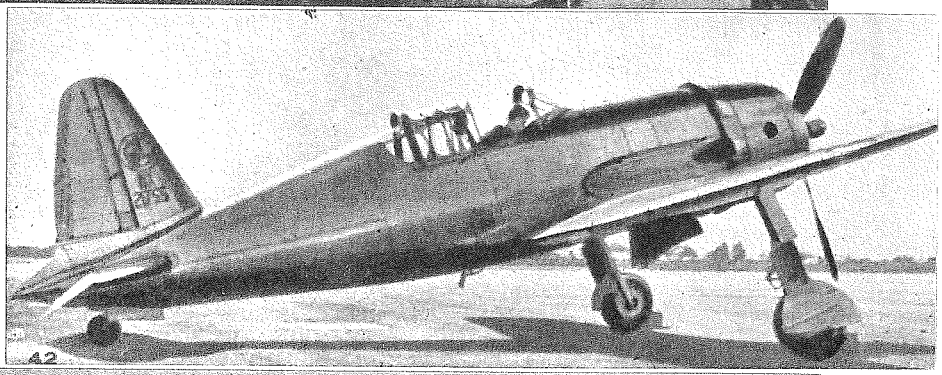
（左）ベル・エアラコブラ戦斗機（アメリカ）



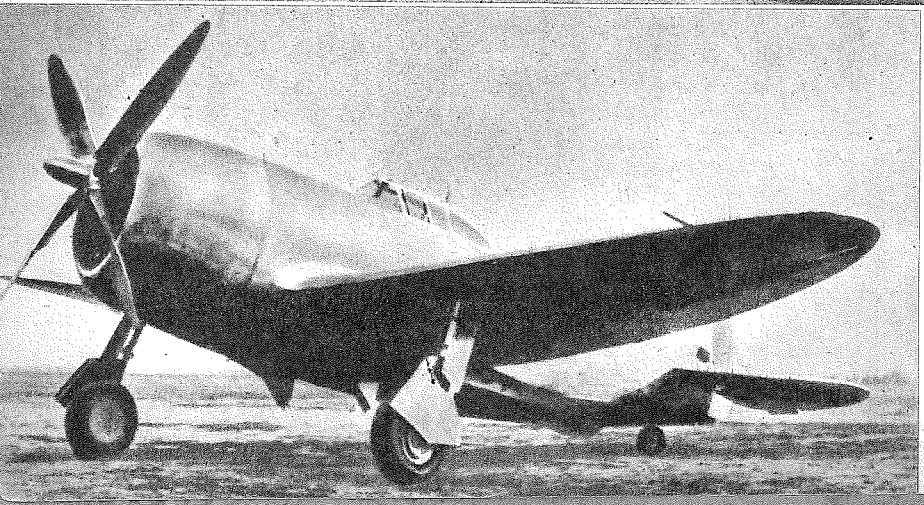
（右）ノース・アメリカンXP五一型
ムスタング戦斗機　（アメリカ）



（左）グラマンF四F—三型
「マートレット」戦斗機
（アメリカ）

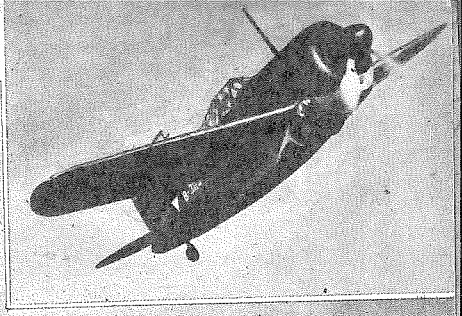


（右）ヴァルテイ・ヴァンガード
四八C型戦斗機　（アメリカ）

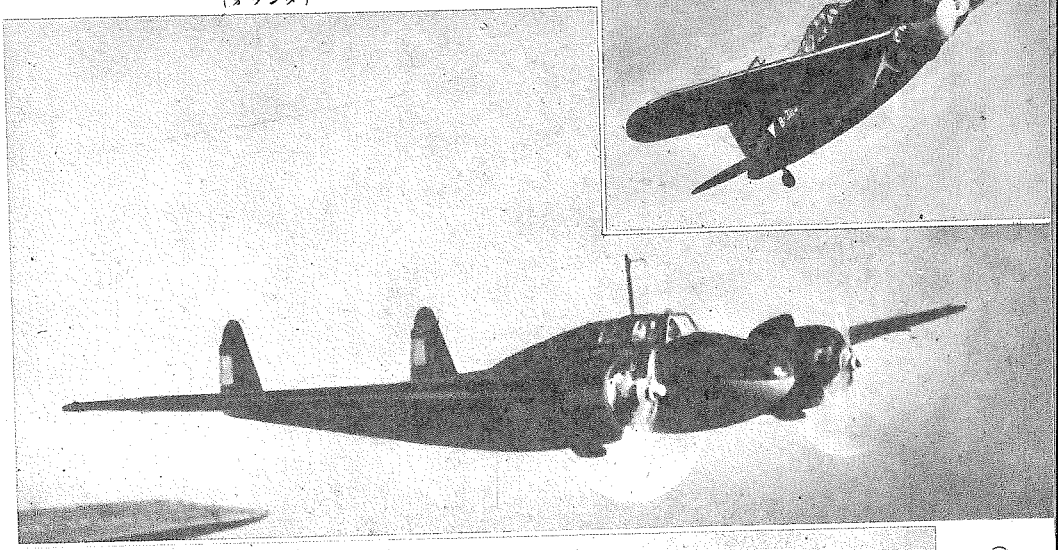


（左）リパブリックP—四七
B「サンダーボルト」
（アメリカ）

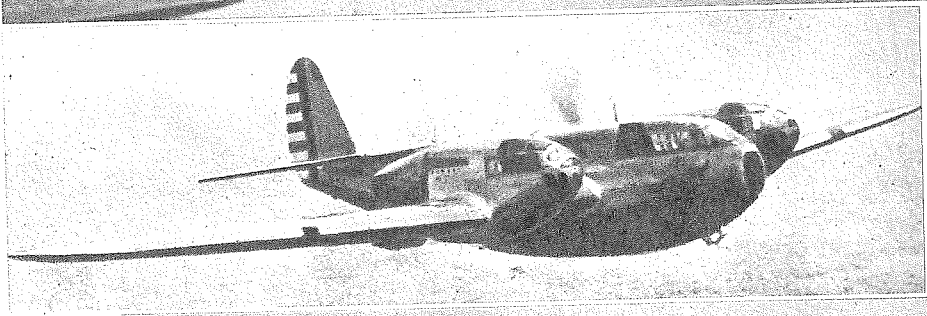
（右）ブリュースター「バッファロー」戦斗機（アメリカ）



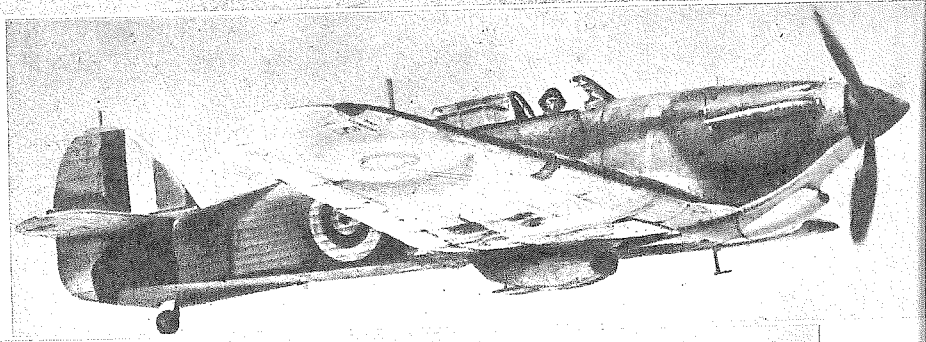
（下）フォッカーG－1型重駆逐機（オランダ）



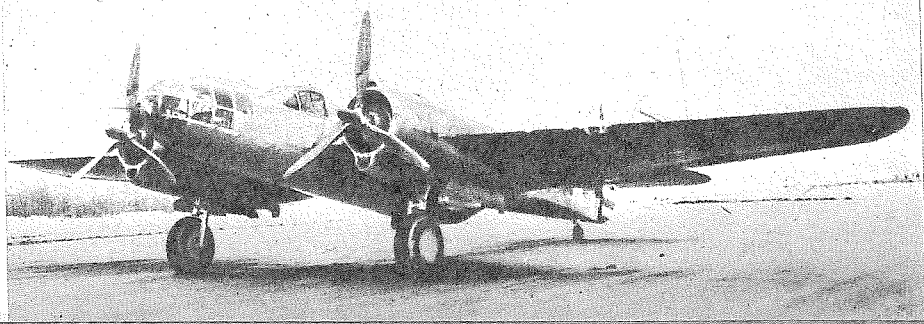
（左）ベル・エアラクータ重戦斗機（アメリカ）

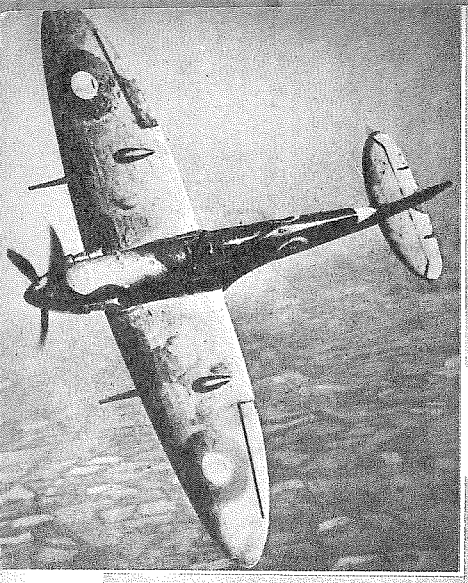


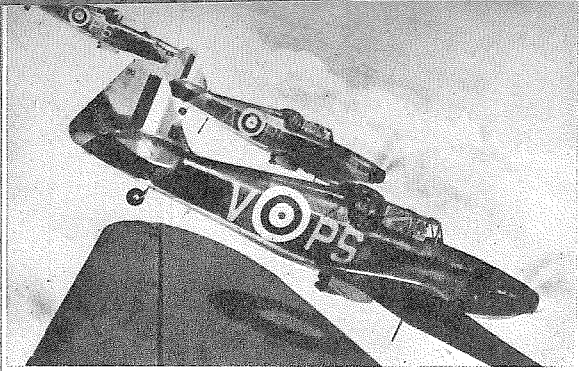
（右）ホーカー・ハリケーン戦斗機（イギリス）



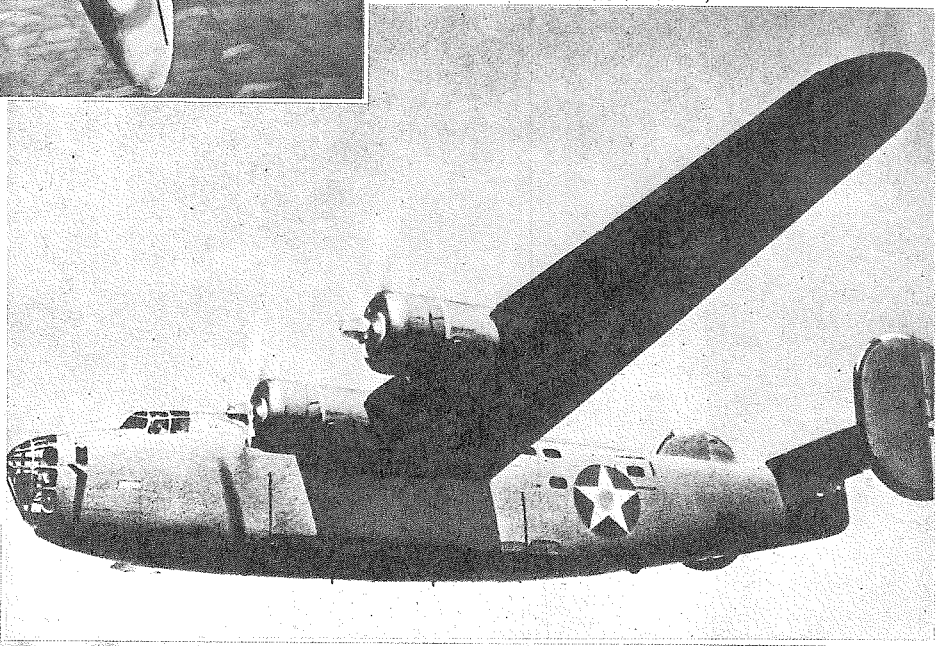
（左）マーチン一六七型爆撃機（アメリカ）



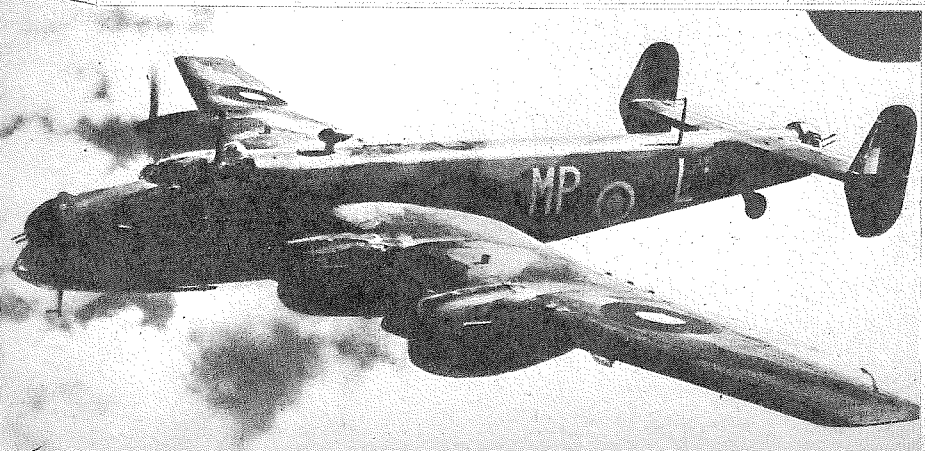




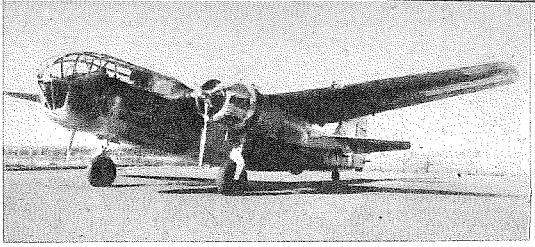
（上）ボールトン・ポール・デファイアント
重戦斗機（イギリス）
（左）スーパーマリン・スピットファイアー
戦斗機（イギリス）



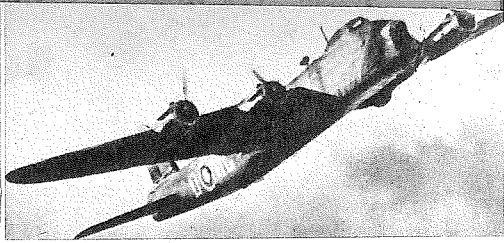
（右）コンソリデーテッド
B—二四型超重爆
（アメリカ）



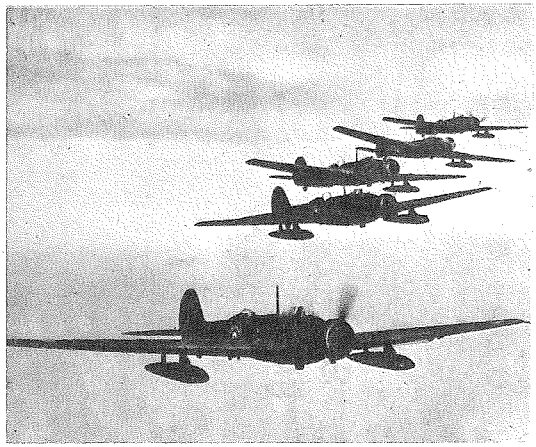
（左）ハンドレページ・ハリファックス
超重爆
（イギリス）



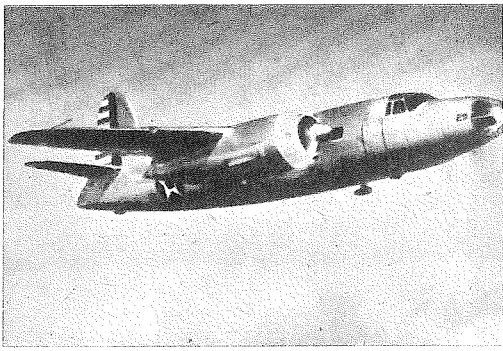
スティアマンX —100 型爆撃機
（アメリカ）



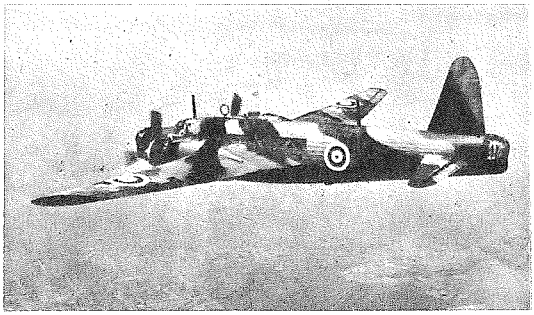
ショート・スターリング超重爆（イギリス）



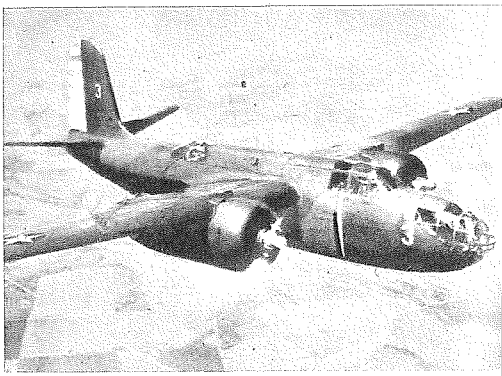
ヴィッカース・ウェルズリー爆撃機
（イギリス）



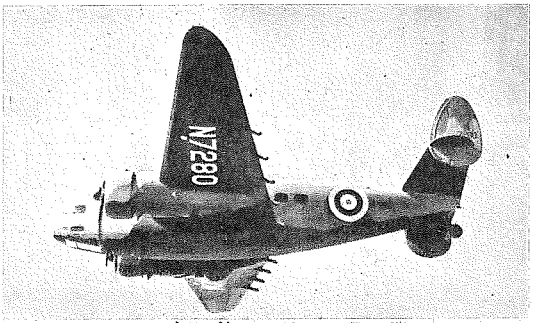
マーチンB —26型爆撃機（アメリカ）



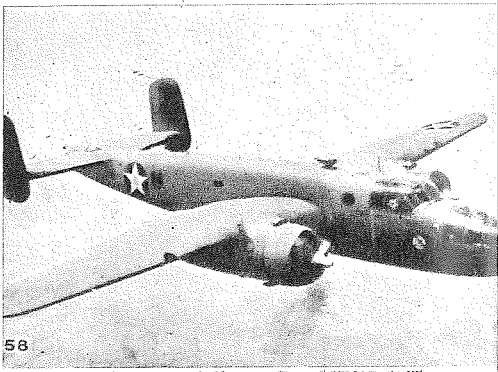
ヴィッカース・ウェリントン爆撃機
（イギリス）



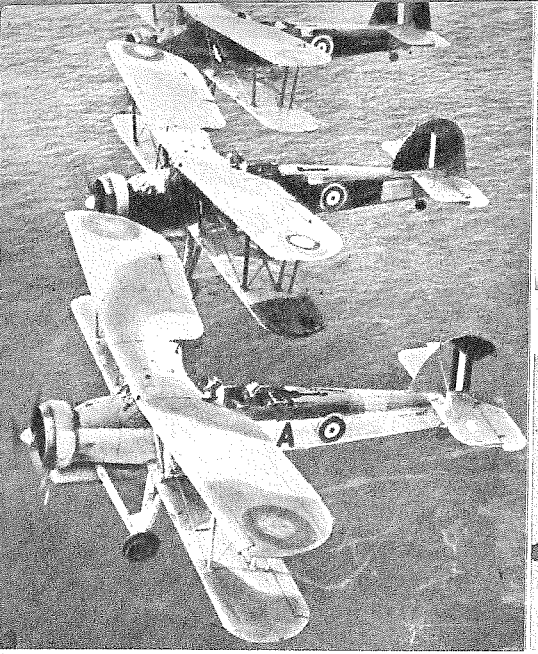
ダグラスA —20A型爆撃機（アメリカ）



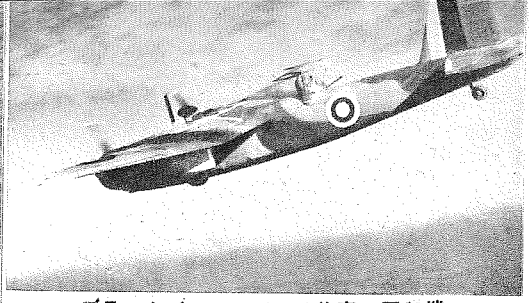
ロッキード・ハドソン爆撃機
（アメリカ）



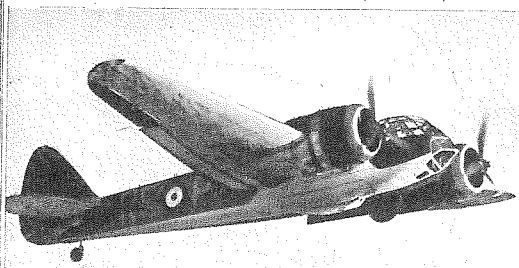
ノースアメリカンB —25型爆撃機
（アメリカ）



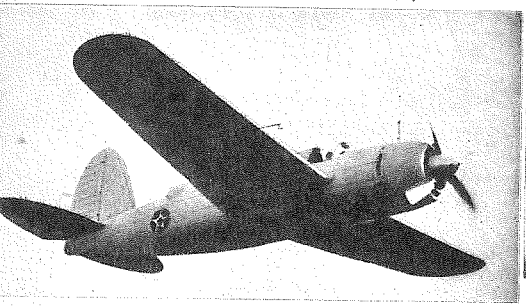
フェアリー・ソードフィッシュ雷撃機
（イギリス）



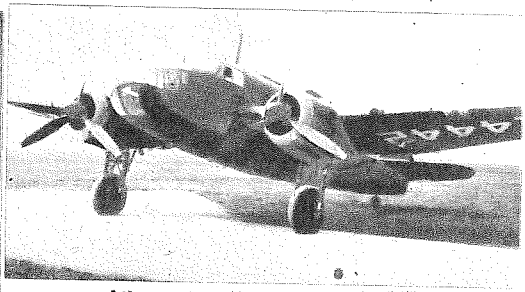
ブラックバーン・ボーサ偵察，雷撃機
（イギリス）



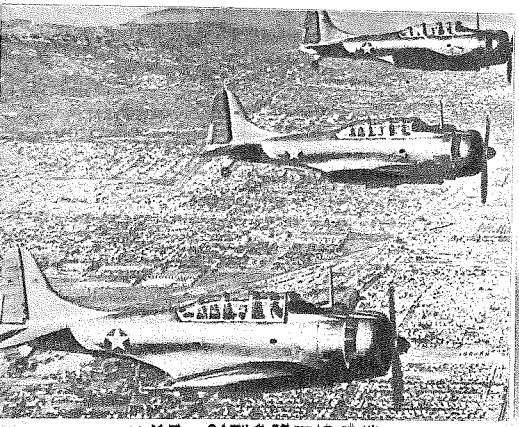
ブリストル・ブレンヒム爆撃機
（イギリス）



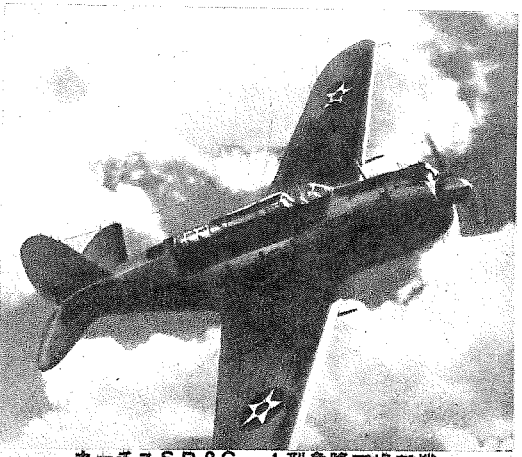
ブリュースターSB 2A —1型
急降下爆撃機（アメリカ）



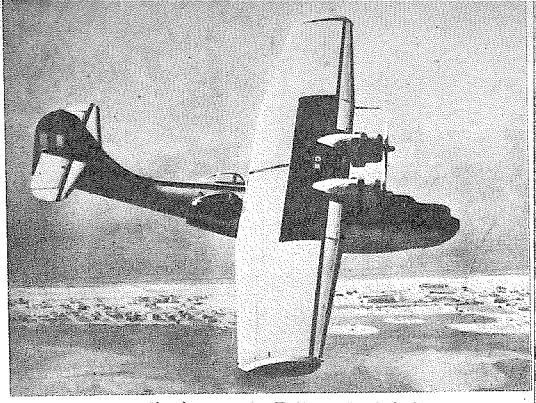
ブリストル・ボーフォール爆撃機
（イギリス）



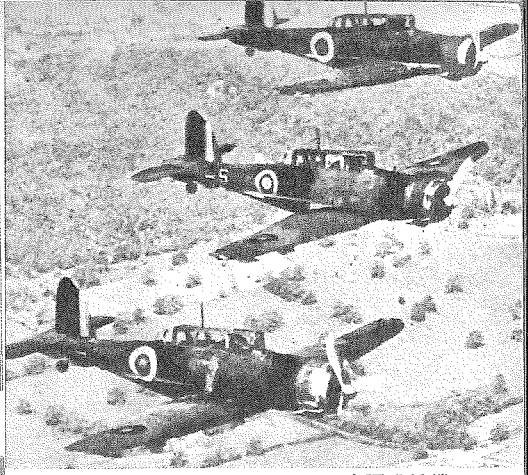
ダグラス24型急降下爆撃機
（アメリカ）



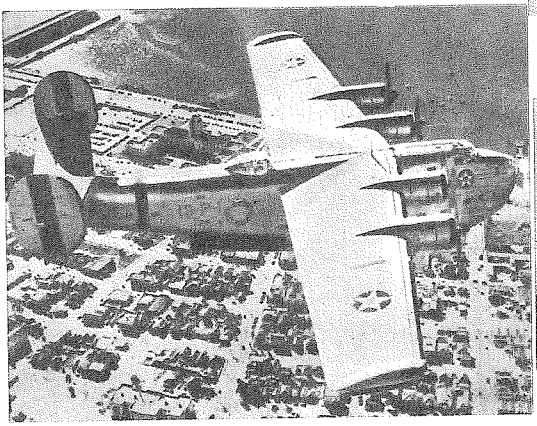
カーチスSB 2C —1型急降下爆撃機
（アメリカ）



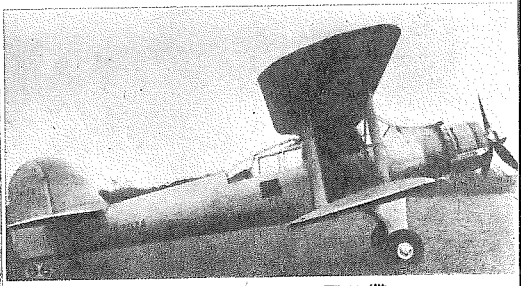
コンソリデーテッドＰＢＹ５型哨戒艇
（アメリカ）



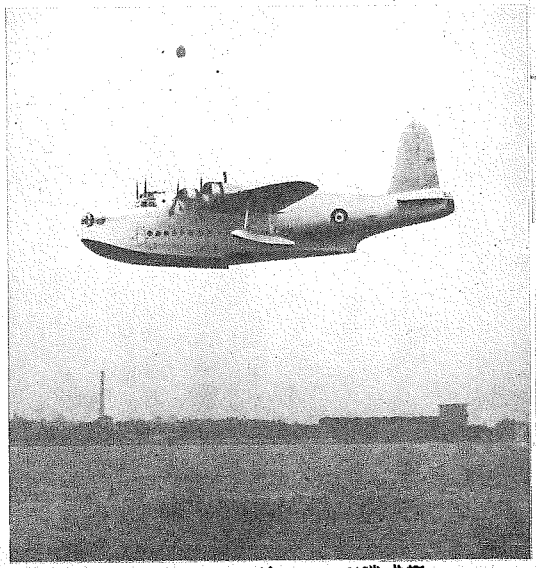
ブラックバーン・スキュア急降下爆撃機
（イギリス）



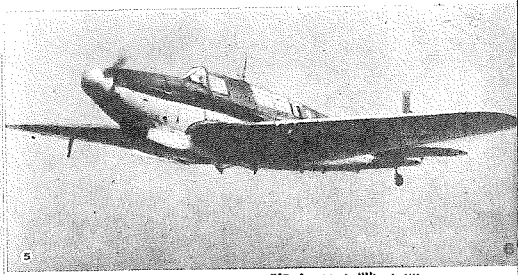
コンソリデーテッドＰＢ２Ｙ２型哨戒艇
（アメリカ）



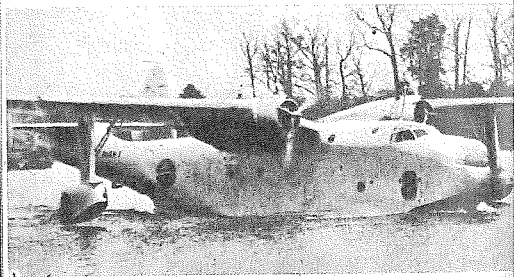
フェアリー・アルバコア雷撃機
（イギリス）



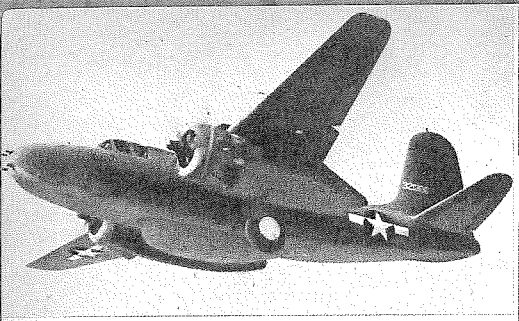
ショート・サンダーランド哨戒艇
（イギリス）



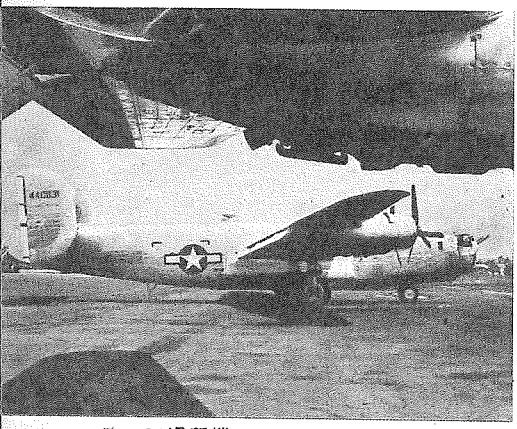
フェアリー・フルマー複座艦上戦斗機
（イギリス）



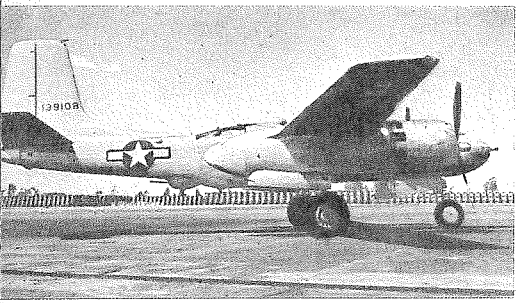
マーチンＰＢＭ－１型飛行艇
（アメリカ）



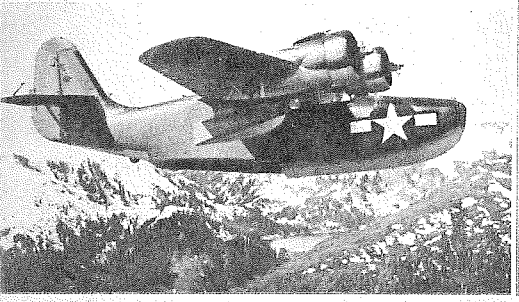
ダグラスA－20爆撃機（アメリカ）



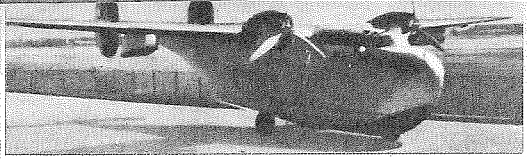
B－24爆撃機（アメリカ）



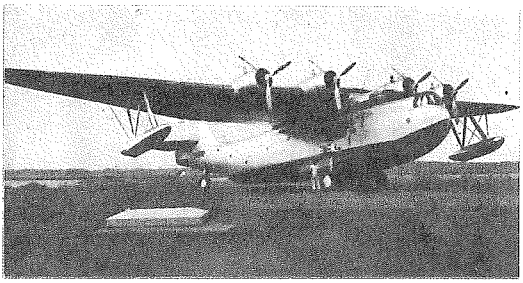
ダグラスA－26偵察機（アメリカ）



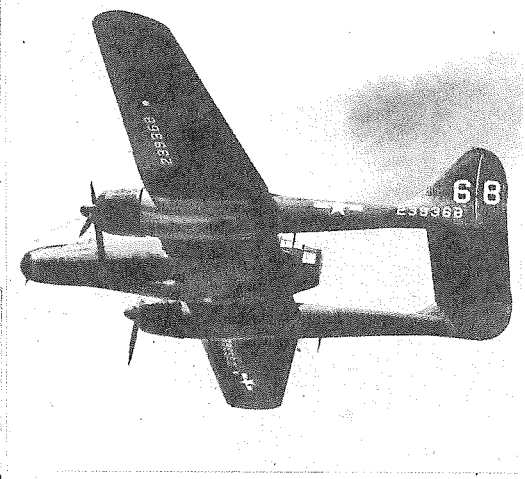
グラマンJRF沿岸消戒機（アメリカ）



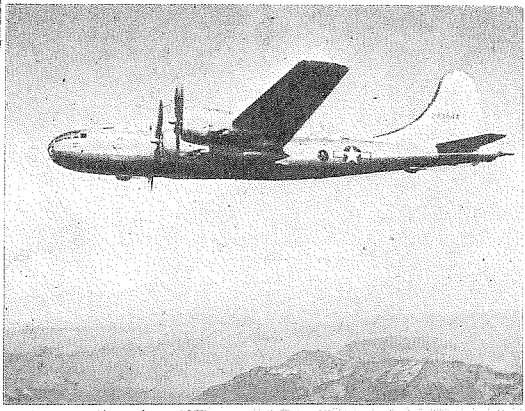
コンソリデーテッド31型飛行艇
（アメリカ）



ヴォト・シコルスキー・XPBS－1型
（アメリカ）



ノースロップP－61夜間戦斗機（アメリカ）



ボーイングB－29爆撃機（アメリカ）



10.000噸重巡洋艦妙高級　12 374噸　4隻



大型空母翔鶴（瑞鶴同型）29 800噸　2隻



戦艦長門（陸奥同型）公試 43.580噸　2隻

日本海軍兵力

開戦時現有			開戦後就役					保有	沈没					残存 1948 (現在)	残存
艦種	艦名	隻数	16	17	18	19	計	計	16	17	18	19	20	計	計
航空母艦	正規空母	8				大雲 鳳龍 天城 城鷹 信濃	5	13		加賀 赤城 龍驤 龍鳳 蒼龍 飛鷹		翔鶴 瑞鶴 大鳳 龍鳳 信濃		10	3
	改装空母	1			千歳 千代田	祥鳳 瑞鳳	4	5		祥鳳	千歳 千代田	瑞鳳		4	1
	補助空母	1			神鷹 海鷹	千歳 飛鷹 龍鳳	6	7			沖鷹 神鷹	大鷹 飛鷹 雲鷹		5	2
戦艦		10	大和	武蔵			2	12		霧島 比叡	陸奥	扶桑 山城 武蔵 金剛	大和	8	4
巡洋艦	重巡	21					21	21		加古 衣笠 古鷹		那智 足柄 羽黒 妙高 那智 足柄 羽黒 妙高		12	9

開戦時現有			開戦後就役				保有	沈没					残存 1948 (現在)	残存
艦種	艦名	隻数	16	17	18	19	計	16	17	18	19	20	計	計
巡洋艦	軽巡洋艦	20		阿賀野	能代 矢矧 大淀	八十島 酒匂	6 26		天龍 由良	川内 神通	龍田 球磨 多摩 大井 北上 木曾 長良 五十鈴 名取 由良 鬼怒 阿武隈 川内 神通 那珂 夕張 能代 矢矧 香取 香椎 八十島	五十鈴	22	4
	水上機母艦	2					2				日進		3	1
	駆逐艦	15					63 178						29	49
潜水艦		75			67 38 20		25 200				75 39		14	86
特務艦等	補助艦艇	30					15 45						26	19
海防艦等		30					80 210						62	148
掃海艇等		36					447 583						225	358
航空機		2,120					3165 7337 77						2348	10,429



乙型潜水艦伊15級　2581噸26隻



丁型駆逐艦松級　1262噸　26隻



特型駆逐艦吹雪級　1700噸24隻



軽巡洋艦長良級　5170噸　6隻



米重巡バルティモア　13.600噸　同型艦14



米正規空母エセックス　27.100噸同型艦26



米戦艦アイオワ　45.000噸　40糎砲同型6

米海軍兵力

開戦時現有			開戦後就役					保有	沈没						残存
艦種	艦名	隻数	17	18	19	20	計	計	16	17	18	19	20	計	計
航空母艦	空母	7		レキシントン級 ヨークタウンII イントレピッド ホーネットII エセックス ワスプII		フランクリン ハンコック バンカーヒル ティコンデロガ ベニントン ソラトガ ランドルフ キアーサージ	15	22	ホーネット ワスプ ヨークタウン	レキシントン				2	23
	軽空母	0	イングペンデンス プリンストン ベローウッド カウペンス モンテレー キヤボット ラングレー バターン			アンティタム	9	9				プリンストン		1	8
	護送空母	0	シェノンゴ サンガモン サンテ スワニー アルタマハ ハーンズ アダックス ホーク フレトハ カード コパフェ コーアー クローダン ファンショー ガンビアベイ チャンパリン	アンシオ カサブランカ コルヒトベイ コンゴベイ カルビアベイ カサブルカ ケイトベイ カドアベイ ケイシーベイ ガルフポートベイ ハスコムベイ ウェルカムベイ ナトマベイ ナッソベイ ネヘンタベイ ポイントカベイ ロビンソンベイ サンテベイ スワニーベイ ティラベイ ウインジャベイ	アトラック アドミラルティ コンパイ ビスマークシー サボ アイランド セブ ルソン ミンドロー ルンガポイント ムンダ ペリリュー サイパン テニアン ウルシー ケルラベイ ヒンデンベイ キトカンベイ マニラベイ サラマウア エニウェトク ポートランド ブレマートン	アドミラルティ ビスマーク シー ルソン ミンドロー ルンガポイント ムンダ ペリリュー サイパン テニアン ウルシー ケルラベイ ヒンデンベイ キトカンベイ マニラベイ サラマウア エニウェトク ポートランド ブレマートン	72	72				リスコムベイ		カルビアベイ ビスマーシー ミンドロー ネヘニーベイ		5	67
巡洋艦	重巡	18	ペンサコラ ノーザンプトン ソルト オーガスタ チエスター シカゴ ヒューストン レイノルズ ウィチタ ポートランド アストリア ミネアポリス ニューオリンズ サンフランシスコ ソルトレークシティ ウイチタ		ボルチモア ボストン キャンベラ クインシーII			18	ペンサコラ ノーザンプトン ソルト オーガスタ チエスター シカゴ ヒューストン レイノルズ ウィチタ ポートランド アストリア ミネアポリス ニューオリンズ サンフランシスコ ソルトレークシティ ウイチタ			アラスカ グアム ピッツバーグ	シカゴII センポール	9	27
	軽巡		ヘレナ セントルイス ボーズ ブルクリン ホノルル ナッシビル セクラメント フェニックス サヴァナ シンシナチ コンコルド デトロイト マールバラ メンフィス オマハ ラーレイ リッチモンド トレントン					18	アトランタ ジユノー		ピロキシー パモンガム ヒューストンII マイアミ モビール ルノ オークランド		アストリアII アトランタII ダルス ラグナセカ バッテラ クリーブランド トペカ ビンセンス ムルベーヌ フィルーネール アリント	ボッツマス	アムステルダム テイトン リトルロック	31	49					ヘレナ アトランタ ジユノー	3	46
駆逐艦	普通		173										332	505				20	11	12	5	48	457
	護衛												412	412								10	402
潜水艦			112										183	295	1	6	15	19	4	45	250
航空機			5300										44200	49500							8500		41,000



米潜水艦バラオ級1525噸 132隻



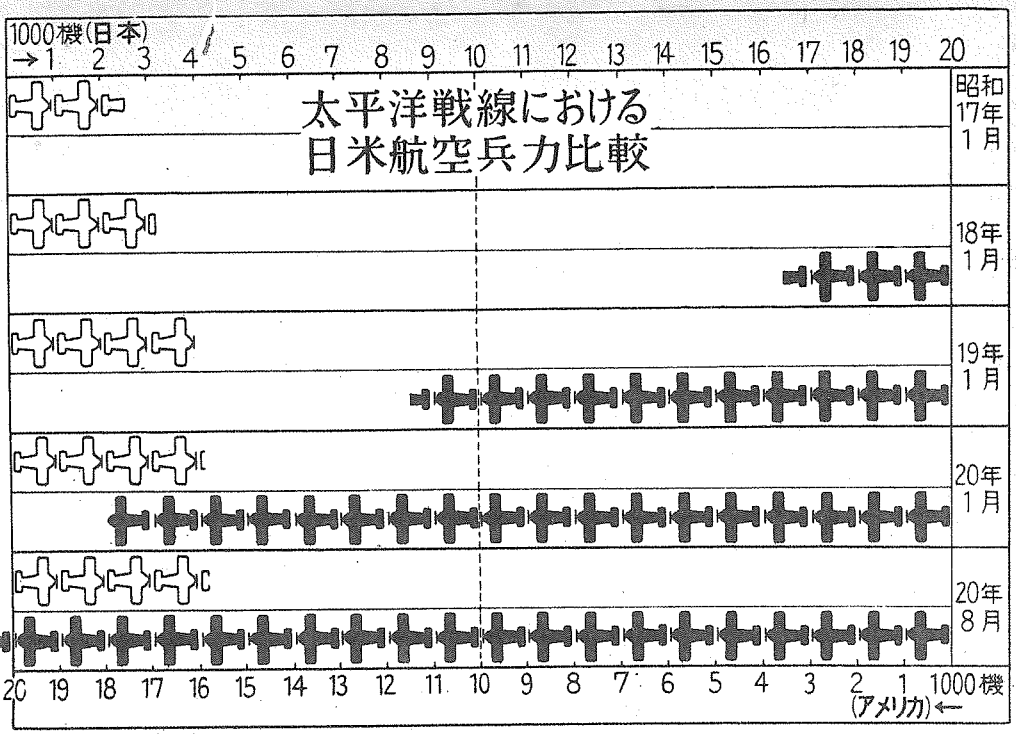
米護衛駆バクレイ　1400噸62隻

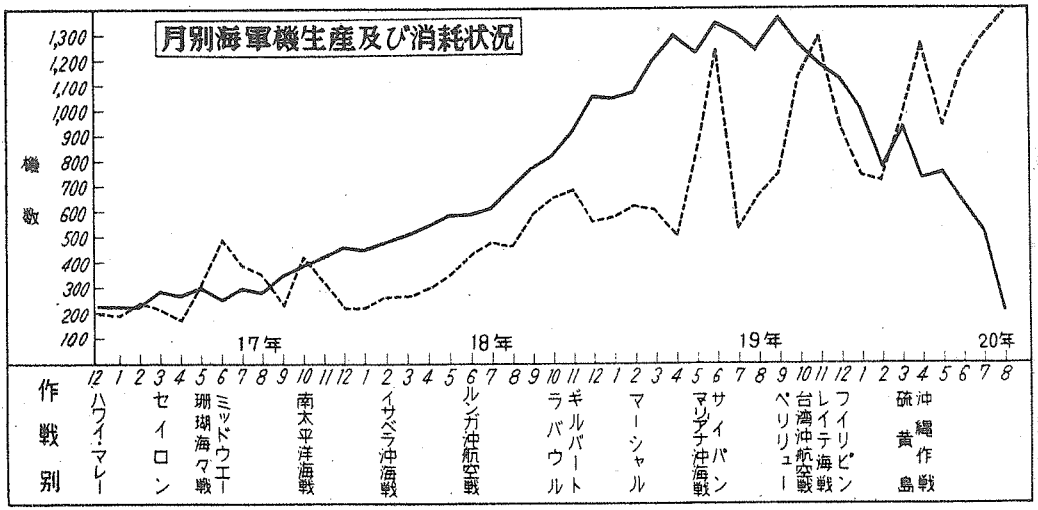


米駆キヤリング　2400噸 105隻



米軽巡クリーヴランド1万噸27





編集後記

☆全艦艇の中一部は全然記録写真を残して無いのがあります事を御諒承願います。

☆掲載写真のうち同型艦はなるべくその代表艦だけを発表しました。

☆本誌は前号予約に定価百円と発表致しましたがその後増頁或いは諸経費の値上りに伴い定価百三十円と改訂させて頂きます。尚前金予約下さった方はその侭で増額分は申受けません。

写真の販布

☆本誌発表の全写真中に御希望の写真御座いましたらお申込下さい

手札型 一枚 送料共 三〇円

太平洋戦争艦艇一覧

旬刊タイムス(臨時増刊)

特価百三十円

昭和三十二年二月二十五日印刷
昭和三十二年三月 一 日発行

発行人 宗形金造
編集人 春日三郎

東京都千代田区神田駿河台ノ三
発行所 東京内外新聞社
電話 (九局五六三三番専用)
〇六〇一番(夜間)
振替口座 東京五〇一九三番

艦艇類別等級表

類別	等級	艦艇型	艦艇名
艦 戰艦		扶桑型	扶桑、山城
		伊勢型	伊勢、日向
		長門型	長門、陸奥
		金剛型	金剛、榛名、霧島、比叡
	一等	妙高型	妙高、那智、足柄、羽黒
		高雄型	高雄、愛宕、鳥海、摩耶
		古鷹型	古鷹、加古
		青葉型	青葉、衣笠
巡洋艦		天竜型	天竜、竜田
		球磨型	球磨、多摩、北上、大井、木曽
		長良型	長良、五十鈴、名取、由良、鬼怒、阿武隈
	二等	川内型	川内、神通、那珂
		夕張	夕張
		最上型	最上、三隈、鈴谷、熊野
		利根型	利根、筑摩
		阿賀野型	（阿賀野）
航空母艦			鳳翔、赤城、加賀、竜驤、蒼竜、飛竜、翔鶴、瑞鶴、瑞鳳
水上機母艦			能登呂、神威、千歳、千代田、瑞穂、（日進）、（秋津洲）
潜水母艦		迅鯨型	迅鯨、長鯨
		大鯨	
		剣埼型	剣埼
敷設艦		初鷹型	初鷹、蒼鷹、若鷹
		勝力、常磐、厳島、白鷹、八重山、沖島、津軽	
		駒橋	
海防艦		占守型	占守、国後、八丈、石垣
		安宅、鳥羽、嵯峨	
		勢多型	勢多、堅田、比良、保津
		熱海型	熱海、二見
		伏見型	伏見、隈田
		橋立型	橋立、宇治
練習巡洋艦			香取、鹿島、香椎

艦艇類別等級表

類別	等級	艦艇型	艦艇名
駆逐艦	一等	峯風型	峯風、沢風、沖風、羽風、汐風、秋風、矢風、夕風、太刀風、帆風、野風、波風、沼風
		神風型	神風、朝風、春風、松風、旗風、追風、疾風、朝風、夕風
		睦月型	睦月、如月、弥生、卯月、皐月、水無月、文月、長月、菊月、三日月、望月、夕月
		吹雪型	吹雪、白雪、初雪、深雪、叢雲、東雲、薄雲、白雲、磯波、綾波、敷波、天霧、狭霧、夕霧、朧、曙、漣、潮、暁、響、雷、電、朝霧
		白露型	白露、時雨、村雨、夕立、春雨、五月雨、海風、山風、江風、涼風
		朝潮型	朝潮、大潮、満潮、荒潮、朝雲、山雲、夏雲、峯雲、霞
		陽炎型	陽炎、不知火、黒潮、親潮、早潮、夏潮、初風、雪風、天津風、時津風、浦風、磯風、浜風、谷風、野分、嵐、萩風、舞風、秋雲
		夕雲型	夕雲、（巻雲）、（風雲）、（巻波）
	二等	秋月型	（秋月）、（照月）
		栗型	栗、榧、蓮
		若竹型	若竹、呉竹、早苗、朝顔、芙蓉、刈萱
潜水艦	一等	伊一型	伊1、伊2、伊3、伊4、伊5、伊6
		伊七型	伊7、伊8
		伊九型	伊9、伊10（伊11）
		伊十五型	伊15、伊17、伊19、伊21、伊23、（伊25）、（伊27）、（伊29）、（伊31）、（伊32）、（伊33）、（伊34）、（伊35）、（伊36）、（伊37）
		伊十六型	伊16、伊18、伊20、伊22、伊24
		伊五十三型	伊53、伊54、伊55、伊56、伊57、伊58、伊59、伊60
		伊六十一型	伊61、伊62、伊64
		伊六十五型	伊65、伊66
		伊六十八型	伊68、伊69、伊70、伊71、伊72、伊73、伊74、伊75
		伊百二十一型	伊121、伊122、伊123、伊124
		伊百七十六型	（伊176）
	二等	呂三十型	呂30、呂31、呂32
		呂三十三型	呂33、呂34
		呂五十七型	呂57、呂58、呂59
		呂六十型	呂60、呂61、呂62、呂63、呂64、呂65、呂66、呂67、呂68
		呂百型	（呂100）、（呂103）

特務艦類別等級表

類別	等級	艦型	特務艦名
工作艦		明石型	明石、朝日
		知床型	知床、襟裳、佐多、鶴見、尻矢、石廊
運送艦		隠戸型	隠戸、早鞆、鳴戸
		室戸型	室戸、野島
			間宮、樫野、宗谷、伊良湖
砕氷艦			大泊
測量艦			（筑紫）
標的艦			摂津
練習特務艦			富士、敷島

特務艇類別等級表

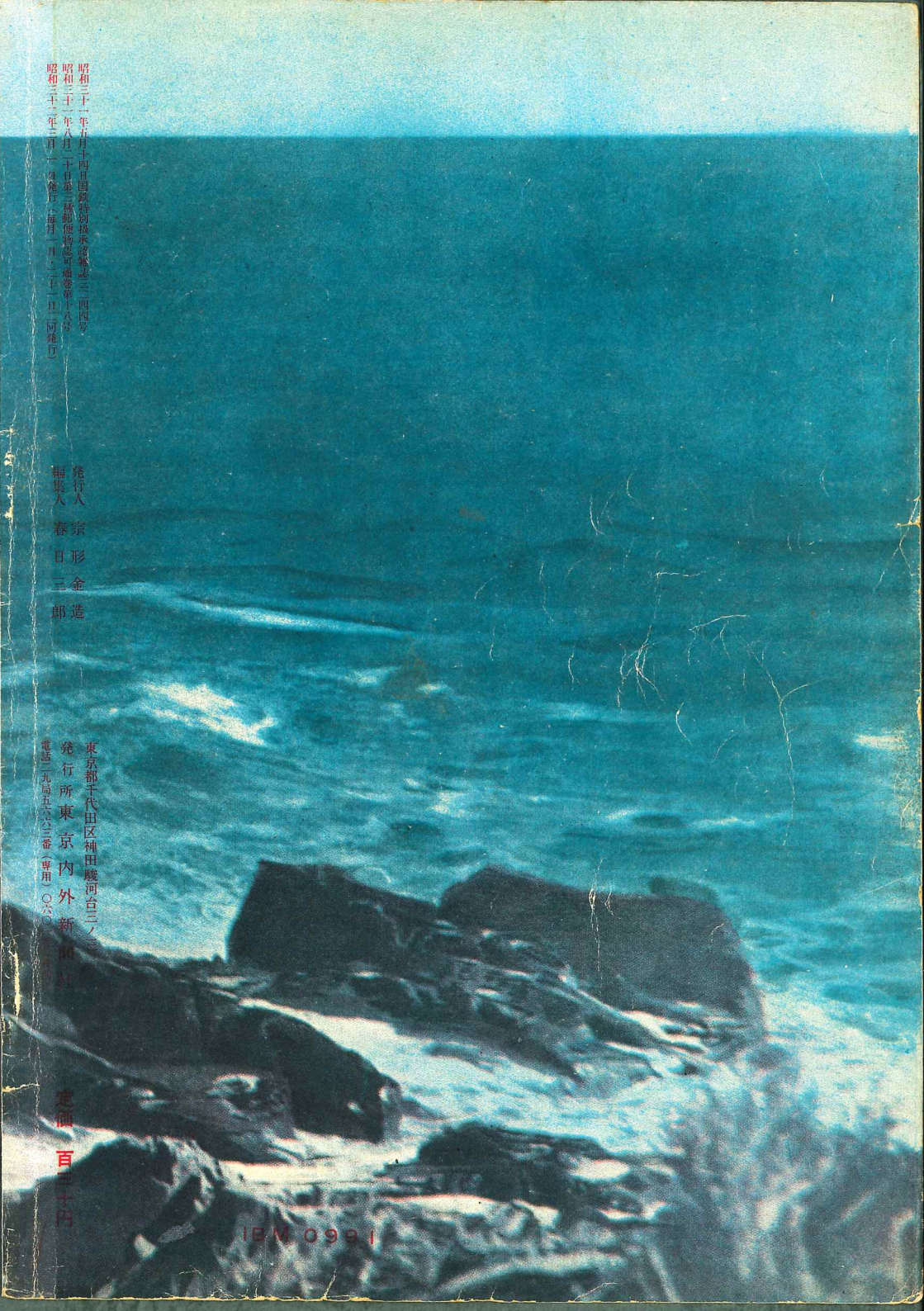
類別	艇型	特務艇名
敷設艇	測天型 第一号型	江之島、黒神、片島、戸島、草埼、黒埼、加徳、円島、似島、鷺埼、燕、鵯、夏島、猿島、那沙美
	測天型 第二号型	測天、白神、巨済、成生、浮島、平島、（澎湖）、（石埼）、（鷹島）、（済州）
哨戒艇	第一号型	1、2
	第三十一号型	31、32、33、34、35、36、37、38、39
		46
駆潜特務艇	第五十一号型	51、52、53
掃海特務艇	第一号型	（1）、（2）
潜水艦母艇		
電纜敷設艇		初島、釣島、大立、立石
魚雷艇		1、2、3、4、5、6

類別	艇型	艇名
水雷艇	千鳥型	千鳥、鶴、友鶴、初雁
	鴻型	鴻、鴨、雁、鷺、鳩
掃海艇	第一号型	1、2、3、4、5、6
	第七号型	7、8、9、10、11、12、19、（20）
	第十三号型	13、14、15、16、17、18
駆潜艇	第一号型	8、9、10、11、12
		1、2、3、4、5、6、7、13、14、15、16、17、18、19、20、21、22、23、24、25、（26）、（27）、（29）、（34）
	第十三号型	

昭和三十一年五月十四日国鉄特別扱承認雑誌三〔四四号〕
昭和三十一年八月二十日第三種郵便物認可　通巻第十八号
昭和三十二年三月一日発行（毎月一日・二十一日二回発行）

発行人　宗形金造
編集人　春日三郎

東京都千代田区神田駿河台三ノ二
発行所　東京内外新聞社
電話　九局五六二三番（専用）〇六〇



定価　百三十円

IBM 0991